

(様式第9)

東女病発231号  
平成 19 年 10月 4日

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人 東京女子医  
理事長 吉岡博

### 東京女子医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3項の規定に基づき、平成 19年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	224人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)

- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護婦及び准看護婦、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	714人	10.8人	724.8人	看護業務補助	222人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	18人	0.3人	18.3人	理学療法士	14人	臨床検査技師	165人
薬剤師	72人	人	人	作業療法士	7人	衛生検査技師	2人
保健婦	0人	人	人	視能訓練士	9人	検査その他の	人
助産婦	37人	人	人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護婦	1,046人	人	人	臨床工学技師	60人	医療社会事業従事者	6人
准看護婦	7人	人	人	栄養士	11人	その他の技術員	14人
歯科衛生士	6人	人	人	歯科技工士	4人	事務職員	278人
管理栄養士	8人	人	人	診療放射線技師	77人	その他の職員	197人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数			
	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	1,036人	7人	1,043人
1日当たり平均外来患者数	3,940人	158人	4,098人
1日当たり平均調剤数	2,333剤 (外来916剤、入院1,417剤)		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を曆日で除した数を記入すること。
  - 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
  - 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ曆日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高 度 先 進 医 療 の 種 類 ( 医 科 )	承 認	取 扱 い 患 者 数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・無	7人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	0人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・無	0人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	0人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	0人
・人工中耳	有・無	0人
・实物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	2人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	0人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・無	0人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	0人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	0人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	0人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	0人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・無	0人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	11人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	0人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	0人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・無	0人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	0人
・栄養障害型表皮水泡症のDNA診断	有・無	0人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	0人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	8人
・マス・スペクトロメリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	0人
・抗がん剤感受性試験	有・無	0人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	0人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	11人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	0人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	0人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	0人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	0人
・成長障害のDNA診断	有・無	0人
・生体部分肺移植術	有・無	0人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	0人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	0人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	0人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	7人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	0人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	0人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	0人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	66人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	0人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	0人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	0人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	0人
・固体がんに対する重粒子線治療	有・無	0人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	1人
・カフェイン併用化学療法	有・無	0人
・31鱗-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	0人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	0人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	0人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・無	0人
・固体腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・無	0人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	0人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	0人
・自家液体窒素凍結骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	0人
・肺腫瘍に対する腹腔鏡補助下肺切除術	有・無	0人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	0人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	0人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	0人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	38人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	0人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	0人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	0人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・無	0人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	0人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	0人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	0人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	0人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	0人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	0人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	25人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	0人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	0人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	0人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	0人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	0人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・無	0人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	0人
・活性化血小板の検出	有・無	0人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	0人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	0人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	0人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・無	0人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	0人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	(有)・無	304人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input checked="" type="radio"/>	5人
・強度変調放射線治療	(有)・無	25人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/>	10人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/>	2人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/>	9人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/>	16人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動搖歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/>	2人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・レーザー応用による齲歯除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/>	38人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input checked="" type="radio"/>	5人
・強度変調放射線治療	(有)・無	25人
・胎児心超音波検査	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/>	10人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/>	2人
・人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/>	16人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/>	0人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・超音波骨折治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・眼底三次元画像解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・非生体ドナーから採取された同種骨・韌帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
・定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	164人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	108人
・多発性硬化症	138人	・ウェグナー肉芽腫症	6人
・重症筋無力症	105人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	187人
・全身性エリテマトーデス	311人	・多系統萎縮症	16人
・スモン	2人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	67人	・膿疱性乾癬	7人
・サルコイドーシス	96人	・広範脊柱管狭窄症	9人
・筋萎縮性側索硬化症	40人	・原発性胆汁性肝硬変	87人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	141人	・重症急性肺炎	16人
・特発性血小板減少性紫斑病	118人	・特発性大腿骨頭壞死症	22人
・結節性動脈周囲炎	43人	・混合性結合組織病	14人
・潰瘍性大腸炎	275人	・原発性免疫不全症候群	5人
・大動脈炎症候群	43人	・特発性間質性肺炎	4人
・ビュルガー病	10人	・網膜色素変性症	16人
・天疱瘡	21人	・プリオント病	0人
・脊髄小脳変性症	58人	・原発性肺高血圧症	13人
・クローン病	132人	・神経線維腫症	20人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	16人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	132人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	6人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	4人
・後縦靭帯骨化症	68人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	2人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	症例検討会により異なるが、週に一回もしくは月に一回程度である。なお、月平均20件程度開催している。	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 65 例	剖検率 10.6 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

(注) 1 國、地方公共團體又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申

- 請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

## 2 論文発表等の実績

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なもの を記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

- 2 「発表者氏名」欄には、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 1 研究費補助等の実績(平成18年度)

	研究名	研究者名	研究者の所属	交付金額(千円)	補助金交付・委託者名
1	日本人非アルコール性脂肪肝の発症に及ぼす栄養素摂取量と身体活動に関する易学的検討	中神 朋子	糖尿病センター	300	(財)日本女医会
2	心臓形態形成におけるfgfシグナルの役割	富田 幸子	循環器小児科	3,000	(財)内藤記念科学振興財団
3	核のないミトコンドリア細胞におけるアポトーシスおよびカルシウム動態	中山 智博	小児科学	1,700	文部科学省 科学研究費補助金
4	大腸癌悪性度評価における分子マーカー発現に関する研究	齋藤 登	一次診療科	500	文部科学省 科学研究費補助金
5	糖尿病網膜症に対する網膜光凝固の適正化に関する臨床試験の評価	堀 貞夫	眼科学	1,000	文部科学省 科学研究費補助金
6	幹細胞導入による頭蓋顎面領域の機能的再生外科学の創生	野崎 幹弘	形成外科学	3,100	文部科学省 科学研究費補助金
7	皮膚軟部組織再建における中皮細胞による血管新生及び癒着の制御	桜井 裕之	形成外科学	500	文部科学省 科学研究費補助金
8	深部静脈血栓後遺症の弁機能再生のための生体静脈弁開発	八巻 隆	形成外科学	2,900	文部科学省 科学研究費補助金
9	象芽芽細胞間のタイト結合関連タンパクの発現について	星野 真	歯科口腔外科学	1,500	文部科学省 科学研究費補助金
10	細胞シート工学による臨床応用へ向けた培養骨膜を利用した骨再生	内山 博人	歯科口腔外科学	1,300	文部科学省 科学研究費補助金
11	遺伝子改変動物における心血管機能評価の開発	富松 宏文	循環器小児科	1,200	文部科学省 科学研究費補助金
12	心臓冠状動脈形成におけるメルトリンβ／A D A M 1 9 の機能解析	富田 幸子	循環器小児科	1,100	文部科学省 科学研究費補助金

	研究名	研究者名	研究者の所属	交付金額(千円)	補助金交付・委託者名
13	動脈管における膜電位依存性カリウムチャンネルの酸素感受性に関する基礎的研究	中西 敏雄	循環器小児科	2,000	文部科学省 科学研究費補助金
14	冠動脈の発生・発達の解析から発展させた虚血心筋への新生血管誘導法の開発	上野 敦子	循環器内科学	1,300	文部科学省 科学研究費補助金
15	コネキシン4.3細胞内ループペプタイドによるギャッジャンクション標的治療法の研究	関 明子	循環器内科学	2,200	文部科学省 科学研究費補助金
16	心筋前駆細胞株を用いた新規心筋分化誘導因子の同定	松浦 勝久	循環器内科学	1,380	文部科学省 科学研究費補助金
17	大腸癌におけるLOHを考慮したTSプロモーター領域の多型性の検討	内田 数海	消化器外科学	700	文部科学省 科学研究費補助金
18	トールライクレセプターとTCR Vβレパトアによる遺伝子制御自然免疫構築の解析	有賀 淳	消化器外科学	1,000	文部科学省 科学研究費補助金
19	クローン技術を用いたES細胞からの樹状細胞の誘導と細胞医療への応用	竹下 信啓	消化器外科学	1,000	文部科学省 科学研究費補助金
20	臨床応用を目指した肝疾患におけるSNPの解析	徳重 克年	消化器内科学	1,100	文部科学省 科学研究費補助金
21	肺纖維化の新しい機序の解明と肺癌上皮細胞・間葉系細胞転移誘導に関する研究	清水 京子	消化器内科学	1,500	文部科学省 科学研究費補助金
22	心血管形成機序の解明と冠動脈の発生・発達からの虚血心筋への新生血管誘導法の開発	富澤 康子	心臓血管外科学	4,500	文部科学省 科学研究費補助金
23	骨髄細胞を使用するティッシュエンジニアリングによる再生血管・弁の臨床応用と評価	新岡 俊治	心臓血管外科学	4,500	文部科学省 科学研究費補助金
24	自己骨髄細胞と脱細胞化木モグラフトを用いた心臓弁の開発と臨床応用	斎藤 聰	心臓血管外科学	1,700	文部科学省 科学研究費補助金
25	大口径長径の再生血管の開発、解析と臨床応用	山本 昇	心臓血管外科学	1,800	文部科学省 科学研究費補助金

	研究名	研究者名	研究者の所属	交付金額(千円)	補助金交付・委託者名
26	生体吸収性素材を使用する再生血管・弁の作成	石山 雅邦	心臓血管外科学	1,400	文部科学省 科学研究費補助金
27	高分子ナノミセルを用いた非生体由来心臓血管外科用接着剤の分子設計	西田 博	心臓血管外科学	2,000	文部科学省 科学研究費補助金
28	心筋細胞内 SERCA 2a レベル改善を目的とした unloading 時の細胞移植治療	西田 博	心臓血管外科学	12,800	文部科学省 科学研究費補助金
29	自己細胞と生分解性ポリマーに再生血管の作成と遠隔期における機能および質的評価	松村 剛毅	心臓血管外科学	1,800	文部科学省 科学研究費補助金
30	自己細胞と生分解性ポリマーによる高圧系再生血管の作成	東 隆	心臓血管外科学	1,800	文部科学省 科学研究費補助金
31	筋萎縮性側索硬化症と変異 SOD1 導入マウスの病理学的研究	佐々木 彰一	神経内科学	1,500	文部科学省 科学研究費補助金
32	形状記憶合金を用いた内視鏡手術用一時留置式リトラクターとデリバリーデバイスの開発	清水 俊榮	第一外科学	700	文部科学省 科学研究費補助金
33	抗細胞死薬を用いた新しい COPD の治療法の開発	青柴 和徹	第一内科学	1,500	文部科学省 科学研究費補助金
34	大気浮遊超微粒子曝露による気道平滑筋増殖と気道過敏性の誘導	玉置 淳	第一内科学	2,100	文部科学省 科学研究費補助金
35	線毛上皮への分化誘導による気道杯細胞増生の治療法の開発	近藤 光子	第一内科学	2,100	文部科学省 科学研究費補助金
36	日本人若年発症 2 型糖尿病患者の臨床および遺伝的背景の歴史的変遷と将来	内瀬 安子	第三内科学	800	文部科学省 科学研究費補助金
37	電子カルテのデータマート化による糖尿病医療情報解析	佐倉 宏	第三内科学	2,400	文部科学省 科学研究費補助金
38	I A-2 / I A-2 $\beta$ 欠損マウスを用いた内分泌糖代謝異常の検討とヒトへの応用	三浦 順之助	第三内科学	1,600	文部科学省 科学研究費補助金

	研究名	研究者名	研究者の所属	交付金額(千円)	補助金交付・委託者名
39	オーダーメイド医療に基づいた IgA 腎症の治療戦略	武井 卓	第四内科学	900	文部科学省 科学研究費補助金
40	下垂体腫瘍の遺伝子治療を可能にする組換えアデノウイルスベクターの開発	関 敏郎	第二内科学	700	文部科学省 科学研究費補助金
41	IGF および IGF 結合蛋白の病態生理的意義に関する研究	肥塚 直美	第二内科学	600	文部科学省 科学研究費補助金
42	ヒト甲状腺滤胞培養系における Toll 様受容体 (TLR) の内分泌・免疫学的な役割	佐藤 幹二	第二内科学	1,300	文部科学省 科学研究費補助金
43	代謝異常における GH / IGF-I 系の病態生理的意義に関する研究	高野 加寿恵	第二内科学	800	文部科学省 科学研究費補助金
44	脳動脈瘤のDNAマイクロアレイ解析：ゲノム情報を用いて	糟谷 英俊	脳神経外科学	1,300	文部科学省 科学研究費補助金
45	新生ニューロンマーカーポリシアル酸を用いた難治性ヒトでんかん焦点の検索	堀 智勝	脳神経外科学	300	文部科学省 科学研究費補助金
46	脳動脈瘤壁における遺伝子発現の検討（成因および破裂の解明）	佐々木 寿之	脳神経外科学	1,200	文部科学省 科学研究費補助金
47	海馬神経細胞に対する細胞保護物質投与での放射線誘導アボトーシス抑制効果の検討	中谷 幸太郎	脳神経外科学	1,500	文部科学省 科学研究費補助金
48	17番染色体セントロメア領域における脳動脈瘤感受性遺伝子同定	堀 智勝	脳神経外科学	1,200	文部科学省 科学研究費補助金
49	血液型不適合腎移植後にみとめられる ACCOMMODATION 抗体の解析	石田 英樹	泌尿器科学	1,400	文部科学省 科学研究費補助金
50	早産児に認める低Na 血症が成長後の血圧に及ぼす影響に関する基礎研究	楠田 聰	母子総合医療センター	600	文部科学省 科学研究費補助金
51	放射線治療効果増強のための新たな分子標的の探索とその機構解明	三橋 紀夫	放射線医学	9,000	文部科学省 科学研究費補助金

	研究名	研究者名	研究者の所属	交付金額(千円)	補助金交付・委託者名
52	放射線照射とゲムシタピン併用時の増感効果の放射線分子生物学的メカニズムの解明	橋本 弥一郎	放射線医学	600	文部科学省 科学研究費補助金
53	低酸素細胞に対する分子標的薬剤の放射線増感に関する基礎的検討	前林 勝也	放射線医学	700	文部科学省 科学研究費補助金
54	1回大線量照射の放射線生物学的・分子生物学的側面からの基礎的検討	閔 香織	放射線医学	2,200	文部科学省 科学研究費補助金
55	心電図同期セグメント再構成を併用した256列コーンビームCTによる冠動脈造影	近藤 千里	放射線医学	1,600	文部科学省 科学研究費補助金
56	放射線によるDNA損傷修復に関わる分子を標的にした放射線感受性増感の研究	秋元 哲夫	放射線医学	2,200	文部科学省 科学研究費補助金
57	疼痛認知機構と麻薬・麻酔薬脳内作用部位に関する機能的磁気共鳴画像法による研究	倉田 二郎	麻酔科学	500	文部科学省 科学研究費補助金
58	NF- $\kappa$ Bデコイ型核酸医薬を用いたショックの治療と予防	高田 勝美	麻酔科学	1,500	文部科学省 科学研究費補助金
59	原因不明の溶血性貧血の新たな病因解明	藤井 寿一	輸血・細胞プロセシング科	1,300	文部科学省 科学研究費補助金
60	膜蒸留技術を利用した濾液再生型在宅血液浄化システムの開発	峰島 三千男	臨床工学科	800	文部科学省 科学研究費補助金
61	透析施設におけるC型肝炎院内感染の状況・予後・予防に関する研究	秋葉 隆	腎センター血液浄化療法科	54,600	厚生労働科学研究費補助金
62	B型及びC型肝炎の疫学及び検診を含む肝炎対策に関する研究	秋葉 隆	腎センター血液浄化療法科	1,000	厚生労働科学研究費補助金
63	多施設協同研究：小児・思春期（若年）発症2型糖尿病の合併症発症率の経年的全国調査	岩本 安彦	糖尿病センター	500	厚生労働科学研究費補助金
64	多施設協同研究：小児・思春期（若年）発症2型糖尿病の合併症発症率の経年的全国調査	内潟 安子	糖尿病センター	6,000	厚生労働科学研究費補助金

	研究名	研究者名	研究者の所属	交付金額(千円)	補助金交付・委託者名
65	植込み型生命維持装置の安全対策に関する研究	笠貫 宏	循環器内科	4,000	厚生労働科学研究費補助金
66	国際的動向を踏まえた医薬品の新たな有効性及び安全評価等に関する研究	笠貫 宏	循環器内科	1,500	厚生労働科学研究費補助金
67	家庭内暴力被害者の自立とその支援に関する研究	加茂 登志子	女性生涯健康センター	300	厚生労働科学研究費補助金
68	医療放射線分野における法令整備等含めた管理体制に関する研究	日下部 きよ子	放射線科	800	厚生労働科学研究費補助金
69	新生児・小児における鎮静薬使用のエビデンスの確立：特にミダゾラムの用法・用量、有効性、安全性の評価	楠田 聰	母子総合医療センター	800	厚生労働科学研究費補助金
70	アウトカムを指標としたベンチマーク手法を用いた質の高いケアを提供する「周産期母子医療センターネットワーク」の構築に関する研究	楠田 聰	母子総合医療センター	5,000	厚生労働科学研究費補助金
71	糖尿病における血管合併症の発症予防と進展抑制に関する研究 (JDCStudy)	佐藤 麻子	糖尿病センター	800	厚生労働科学研究費補助金
72	C型肝炎への肝移植後の免疫抑制法に関する研究	寺岡 慧	腎センター外科	1,000	厚生労働科学研究費補助金
73	骨髄異形形成症候群に対する画期的治療法に関する研究	寺村 正尚	血液内科	2,500	厚生労働科学研究費補助金
74	新生児重症心疾患に対する予後向上のためのリアルタイムECG-動画像による遠隔診断と新生児心疾患救急診療システム確立に関する臨床研究	富松 宏文	循環器小児科	1,500	厚生労働科学研究費補助金
75	呼吸不全に関する調査研究	永井 厚志	呼吸器内科	1,500	厚生労働科学研究費補助金
76	第Ⅳ期食道がんに対する標準的治療法の確立に関する研究	中村 努	消化器外科	300	厚生労働科学研究費補助金
77	肺がんに対する補助化学療法に関する研究	羽鳥 隆	消化器外科	900	厚生労働科学研究費補助金

	研究名	研究者名	研究者の所属	交付金額(千円)	補助金交付・委託者名
78	間脳下垂体機能障害に関する調査研究	肥塚 直美	内分泌内科	1,400	厚生労働科学研究費補助金
79	新生児聴覚スクリーニングの効率的実施および早期支援との評価に関する研究	三科 潤	母子総合医療センター	2,800	厚生労働科学研究費補助金
80	アウトカムを指標としたペンチマーク手法を用いた質の高いケアを提供する「周産期母子医療センターネットワーク」の構築に関する研究	三科 潤	母子総合医療センター	4,000	厚生労働科学研究費補助金
81	いじめ、うつ病及び自殺年齢に関する疫学研究に基づく「いじめ」対策プログラムの開発	小平 かやの	小児科学	2,000	(財) 武田科学振興財団
82	T R C法及びO S N A法における胃癌・乳癌の微小転移診断とその臨床応用	山口 昌子	外科学(第二)	2,000	(財) 武田科学振興財団

## 2 論文発表等の実績(平成18年度)

部署名	タイトル	著者
血液内科学	Clinical features polycythemia vera and essential thrombocythemia in japan ;retrospective analysis of a nationwide survey by Japanese Elderly Leukemia and Lymphoma Study Group.. Int J Hematol 83(5):443-449, 2006[原著論文]	Dan K, Yamada T, Kimura Y, Usui N, Okamoto S, Sugihara T, Takei K, Masuda Michihiko, Mori M:Clinical features polycythemia vera and essential thrombocythemia in japan ;retrospective analysis of a nationwide survey by Japanese Elderly Leukemia and Lymphoma Study Group.. Int J Hematol 83(5):443-449, 2006[原著論文]
血液内科学	DEMEQ, a new NF- κ B inhibitor, induces apoptosis and enhances fludarabine effects on chronic lymphocytic leukemia cells. Leukemia 20:800-806, 2006[原著論文]	Horie R, Watanabe M, Okamura Takemitsu, Taira M, Shoda M, Motoji Toshiko, Utsunomiya A, Watanabe T, Higashihara M, Umezawa K :DEMEQ, a new NF- κ B inhibitor, induces apoptosis and enhances fludarabine effects on chronic lymphocytic leukemia cells. Leukemia 20:800-806, 2006[原著論文]
血液内科学	Clonally expanded T-cells in the peripheral blood of patients with idiopathic thrombocytopenic purpura and Helicobacter pylori infection. Int J Hematol 83:147-151, 2006[原著論文]	Ishiyama Midori, Teramura Masanao, Iwata Koji, Kato Tomohiro, Motoji Toshiko :Clonally expanded T-cells in the peripheral blood of patients with idiopathic thrombocytopenic purpura and Helicobacter pylori infection. Int J Hematol 83:147-151, 2006[原著論文]
血液内科学	ビコリ菌による特発性小板減少紫斑病の発症機序. 離床免疫・アレルギー科 46:647-652, 2006[原著論文]	石山みづり, 寺村正尚:ビコリ菌による特発性小板減少紫斑病の発症機序. 離床免疫・アレルギー科 46:647-652, 2006[原著論文]
血液内科学	発作性夜間にモグロビン尿症診療の参考ガイド. 臨床血液 47:215-239, 2006[総説]	小峰光博, 金谷義一, 木下タロウ, 井上篤志, 金丸昭久, 七島勉, 中原泰昌, 川口辰哉, 中尾真二, 前長万左男, 小島勢二, 寺村正尚, 二宮治彦:発作性夜間にモグロビン尿症診療の参考ガイド. 臨床血液 47:215-239, 2006[総説]
血液内科学	内科疾患最新の治療 専門家からのアドバイス 血液・巨赤芽球性貧血(解説/特集). 内科 97(6):1351-1351, 2006[総説]	増田清彦:内科疾患最新の治療 専門家からのアドバイス 血液・巨赤芽球性貧血(解説/特集). 内科 97(6):1351-1351, 2006[総説]
血液内科学	内科疾患最新の治療 血液・疾患性貧血 内科 97(6):1350-1350, 2006[総説]	増田清彦:内科疾患最新の治療 血液・疾患性貧血 内科 97(6):1350-1350, 2006[総説]
血液内科学	内科疾患最新の治療 専門家からのアドバイス 血液・二次性貧血 内科 97(6):1314-1315, 2006[総説]	増田清彦:内科疾患最新の治療 専門家からのアドバイス 血液・二次性貧血 内科 97(6):1314-1315, 2006[総説]
血液内科学	白血病性幹細胞とCLL-1抗原「身近な話題」世界の話題(39)』 血液フロンティア 16(10):76-80, 2006[総説]	森 齐樹:白血病性幹細胞とCLL-1抗原「身近な話題」世界の話題(39)』 血液フロンティア 16(10):76-80, 2006[総説]
血液内科学	再生不良性貧血診療の参考ガイド. 臨床血液 47:27-46, 2006[総説]	再生不良性貧血診療の参考ガイド. 臨床血液 47:27-46, 2006[総説]
血液内科学	ハイドロキシウレアによる葉巻の1例. 日本皮膚科学会雑誌 116(6):962-962, 2006[症例報告]	成田千佐子, 川島 真, 榎垣祐子, 増田道彦, 小林慎雄, 澤田達男:ハイドロキシウレアによる葉巻の1例. 日本皮膚科学会雑誌 116(6):962-962, 2006[症例報告]
血液内科学	隆起型を呈した胃 follicular lymphoma の1例. Progress of Digestive Endoscopy 69(2):74-75, 2006[原著論文]	志村和政, 三坂亮一, 古川真衣子, 古市有子, 久保木友子, 堀田順子, 石川尚之, 新見晶子, 重本六男, 大石英人, 前田淳, 増田道彦, 今村哲夫:隆起型を呈した胃 follicular lymphoma の1例. Progress of Digestive Endoscopy 69(2):74-75, 2006[原著論文]
血液内科学	マントルセルリンパ腫の治療戦略. Annu Rev Blood 2006:162-169, 2006[総説]	志間雅幸, 桑二登志子:マントルセルリンパ腫の治療戦略. Annu Rev Blood 2006:162-169, 2006[総説]
血液内科学	Minor population of CD55-CD59+ blood cells predicts response to immunosuppressive therapy and prognosis in patients with aplastic anemia.. Blood 107:1308-1314, 2006[原著論文]	Sugimoto C, Chujo T, Feng X, Yamazaki H, Takami A, Teramura Masanao, Mizoguchi Hideaki, Omine M, Nakao S:Minor population of CD55-CD59+ blood cells predicts response to immunosuppressive therapy and prognosis in patients with aplastic anemia.. Blood 107:1308-1314, 2006[原著論文]
血液内科学	再生不良性貧血・赤芽球病. 日本国際学会雑誌 95:2030-2035, 2006[原著論文]	寺村正尚:再生不良性貧血・赤芽球病. 日本国際学会雑誌 95:2030-2035, 2006[原著論文]
血液内科学	FLT3 in fused to ETV6 in a myeloproliferative disorder with hyperesinophilia and a t(12;13)(p13;q12) translocation. Leukemia 20:1414-1421, 2006[原著論文]	Vu HA, Xinh PT, Masuda Michihiko, Motoji Toshiko, Toyoda A, Sakai Y, Tokunaga K, Sato Y :FLT3 in fused to ETV6 in a myeloproliferative disorder with hyperesinophilia and a t(12;13)(p13;q12) translocation. Leukemia 20:1414-1421, 2006[原著論文]
血液内科学	Gene expression profiles of CD133-positive fractions predict the survival of individuals with acute myeloid leukemia.. Cancer Genomics proteomics 3:169-182, 2006[原著論文]	Yamashita Y, Ohashi J, Hirai Y, Choi YL, Kaneda R, Fujisawa S, Arao Y, Akutsu M, Tsutsumi C, Miyazaki Y, Usuki K, Teramura Masanao, Mitanai K, Kano Y, O 'nill MC, Urabe A, Tomonaga M, Ozawa K, Mano H:Gene expression profiles of CD133-positive fractions predict the survival of individuals with acute myeloid leukemia.. Cancer Genomics proteomics 3:169-182, 2006[原著論文]
血液内科学	巨赤芽球性貧血 一般臨床医がよく遭遇する貧血の診かた. 診断と治療 94(11):2045-2050, 2006[原著論文]	吉永鉄太郎:巨赤芽球性貧血 一般臨床医がよく遭遇する貧血の診かた. 診断と治療 94(11):2045-2050, 2006[原著論文]
精神医学(神経精神科)	Paroxetineへのrisperidone追加投与により躁状を来たしたうつ病の1例. 臨床精神薬理 9(5):1115-1120, 2006[症例報告]	板木あおい, 押瀬英弘, 坂元誠, 石郷尚純:Paroxetineへのrisperidone追加投与により躁状を来たしたうつ病の1例. 臨床精神薬理 9(5):1115-1120, 2006[症例報告]
精神医学(神経精神科)	Cloimipramineにてactivation syndromeを呈し, fluvoxamineにて改善した强迫性障害の1例. 臨床精神薬理 9:551-554, 2006[症例報告]	原田聰子, 坂元誠:Cloimipramineにてactivation syndromeを呈し, fluvoxamineにて改善した强迫性障害の1例. 臨床精神薬理 9:551-554, 2006[症例報告]
精神医学(神経精神科)	これからの抗不安薬. 臨床精神薬理 9(12):2439-2447, 2006[総説]	橋田鉄也:これからの抗不安薬. 臨床精神薬理 9(12):2439-2447, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	特定の物質の不足ないしは過剰に疾患が由来する病原 ベンゾジアゼピンを含む鎮静・睡眠薬. 精神科治療学 21(ex):175-177, 2006[総説]	橋田鉄也, 石郷尚純:特定の物質の不足ないしは過剰に疾患が由来する病原 ベンゾジアゼピンを含む鎮静・睡眠薬. 精神科治療学 21(ex):175-177, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	統合失調症に対するaripiprazoleの臨床評価-Haloperidolを対照とした第IV相二重盲検比較試験- 臨床精神薬理 9:295-329, 2006[原著論文]	石郷尚純, 三浦 実剛, 小山司, 融道男, 村崎光邦, 八木剛平, 上島国利, 牛島定信:統合失調症に対するaripiprazoleの臨床評価-Haloperidolを対照とした第IV相二重盲検比較試験- 臨床精神薬理 9:295-329, 2006[原著論文]
精神医学(神経精神科)	第二世代抗精神病薬の時代における精神医療-特集にせて- 最新精神医学 11:5-7, 2006[総説]	石郷尚純:第二世代抗精神病薬の時代における精神医療-特集にせて- 最新精神医学 11:5-7, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	わが国におけるaripiprazoleの臨床試験成績. 臨床精神薬理 9:205-221, 2006[総説]	石郷尚純:わが国におけるaripiprazoleの臨床試験成績. 臨床精神薬理 9:205-221, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	抗精神病薬の歴史と展望. 臨床精神薬理 9:369-376, 2006[総説]	石郷尚純:抗精神病薬の歴史と展望. 臨床精神薬理 9:369-376, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	新規抗うつ薬の本邦市販後における比較 -市販後臨床試験- 使用成績調査の結果から-. 新薬と臨床 55:470-478, 2006[総説]	石郷尚純:新規抗うつ薬の本邦市販後における比較 -市販後臨床試験- 使用成績調査の結果から-. 新薬と臨床 55:470-478, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	aripiprazoleの本邦における臨床試験成績. 臨床精神医学 35:403-413, 2006[総説]	石郷尚純:aripiprazoleの本邦における臨床試験成績. 臨床精神医学 35:403-413, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	SSRIによるうつ病治療の現状と問題点. 臨床精神薬理 9:1407-1423, 2006[総説]	石郷尚純:SSRIによるうつ病治療の現状と問題点. 臨床精神薬理 9:1407-1423, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	期待される気分安定薬. 臨床精神医学 35:1476-1478, 2006[総説]	石郷尚純:期待される気分安定薬. 臨床精神医学 35:1476-1478, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	多剤併用療法のは非論争 -Skilled polypharmacyとは何か-. 精神科 9:318-323, 2006[総説]	石郷尚純:多剤併用療法のは非論争 -Skilled polypharmacyとは何か-. 精神科 9:318-323, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	小児熱低体温に対する精神科医からの考察. 形成外科 49(8):913-921, 2006[総説]	川本恭子:小児熱低体温に対する精神科医からの考察. 形成外科 49(8):913-921, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	熱低体温症の精神的問題. MB Med Reha 69:58-64, 2006[総説]	川本恭子:熱低体温症の精神的問題. MB Med Reha 69:58-64, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	精神科の専門性. 精神科治療学 21(増刊号):92-93, 2006[総説]	小林清香:精神科の専門性. 精神科治療学 21(増刊号):92-93, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	高齢者におけるサイコエデュケーション. 老年精神医学雑誌 17(3):267-271, 2006[総説]	小林清香, 増川直史:高齢者におけるサイコエデュケーション. 老年精神医学雑誌 17(3):267-271, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	Risperidoneによる急速な改善が見られた急性一過性精神活性症の1例. 臨床精神薬理 9:1277-1281, 2006[症例報告]	小嶋香織:Risperidoneによる急速な改善が見られた急性一過性精神活性症の1例. 臨床精神薬理 9:1277-1281, 2006[症例報告]
精神医学(神経精神科)	自殺企図後に身体疾患を併発し、症状が改善したうつ病の1例. 臨床精神薬理 9:157-161, 2006[症例報告]	松本有紀子:自殺企図後に身体疾患を併発し、症状が改善したうつ病の1例. 臨床精神薬理 9:157-161, 2006[症例報告]
精神医学(神経精神科)	Disability and patient's appraisal of general health contribute to depressed mood in rheumatoid arthritis in a large clinical study in Japan. Mod Rheumatol 16:151-157, 2006[原著論文]	Nakajima Ayako, Kamitsuka Shigeo, Saito Akira, Tanaka Etsushi, Nishimura Katsushi, Horikawa Naoshi, Ozaki Norio, Tomatsu Tsuisuke, Hara Masako, Kamatani Naoyuki, Yamana Hisashi:Disability and patient's appraisal of general health contribute to depressed mood in rheumatoid arthritis in a large clinical study in Japan. Mod Rheumatol 16:151-157, 2006[原著論文]
精神医学(神経精神科)	精神症状とサイコネvroロジー. 脊と透析 61(4):545-548, 2006[総説]	櫻川直史, 小林清香, 大村裕紀子, 國保圭介, 松木麻妃, 内田貴光, 松木秀季, 岸泰宏:精神症状とサイコネvroロジー. 脊と透析 61(4):545-548, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	脳梗塞者の心理・精神症状とその対応. 今日の移植 19(4):363-369, 2006[総説]	堀川直史, 小林清香:脳梗塞患者の心理・精神症状とその対応. 今日の移植 19(4):363-369, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	第二世代抗精神病薬の副作用(脳血管障害を含む). 最新精神医学 11:39-44, 2006[総説]	堀川直史, 石郷尚純:第二世代抗精神病薬の副作用(脳血管障害を含む). 最新精神医学 11:39-44, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	慢性関節リウマチ. 症状性(器質性)精神障害の治療ガイドライン. 精神科治療学 21(増刊号):72-73, 2006[総説]	西村勝治:慢性関節リウマチ. 症状性(器質性)精神障害の治療ガイドライン. 精神科治療学 21(増刊号):72-73, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	その他の膠原病. 症状性(器質性)精神障害の治療ガイドライン. 精神科治療学 21(増刊号):74-75, 2006[総説]	西村勝治:その他の膠原病. 症状性(器質性)精神障害の治療ガイドライン. 精神科治療学 21(増刊号):74-75, 2006[総説]

部署名	タイトル	著者
精神医学(神経精神科)	せん妄の回復過程にみられた躁張病性脳脊髄炎候群にolanzapineが効果した1例. 臨床精神薬理 9:805-809, 2006[症例報告]	奥澤裕美, 坂元葉, せん妄の回復過程にみられた躁張病性脳脊髄炎候群にolanzapineが効果した1例. 臨床精神薬理 9:805-809.
精神医学(神経精神科)	抗うつ薬の用法 その使い方と考え方 SNRIとその他の新規抗うつ薬. 臨床精神薬理 9(4):587-592, 2006[総説]	押瀬英弘, 坂元葉: 抗うつ薬の用法 その使い方と考え方 SNRIとその他の新規抗うつ薬. 臨床精神薬理 9(4):587-592, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	ベンゾジアゼピン記憶障害. 症状精神医学 35(12):1659-1662, 2006[総説]	川瀬英弘, 堀田健, 石郷岡純: ベンゾジアゼピン記憶障害. 症状精神医学 35(12):1659-1662, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	m-ECTが効果した後、躁転した83歳の治療抵抗性うつ病の1例. 臨床精神医学 35(9):1201-1206, 2006[症例報告]	押瀬英弘, 薩村実紀, 棚本あい, 坂元葉, 石郷岡純: m-ECTが効果した後、躁転した83歳の治療抵抗性うつ病の1例. 臨床精神医学 35(9):1201-1206, 2006[症例報告]
精神医学(神経精神科)	統合失調症と強迫性障害の併存に対するperospiromeとparoxetineのaugmentation効果-安全性とアドヒアランスを視野に入れた薬物療法- 臨床精神薬理 9(12):2457-2464, 2006[原著論文]	天下 陸司: 統合失調症と強迫性障害の併存に対するperospiromeとparoxetineのaugmentation効果-安全性とアドヒアランスを視野に入れた薬物療法- 臨床精神薬理 9(12):2457-2464, 2006[原著論文]
精神医学(神経精神科)	臨床試験から見た精神科薬物療法の限界-うつ病、統合失調症の海外データを中心に- 臨床精神薬理 9(9):1745-1752, 2006[総説]	天下 陸司, 石郷岡 純: 臨床試験から見た精神科薬物療法の限界-うつ病、統合失調症の海外データを中心に- 臨床精神薬理 9(9):1745-1752, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	Amipiprazoleへの期待-「病因・自己治癒力モデル」でドバミン仮説を考える- 臨床精神薬理 9(11):2221-2227, 2006[総説]	天下 陸司: Amipiprazoleへの期待-「病因・自己治癒力モデル」でドバミン仮説を考える- 臨床精神薬理 9(11):2221-2227, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	統合失調症治療の新しい可能性:アリピラゾールの登場を迎えて-急性期治療の対応- 頭21 9(11):438-443, 2006[総説]	天下 陸司: 統合失調症治療の新しい可能性:アリピラゾールの登場を迎えて-急性期治療の対応- 頭21 9(11):438-443, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	老年期のうつ. 医療ジャーナル 42:137-140, 2006[総説]	坂元葉: 老年期のうつ. 医療ジャーナル 42:137-140, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	内科医のための脳疾患講座うつ病そのI. Brain Medical 18:192-196, 2006[総説]	坂元葉: 内科医のための脳疾患講座うつ病そのI. Brain Medical 18:192-196, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	内科医のための脳疾患講座うつ病そのII. Brain Medical 18:290-294, 2006[総説]	坂元葉: 内科医のための脳疾患講座うつ病そのII. Brain Medical 18:290-294, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	アリピラゾール. クリニカルプラクティス 25:978-980, 2006[総説]	鳥田栄子, 石郷岡純: アリピラゾール. クリニカルプラクティス 25:978-980, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	東京女子医科大学病院神経精神科における電気けいれん療法の実際. 臨床精神医学 35:1309-1314, 2006[原著論文]	高橋杏子, 坂元葉, 木内健二郎, 石郷岡純: 東京女子医科大学病院神経精神科における電気けいれん療法の実際. 臨床精神医学 35:1309-1314, 2006[原著論文]
精神医学(神経精神科)	Switching to risperidone after unsuccessful treatment of olanzapine in the first-episode schizophrenia. An open trial. Prog. Neuro-Psychopharmacol. Biol. Psychiatr. 30:1067-1072, 2006[原著論文]	Takahashi,H., Yoshida,K., Ishigooka,J., Higuchi,H.: Switching to risperidone after unsuccessful treatment of olanzapine in the first-episode schizophrenia. An open trial. Prog. Neuro-Psychopharmacol. Biol. Psychiatr. 30:1067-1072, 2006[原著論文]
精神医学(神経精神科)	Switching to olanzapine after unsuccessful treatment with risperidone during the first-episode schizophrenia. An open-label trial. J. Clin. Psychiatry 67:1577-1582, 2006[原著論文]	Takahashi,H., Kamata,M., Yoshida,K., Ishigooka,J., Higuchi,H.: Switching to olanzapine after unsuccessful treatment with risperidone during the first-episode schizophrenia. An open-label trial. J. Clin. Psychiatry 67:1577-1582, 2006[原著論文]
精神医学(神経精神科)	統合失調症治療の現状. 臨床精神薬理 9:17-21, 2006[総説]	高畠辰一郎, 石郷岡純: 統合失調症治療の現状. 臨床精神薬理 9:17-21, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	これからのがれの抗精神病薬. 最新精神医学 11:29-32, 2006[総説]	高畠辰一郎, 石郷岡純: これからのがれの抗精神病薬. 最新精神医学 11:29-32, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	月経とパルスヘルス. 性器と医療 3(6):647-651, 2006[総説]	内出奈子, 加茂登志子: 月経とパルスヘルス. 性器と医療 3(6):647-651, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	非定型抗精神病薬. 心臓内科 10(2):85-89, 2006[総説]	内出奈子, 高畠辰一郎, 石郷岡純: 非定型抗精神病薬. 心臓内科 10(2):85-89, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	Sulpiride中止により長期のバーキンソン症候群とともにうつ状態が改善した老年期うつ病の1例. 臨床精神薬理 9:353-357, 2006[症例報告]	安来大輔, 坂元葉, 石郷岡純: Sulpiride中止により長期のバーキンソン症候群とともにうつ状態が改善した老年期うつ病の1例. 臨床精神薬理 9:353-357, 2006[症例報告]
精神医学(神経精神科)	多剤大量療法の現状と改善への取り組み. 最新精神医学 11:19-27, 2006[総説]	吉岡正哉, 石郷岡純: 多剤大量療法の現状と改善への取り組み. 最新精神医学 11:19-27, 2006[総説]
小児科学	Beta-blocker therapy for cardiac dysfunction in patients with muscular dystrophy.. Circ J 70(8):991-994, 2006[原著論文]	Ishigaki Keiko, Saito Kayoko, Osawa Makiko: Beta-blocker therapy for cardiac dysfunction in patients with muscular dystrophy.. Circ J 70(8):991-994, 2006[原著論文]
小児科学	小児気管支喘息の薬物療法における適正使用ガイドライン. 厚生労働省医薬食品局安全対策課平成17年度研究 主任研究者: 西間三恵 16(4):274-276, 2006[研究報告]	Oguri Hirokazu: 小児気管支喘息の薬物療法における適正使用ガイドライン. 厚生労働省医薬食品局安全対策課平成17年度研究 主任研究者: 西間三恵 16(4):274-276, 2006[研究報告]
小児科学	R270X変異を認め早期にRett症候群と診断された1例. 日児誌 110(3):450-452, 2006[症例報告]	宇杉順子, 中野和俊, 斎藤加代子, 大塚暁子, 武藤順子, 勝盛 宏, 林 北見, 大澤真木子, 近藤麻子: R270X変異を認め早期にRett症候群と診断された1例. 日児誌 110(3):450-452, 2006[症例報告]
小児科学	日本小児神経学会・日本小児心身医学会・日本小児精神神経学会合同による向精神薬を主としたブライオリティーリストの作成(日本小児神経学会・日本小児心身医学会・日本小児精神神経学会合同研究). 厚生労働科学研究補助金 医薬品・医療機器等レギュラリーサイエンス総合研究事業 小児等の特殊患者群に対する医薬品の有効性・安全性情報の収集とそれらの情報に基づくリスク評価・管理手法に関する研究 平成17年度研究報告書 主任研究者: 松田一郎: 853-936, 2006[研究報告]	石崎優子, 宮島祐, 大澤真木子, 林 北見, 深井哲光, 水井章, 田中英尚, 宮地英士, 日本小児神経学会・日本小児心身医学会・日本小児精神神経学会合同研究による向精神薬を主としたブライオリティーリストの作成(日本小児神経学会・日本小児心身医学会・日本小児精神神経学会合同研究). 厚生労働科学研究補助金 医薬品・医療機器等レギュラリーサイエンス総合研究事業 小児等の特殊患者群に対する医薬品の有効性・安全性情報の収集とそれらの情報に基づくリスク評価・管理手法に関する研究 平成17年度研究報告書 主任研究者: 松田一郎: 853-936, 2006[研究報告]
小児科学	小児等の特殊患者群に対する医薬品の有効性・安全性情報の収集とそれらの情報に元づくリスク評価・管理手法に関する研究(日本小児神経学会・日本小児心身医学会・日本小児精神神経学会合同研究). 厚生労働科学研究補助金 医薬品・医療機器等レギュラリーサイエンス総合研究事業 小児等の特殊患者群に対する医薬品の有効性・安全性情報の収集とそれらの情報に基づくリスク評価・管理手法に関する研究 平成17年度研究報告書 主任研究者: 松田一郎: 853-936, 2006[研究報告]	宮高祐, 石崎優子, 大澤真木子, 林 北見, 深井哲光, 水井章, 田中英尚, 宮地英士, 日本小児神経学会・日本小児心身医学会・日本小児精神神経学会合同研究による向精神薬を主としたブライオリティーリストの作成(日本小児神経学会・日本小児心身医学会・日本小児精神神経学会合同研究). 厚生労働科学研究補助金 医薬品・医療機器等レギュラリーサイエンス総合研究事業 小児等の特殊患者群に対する医薬品の有効性・安全性情報の収集とそれらの情報に基づくリスク評価・管理手法に関する研究 平成17年度研究報告書 主任研究者: 松田一郎: 853-936, 2006[研究報告]
小児科学	Syndrome des crises héréditaires du nourrisson. Epilepsies 18(1):8-23, 2006[原著論文]	山崎幸夫, 坂内俊子: Syndrome des crises héréditaires du nourrisson. Epilepsies 18(1):8-23, 2006[原著論文]
小児科学	合併症まで含め予防接種を論じる視点が重要(小児科のインフルエンザ合併症対策). MMJ 2(3):141-143, 2006[原著論文]	舟原 真, 大澤真木子: 合併症まで含め予防接種を論じる視点が重要(小児科のインフルエンザ合併症対策). MMJ 2(3):141-143, 2006[原著論文]
小児科学	小児科におけるAD/HD診断治療ガイドライン作成について (特集 第47回日本小児神経学会総会). 脳と発達 38(3):141-143, 2006[原著論文]	林 北見, 田中英尚, 宮島祐, 斎藤万比古, 小平かやの, 山下裕史朗: 小児科におけるAD/HD診断治療ガイドライン作成について (特集 第47回日本小児神経学会総会). 脳と発達 38(3):141-143, 2006[原著論文]
小児科学	無題. T1国書版(月額471):2-2, 2006[研究報告]	林 北見: 無題. T1国書版(月額471):2-2, 2006[研究報告]
小児科学	テオフィリンの適応・使用法について 一小児神経の立場からの見解ー (意見・異見 テオフィリン関連けいれん). 小児科臨床 59(2):259-264, 2006[原著論文]	平野千恵子: テオフィリンの適応・使用法について 一小児神経の立場からの見解ー (意見・異見 テオフィリン関連けいれん). 小児科臨床 59(2):259-264, 2006[原著論文]
小児科学	急性散在性脳脊髄炎について. CLINICIAN 53(7):34-36, 2006[原著論文]	平野千恵子: 急性散在性脳脊髄炎について. CLINICIAN 53(7):34-36, 2006[原著論文]
小児科学	卵・牛乳アレルギー. ドクターサロン 50(3):193-199, 2006[総説]	平野千恵子: 卵・牛乳アレルギー. ドクターサロン 50(3):193-199, 2006[総説]
小児科学	急性散在性脳脊髄炎 小児疾患の診断治療基準 第3版 小児内科・小児外科編集委員会共編. 小児内科 38(増刊):688-689, 2006[総説]	平野千恵子: 急性散在性脳脊髄炎 小児疾患の診断治療基準 第3版 小児内科・小児外科編集委員会共編. 小児内科 38(増刊):688-689, 2006[総説]
小児科学	Altered glycosylation of α-dystroglycan in neurons of Fukuyama congenital muscular dystrophy brains. Brain Res 1075:223-228, 2006[原著論文]	池谷紀代子: Altered glycosylation of α-dystroglycan in neurons of Fukuyama congenital muscular dystrophy brains. Brain Res 1075:223-228, 2006[原著論文]
小児科学	インプームド・コンセント. 小児科診療 69(Suppl):5-8[原著論文]	池谷紀代子: インプームド・コンセント. 小児科診療 69(Suppl):5-8[原著論文]
小児科学	TRH therapy in a patient with juvenile Alexander disease. Brain Dev 28(2):663-667, 2006[原著論文]	Ishigaki Keiko, Ito Yasushi, Kodaira Kayano, Funatsu Makoto, Hattori Nozomi, Nakano Kazutoshi, Saito Kayoko, Osawa Makiko: TRH therapy in a patient with juvenile Alexander disease. Brain Dev 28(2):663-667, 2006[原著論文]
小児科学	TRH therapy in a patient with juvenile Alexander disease. Brain Dev 28(2):663-667, 2006[原著論文]	Ishigaki Keiko, Ito Yasushi, Kodaira Kayano, Funatsu Makoto, Hattori Nozomi, Nakano Kazutoshi, Saito Kayoko, Osawa Makiko: TRH therapy in a patient with juvenile Alexander disease. Brain Dev 28(2):663-667, 2006[原著論文]
小児科学	ヘルパンギー. INFECTIOUS DISEASES REPORT 2006(35), 2006[研究報告]	唐木喜二: 大澤真木子: ヘルパンギー. INFECTIOUS DISEASES REPORT 2006(35), 2006[研究報告]
小児科学	慢性疾患を抱える子どもたちのこころの問題 一神経疾患を中心の一. 小児内科 38(1):63-66, 2006[原著論文]	小平かやの: 慢性疾患を抱える子どもたちのこころの問題 一神経疾患を中心の一. 小児内科 38(1):63-66, 2006[原著論文]
小児科学	Creatine monohydrate therapy in a Leigh syndrome Patient with A8344G mutation.. Pediatr Int 48(4):409-412, 2006[原著論文]	Konura Kiyoji, Nakano Kazutoshi, Ishigaki Keiko, Tarashima Mikako, Nakayama Tomohiro, Sasaki Kaori, Saito Kayoko, Osawa Makiko: Creatine monohydrate therapy in a Leigh syndrome Patient with A8344G mutation.. Pediatr Int 48(4):409-412, 2006[原著論文]
小児科学	染色体異常でてんかん. 日児誌 110(9):1183-1192, 2006[原著論文]	松尾真理子, 小国弘此, 大澤真木子: 染色体異常でてんかん. 日児誌 110(9):1183-1192, 2006[原著論文]
小児科学	急性小脳失調症 小児疾患の診断治療基準 第3版 小児内科・小児外科編集委員会共編. 小児内科 38(増刊):686-687, 2006[総説]	溝口枝里子, 伊藤 康, 大澤真木子: 急性小脳失調症 小児疾患の診断治療基準 第3版 小児内科・小児外科編集委員会共編. 小児内科 38(増刊):686-687, 2006[総説]
小児科学	Fukutin Gene Mutations Cause Dilated Cardiomyopathy with Minimal Muscle Weakness. Ann of Neurol 60(5):597-602, 2006[原著論文]	村上亮道, 清水玲子, 小国弘此, 大澤真木子: 染色体異常でてんかん. 日児誌 110(9):1183-1192, 2006[原著論文]
小児科学	Fukutin Gene Mutations Cause Dilated Cardiomyopathy with Minimal Muscle Weakness. Ann of Neurol 60(5):597-602, 2006[原著論文]	溝口枝里子, 伊藤 康, 大澤真木子: 急性小脳失調症 小児疾患の診断治療基準 第3版 小児内科・小児外科編集委員会共編. 小児内科 38(増刊):686-687, 2006[総説]

部署名	タイトル	著者
小児科学	Cardiac involvement in Fukuyama-type congenital muscular dystrophy. Pediatrics 117(6):e1187-e1192, 2006[原著論文]	Nakanishi Toshio, Sakeuchi Masako, Tomimatsu Hirofumi, Saito Kayoko, Nakazawa Makoto, Osawa Makiko : Cardiac involvement in Fukuyama-type congenital muscular dystrophy. Pediatrics 117(6):e1187-e1192, 2006[原著論文]
小児科学	High bone turnover of type I collagen depends on fetal growth. BONE 38:249-256, 2006[原著論文]	Nakanishi Toshio, Sakeuchi Masako, Tomimatsu Hirofumi, Saito Kayoko, Nakazawa Makoto, Osawa Makiko, Noda Naoko, Mizoguchi Eriko, Osawa Mukiko : High bone turnover of type I collagen depends on fetal growth. BONE 38:249-256, 2006[原著論文]
小児科学	乳幼児・小児期の骨代謝と骨代謝関連ホルモンの検討(第6回東京女子医科大学骨・カルシウム・ホルモン代謝研究会2005.12.10). Osteoporosis Japan (日本骨粗鬆症学会雑誌) 14(2):171-171, 2006[原著論文]	中野和俊, 王榮み, 岩松利至, 大澤真木子:乳幼児・小児期の骨代謝と骨代謝関連ホルモンの検討(第6回東京女子医科大学骨・カルシウム・ホルモン代謝研究会2005.12.10). Osteoporosis Japan (日本骨粗鬆症学会雑誌) 14(2):171-171, 2006[原著論文]
小児科学	Beneficial effects of FK506 for experimental temporal lobe epilepsy. Neurosci Res 56:386-390, 2006[原著論文]	Nishimura Tsutomu : Beneficial effects of FK506 for experimental temporal lobe epilepsy. Neurosci Res 56:386-390, 2006[原著論文]
小児科学	乳児期から学童期にみられる心配のない脳波異常. 小児科 47(7):1103-1113, 2006[原著論文]	西村 敏, 小国弘哉:乳児期から学童期にみられる心配のない脳波異常. 小児科 47(7):1103-1113, 2006[原著論文]
小児科学	2. 脳波検査 B. 脳波検査の臨床応用 b. 脳波とてんかん(臨床神経生理学的検査マニュアル). 神経内科 65(Suppl.4):68-81, 2006[総説]	西村 敏, 小国弘哉:2. 脳波検査 B. 脳波検査の臨床応用 b. 脳波とてんかん(臨床神経生理学的検査マニュアル). 神経内科 65(Suppl.4):68-81, 2006[総説]
小児科学	Extremely low-dose ACTH step-up protocol for West syndrome:Maximum therapeutic effect with minimal side effects. Brain Dev 28:8-13, 2006[原著論文]	小国弘哉, 柳垣 緑, 林 北見, 今井 篤, 舟塚 真, 岸 崇之, 大澤真木子:Extremely low-dose ACTH step-up protocol for West syndrome:Maximum therapeutic effect with minimal side effects. Brain Dev 28:8-13, 2006[原著論文]
小児科学	小児医療用薬品の現状に思う 東京小児科医会報 25(1):1-1, 2006[原著論文]	大澤真木子:小児医療用薬品の現状に思う 東京小児科医会報 25(1):1-1, 2006[原著論文]
小児科学	女性医師の臨域における環境改善委員会(21世紀の小児医療の展望 -2004～2006年日本小児科学会理事会活動報告一). 日児誌 110(3):58-59, 2006[研究報告]	大澤真木子:女性医師の臨域における環境改善委員会(21世紀の小児医療の展望 -2004～2006年日本小児科学会理事会活動報告一). 日児誌 110(3):58-59, 2006[研究報告]
小児科学	小児科神経疾患治療薬の適応拡大に向けた方略(日本小児神経学会). 原生労働科学研究補助金 医薬品・医療機器等ギュラトリーサイエンス総合研究事業 小兒等の特殊患者群に対する医薬品の有効性、安全性情報の収集とそれらの情報に基づくリスク評価・管理手法に関する研究 平成17年度研究報告書 主任研究者:松田一郎:257-587, 2006[研究報告]	大澤真木子, 伊藤正利, 枝津信也, 山野匡一, 吉川秀人, 服部英司, 林 北見, 石垣栄子, 中野和俊, 平野翠子:小児科神経疾患治療薬の適応拡大に向けた方略(日本小児神経学会). 原生労働科学研究補助金 医薬品・医療機器等ギュラトリーサイエンス総合研究事業 小兒等の特殊患者群に対する医薬品の有効性、安全性情報の収集とそれらの情報に基づくリスク評価・管理手法に関する研究 平成17年度研究報告書 主任研究者:松田一郎:257-587, 2006[研究報告]
小児科学	委員長退任にあたって(委員会員会、臓と発達 38(6):480-480, 2006[研究報告])	大澤真木子:委員長退任にあたって(委員会員会、臓と発達 38(6):480-480, 2006[研究報告])
小児科学	Neurofibromatosis type I (NF-1) 小児患者の頭部MRI所見 ~unidentified bright object (UBO)に関する検討~. 小児科臨床 59(1):23-29, 2006[原著論文]	大澤真木子:Neurofibromatosis type I (NF-1) 小児患者の頭部MRI所見 ~unidentified bright object (UBO)に関する検討~. 小児科臨床 59(1):23-29, 2006[原著論文]
小児科学	絆度差違脳梗死の二次障害を生み出す要因 ~養育者のパーソナリティと子どもへの態度~. 心理臨床センター紀要 3(1):29-38, 2006[原著論文]	辻沢由布, 石浦昌子, 大澤真木子:絆度差違脳梗死の二次障害を生み出す要因 ~養育者のパーソナリティと子どもへの態度~. 心理臨床センター紀要 3(1):29-38, 2006[原著論文]
第二外科学(一般外科)	乳癌を併存した水痘性類天疱瘡の1例. 日臨外会誌 67(2):27-30, 2006[症例報告]	青山圭, 鹿尾孝子, 大地哲也, 亀岡信悟:乳癌を併存した水痘性類天疱瘡の1例. 日臨外会誌 67(2):27-30, 2006[症例報告]
第二外科学(一般外科)	子宮頸癌術後乳頭転移の1例. 乳癌の臨床 21(1):66-71, 2006[症例報告]	青山圭, 鹿尾孝子, 大地哲也, 亀岡信悟:子宮頸癌術後乳頭転移の1例. 乳癌の臨床 21(1):66-71, 2006[症例報告]
第二外科学(一般外科)	【器械吻合・縫合法のコツとPitfall】自動縫合器・吻合器の種類と特徴. 消化器外科 29(3):273-287, 2006[総説]	荒武義樹, 小川真平, 亀岡信悟:【器械吻合・縫合法のコツとPitfall】自動縫合器・吻合器の種類と特徴. 消化器外科 29(3):273-287, 2006[総説]
第二外科学(一般外科)	The Follow-up and Recurrence of T1 Colorectal Cancer. International Surgery 91:12-16, 2006[原著論文]	Bambu Yoshiko, Michi Itabashi, Tomochiro Hirono, Shimpei Ogawa, Akiyoshi Sashimo, Noriyasu Shirotani, Shingo Kameoka : The Follow-up and Recurrence of T1 Colorectal Cancer. International Surgery 91:12-16, 2006[原著論文]
第二外科学(一般外科)	逆行性腸重積によるS状結腸腫瘍の1例. 日本消化器外科学会 39(3):412-416, 2006[症例報告]	寺崎嘉子, 中野清也, 富松裕明, 亀岡信悟:逆行性腸重積によるS状結腸腫瘍の1例. 日本消化器外科学会 39(3):412-416, 2006[症例報告]
第二外科学(一般外科)	経皮内視鏡的腎膿瘍開設術による腎壁の壞死性筋膜炎の1例. 東京女子医科大学雑誌 76(3):128-131, 2006[症例報告]	陳尚輝, 藤田寛一, 成田徹, 河 習豊, 亀岡信悟:経皮内視鏡的腎膿瘍開設術による腎壁の壞死性筋膜炎の1例. 東京女子医科大学雑誌 76(3):128-131, 2006[症例報告]
第二外科学(一般外科)	イマチニブで完全奏功した空腸gastrointestinal stromal tumor肝転移の1例. 日本臨床外科学会雑誌 67(4):807-810, 2006[症例報告]	陳尚輝, 藤田寛一, 成田徹, 河 習豊, 亀岡信悟:イマチニブで完全奏功した空腸gastrointestinal stromal tumor肝転移の1例. 日本臨床外科学会雑誌 67(4):807-810, 2006[症例報告]
第二外科学(一般外科)	Von Recklinghausen病に空洞多発GISTを合併した1例. 日本臨床外科学会雑誌 67(7):1596-1599, 2006[症例報告]	陳尚輝, 藤田寛一, 成田徹, 河 習豊, 亀岡信悟:Von Recklinghausen病に空洞多発GISTを合併した1例. 日本臨床外科学会雑誌 67(7):1596-1599, 2006[症例報告]
第二外科学(一般外科)	MRI拡散強調画像が有用であったS状結腸癌術後骨盤内再発の1例. 日本大腸肛門病学会雑誌 59(3):120-123, 2006[症例報告]	橋本拓造, 板橋道朗, 前山剛一, 玉木雅子, 神戸知光, 菊田亮行, 亀岡信悟:MRI拡散強調画像が有用であったS状結腸癌術後骨盤内再発の1例. 日本大腸肛門病学会雑誌 59(3):120-123, 2006[症例報告]
第二外科学(一般外科)	肝臓癌を疑った胃癌肝転移の1例. 東京女子医科大学雑誌 76(4):173-177, 2006[症例報告]	橋本拓造, 前山剛一, 濱下明良, 菊田亮行, 小林楨雄, 亀岡信悟:肝臓癌を疑った胃癌肝転移の1例. 東京女子医科大学雑誌 76(4):173-177, 2006[症例報告]
第二外科学(一般外科)	在宅医療に向けて症状緩和を目的に行った手術の検討. 痢と化学療法 33(Suppl.11):291-292, 2006[原著論文]	平井栄一, 城谷典貴, 三橋 牧, 涙下明良, 亀岡信悟:在宅医療に向けて症状緩和を目的に行った手術の検討. 痢と化学療法 33(Suppl.11):291-292, 2006[原著論文]
第二外科学(一般外科)	終末期がん患者に対する在宅栄養管理. 緩和医療学 8(4):379-384, 2006[総説]	平井栄一, 城谷典貴, 亀岡信悟:終末期がん患者に対する在宅栄養管理. 緩和医療学 8(4):379-384, 2006[総説]
第二外科学(一般外科)	巨大な胆囊腺筋症を合併した胆・胆管合流異常の1例. 臨牀と研究 83(5):731-734, 2006[症例報告]	平井栄一, 町田道治, 牛田進一郎, 戸田央, 亀岡信悟:巨大な胆囊腺筋症を合併した胆・胆管合流異常の1例. 臨牀と研究 83(5):731-734, 2006[症例報告]
第二外科学(一般外科)	腹門側創切除外術 Billroth II-(B-)法再建後の合併症. QOLについての検討. 臨牀と研究 83(5):727-730[原著論文]	・腹門側創切除外術 Billroth II-(B-)法再建後の合併症. QOLについての検討. 臨牀と研究 83(5):727-730[原著論文]
第二外科学(一般外科)	第二外科学(一般外科) 慢性大腸炎におけるSSI(Surgical Site Infection)の現状. 日本外科感染症学会雑誌 3(2):161-165, 2006[原著論文]	板橋道朗, 岸谷典貴:慢性大腸炎におけるSSI(Surgical Site Infection)の現状. 日本外科感染症学会雑誌 3(2):161-165, 2006[原著論文]
第二外科学(一般外科)	小腸大巣切除外(縮帯症候群)の排便の変化と対応一下痢一消化器外科NURSING 11(8):776-779, 2006[総説]	小腸大巣切除外(縮帯症候群)の排便の変化と対応一下痢一消化器外科NURSING 11(8):776-779, 2006[総説]
第二外科学(一般外科)	4. 大腸癌(結腸癌・直腸癌) (外科領域におけるPETの意義と臨床応用. 外科 68(6):641-646, 2006[総説]	板橋道朗, 多田祐輔, 亀岡信悟:4. 大腸癌(結腸癌・直腸癌) (外科領域におけるPETの意義と臨床応用. 外科 68(6):641-646, 2006[総説]
第二外科学(一般外科)	高齢者手術との問題点. 医事新報 4294(1):61-67, 2006[総説]	亀岡信悟, 小川真平:高齢者手術との問題点. 医事新報 4294(1):61-67, 2006[総説]
第二外科学(一般外科)	第二外科学(一般外科) 乳管内視鏡分類(Mammary Ductoscopic Classification of Intraductal Breast Tumors). 東京女子医科大学雑誌 76(10-11):430-434, 2006[原著論文]	Kami Takako, Yamaguchi Masako, Ochi Tetsuya, Aoyama Kei, Kameoka Shingo:乳管内視鏡分類(Mammary Ductoscopic Classification of Intraductal Breast Tumors). 東京女子医科大学雑誌 76(10-11):430-434, 2006[原著論文]
第二外科学(一般外科)	乳房温存手術における超音波を用いた乳管切除範囲診断の意義(Significance of the Ultrasonic Diagnosis for the Decision of the Appropriate Extent of Resection in Breast Conserving Surgery). 東京女子医科大学雑誌 76(10-11):394-399, 2006[原著論文]	Kami Takako, Yamaguchi Masako, Ochi Tetsuya, Aoyama Kei, Kameoka Shingo:乳房温存手術における超音波を用いた乳管切除範囲診断の意義(Significance of the Ultrasonic Diagnosis for the Decision of the Appropriate Extent of Resection in Breast Conserving Surgery). 東京女子医科大学雑誌 76(10-11):394-399, 2006[原著論文]
第二外科学(一般外科)	SERMの乳癌への影響. THE BONE 20(1):47-50, 2006[総説]	神尾ちづ, 亀岡信悟:SERMの乳癌への影響. THE BONE 20(1):47-50, 2006[総説]
第二外科学(一般外科)	Assessment of lymph node micrometastasis in early gastric cancer in relation to sentinel nodes. Gastric Cancer 9(3):197-202, 2006[原著論文]	Miyake Kunitomo, Seshima Akiyoshi, Kameoka Shingo:Assessment of lymph node micrometastasis in early gastric cancer in relation to sentinel nodes. Gastric Cancer 9(3):197-202, 2006[原著論文]
第二外科学(一般外科)	Pathological Assessment of the Contribution of Helicobacter pylori Infection to Perforated Duodenal Ulcer. 東京女大誌 76(10-11合併):417-429, 2006[原著論文]	Nakada Takuji, Suzuki Tadashi, Kobayashi Makio, Kameoka Shingo:Pathological Assessment of the Contribution of Helicobacter pylori Infection to Perforated Duodenal Ulcer. 東京女大誌 76(10-11合併):417-429, 2006[原著論文]
第二外科学(一般外科)	早期直腸癌の局所切除外術 痘瘍の再考. 外科治療 95(1):8-14, 2006[総説]	小川真平, 亀岡信悟:早期直腸癌の局所切除外術 痘瘍の再考. 外科治療 95(1):8-14, 2006[総説]
第二外科学(一般外科)	栄養投与ルートの工夫と進歩】経皮経食道胃管挿入術(PTEG)の開発とその効果. 栄養-評価と治療 23(5):454-457, 2006[総説]	大石英人, 城谷典貴, 亀岡信悟:栄養投与ルートの工夫と進歩】経皮経食道胃管挿入術(PTEG)の開発とその効果. 栄養-評価と治療 23(5):454-457, 2006[総説]
第二外科学(一般外科)	経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)の実際】PEG施行不能例に対して. 臨床消化器内科 21(11):1547-1553, 2006[総説]	大石英人, 城谷典貴, 亀岡信悟:経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)の実際】PEG施行不能例に対して. 臨床消化器内科 21(11):1547-1553, 2006[総説]
第二外科学(一般外科)	消化器疾患 State of arts 消化管(食道・胃・腸)】治療法をめぐる最近の進歩 栄養管理 経管経腸栄養の新しい選択肢(PEG, PTEG). 医学のあゆみ別冊 (Vol.3):423-426, 2006[総説]	大石英人, 亀岡信悟:消化器疾患 State of arts 消化管(食道・胃・腸)】治療法をめぐる最近の進歩 栄養管理 経管経腸栄養の新しい選択肢(PEG, PTEG). 医学のあゆみ別冊 (Vol.3):423-426, 2006[総説]
第二外科学(一般外科)	PTBG:安全で侵襲性の頭部食道瘻(巻頭エッセンス focus on). 消化器外科NURSING 11(6):539-539, 2006[総説]	大石英人:PTBG:安全で侵襲性の頭部食道瘻(巻頭エッセンス focus on). 消化器外科NURSING 11(6):539-539, 2006[総説]
第二外科学(一般外科)	10.PEG施行不能例に対して(特集<経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)の実際>). 臨床消化器内科 11(12):1547-1553, 2006[総説]	大石英人, 城谷典貴, 亀岡信悟:10.PEG施行不能例に対して(特集<経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)の実際>). 臨床消化器内科 11(12):1547-1553, 2006[総説]

部署名	タイトル	著者
第二外科学(一般外科)	経皮経食道胃管挿入術(PEG)の開発とその効果(特集;栄養投与ルートの工夫と進歩)。栄養評価と治療 23(5):454-457, 2006[総説]	大石英人, 城谷典保, 亀岡信悟:8.経皮経食道胃管挿入術(PEG)の開発とその効果(特集;栄養投与ルートの工夫と進歩)。栄養評価と治療 23(5):454-457, 2006[総説]
第二外科学(一般外科)	絶頂管置換(先天性胆道拡張症), 小児内科 38(suppl):422-423, 2006[総説]	世川 修:絶頂管置換(先天性胆道拡張症), 小児内科 38(suppl):422-423, 2006[総説]
第二外科学(一般外科)	先天性食道閉鎖症根治手術, 外科 68(12):1422-1427, 2006[総説]	世川 修, 亀岡 信悟:先天性食道閉鎖症根治手術, 外科 68(12):1422-1427, 2006[総説]
第二外科学(一般外科)	重症心身障害症の食道逆流, 嘔下障害, 呕食障害, 小児科診療 69(suppl):799-802, 2006[総説]	世川 修:重症心身障害症の食道逆流, 嘔下障害, 呕食障害, 小児科診療 69(suppl):799-802, 2006[総説]
第二外科学(一般外科)	胃癌腹膜播種の治療(腫瘍の外科ー最近の諸問題). 外科 68(13):1718-1724, 2006[原著論文]	柳下明良, 荒武寿樹, 曾我直弘, 三宅邦智, 橋本拓造, 松尾信吾, 金子由紀, 旗澤知一郎, 小川真平, 板橋道朗, 亀岡信悟:胃癌腹膜播種の治療(腫瘍の外科ー最近の諸問題). 外科 68(13):1718-1724, 2006[原著論文]
第二外科学(一般外科)	絶脈静-経腸栄養(ブランニング)とその実践》在宅栄養療法(home parenteral nutrition:HPN)(Medicina(0025-7699)43巻5号 Page830-832(2006.05.43(5):830-832, 2006[総説]	城谷典保:絶脈静-経腸栄養(ブランニング)とその実践》在宅栄養療法(home parenteral nutrition:HPN)(Medicina(0025-7699)43巻5号 Page830-832(2006.05.43(5):830-832, 2006[総説]
第二外科学(一般外科)	【第一線医師・研修医・コメディカルのための新・輸液ガイド すぐ役立つ手技・手法のすべて】実地診療で必要な栄養輸液の基礎知識と手技 在宅中心静脈栄養法の実際, Medical Practice(0910-1551)23巻臨増 Page172-177(2006.04) 23巻臨増 Page172-177, 2006[総説]	城谷典保, 亀岡信悟:【第一線医師・研修医・コメディカルのための新・輸液ガイド すぐ役立つ手技・手法のすべて】実地診療で必要な栄養輸液の基礎知識と手技 在宅中心静脈栄養法の実際, Medical Practice(0910-1551)23巻臨増 Page172-177(2006.04) 23巻臨増 Page172-177, 2006[総説]
第二外科学(一般外科)	嘔下障害に対する外科的治療, 呼吸器科 10(3):212-219, 2005[総説]	曾我直弘, 城谷典保:嘔下障害に対する外科的治療, 呼吸器科 10(3):212-219, 2005[総説]
第二外科学(一般外科)	大腸の神経節神経腫の1例, 東京女子医科大学雑誌 76(5~6):239-242, 2006[症例報告]	曾我直弘, 平井栄一, 荒武寿樹, 柳下明良, 亀岡信悟:大腸の神経節神経腫の1例, 東京女子医科大学雑誌 76(5~6):239-242, 2006[症例報告]
第二外科学(一般外科)	肛門周囲膿瘍より発症し直疝に併発したFournier's gangreneの1例, 東京女子医科大学雑誌 76(5~6):234-238, 2006[症例報告]	肛門周囲膿瘍より発症し直疝に併発したFournier's gangreneの1例, 東京女子医科大学雑誌 76(5~6):234-238, 2006[症例報告]
第二外科学(一般外科)	Kugel法による巨大嵌頓直腸ヘルニアの治療経験, 東京女子医科大学雑誌 76(5~6):230-233, 2006[症例報告]	曾山鋼一, 橋本拓造, 亀岡信悟:Kugel法による巨大嵌頓直腸ヘルニアの治療経験, 東京女子医科大学雑誌 76(5~6):230-233, 2006[症例報告]
第二外科学(一般外科)	頗然したPress through packageが核となった直腸真物体による肛門出血の1例, 日本大腸肛門病学会雑誌 59(2):76-80, 2006[症例報告]	曾山鋼一, 神戸知充, 玉木雅子, 橋本拓造:頗然したPress through packageが核となった直腸真物体による肛門出血の1例, 日本大腸肛門病学会雑誌 59(2):76-80, 2006[症例報告]
第二外科学(一般外科)	Indication and Benefit of Pelvic Sidewall Dissection for Rectal Cancer, Dis Colon Rectum 49(11):1663-1672, 2006[原著論文]	Sugihara Kenichi, Kobayashi Hirotochi, Kata Tomoyuki, Mori Takeo, Mochizuki Hidetaka, Kameoka Shingo, Shirozu Kazuo, Muto Tatsuchiro:Indication and Benefit of Pelvic Sidewall Dissection for Rectal Cancer, Dis Colon Rectum 49(11):1663-1672, 2006[原著論文]
第二外科学(一般外科)	腸重積を契機に発見された肺管炎脛様気脳症の1例, 日本臨床外科学会雑誌 67(6):1333-1337, 2006[症例報告]	玉木雅子, 曽山鋼一, 橋本拓造, 神戸知充, 亀岡信悟:腸重積を契機に発見された肺管炎脛様気脳症の1例, 日本臨床外科学会雑誌 67(6):1333-1337, 2006[症例報告]
第二外科学(一般外科)	研修医マニュアル I 術前・術後に必要な処置, 消化器外科 29(4):485-469, 2006[総説]	番場嘉子, 板橋道朗, 亀岡信悟:研修医マニュアル I 術前・術後に必要な処置, 消化器外科 29(4):485-469, 2006[総説]
整形外科学	乳孔を併存した水瘤性類天疱瘡の1例, 月齢外会誌 67(2):27-30, 2006[症例報告]	背山圭, 神尾孝子, 地代哲也: 亀尾信悟:乳孔を併存した水瘤性類天疱瘡の1例, 月齢外会誌 67(2):27-30, 2006[症例報告]
整形外科学	子宮頸新術後乳頭転移の1例, 乳癌の臨床 21(1):66-71, 2006[症例報告]	背山圭, 神尾孝子, 地代哲也: 亀尾信悟:子宮頸新術後乳頭転移の1例, 乳癌の臨床 21(1):66-71, 2006[症例報告]
整形外科学	【器械吻合・縫合法のコツとPitfall】自動綻合器・吻合器の種類と特徴, 消化器外科 29(3):273-287, 2006[総説]	荒武寿樹, 小川真平, 亀岡信悟:【器械吻合・縫合法のコツとPitfall】自動綻合器・吻合器の種類と特徴, 消化器外科 29(3):273-287, 2006[総説]
整形外科学	The Follow-up and Recurrence of T1 Colorectal Cancer, International Surgery 91:12-16, 2006[原著論文]	Bambu Yoshiko, Michio Itahashi, Tomoichiro Hirose, Shimpei Ogawa, Akiyoshi Sashima, Noriyasu Shiratori, Shingo Kameoka: The Follow-up and Recurrence of T1 Colorectal Cancer, International Surgery 91:12-16, 2006[原著論文]
整形外科学	逆行性腸重積したS状結腸肥厚症の1例, 日本消化器外科学会 39(3):412-416, 2006[症例報告]	番場嘉子, 中野清也, 萩松裕男, 亀岡信悟:逆行性腸重積したS状結腸肥厚症の1例, 日本消化器外科学会 39(3):412-416, 2006[症例報告]
整形外科学	経皮内視鏡的骨壘増殖術による腹壁の癌死性筋膜炎の1例, 東京女子医科大学雑誌 76(3):128-131, 2006[症例報告]	陝尚顯, 藤田亮一, 成田徹, 沢田亮明, 菊池順, 亀岡信悟:経皮内視鏡的骨壘増殖術による腹壁の癌死性筋膜炎の1例, 東京女子医科大学雑誌 76(3):128-131, 2006[症例報告]
整形外科学	イマチニーピで完全奏功した空腸gastrointestinal stromal tumor肝転移の1例, 日本臨床外科学会雑誌 67(4):807-810, 2006[症例報告]	陝尚顯, 藤田亮一, 成田徹, 沢田亮明, 亀岡信悟:イマチニーピで完全奏功した空腸gastrointestinal stromal tumor肝転移の1例, 日本臨床外科学会雑誌 67(4):807-810, 2006[症例報告]
整形外科学	Von Recklinghausen病に空腸多発GISTを合併した1例, 日本臨床外科学会雑誌 67(7):1596-1599, 2006[症例報告]	陝尚顯, 麻田寛一, 成田徹, 沢田亮明, 亀岡信悟:Von Recklinghausen病に空腸多発GISTを合併した1例, 日本臨床外科学会雑誌 67(7):1596-1599, 2006[症例報告]
整形外科学	MRI拡散強調画像が有用であったS状結腸癌術後骨盤内再発の1例, 日本大腸肛門病学会雑誌 59(3):120-123, 2006[症例報告]	橋本拓造, 板橋道朗, 曽山鋼一, 玉木雅子, 神戸知充, 菊田亮行, 亀岡信悟:MRI拡散強調画像が有用であったS状結腸癌術後骨盤内再発の1例, 日本大腸肛門病学会雑誌 59(3):120-123, 2006[症例報告]
整形外科学	肝臓癌を疑った胃癌肝転移の1例, 東京女子医科大学雑誌 76(4):173-177, 2006[症例報告]	橋本拓造, 曽山鋼一, 柳下明良, 菅田亮行, 小林柄矩, 亀岡信悟:肝臓癌を疑った胃癌肝転移の1例, 東京女子医科大学雑誌 76(4):173-177, 2006[症例報告]
整形外科学	在宅医療に向けて症状緩和を目的に行った手術の検討, 癌と化学療法 33(Suppl.I):291-292, 2006[原著論文]	平井栄一, 城谷典保, 三橋 敦, 柳下明良, 亀岡信悟:在宅医療に向けて症状緩和を目的に行った手術の検討, 癌と化学療法 33(Suppl.I):291-292, 2006[原著論文]
整形外科学	終末期がん患者に対する在宅栄養管理, 癌と医学療法 8(4):379-384, 2006[総説]	平井栄一, 城谷典保, 亀岡信悟:終末期がん患者に対する在宅栄養管理, 癌と医学療法 8(4):379-384, 2006[総説]
整形外科学	巨大な胆囊腺筋症を合併した脾・胆管合流異常の1例, 臨牀と研究 83(5):731-734, 2006[症例報告]	平井栄一, 町田浩道, 牛田進一郎, 戸田央, 亀岡信悟:巨大な胆囊腺筋症を合併した脾・胆管合流異常の1例, 臨牀と研究 83(5):731-734, 2006[症例報告]
整形外科学	幽門側管切除術 Billroth I(B-I)法再建後の合併症,QOLについての検討, 臨牀と研究 83(5):727-730[原著論文]	幽門側管切除術 Billroth I(B-I)法再建後の合併症,QOLについての検討, 臨牀と研究 83(5):727-730[原著論文]
整形外科学	潰瘍性大腸炎におけるSSI(Surgical Site Infection)の現状, 日本外科感染症学会雑誌 3(2):161-165, 2006[原著論文]	板橋道朗, 吉田昌也, 末永きよみ, 畠場嘉子, 竹木香織, 山田曉郎, 渡邉知一郎, 小川真平, 亀岡信悟:潰瘍性大腸炎におけるSSI(Surgical Site Infection)の現状, 日本外科感染症学会雑誌 3(2):161-165, 2006[原著論文]
整形外科学	小腸大動脈切除後(短腸症候群)の排便の変化と対応一下痢一 消化器外科 NURSINHG 11(8):776-779, 2006[総説]	板橋道朗, 城谷典保:小腸大動脈切除後(短腸症候群)の排便の変化と対応一下痢一 消化器外科 NURSINHG 11(8):776-779, 2006[総説]
整形外科学	4. 大腸癌(結腸癌, 直腸癌) (外科領域におけるPETの意義と臨床応用, 外科 68(6):641-646, 2006[総説])	板橋道朗, 多田祐輔, 亀岡信悟:4. 大腸癌(結腸癌, 直腸癌) (外科領域におけるPETの意義と臨床応用, 外科 68(6):641-646, 2006[総説])
整形外科学	高齢者手術との問題点, 医界新報(4294):61-67, 2006[総説]	小川真平, 高齢者手術とその問題点, 医界新報(4294):61-67, 2006[総説]
整形外科学	乳管内癌に対する乳管内視鏡分類(Mammary Ductoscopic Classification of Intraductal Breast Tumors), 東京女子医科大学雑誌 76(10-11):430-434, 2006[原著論文]	Kanno Takako, Yamaguchi Masako, Ochi Tetsuya, Aoyama Kei, Kameoka Shingo:乳管内腫瘍に対する乳管内視鏡分類(Mammary Ductoscopic Classification of Intraductal Breast Tumors), 東京女子医科大学雑誌 76(10-11):430-434, 2006[原著論文]
整形外科学	乳房温存手術における超音波を用いた乳管切除外範囲診断の意義(Significance of the Ultrasonic Diagnosis for the Decision of the Appropriate Extent of Resection in Breast Conserving Surgery), 東京女子医科大学雑誌 76(10-11):394-399, 2006[原著論文]	Kanno Takako, Yamaguchi Masako, Ochi Tetsuya, Aoyama Kei, Kameoka Shingo:乳房温存手術における超音波を用いた乳管切除外範囲診断の意義(Significance of the Ultrasonic Diagnosis for the Decision of the Appropriate Extent of Resection in Breast Conserving Surgery), 東京女子医科大学雑誌 76(10-11):394-399, 2006[原著論文]
整形外科学	SERMの乳癌への影響, THE BONE 20(1):47-50, 2006[総説]	神尾孝子, 亀岡信悟:SERMの乳癌への影響, THE BONE 20(1):47-50, 2006[総説]
整形外科学	Assessment of lymph node micrometastasis in early gastric cancer in relation to sentinel nodes, Gastric Cancer 9(3):197-202, 2006[原著論文]	Miyake Kunitomo, Seshimo Akio, Kameoka Shingo:Assessment of lymph node micrometastasis in early gastric cancer in relation to sentinel nodes, Gastric Cancer 9(3):197-202, 2006[原著論文]
整形外科学	Pathological Assessment of the Contribution of Helicobacter pylori Infection to Perforated Duodenal Ulcer, 東京医大誌 76(10-11合併):417-429, 2006[原著論文]	Nakada Takuji, Suzuki Tadashi, Kobayashi Makio, Kameoka Shingo:Pathological Assessment of the Contribution of Helicobacter pylori Infection to Perforated Duodenal Ulcer, 東京医大誌 76(10-11合併):417-429, 2006[原著論文]
整形外科学	早期直腸癌の局所切除術 適応の再考, 外科治療 95(1):8-14, 2006[総説]	小川真平, 亀岡信悟:早期直腸癌の局所切除術 適応の再考, 外科治療 95(1):8-14, 2006[総説]
整形外科学	栄養投与ルートの工夫と進歩】経皮経食道胃管挿入術(PEG)の開発とその効果, 栄養・評価と治療 23(5):454-457, 2006[総説]	大石英人, 城谷典保, 亀岡信悟:栄養投与ルートの工夫と進歩】経皮経食道胃管挿入術(PEG)の開発とその効果, 栄養・評価と治療 23(5):454-457, 2006[総説]
整形外科学	経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)の実際】PEG施行不能例に対して, 臨床消化器内科 21(11):1547-1553, 2006[総説]	大石英人, 城谷典保, 亀岡信悟:経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)の実際】PEG施行不能例に対して, 臨床消化器内科 21(11):1547-1553, 2006[総説]
整形外科学	消化器疾患 State of arts 消化管(食道・胃・腸)】治療法をめぐる最近の進歩 栄養管理 経管経腸栄養の新しい選択肢(PEG,PTEG), 医学のあゆみ 別冊(Vol.3):423-426, 2006[総説]	大石英人, 亀岡信悟:消化器疾患 State of arts 消化管(食道・胃・腸)】治療法をめぐる最近の進歩 栄養管理 経管経腸栄養の新しい選択肢(PEG,PTEG), 医学のあゆみ 別冊(Vol.3):423-426, 2006[総説]
整形外科学	PTEG-安全で低侵襲な頸部食道瘻(首頭エッセイ focus on), 消化器外科 NURSING 11(6):539-539, 2006[総説]	大石英人:PEG-安全で低侵襲な頸部食道瘻(首頭エッセイ focus on), 消化器外科 NURSING 11(6):539-539, 2006[総説]
整形外科学	10.PEG施行不能例に対して(特集<経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)の実際>), 臨床消化器内科 11(12):1547-1553, 2006[総説]	大石英人, 城谷典保, 亀岡信悟:10.PEG施行不能例に対して(特集<経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)の実際>), 臨床消化器内科 11(12):1547-1553, 2006[総説]

部署名	タイトル	著者
整形外科学	3.経皮経食胃管挿入術(PEG)の開発とその効果(特集:栄養投与ルートの工夫と進歩). 栄養評価と治療 23(5):454-457, 2006[総説]	大石英人, 城谷典保, 鬼岡信悟:3.経皮経食胃管挿入術(PEG)の開発とその効果(特集:栄養投与ルートの工夫と進歩). 栄養評価と治療 23(5):454-457, 2006[総説]
整形外科学	縫合管重瞼(先天性眼道拡張症). 小児内科 38(suppl):422-423, 2006[総説]	世川 修:縫合管重瞼(先天性眼道拡張症). 小児内科 38(suppl):422-423, 2006[総説]
整形外科学	先天性食道閉鎖症根治手術. 外科 68(12):1422-1427, 2006[総説]	世川 修:先天性食道閉鎖症根治手術. 外科 68(12):1422-1427, 2006[総説]
整形外科学	重症心身障害児の胃食道逆流. 腹下障害・慢食障害. 小児科診療 69(suppl):799-802, 2006[総説]	世川 修:重症心身障害児の胃食道逆流. 腹下障害・慢食障害. 小児科診療 69(suppl):799-802, 2006[総説]
整形外科学	胃癌腹腔播種の治療(胃癌の外科ー最近の諸問題). 外科 68(13):1718-1724, 2006[原著論文]	城谷典保:重症心身障害児の胃食道逆流. 腹下障害・慢食障害. 小児科診療 69(suppl):799-802, 2006[総説]
整形外科学	経静脈・経腸栄養 プランニングとその実践】在宅栄養療法 在宅静脈栄養法(home parenteral nutrition:HPN). Medicina(0025-7699)43巻5号 Page830-832(2006.05.43(5):830-832, 2006[総説]	城谷典保:経静脈・経腸栄養 プランニングとその実践】在宅栄養療法 在宅静脈栄養法(home parenteral nutrition:HPN). Medicina(0025-7699)43巻5号 Page830-832(2006.05.43(5):830-832, 2006[総説]
整形外科学	【第一線医師・研修医・コメディカルのための新・輸液ガイド すぐ役立つ手技・手法のすべて】実地診療で必要な栄養輸液の基礎知識と手技 在宅中心静脈栄養法の実際. Medical Practice(0910-1551)23巻臨増 Page172-177(2006.04.23(臨増):172-177, 2006[総説]	城谷典保, 鬼岡信悟:【第一線医師・研修医・コメディカルのための新・輸液ガイド すぐ役立つ手技・手法のすべて】実地診療で必要な栄養輸液の基礎知識と手技 在宅中心静脈栄養法の実際. Medical Practice(0910-1551)23巻臨増 Page172-177(2006.04.23(臨増):172-177, 2006[総説]
整形外科学	難下嚥嚥にに対する外科的治療. 呼吸器科 10(3):212-219, 2006[総説]	曾我直弘, 平井栄一, 荒武寿樹, 涩下良明, 鬼岡信悟:難下嚥嚥にに対する外科的治療. 呼吸器科 10(3):212-219, 2006[総説]
整形外科学	大腸の神経節神経腫の1例. 東京女子医科大学雑誌 76(5~6):239-242, 2006[症例報告]	曾我直弘, 平井栄一, 荒武寿樹, 涩下良明, 鬼岡信悟:大腸の神経節神経腫の1例. 東京女子医科大学雑誌 76(5~6):239-242, 2006[症例報告]
整形外科学	肛門周囲膿瘍より発症し直疝に併発したFournier's gangreneの1例. 東京女子医科大学雑誌 76(5~6):234-238, 2006[症例報告]	曾我直弘, 平井栄一, 荒武寿樹, 涩下良明, 鬼岡信悟:肛門周囲膿瘍より発症し直疝に併発したFournier's gangreneの1例. 東京女子医科大学雑誌 76(5~6):234-238, 2006[症例報告]
整形外科学	Kugel法による巨大低張性直疝ヘルニアの治療経験. 東京女子医科大学雑誌 76(5~6):230-233, 2006[症例報告]	曾山鋼一, 橋本拓造, 鬼岡信悟:Kugel法による巨大低張性直疝ヘルニアの治療経験. 東京女子医科大学雑誌 76(5~6):230-233, 2006[症例報告]
整形外科学	頗懲したPress through packageが核となった直腸異物による肛門出血の1例. 日本大腸肛門病学会雑誌 59(2):76-80, 2006[症例報告]	曾山鋼一, 神戸知充, 玉木雅子, 橋本拓造:頗懲したPress through packageが核となった直腸異物による肛門出血の1例. 日本大腸肛門病学会雑誌 59(2):76-80, 2006[症例報告]
整形外科学	Indication and Benefit of Pelvic Sidewall Dissection for Rectal Cancer. Dis Colon Rectum 49(11):1663-1672, 2006[原著論文]	Sugihara Konichiro, Kobayashi Hirotochi, Kata Tatsuyuki, Mori Takeo, Mochizuki Hidetaka, Kameoka Shinya, Shirouzu Kazuo, Muto Tsutsuhiro: Indication and Benefit of Pelvic Sidewall Dissection for Rectal Cancer. Dis Colon Rectum 49(11):1663-1672, 2006[原著論文]
整形外科学	腸重積を契機に発見された腸管壁膜様気脛症の1例. 日本臨床外科学会雑誌 67(6):1333-1337, 2006[症例報告]	玉木雅子, 曽山鋼一, 橋本拓造, 鬼岡信悟:腸重積を契機に発見された腸管壁膜様気脛症の1例. 日本臨床外科学会雑誌 67(6):1333-1337, 2006[症例報告]
整形外科学	研修医マニュアル I 術前・術後に必要な処置. 消化器外科 29(4):485-469, 2006[総説]	番場新子, 佐々木清司, 鬼岡信悟:研修医マニュアル I 術前・術後に必要な処置. 消化器外科 29(4):485-469, 2006[総説]
形成外科学	Effect of interferon-alpha-2b on porcine mesenchymal stem cells. 64: 1214-20, 2006. J Oral Maxillofac Surg 64:1214-1220, 2006[原著論文]	Abukawa Harutugu, Leonard B. Kaban, William B. Torode Shinichi, Joseph P. Vacanti, Maria Troulis: Effect of interferon-alpha-2b on porcine mesenchymal stem cells. 64: 1214-20, 2006. J Oral Maxillofac Surg 64:1214-1220, 2006[原著論文]
形成外科学	重傷熱傷患者の重年度評価方法-Burn Critical Score(仮称)の検討(第1報)-. 热傷 32(3):123-131, 2006[原著論文]	東盛亮光, 佐沢弘明, 清畠淳盛, 菊池雄二, 西野幹弘:重傷熱傷患者の重年度評価方法-Burn Critical Score(仮称)の検討(第1報)-. 热傷 32(3):123-131, 2006[原著論文]
形成外科学	特集／長期経過観察からみた小児熱傷の初期治療 同種皮膚移植が奏功した小児広範囲熱傷の治療経験. 形成外科 49(8):877-888, 2006[症例報告]	仲沢弘明, 野崎幹弘:特集／長期経過観察からみた小児熱傷の初期治療 同種皮膚移植が奏功した小児広範囲熱傷の治療経験. 形成外科 49(8):877-888, 2006[症例報告]
形成外科学	Treatment of Angiofibroma of Tuberous Sclerosis Using Cultured Epithelial Autografts. Annals of Plastic Surgery 57(4):415-417, 2006[原著論文]	Hori Keijiro, SOEIJIMA KAZUTAKA, NOZAKI MOTOHIRO, Sakurai Hiroyuki, Takeuchi Masaki, Iwasaka Susumu, Kono Taro, Honda Takashi, Isago Tsukasa: Treatment of Angiofibroma of Tuberous Sclerosis Using Cultured Epithelial Autografts. Annals of Plastic Surgery 57(4):415-417, 2006[原著論文]
形成外科学	Ambulatory anesthesia for laser treatment in children. Surgery Today 36(9):765-768, 2006[原著論文]	Isago Tsukasa, Motohira Nozaki, Kikuchi Yuji, Honda Takeshi, Hiroaki Nakazawa: Ambulatory anesthesia for laser treatment in children. Surgery Today 36(9):765-768, 2006[原著論文]
形成外科学	Ambulatory anesthesia for laser treatment in children. Surgery Today 36(9):765-768, 2006[原著論文]	Isago Tsukasa, Motohira Nozaki, Kikuchi Yuji, Honda Takeshi, Hiroaki Nakazawa: Ambulatory anesthesia for laser treatment in children. Surgery Today 36(9):765-768, 2006[原著論文]
形成外科学	深達性創傷に対する陰圧創閉鎖法. 医学のあゆみ 218(11):984-985, 2006[総説]	井砂 司, 佐々木健司:深達性創傷に対する陰圧創閉鎖法. 医学のあゆみ 218(11):984-985, 2006[総説]
形成外科学	熱傷の病態生理とアセスメントおよびケアのポイント. こどもケア 1(1):91-97, 2006[総説]	井砂 司, 佐々木健司:熱傷の病態生理とアセスメントおよびケアのポイント. こどもケア 1(1):91-97, 2006[総説]
形成外科学	深達性創傷に対する除圧創閉鎖法. 医学のあゆみ 218(11):984-985, 2006[総説]	井砂 司, 佐々木健司:深達性創傷に対する除圧創閉鎖法. 医学のあゆみ 218(11):984-985, 2006[総説]
形成外科学	熱傷の病態生理とアセスメントおよびケアのポイント. こどもケア 1(1):91-97, 2006[総説]	井砂 司, 佐々木健司:熱傷の病態生理とアセスメントおよびケアのポイント. こどもケア 1(1):91-97, 2006[総説]
形成外科学	小死腔充填のための筋膜脂肪弁を伴った遊離前腕皮弁移植術. 埼玉県医学会雑誌 41(3):259-263, 2006[原著論文]	塙村 勉, 本田隆司, 西島 渾, 卵木次郎, 桜井裕之, 野崎幹弘:小死腔充填のための筋膜脂肪弁を伴った遊離前腕皮弁移植術. 埼玉県医学会雑誌 41(3):259-263, 2006[原著論文]
形成外科学	新生儿病性昏睡を併発した高齢者熱傷の1剖検例. 热傷 32(2):73-80, 2006[症例報告]	森鶴康彦, 佐々木健司, 岩島一孝, 野崎幹弘:新生儿病性昏睡を併発した高齢者熱傷の1剖検例. 热傷 32(2):73-80, 2006[症例報告]
形成外科学	Evaluation of fluence and pulse-duration on purpuric threshold using a variable-pulse pulsed-dye laser in the treatment of port wine stains.. J Dermatology. 33:473-476, 2006[原著論文]	Kono Taro, Sakurai Hiroyuki, Takeuchi Masaki, Yamaki Takashi, Soejima Kazutaka, Frederick Groff, Nozaki Motohiro: Evaluation of fluence and pulse-duration on purpuric threshold using a variable-pulse pulsed-dye laser in the treatment of port wine stains.. J Dermatology. 33:473-476, 2006[原著論文]
形成外科学	Q-switched Ruby vs. Long-pulsed Dye Laser delivered with compression for treatment of facial lentigines in Asians. Laser Surg Med 38:94-97, 2006[原著論文]	Kono Taro, Chan Henry, Anderson Rox: Q-switched Ruby vs. Long-pulsed Dye Laser delivered with compression for treatment of facial lentigines in Asians. Laser Surg Med 38:94-97, 2006[原著論文]
形成外科学	Comparison study of a traditional pulsed dye laser versus a long-pulsed dye laser in the treatment of early childhood hemangiomas. Laser Surg Med 38:112-115, 2006[原著論文]	Kono Taro, Sakurai Hiroyuki, Takeuchi Masaki, Yamaki Takashi, Soejima Kazutaka, Nozaki Motohiro: Comparison study of a traditional pulsed dye laser versus a long-pulsed dye laser in the treatment of early childhood hemangiomas. Laser Surg Med 38:112-115, 2006[原著論文]
形成外科学	Pulsed Dye Laser Treatment of Port Wine Stains.. Ann Plast Surg. 56(4):460-463, 2006[総説]	Kono Taro, Sakurai Hiroyuki, Frederick Groff: Pulsed Dye Laser Treatment of Port Wine Stains.. Ann Plast Surg. 56(4):460-463, 2006[総説]
形成外科学	美容を含めたニキビ治療. ざ瘡病院の治療. Visual Dermatology 5(2):146-147, 2006[原著論文]	河野太郎, 野崎幹弘:美容を含めたニキビ治療. ざ瘡病院の治療. Visual Dermatology 5(2):146-147, 2006[原著論文]
形成外科学	日常診療における美容皮膚科・美容皮膚外科のこつ-私はこうしている-:フランクセルレーザーによるskin rejuvenation. MB Derma 118:153-156, 2006[総説]	河野太郎, 野崎幹弘:日常診療における美容皮膚科・美容皮膚外科のこつ-私はこうしている-:フランクセルレーザーによるskin rejuvenation. MB Derma 118:153-156, 2006[総説]
形成外科学	日常診療における美容皮膚科・美容皮膚外科のこつ-私はこうしている-:血管病変(管状血管腫・単純性血管腫・毛細血管拡張症)の診断と治療戦略. MB Derma 118:82-85, 2006[総説]	河野太郎, 野崎幹弘:日常診療における美容皮膚科・美容皮膚外科のこつ-私はこうしている-:血管病変(管状血管腫・単純性血管腫・毛細血管拡張症)の診断と治療戦略. MB Derma 118:82-85, 2006[総説]
形成外科学	日常診療における美容皮膚科・美容皮膚外科のこつ-私はこうしている-:色素レーザー. MB Derma 118:122-126, 2006[総説]	河野太郎, 野崎幹弘:日常診療における美容皮膚科・美容皮膚外科のこつ-私はこうしている-:色素レーザー. MB Derma 118:122-126, 2006[総説]
形成外科学	実践レーザー治療マニュアル: 血管病変にはどんなレーザーがいいですか. MB Derma 115:23-26, 2006[総説]	河野太郎, 野崎幹弘:実践レーザー治療マニュアル: 血管病変にはどんなレーザーがいいですか. MB Derma 115:23-26, 2006[総説]
形成外科学	血管-その病変と治療-:管状血管腫. PEPPARS 9:18-21, 2006[総説]	河野太郎, 野崎幹弘:血管-その病変と治療-:管状血管腫. PEPPARS 9:18-21, 2006[総説]
形成外科学	皮膚のレーザー治療のコツ:単純性血管腫. PEPPARS 7:1-4, 2006[総説]	河野太郎, 野崎幹弘:皮膚のレーザー治療のコツ:単純性血管腫. PEPPARS 7:1-4, 2006[総説]
形成外科学	Vitamin E attenuates acute lung injury in sheep with burn and smoke inhalation injury. Redox Rep 11(2):61-70, 2006[原著論文]	Morita Naoko, Shimoda Katsumi, Full nameで記入してください, Full nameで記入してください, Full nameで記入してください: Vitamin E attenuates acute lung injury in sheep with burn and smoke inhalation injury. Redox Rep 11(2):61-70, 2006[原著論文]
形成外科学	Aerosolized alpha-tocopherol ameliorates acute lung injury following combined burn and smoke inhalation injury in sheep. Shock 25(3):277-282, 2006[原著論文]	Morita Naoko, Shimoda Katsumi, Full nameで記入してください, Full nameで記入してください, Full nameで記入してください: Aerosolized alpha-tocopherol ameliorates acute lung injury following combined burn and smoke inhalation injury in sheep. Shock 25(3):277-282, 2006[原著論文]

部署名	タイトル	著者
形成外科学	頸部再建手術手技の標準化に向けて—マイクロサージャーの役割と今後に求められる展開—. 日本マイクロサージャー学会誌 19(3):281-289, 2006[原著論文]	野崎幹弘, 佐々木健司, 桜井裕之, 頸部再建手術手技の標準化に向けて—マイクロサージャーの役割と今後に求められる展開—. 日本マイクロサージャー学会誌 19(3):281-289, 2006[原著論文]
形成外科学	Novel application method of artificial dermis: One-step grafting procedure of artificial dermis and skin, rat experimental study.. BURNS 32(3):312-318, 2006[原著論文]	SOEJIMA KAZUTAKA, Chen Xin, NOZAKI MOTOHIRO, HOKI KEIJIROU, SAKURAI HIROYUKI, TAKEUCHI MASAKI : Novel application method of artificial dermis: One-step grafting procedure of artificial dermis and skin, rat experimental study.. BURNS 32(3):312-318, 2006[原著論文]
形成外科学	特集頸骨骨折の治療?最小侵襲手術の観点から 超音波診断を利用した手術法. 形成外科 49(11):1211-1219, 2006[原著論文]	SOEJIMA KAZUTAKA, SAKURAI HIROYUKI, NOZAKI MOTOHIRO, KITAZAWA YOSHIIKO, FUJIWARA OSAMU, TAKEUCHI MASAKI, YAMAKI TAKASHI, KONO TARO:特集頸骨骨折の治療?最小侵襲手術の観点から 超音波診断を利用した手術法. 形成外科 49(11):1211-1219, 2006[原著論文]
形成外科学	Surgical treatment of blepharoptosis caused by chronic progressive external ophthalmoplegia.. Annals of Plastic Surgery 56(4):439-442, 2006[症例報告]	SOEJIMA KAZUTAKA, SAKURAI HIROYUKI, NOZAKI MOTOHIRO, FUJIWARA OSAMU, MASUDA MICHIKO, YAMADA HIROKI, SHIMIZU JUN:Surgical treatment of blepharoptosis caused by chronic progressive external ophthalmoplegia.. Annals of Plastic Surgery 56(4):439-442, 2006[症例報告]
形成外科学	顔面・四肢外傷治癒のABC II 顔面外傷 7. 痛傷の初期評価と処置法. 形成外科 49(増刊号):s117-s122, 2006[総説]	副島一孝, 野崎幹弘:顔面・四肢外傷治癒のABC II 顔面外傷 7. 痛傷の初期評価と処置法. 形成外科 49(増刊号):s117-s122, 2006[総説]
形成外科学	Correction of Late Post-Traumatic Enophthalmos Using a Tissue Expander. Ann Plast Surg. 56(6):686-688, 2006[症例報告]	Takashi Honda, Hiroyuki Sakurai, Hiroaki Nakazawa, Tsukasa Isago, Motohiro Nozaki : Correction of Late Post-Traumatic Enophthalmos Using a Tissue Expander. Ann Plast Surg. 56(6):686-688, 2006[症例報告]
形成外科学	The utility of quantitative calf muscle near-infrared spectroscopy in the follow-up of acute deep vein thrombosis. J Thromb and Haemost 4:800-806, 2006[原著論文]	Takashi Yamaki, Motohiro Nozaki, Hiroyuki Sakurai, Masaki Takeuchi, Kazutaka Soojima, Taro Kono : The utility of quantitative calf muscle near-infrared spectroscopy in the follow-up of acute deep vein thrombosis. J Thromb and Haemost 4:800-806, 2006[原著論文]
形成外科学	Comparison of Manual Compression Release with Distal Pneumatic Cuff Maneuver in the Ultrasonic Evaluation of Superficial Venous Insufficiency. Eur J Vasc Endovasc Surg 32:462-467, 2006[原著論文]	Takashi Yamaki, Motohiro Nozaki, Hiroyuki Sakurai, Kazutaka Soojima, Taro Kono : Comparison of Manual Compression Release with Distal Pneumatic Cuff Maneuver in the Ultrasonic Evaluation of Superficial Venous Insufficiency. Eur J Vasc Endovasc Surg 32:462-467, 2006[原著論文]
形成外科学	Vergleichsstudie zur Duplex-Kontrollierten Sklerosierung mit Schaum und Fälschigkeit in der Therapie der superfiziel len venösen Insuffizienz.. Vasomed 18(3):115-116, 2006[研究報告]	Takashi Yamaki:Vergleichsstudie zur Duplex-Kontrollierten Sklerosierung mit Schaum und Fälschigkeit in der Therapie der superfiziel len venösen Insuffizienz.. Vasomed 18(3):115-116, 2006[研究報告]
形成外科学	特集/形成外科における画像診断 血管脇・血管奇形の画像診断. 形成外科 49(1):25-31, 2006[総説]	八巻隆, 野崎幹弘, 桜井裕之, 副島一孝, 河野太郎:特集/形成外科における画像診断 血管脇・血管奇形の画像診断. 形成外科 49(1):25-31, 2006[総説]
形成外科学	特集/静脈性下肢靜脈の分類および治療. 形成外科 49(2):127-137, 2006[総説]	八巻隆, 野崎幹弘, 桜井裕之, 副島一孝, 河野太郎:特集/静脈性下肢靜脈の分類および治療. 形成外科 49(2):127-137, 2006[総説]
形成外科学	特集/日當診療における美容皮膚科・美容皮膚外科のコツ-私はこうしている- 下肢静脈瘤の診断と治療. MB Dermo 118(10):93-99, 2006[総説]	八巻隆, 野崎幹弘, 特集/日當診療における美容皮膚科・美容皮膚外科のコツ-私はこうしている- 下肢静脈瘤の診断と治療. MB Dermo 118(10):93-99, 2006[総説]
形成外科学	特集/深部血管栓症診断と治療の現況. 経過観察の方法と検査の間隔に関するプログラム. Vascular Lab 3(4):462-465, 2006[総説]	八巻隆:特集/深部血管栓症診断と治療の現況. 経過観察の方法と検査の間隔に関するプログラム. Vascular Lab 3(4):462-465,
形成外科学	Immunohistochemical analysis of an ectopic endometriosis in the uterine round ligament.. Diagn Pathol 1(27):1-5, 2006[原著論文]	Terada Shinichiro, Miyata Yachio, Nakazawa Hiroaki, Higashimori Takamitsu, Arai Takaharu, Kikuchi Yuji, Nozaki Motohiro : Immunohistochemical analysis of an ectopic endometriosis in the uterine round ligament.. Diagn Pathol 1(27):1-5, 2006[原著論文]
形成外科学	Contact force controlled orthoses made of nitinol shape memory alloy wire for the treatment of malformed ears. International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery 1(1):311-323, 2006[原著論文]	花房昭彦, 高橋 元, 門口行雄, 野崎幹弘, 肥土健輔: Contact force controlled orthoses made of nitinol shape memory alloy wire for the treatment of malformed ears. International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery 1(1):311-323, 2006[原著論文]
形成外科学	指間形成に対する局所皮弁の工夫. 形成外科 45(10):951-959, 2002[原著論文]	伊東 大, 仲沢弘明, 壮岡康祐, 佐々木健司, 野崎幹弘:指間形成に対する局所皮弁の工夫. 形成外科 45(10):951-959, 2002[原著論文]
皮膚科学	腎移植患者に生じたMycobacterium chelonae 皮膚感染症の1例. 臨皮 60(7):579-581, 2006[症例報告]	赤坂 琴, 福屋泰子, 塙垣祐子, 川島 真:腎移植患者に生じたMycobacterium chelonae 皮膚感染症の1例. 臨皮 60(7):579-581, 2006[症例報告]
皮膚科学	抗デスマグレイン1抗体が陽性を示した水疱性頸天疱瘡の1例. 臨皮 60(10):899-902, 2006[症例報告]	明石 瑞, 福島泰子, 椎垣祐子, 川島 真, 天谷雅行:抗デスマグレイン1抗体が陽性を示した水疱性頸天疱瘡の1例. 臨皮 60(10):899-902, 2006[症例報告]
皮膚科学	放射線照射部位に生じた基底細胞癌. 皮膚病診療 28(4):463-466, 2006[症例報告]	安藤英祐, 渡野聖子, 岡島加代子, 金子健郎:放射線照射部位に生じた基底細胞癌. 皮膚病診療 28(4):463-466, 2006[症例報告]
皮膚科学	3本の線状病変を認めた創創状皮症の1例. 臨皮 60(3):244-246, 2006[症例報告]	有川順子, 黒須直子, 川島 真:3本の線状病変を認めた創創状皮症の1例. 臨皮 60(3):244-246, 2006[症例報告]
皮膚科学	Comedolytic effect of topically applied active vitamin D3 analogue on pseudocomedones in the rhino mouse. Br J Dermatol 155(5):895-901, 2006[原著論文]	Hayashi Nobukazu, Watanabe Hideki, Yasukawa Hiroshi, Uratsuji Hideya, Kanazawa Hirotatsu, Ishimaru Misako, Kotera Nobuo, Akatsuka Masahiro, Kawashima Makoto:Comedolytic effect of topically applied active vitamin D3 analogue on pseudocomedones in the rhino mouse. Br J Dermatol 155(5):895-901, 2006[原著論文]
皮膚科学	バリア障壁とアトピー性皮膚炎. 別冊医学のあゆみ:13-16, 2006[総説]	林 伸和:バリア障壁とアトピー性皮膚炎. 別冊医学のあゆみ:13-16, 2006[総説]
皮膚科学	[ニキビの抗痘治療]特集/皮膚感染症治療最新情報. MBDerma. 114:113-117, 2006[総説]	林 伸和:ニキビの抗痘治療!特集/皮膚感染症治療最新情報. MBDerma. 114:113-117, 2006[総説]
皮膚科学	脂状毛包性角化症(上瞼)の2例. 臨皮 60(8):668-671, 2006[症例報告]	境内祐紀, 神田愛子, 椎垣祐子, 川島 真:脂状毛包性角化症(上瞼)の2例. 臨皮 60(8):668-671, 2006[症例報告]
皮膚科学	Vasculitis allergica cutisと考えた2例. 関東皮膚腫瘍会議記録集2:21-24, 2006[症例報告]	石浦聰子, 石黒直子:Vasculitis allergica cutisと考えた2例. 関東皮膚腫瘍会議記録集2:21-24, 2006[症例報告]
皮膚科学	色素網膜症. Visual Dermatology 5(6):579-581, 2006[症例報告]	石田雅美, 水堀淳一, 川島 真:色素網膜症. Visual Dermatology 5(6):579-581, 2006[症例報告]
皮膚科学	リペドを認めた患者33例についての臨床・病理組織学的検討. 日皮会誌 116(3):311-318, 2006[原著論文]	石黒直子:リペドを認めた患者33例についての臨床・病理組織学的検討. 日皮会誌 116(3):311-318, 2006[原著論文]
皮膚科学	結節性多発動脈炎 一皮膚型の位置づけをふまえ. 日皮会誌 116(13):1980-1984, 2006[総説]	石黒直子:結節性多発動脈炎 一皮膚型の位置づけをふまえ. 日皮会誌 116(13):1980-1984, 2006[総説]
皮膚科学	nevus comedonicus - Blachko絆に沿って生じた症例. 皮膚病診療 28(9):1095-1098, 2006[症例報告]	偶 詠姿, 池田美智子, 南光智子:nevus comedonicus - Blachko絆に沿って生じた症例. 皮膚病診療 28(9):1095-1098, 2006[症例報告]
皮膚科学	血球貧乏症群を併発した成人Still病の1例. 臨皮 60(1):36-39, 2006[症例報告]	神田愛子, 石黒直子, マロトマリアイチ, 川島 真, 中島 洋:血球貧乏症群を併発した成人Still病の1例. 臨皮 60(1):36-39, 2006[症例報告]
皮膚科学	男性型脱毛症(AGA)に対するフィナステリドの長期投与(3年間)試験成績 他施設共同オープン試験. 臨皮 60(6):521-530, 2006[原著論文]	川島 真:男性型脱毛症(AGA)に対するフィナステリドの長期投与(3年間)試験成績 他施設共同オープン試験. 臨皮 60(6):521-530, 2006[原著論文]
皮膚科学	ステロイド乳剤性ローションの体幹・四肢の皮疹に対する臨床的有效性と使用感に関する調査. 臨皮 60(10):964-970, 2006[原著論文]	川島 真:ステロイド乳剤性ローション研究班:ステロイド乳剤性ローションの体幹・四肢の皮疹に対する臨床的有效性と使用感に関する調査. 臨皮 60(10):964-970, 2006[原著論文]
皮膚科学	RxH4(ハイドロキノン含有化粧品)の色素沈着症に対する有用性的検討. 臨皮 60(13):1277-1287, 2006[原著論文]	川島 真:RxH4研究班:RxH4(ハイドロキノン含有化粧品)の色素沈着症に対する有用性的検討. 臨皮 60(13):1277-1287, 2006[原著論文]
皮膚科学	尖圭コンジョーマへの臨床・治療. 臨床医療 22(9):353(25)-358(30), 2006[総説]	川島 真:尖圭コンジョーマへの診断と治療. 臨床医療 22(9):353(25)-358(30), 2006[総説]
皮膚科学	皮膚科医のための臨床トピックス機能性化粧品の現状. 臨皮 60(5&6):166-168, 2006[総説]	川島 真:皮膚科医のための臨床トピックス機能性化粧品の現状. 臨皮 60(5&6):166-168, 2006[総説]
皮膚科学	Application of the Food and Drug Administration(FDA) bioequivalent guidance of topical dermatological corticosteroid in yellow-skinned Japanese population : validation study using a chromameter. J. D. 33:684-691, 2006[原著論文]	Keida Tomoko, Hayashi Nobukazu, Kawashima Makoto: Application of the Food and Drug Administration(FDA) bioequivalent guidance of topical dermatological corticosteroid in yellow-skinned Japanese population : validation study using a chromameter. J. D. 33:684-691, 2006[原著論文]
皮膚科学	妊娠61人に認めた皮膚病変の統計学的調査. 日皮会誌 116(1):41-50, 2006[原著論文]	慶田朋子, 川上理子:妊娠61人に認めた皮膚病変の統計学的調査. 日皮会誌 116(1):41-50, 2006[原著論文]
皮膚科学	尋常性乾燥症および革疊膚症におけるinducible co-stimulator(ICOS)とそのリガンドの発現. 東京女子医科大学総合研究所紀要 26:印刷中[研究報告]	小林里実, 佐久間英奈子, 内山竹彦, 木澤清二:尋常性乾燥症および革疊膚症におけるinducible co-stimulator(ICOS)とそのリガンドの発現. 東京女子医科大学総合研究所紀要 26:印刷中[研究報告]
皮膚科学	潜瘍性大腸炎に伴った結節性紅斑. 臨皮 60(7):568-571, 2006[症例報告]	近藤草子, 金沢博龍, 有川順子, 椎垣祐子, 川島 真, 望月直子, 八巻 隆:潜瘍性大腸炎に伴った結節性紅斑. 臨皮 60(7):568-571, 2006[症例報告]
皮膚科学	比較的少症のステロイド全身投与が奏効したカルバマゼピン(テグレトール)によるTEN型薬疹の1例. 臨皮 60(2):134-137, 2006[症例報告]	倉田みふ, 竹中祐子, 竹瀬信行:比較的少症のステロイド全身投与が奏効したカルバマゼピン(テグレトール)によるTEN型薬疹の1例. 臨皮 60(2):134-137, 2006[症例報告]
皮膚科学	側頭動脈炎 頭部の広範囲に潰瘍を生じた症例. 皮膚病診療 28(6):691-684, 2006[症例報告]	成田千佐子, 神田愛子, 石黒直子, 川島 真:側頭動脈炎 頭部の広範囲に潰瘍を生じた症例. 皮膚病診療 28(6):691-684, 2006[症例報告]
皮膚科学	集簇性さざれ症の治療. Visual Dermatology 5(2):130-132, 2006[症例報告]	成田千佐子, 林 伸和:集簇性さざれ症の治療. Visual Dermatology 5(2):130-132, 2006[症例報告]
皮膚科学	小児アトピー性皮膚炎の外用意地療法ヘンリク性類似物質製剤の有用性. 臨皮 60(7):638-642, 2006[原著論文]	根本 治, 森川玲子, 川島 真:小児アトピー性皮膚炎の外用意地療法ヘンリク性類似物質製剤の有用性. 臨皮 60(7):638-642, 2006[原著論文]

部署名	タイトル	著者
皮膚科学	高度な尋常麻疹と消化管症状が先行し、血液凝固第XIII因子の低下を伴ったアナフィラクトイド紫斑の1例。皮膚科の臨床 48(3):307-310, 2006[症例報告]	竹中祐子, 南光弘子, 池田美智子, 森下慎二: 高度な尋常麻疹と消化管症状が先行し、血液凝固第XIII因子の低下を伴ったアナフィラクトイド紫斑の1例。皮膚科の臨床 48(3):307-310, 2006[症例報告]
皮膚科学	皮膚平滑筋肉瘤の1例。皮膚病診療 48(9):1228-1229, 2006[症例報告]	竹中祐子, 水嶋薫一, 上田 周, 川島 哲: 皮膚平滑筋肉瘤の1例。皮膚病診療 48(9):1228-1229, 2006[症例報告]
皮膚科学	皮疹から虫体を検出した動物瘡瘍の家紋例。皮膚科の臨床 48(12):1699-1702, 2006[症例報告]	竹中祐子, 池田美智子, 南光弘子: 皮疹から虫体を検出した動物瘡瘍の家紋例。皮膚科の臨床 48(12):1699-1702, 2006[症例報告]
皮膚科学	小児のアビーピー性皮膚炎治療に対するアンケート調査研究。臨皮 60(3):301-309, 2006[原著論文]	鶴川雅治, 川島 真, 古川清隆, 飯坂 一, 伊藤雅章, 中川秀巳, 鹿原哲夫, 島田真路, 竹原和彦, 宮地良樹, 片山一朗, 古川福実, 岩月哲氏, 横木公二, 横田俊一郎, 小見のアビーピー性皮膚炎治療に対するアンケート調査研究。臨皮 60(3):301-309, 2006[原著論文]
皮膚科学	エレー18歳が病勢を反映した成人Still病の1例。臨皮 60(12):1111-1114, 2006[症例報告]	矢住佳子, 小林里実, 実戸悦子, 梅垣祐子, 川島 哲: エレー18歳が病勢を反映した成人Still病の1例。臨皮 60(12):1111-1114.
産婦人科学	骨粗鬆症の骨折発症予防のための戦略づくり 年齢別の骨代謝動態の把握と最大骨密度獲得に寄与するライフスタイルの探索 血中25(OH)D濃度に関する検討。Osteoporosis Japan 14(4):726-730, 2006[原著論文]	宮原優子, 太田博明, 尾上佳子, 黒田龍彦, 岡野浩哉, 久米美代子, 原田西洋子, 沢川尚子, 岡野聰志夫, 佐々木敏: 骨粗鬆症の骨折発症予防のための戦略づくり 年齢別の骨代謝動態の把握と最大骨密度獲得に寄与するライフスタイルの探索 血中25(OH)D濃度に関する検討。Osteoporosis Japan 14(4):726-730, 2006[原著論文]
産婦人科学	原発性卵巣平滑筋腫の1例。日本産科婦人科学会東京地方部会会誌 55(4):463-467, 2006[症例報告]	松井葉子, 池田俊一, 岩野浩哉, 関部英美子, 石谷裕, 清水聖子, 吉形玲美, 堀田一英, 太田博明: 原発性卵巣平滑筋腫の1例。日本産科婦人科学会東京地方部会会誌 55(4):463-467, 2006[症例報告]
産婦人科学	上皮性卵巣癌に対するDocetaxelとCisplatinの併用(DP)療法による初回化学療法の他施設共同臨床試験 -DP療法研究会- 第44回日本癌治療学会抄録集, 2006[研究報告]	脇木大輔, 野村弘行, 進伸幸, 渡部 洋, 星合 美, 牛嶋公生, 桥村 敏治, 菊本博行, 上坊 敏子, 斎藤 豪, 寒河江悟, 石塚文平, 木口一成, 鈴木 靖, 長谷川清志, 宇田川康博, 太田博明, 磯城西成治, 肯木 順, 他: 上皮性卵巣癌に対するDocetaxelとCisplatinの併用(DP)療法による初回化学療法の他施設共同臨床試験 -DP療法研究会- 第44回日本癌治療学会抄録集, 2006[研究報告]
産婦人科学	子痫に認められたreversible posterior leukoencephalopathy syndrome(RPLS)の3例。日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報 43(4):397-401, 2006[原著論文]	原崎忠吉, 松田義雄, 野村秀尚, 山口裕加, 清水真弓, 三谷 球, 牧野康男, 太田博明: 子痫に認められたreversible posterior leukoencephalopathy syndrome(RPLS)の3例。日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報 43(4):397-401, 2006[原著論文]
産婦人科学	子宮内膜異型増殖症を合併したホルモン産生ブレンナー腫瘍の1例。日本産科婦人科学会東京地方部会会誌 55(2):219-225, 2006[症例報告]	原崎忠吉, 堀田一英, 清水真弓, 石谷 錠, 岩野浩哉, 池田俊一, 太田博明, 西川俊郎: 子宮内膜異型増殖症を合併したホルモン産生ブレンナー腫瘍の1例。日本産科婦人科学会東京地方部会会誌 55(2):219-225, 2006[症例報告]
産婦人科学	Regulation of Ankyrin Interaction with CD44 by Protein 4.1 in HeLa Cells. Membrane 31(2):107-114, 2006[総説]	Hattori Minako, Nunomura Wataru, Ito Eiko, Ohta Hiroaki, Takakuwa Yuichi: Regulation of Ankyrin Interaction with CD44 by Protein 4.1 in HeLa Cells. Membrane 31(2):107-114, 2006[総説]
産婦人科学	Peripheral arterial thrombosis induced by chemotherapy in ovarian carcinoma coexisted with endometrial carcinoma.. Arch Gynecol Obstet 275(1):63-65, 2006[総説]	Hida Kazuhide, Ikeda Syunichi, Shimizu Shoko, Yoshihata Remi, Orito Masaya, Tatsuduki Aya, Ohta Hiroaki: Peripheral arterial thrombosis induced by chemotherapy in ovarian carcinoma coexisted with endometrial carcinoma.. Arch Gynecol Obstet 275(1):63-65.
産婦人科学	Differential effects of chronic treatment with estrogen receptor ligands on regulation of nitric oxide synthase in porcine aortic endothelial cells. J Cardiovasc Pharmacol 47:621-628, 2006[原著論文]	Hiroya Okano, Muthuvell Jayachandran, Akiko Yoshikawa, Virginia M.Miller: Differential effects of chronic treatment with estrogen receptor ligands on regulation of nitric oxide synthase in porcine aortic endothelial cells. J Cardiovasc Pharmacol 47:621-628, 2006[原著論文]
産婦人科学	心疾患合併妊娠での心肺機能低下例の検討。Archives of Gynecology & Obstetrics 273(4):250-252, 2006[原著論文]	[Ikeda]Shunichi, Yajima Masazumi, Hida Kazuhide, Hattori Minako, Shimizu Shoko, Umezaki Izumi, Nishikawa Toshio, Ota Hiroaki: 心疾患合併妊娠での心肺機能低下例の検討。Archives of Gynecology & Obstetrics 273(4):250-252, 2006[原著論文]
産婦人科学	Sister Joseph umbilical nodule coexisting with endometriosis from endometrial carcinoma. Archives of Gynecology & Obstetrics 273(4):250-252, 2006[症例報告]	[Ikeda]Shunichi, Yajima Masazumi, Hida Kazuhide, Hattori Minako, Shimizu Shoko, Umezaki Izumi, Nishikawa Toshio, Ota Hiroaki: Sister Joseph umbilical nodule coexisting with endometriosis from endometrial carcinoma. Archives of Gynecology & Obstetrics 273(4):250-252, 2006[症例報告]
産婦人科学	Sister Joseph umbilical nodule coexistingwith endometriosis from endometrial carcinoma. Arch Gynecol Obstet 273:250-252, 2006[総説]	[Ikeda]Syunichi, Yajima Masazumi, Hida Kazuhide, Hattori Minako, Shimizu Shoko, Umezaki Izumi, Nishikawa Toshio, Ota Hiroaki: Sister Joseph umbilical nodule coexistingwith endometriosis from endometrial carcinoma. Arch Gynecol Obstet 273:250-252, 2006[総説]
産婦人科学	ツムラ真武湯の効果。産婦人科 漢方研究のあゆみ 23:58-61, 2006[総説]	石谷 錠, 三雲英徳, 吉田真弓, 宮原優子, 吉形玲美, 武者稚枝子, 楠田俊一, 岩野浩哉, 池田俊一, 太田博明, 新井廣治:ツムラ真武湯の効果。産婦人科 漢方研究のあゆみ 23:58-61, 2006[総説]
産婦人科学	婦人科医からのアンチエイジング・アドバイス。モダンフィジシャン 26(4):566-567, 2006[総説]	石谷 錠, 岩野浩哉, 太田博明: 婦人科医からのアンチエイジング・アドバイス。モダンフィジシャン 26(4):566-567, 2006[総説]
産婦人科学	Efficacy and tolerability of once-weekly administration of 17.5 mg risendronate in Japanese patients with involutional osteoporosis : a comparison with 2.5-mg once-daily dosage regimen.. J Bone Miner Metab 24:405-413, 2006[原著論文]	Kishimoto Hideaki, Fukunaga Masao, Kushida Kazuhiro, Shiraki Masataka, Itabashi Akira, Nawata Hajime, Nakamura Toshiaka, Ota Hiroaki, Takaoka Kunio, Ohashi Yasuo: Efficacy and tolerability of once-weekly administration of 17.5 mg risendronate in Japanese patients with involutional osteoporosis : a comparison with 2.5-mg once-daily dosage regimen.. J Bone Miner Metab 24:405-413,
産婦人科学	Risk factors of preterm delivery at less than 35 weeks in patients with renal transplant. Eur J Obstet Gynecol & Repro Biol 128:64-68, 2006[原著論文]	Kurata Akiko, Matsuda Yoshi, Tanabe Kazunari, Toma Hiroshi, Ota Hiroaki: Risk factors of preterm delivery at less than 35 weeks in patients with renal transplant. Eur J Obstet Gynecol & Repro Biol 128:64-68, 2006[原著論文]
産婦人科学	Risk factors of preterm delivery at less than 35 weeks in patients with renal transplant.. European Journal of Obstetrics & Gynecology and Reproductive Biology 128:64-68, 2006[総説]	Kurata Akiko, Matsuda Yoshi, Tanabe Kazunari, Toma Hiroshi, Ota Hiroaki: Risk factors of preterm delivery at less than 35 weeks in patients with renal transplant.. European Journal of Obstetrics & Gynecology and Reproductive Biology 128:64-68, 2006[総説]
産婦人科学	わが国の大規模case-control studyの成績からみた早産の予防戦略。産婦人科の実際 55(1):17-22, 2006[総説]	松田義雄: わが国の大規模case-control studyの成績からみた早産の予防戦略。産婦人科の実際 55(1):17-22, 2006[総説]
産婦人科学	母体胎盤後への長期入院妊娠。周産期医学 36(5):561-565, 2006[総説]	松田義雄: 米山万里枝, 中島 彩: 母体胎盤後への長期入院妊娠。周産期医学 36(5):561-565, 2006[総説]
産婦人科学	心疾患合併妊娠。山產に関する管理。日本産婦人科医報 58(10):10-11, 2006[総説]	松田義雄: 心疾患合併妊娠の妊娠・山產に関する管理。日本産婦人科医報 58(10):10-11, 2006[総説]
産婦人科学	腎不全胎盤疾患合併妊娠。周産期医学 36(9):1123-1126, 2006[総説]	松田義雄: 腎・腎不全胎盤疾患合併妊娠。周産期医学 36(9):1123-1126, 2006[総説]
産婦人科学	Pregnostis in cervical insufficiency at less than 32 weeks of gestation. Eur J Obstet Gynecol & Repro Biol 125:34-37, 2006[原著論文]	Mitani Minoru, Matsuda Yoshi, Ono Erina, Akizawa Yoshika, Ota Hiroaki: Prognosis in cervical insufficiency at less than 32 weeks of gestation. Eur J Obstet Gynecol & Repro Biol 125:34-37, 2006[原著論文]
産婦人科学	Prognosis in cervical insufficiency at less than 32 weeks of gestation.. EJOG(European Journal of Obstetrics & Gynecology and Reproductive Biology) 125:34-37, 2006[総説]	Mitani Minoru, Matsuda Yoshi, Ono Erina, Akizawa Yoshika, Ota Hiroaki: Prognosis in cervical insufficiency at less than 32 weeks of gestation.. EJOG(European Journal of Obstetrics & Gynecology and Reproductive Biology) 125:34-37, 2006[総説]
産婦人科学	Prognosis in cervical insufficiency at less than 32 weeks of gestation.. European Journal of Obstetrics, Gynecology, & Reproductive Biology. 125(1):34-37, 2006[研究報告]	Mitani Minoru, Matsuda Yoshi, Ono Erina, Akizawa Yoshika, Ota Hiroaki: Prognosis in cervical insufficiency at less than 32 weeks of gestation.. European Journal of Obstetrics, Gynecology, & Reproductive Biology. 125(1):34-37, 2006[研究報告]
産婦人科学	FIRSの管理と対応。周産期医学 36(7):823-829, 2006[総説]	三谷 錠, 松田義雄, 太田博明: FIRSの管理と対応。周産期医学 36(7):823-829, 2006[総説]
産婦人科学	骨粗鬆症と妊娠。周産期医学 36(11):1371-1375, 2006[総説]	三谷 錠, 松田義雄, 太田博明: 骨粗鬆症と妊娠。周産期医学 36(11):1371-1375, 2006[総説]
産婦人科学	心疾患合併妊娠。周産期医学 36(14):148-150, 2006[総説]	三谷 錠, 松田義雄: 心疾患合併妊娠。周産期医学 36(14):148-150, 2006[総説]
産婦人科学	骨粗鬆症の骨折発症予防のための戦略づくり年齢別の骨代謝動態の把握と最大骨密度獲得に寄与するライフスタイルの探索。Osteoporosis Japan 14(4):74-78, 2006[研究報告]	武者稚枝子, 武者吉英, 太田博明: 高齢女性の足底のはりとりわずかずつ脚症候群。産婦人科 漢方研究のあゆみ 23:116-122, 2006[総説]
産婦人科学	高齢女性の足底のはりとりわずかずつ脚症候群。産婦人科 漢方研究のあゆみ 23:116-122, 2006[総説]	武者稚枝子, 武者吉英, 太田博明: 高齢女性の足底のはりとりわずかずつ脚症候群。産婦人科 漢方研究のあゆみ 23:116-122, 2006[総説]
産婦人科学	高齢女性の足底のはりとりわずかずつ脚症候群。産婦人科 漢方研究のあゆみ 23:116-122, 2006[総説]	武者稚枝子, 太田博明: 月経周期に伴う疾患。産科と婦人科 73(12):1705-1713, 2006[総説]
産婦人科学	月経周期に伴う疾患。産科と婦人科 73(12):1705-1713, 2006[総説]	西沢良記, 中村利幸, 白木正幸, 太田博明, 福水二夫, 水沼英樹, 三木隆巳, 茶木 修, 萩野 浩, 市村正一: 新規骨代謝マーカーを用いた塩酸ラヨキシフェンの閉経後骨粗鬆症に対する効果判定の検討(中間報告). Osteoporosis Jpn 14(2):65-70, 2006[総説]
産婦人科学	新規骨代謝マーカーを用いた塩酸ラヨキシフェンの閉経後骨粗鬆症に対する効果判定の検討(中間報告). Osteoporosis Jpn 14(2):65-70, 2006[総説]	大原麻美, 松田義雄, 原島義博, 清水真弓, 小野恵里奈, 清水聖子, 椎崎 泉, 三谷 錠, 牧野勝男, 太田博明: 妊娠中の左股関節痛を契機に発見された深部靜脈血栓症の1例。日産婦東京地方部会誌 55(1):44-47, 2006[症例報告]
産婦人科学	妊娠中の左股関節痛を契機に発見された深部静脈血栓症の1例。日産婦東京地方部会誌 55(1):44-47, 2006[症例報告]	太田博明: 1. わが国における更年期医療。(トータルヘルスケアとしての更年期医療)。産婦人科治療 92(1):96-101, 2006[総説]
産婦人科学	1. わが国における更年期医療。(トータルヘルスケアとしての更年期医療)。産婦人科治療 92(1):96-101, 2006[総説]	太田博明: 2. 骨粗鬆症(女性外来のいまと性医療をめぐる視点と展望)。カレントアラビー 24(2):43-47, 2006[総説]
産婦人科学	骨粗鬆症(女性外来のいまと性医療をめぐる視点と展望)。カレントアラビー 24(2):43-47, 2006[総説]	太田博明: 3. スターディングゴボットとしての更年期医療。(トータルヘルスケアとしての更年期医療)。産婦人科治療 92(2):187-193, 2006[総説]
産婦人科学	骨粗鬆症の治療 - ラヨキシフェン、内分沁、塩素病科 22(2):203-212, 2006[総説]	太田博明: 4. 骨粗鬆症の治療 - ラヨキシフェン、内分沁、塩素病科 22(2):203-212, 2006[総説]
産婦人科学	3. 性ステロイドホルモンと骨代謝作用(トータルヘルスケアとしての更年期医療)。産婦人科治療 92(3):323-334, 2006[総説]	太田博明: 5. 性ステロイドホルモンと骨代謝作用(トータルヘルスケアとしての更年期医療)。産婦人科治療 92(3):323-334, 2006[総説]
産婦人科学	骨粗鬆症の新常識(予測を超える危険がいっぱい)。エキスパートナース 22(4):18-21, 2006[総説]	太田博明: 6. 骨粗鬆症の新常識(予測を超える危険がいっぱい)。エキスパートナース 22(4):18-21, 2006[総説]

部署名	タイトル	著者
産婦人科学	ホルモン補充療法(産婦人科 インフォームド・コンセントの実際) 産科と婦人科 73(増刊号):240-245, 2006[総説]	太田博明:ホルモン補充療法(産婦人科 インフォームド・コンセントの実際) 産科と婦人科 73(増刊号):240-245, 2006[総説]
産婦人科学	婦人科心身症(1. 月経前症候群, 2. 増食障害) Newエッセンシャル 産科学・婦人科学 第3版 3:261-262, 2006[総説]	太田博明:婦人科心身症(1. 月経前症候群, 2. 増食障害) Newエッセンシャル 産科学・婦人科学 第3版 3:261-262, 2006[総説]
産婦人科学	更年期障害 Newエッセンシャル 産科学・婦人科学 第3版 3:266-270, 2006[総説]	太田博明:更年期障害 Newエッセンシャル 産科学・婦人科学 第3版 3:266-270, 2006[総説]
産婦人科学	エストロゲンの低下と骨関節疾患の発症 産科婦人科の最新医療(先端医療シリーズ39) 1:284-289, 2006[総説]	太田博明:エストロゲンの低下と骨関節疾患の発症 産科婦人科の最新医療(先端医療シリーズ39) 1:284-289, 2006[総説]
産婦人科学	SERMとしてのラロキシフェンの骨代謝作用 日本臨床(増刊号)「臨床分子内分泌学 4」64(4):411-418, 2006[総説]	太田博明:SERMとしてのラロキシフェンの骨代謝作用 日本臨床(増刊号)「臨床分子内分泌学 4」64(4):411-418, 2006[総説]
産婦人科学	骨和認症 産婦人科産科 60(4):595-599, 2006[総説]	太田博明:骨和認症 産婦人科産科 60(4):595-599, 2006[総説]
産婦人科学	5. SERMの誕生 タモキシフェンとラロキシフェン(トータルヘルスケアとしての更年期医療) 92(5):878-887, 2006[総説]	太田博明:5. SERMの誕生 タモキシフェンとラロキシフェン(トータルヘルスケアとしての更年期医療) 92(5):878-887, 2006[総説]
産婦人科学	骨粗鬆症 新概念 新機 産婦人科診療 1:224-229, 2006[総説]	太田博明:骨粗鬆症 新概念 新機 産婦人科診療 1:224-229, 2006[総説]
産婦人科学	ラロキシフェンに対するトータルヘルスケアへの期待 SERM 1:30-41, 2006[総説]	太田博明:ラロキシフェンに対するトータルヘルスケアへの期待 SERM 1:30-41, 2006[総説]
産婦人科学	骨型アルカリホスファターゼ(BAP) CLINICAL CALCIUM 16(6):138-144, 2006[総説]	太田博明:骨型アルカリホスファターゼ(BAP) CLINICAL CALCIUM 16(6):138-144, 2006[総説]
産婦人科学	6. 性差医療とワムズヘルス(トータルヘルスケアとしての更年期医療) 産婦人科治療 92(6):1005-1011, 2006[総説]	太田博明:6. 性差医療とワムズヘルス(トータルヘルスケアとしての更年期医療) 産婦人科治療 92(6):1005-1011, 2006[総説]
産婦人科学	女性ホルモン療法(更年期障害, 骨粗鬆症) Geriatric Medicine 44(5):645-652, 2006[総説]	太田博明:女性ホルモン療法(更年期障害, 骨粗鬆症) Geriatric Medicine 44(5):645-652, 2006[総説]
産婦人科学	運動の介入による骨と筋膜および骨折の予防 医学のあゆみ 217(11):1041-1046, 2006[総説]	太田博明:運動の介入による骨と筋膜および骨折の予防 医学のあゆみ 217(11):1041-1046, 2006[総説]
産婦人科学	更年期障害 対応 「内分泌疾患群(第2版)」別冊 日本臨床 新領域別疾患群シリーズ no.2 2:442-447, 2006[総説]	太田博明:更年期障害 対応 「内分泌疾患群(第2版)」別冊 日本臨床 新領域別疾患群シリーズ no.2 2:442-447, 2006[総説]
産婦人科学	骨粗鬆症と性差 産婦人科産科 60(6):873-879, 2006[総説]	太田博明:骨粗鬆症と性差 産婦人科産科 60(6):873-879, 2006[総説]
産婦人科学	SERMとは? その特徴と作用のメカニズム 性差と医療 3(7):19-23, 2006[総説]	太田博明:SERMとは? その特徴と作用のメカニズム 性差と医療 3(7):19-23, 2006[総説]
産婦人科学	7.骨代謝マーカーによる骨粗鬆症診療の進歩(トータルヘルスケアとしての更年期医療) 産婦人科治療 93(1):103-110, 2006[総説]	太田博明:7.骨代謝マーカーによる骨粗鬆症診療の進歩(トータルヘルスケアとしての更年期医療) 産婦人科治療 93(1):103-110, 2006[総説]
産婦人科学	骨代謝年齢からの予防(骨粗鬆症の予防) THE BONE 20(4):25-32, 2006[総説]	太田博明:骨代謝年齢からの予防(骨粗鬆症の予防) THE BONE 20(4):25-32, 2006[総説]
産婦人科学	8.骨粗鬆症および骨折に対する運動の関与(トータルヘルスケアとしての更年期医療) 産婦人科治療 93(2):225-230, 2006[総説]	太田博明:8.骨粗鬆症および骨折に対する運動の関与(トータルヘルスケアとしての更年期医療) 産婦人科治療 93(2):225-230, 2006[総説]
産婦人科学	代謝マーカーによるモニタリング(ビスホスホネート) 日本臨床 64(9):1663-1669, 2006[総説]	太田博明:代謝マーカーによるモニタリング(ビスホスホネート) 日本臨床 64(9):1663-1669, 2006[総説]
産婦人科学	予防と治療のガイドラインupdate 現行のガイドラインの概要と2006年度版改訂作業の紹介 カレントテラピー 24(9):19-23, 2006[総説]	太田博明:予防と治療のガイドラインupdate 現行のガイドラインの概要と2006年度版改訂作業の紹介 カレントテラピー 24(9):19-23, 2006[総説]
産婦人科学	9.わが国に於ける骨粗鬆症の予防と治療のガイドラインUPDATE(トータルヘルスケアとしての更年期医療) 産婦人科治療 93(4):469-474, 2006[総説]	太田博明:9.わが国に於ける骨粗鬆症の予防と治療のガイドラインUPDATE(トータルヘルスケアとしての更年期医療) 産婦人科治療 93(4):469-474, 2006[総説]
産婦人科学	閉経女性と動脈硬化 産婦人科治療 93(5):519-528, 2006[総説]	太田博明:閉経女性と動脈硬化 産婦人科治療 93(5):519-528, 2006[総説]
産婦人科学	[TRUTH試験]における結果の意味するもの SERM 2:20-23, 2006[総説]	太田博明:[TRUTH試験]における結果の意味するもの SERM 2:20-23, 2006[総説]
産婦人科学	骨粗鬆症のスクリーニング 産婦人科の実際 55(1):1944-1952, 2006[総説]	太田博明:骨粗鬆症のスクリーニング 産婦人科の実際 55(1):1944-1952, 2006[総説]
産婦人科学	更年期障害で何?どうして更年期障害になるの? IM 16(11):906-907, 2006[総説]	太田博明:更年期障害で何?どうして更年期障害になるの? IM 16(11):906-907, 2006[総説]
産婦人科学	10.メタボリックシンドロームへの傾きにおける実態の把握と対応(トータルヘルスケアとしての更年期医療) 産婦人科治療 93(6):723-732, 2006[総説]	太田博明:10.メタボリックシンドロームへの傾きにおける実態の把握と対応(トータルヘルスケアとしての更年期医療) 産婦人科治療 93(6):723-732, 2006[総説]
産婦人科学	更年期障害の治療と効果(Q&A 産婦人科) 日本医事新報 4311:93-95, 2006[総説]	太田博明:更年期障害の治療と効果(Q&A 産婦人科) 日本医事新報 4311:93-95, 2006[総説]
産婦人科学	Osteo Overview アレンドロネコートの週1回投与 オステオアゴラ 06(総説) 14-15, 2006[総説]	太田博明:Osteo Overview アレンドロネコートの週1回投与 オステオアゴラ 06(総説) 14-15, 2006[総説]
産婦人科学	12. ホルモン補充療法と心血管疾患(トータルヘルスケアとしての更年期医療) 産婦人科治療 94(1):112-119, 2006[総説]	太田博明:12. ホルモン補充療法と心血管疾患(トータルヘルスケアとしての更年期医療) 産婦人科治療 94(1):112-119, 2006[総説]
産婦人科学	4. 骨粗鬆症診療における検査 一骨粗鬆症診療における検査一骨質測定、骨粗X線像および骨代謝マーカーについて(トータルヘルスケア) 産婦人科治療 92(4):445-453, 2006[症例報告]	太田博明:4. 骨粗鬆症診療における検査 一骨粗鬆症診療における検査一骨質測定、骨粗X線像および骨代謝マーカーについて(トータルヘルスケア) 産婦人科治療 92(4):445-453, 2006[症例報告]
産婦人科学	ヘルス ナビ(骨粗鬆症) 疾患の風(350):26-27, 2006[研究報告]	太田博明:ヘルス ナビ(骨粗鬆症) 疾患の風(350):26-27, 2006[研究報告]
産婦人科学	婦人科Cancer survivorの癌細胞・病別別の腰椎骨密度の解析 婦人科良性疾患側面廻転例と比較して、癌生存例の骨粗鬆症発症についての実態調査ならびに予防治療指針の策定 報告書-平成17年度老人保健健康推進等事業(骨粗鬆症財团):41-46, 2006[研究報告]	太田博明:婦人科Cancer survivorの癌細胞・病別別の腰椎骨密度の解析 婦人科良性疾患側面廻転例と比較して、癌生存例の骨粗鬆症発症についての実態調査ならびに予防治療指針の策定 報告書-平成17年度老人保健健康推進等事業(骨粗鬆症財团):41-46, 2006[研究報告]
産婦人科学	骨粗鬆症診療におけるSERM療法の実際—骨粗鬆症におけるSERMとHRTとの差別化 Osteoporosis Japan 14:198-202, 2006[原著論文]	岡野浩哉, 太田博明:骨粗鬆症診療におけるSERM療法の実際—骨粗鬆症におけるSERMとHRTとの差別化 Osteoporosis Japan 14:198-202, 2006[原著論文]
産婦人科学	わが教室における骨粗鬆症の診断と治療 産婦人科治療 92(4):423-429, 2006[症例報告]	岡野浩哉, 宮原優子, 吉形玲美, 石谷 健, 太田博明:わが教室における骨粗鬆症の診断と治療 産婦人科治療 92(4):423-429,
産婦人科学	Serum ionized magnesium during magnesium sulfate administration for preterm labor and preeclampsia. Eur J Obstet Gynecol & Repro Biol 128:125-128, 2006[原著論文]	Yoshida Mayumi, Matsuda Yoshio, Akizawa Yoshika, Ono Erina, Ohta Hiroaki: Serum ionized magnesium during magnesium sulfate administration for preterm labor and preeclampsia. Eur J Obstet Gynecol & Repro Biol 128:125-128, 2006[原著論文]
産婦人科学	Serum ionized Magnesium during Magnesium Sulfate Administration for Preterm labour and Preeclampsia. European Journal of Obstetrics & Gynecology and Reproductive Biology 128:125-128, 2006[総説]	Yoshida Mayumi, Matsuda Yoshio, Akizawa Yoshika, Ono Erina, Ohta Hiroaki: Serum ionized Magnesium during Magnesium Sulfate Administration for Preterm labour and Preeclampsia. European Journal of Obstetrics & Gynecology and Reproductive Biology 128:125-128, 2006[総説]
産婦人科学	Immunohistochemical Characteristics of Mature Ovarian Cystic Teratomas in Patients With Postoperative Recurrence. International Journal of Gynecological Pathology 25(1):95-100, 2006[総説]	Yoshikata Remi, Yamamoto Tomoko, Kobayashi Makio, Ohta Hiroaki: Immunohistochemical Characteristics of Mature Ovarian Cystic Teratomas in Patients With Postoperative Recurrence. International Journal of Gynecological Pathology 25(1):95-100, 2006[総説]
産婦人科学	産婦人科領域から見た骨粗鬆症の臨床 アルカイド研究会会誌 32:73-83, 2006[症例報告]	岡野浩哉:産婦人科領域から見た骨粗鬆症の臨床 アルカイド研究会会誌 32:73-83, 2006[症例報告]
眼科学	アレルギー性結膜炎疾患ガイドライン 日本眼科学会雑誌 110(2):99-140, 2006[総説]	海老原伸行, 大鶴裕一, 冈本茂樹, 旗谷直樹, 台所 順, 高村悦子, 中川やよい, 南場研一, 福島政樹, 藤島 浩:アレルギー性結膜疾患診療ガイドライン 日本眼科学会雑誌 110(2):99-140, 2006[総説]
眼科学	The Early Efficacy of Topical Levocabastine in Patients with Allergic Conjunctivitis. Allergology International 55(3):301-303, 2006[原著論文]	Fujishima Hiroshi, Fukagawa Kazumi, Takano Yoji, Okamoto Shigeki, Nakagawa Yayoi, Uchio Eiichi, Yokoi Norihiko, Fukushima Atsuki, Takamura Etsuko: The Early Efficacy of Topical Levocabastine in Patients with Allergic Conjunctivitis. Allergology International 55(3):301-303, 2006[原著論文]
眼科学	Vitreous Levels of Pigment Epithelium-Derived Factor and Vascular Endothelial Growth Factor Are Related to Diabetic Macular Edema. Ophthalmology 113:294-301, 2006[原著論文]	Funatsu Hideharu, Yamashita Hidetoshi, Nakamura Shinko, Mimura Tatsuya, Eguchi Shuichiro, Noma Hidetaka, Hori Sadao: Vitreous Levels of Pigment Epithelium-Derived Factor and Vascular Endothelial Growth Factor Are Related to Diabetic Macular Edema. Ophthalmology 113:294-301, 2006[原著論文]
眼科学	Tracing Method in the Assessment of Retinal Capillary Blood Flow Velocity by Fluorescein Angiography with Scanning Laser Ophthalmoscope. Jpn J Ophthalmol 50:25-32, 2006[原著論文]	Hori Sadao, Hidemaru, Sakata Kumi, Harino Seiyo, Okuzawa Yukio, Noma Hidetaka, Hori Sadao: Tracing Method in the Assessment of Retinal Capillary Blood Flow Velocity by Fluorescein Angiography with Scanning Laser Ophthalmoscope. Jpn J Ophthalmol 50:25-32, 2006[原著論文]
眼科学	統癆網内障を合併したAIDS関連サイトメガロウイルス網膜炎. 特集 第59回日本臨床眼科学会講演集 原著論文 60(6):1001-1005, 5006[原著論文]	林 啓宣, 岩川真知子, 滝中暁彦, 豊口光子, 山村由紀子, 球 貞夫:統癆網内障を合併したAIDS関連サイトメガロウイルス網膜炎. 特集 第59回日本臨床眼科学会講演集 原著論文 60(6):1001-1005, 5006[原著論文]
眼科学	クラミジア結膜炎、眼科インストラクションコース No.6 眼感染症 ケース別まるごとマスター 1(1):50-55, 2006[総説]	水全登穂子:クラミジア結膜炎、眼科インストラクションコース No.6 眼感染症 ケース別まるごとマスター 1(1):50-55, 2006[総説]
眼科学	2006年トライアド診断基準. あららしい眼科 24(2):181-184, 2006[総説]	木下 康, 大橋裕一, 下村嘉一, 田川義雄, 清野 幸, 高村悦子, 横井則彦, 渡辺 仁, 岩崎 達:2006年トライアド診断基準. あららしい眼科 24(2):181-184, 2006[総説]
眼科学	解剖中心ずれの高次収差への影響. 日本視能訓練士協会誌(35):69-76, 2006[原著論文]	倉岡佐知子, 須藤史子, 岩村恵美子, 佐藤千秋, 高橋みどり:解剖中心ずれの高次収差への影響. 日本視能訓練士協会誌(35):69-76, 2006[原著論文]

部署名	タイトル	著者
眼科学	An Endothelin Type A Receptor Antagonist Reverses Upregulated VEGF and ICAM-1 Levels in Streptozotocin-Induced Diabetic Rat Retina. Current Eye Research 31:79-89, 2006[原著論文]	Masuhara Koichi, Goto Katsutoshi, Subrina Jesmin, Maeda Seiji, Miyauchi Takashi, Kaji Yuichi, Oshika Tetsuro, Hori Sadao : An Endothelin Type A Receptor Antagonist Reverses Upregulated VEGF and ICAM-1 Levels in Streptozotocin-Induced Diabetic Rat Retina. Current Eye Research 31:79-89, 2006[原著論文]
眼科学	Tilt and decentration of the intraocular lens following combined vitrectomy and pars plana lensectomy. Acta Ophthalmol. Scand. 84:388-389, 2006[原著論文]	Ohara Kozue, Katai Satoshi, Hori Sadao, Kitano Shigehiko : Tilt and decentration of the intraocular lens following combined vitrectomy and pars plana lensectomy. Acta Ophthalmol. Scand. 84:388-389, 2006[原著論文]
眼科学	Ocular Neuromyotonia With Spastic Lid Closure. J Neuro-Ophthalmol 26(4):244-247, 2006[原著論文]	Ohira Akihiko, Furuya Tatsuyuki: Ocular Neuromyotonia With Spastic Lid Closure. J Neuro-Ophthalmol 26(4):244-247, 2006[原著論文]
眼科学	Relationship between Macular Microcirculation and Progression of Diabetic Macular Edema. Ophthalmology 113(8):1385-1391, 2006[原著論文]	酒田久光, 船井英男, 見野正美, 野間英翠, 堀 貞夫: Relationship between Macular Microcirculation and Progression of Diabetic Macular Edema. Ophthalmology 113(8):1385-1391, 2006[原著論文]
眼科学	大学病院眼科における電子カルテ化による利点・欠点. 医療情報学 26:259-262, 2006[原著論文]	篠崎和美, 荒木博子, 豊口光子, 堀 貞夫: 大学病院眼科における電子カルテ化による利点・欠点. 医療情報学 26:259-262, 2006[原著論文]
眼科学	特集トライア（診療の最前線）3. 人口渡波のすべて. 眼科 48(7):1001-1008, 2006[原著論文]	篠崎和美, 特集トライア（診療の最前線）3. 人口渡波のすべて. 眼科 48(7):1001-1008, 2006[原著論文]
眼科学	アレルギーによる目の病気. 目と健康シリーズ(29):1-6, 2006[総説]	高村悦子:アレルギーによる目の病気. 目と健康シリーズ(29):1-6, 2006[総説]
眼科学	Effect of perioperative glycemic control in progression of diabetic retinopathy and maculopathy.. Archives Ophthalmology(124):38-45, 2006[総説]	Suto Chikako, Hori Sadao, Katai Satoshi, Murakami Kanemitsu, Kitano Shigehiko : Effect of perioperative glycemic control in progression of diabetic retinopathy and maculopathy.. Archives Ophthalmology(124):38-45, 2006[総説]
眼科学	Efficacy of Levocabastine Hydrochloride Ophthalmic Suspension in the Conjunctival Allergen Challenge Test in Japanese Subjects with Seasonal Allergic Conjunctivitis. Allergology International 55(2):157-165, 2006[原著論文]	Takamatsu Etsuko, Nomura Keiichi, Fujishima Hiroshi, Fukagawa Kazumi, Satake Yoshiyuki, Fukuda Yuka, Sawa Mitsuru, Uchida Eiji: Efficacy of Levocabastine Hydrochloride Ophthalmic Suspension in the Conjunctival Allergen Challenge Test in Japanese Subjects with Seasonal Allergic Conjunctivitis. Allergology International 55(2):157-165, 2006[原著論文]
眼科学	患者さんに伝えたい！花粉症から目を守る知識50. 眼科ケア 8(2):10-15, 2006[総説]	高村悦子:患者さんに伝えたい！花粉症から目を守る知識50. 眼科ケア 8(2):10-15, 2006[総説]
眼科学	アレルギー性結膜疾患. 総合臨床 55(4):1349-1350, 2006[総説]	高村悦子:アレルギー性結膜疾患. 総合臨床 55(4):1349-1350, 2006[総説]
眼科学	シクロスボリン点眼液の自家調整法と臨床応用について教えてください。あたらしい眼科 23(295):163-165, 2006[総説]	高村悦子:シクロスボリン点眼液の自家調整法と臨床応用について教えてください。あたらしい眼科 23(295):163-165, 2006[総説]
眼科学	女性外來ハンドブックこんなときどうする？「自分で救います（トライア）」. 女性外來診療指針:86-86, 2006[総説]	高村悦子:女性外來ハンドブックこんなときどうする？「自分で救います（トライア）」. 女性外來診療指針:86-86, 2006[総説]
眼科学	特集：アレルギー性結膜疾患. 症状ガイドライン. 予防と治療. アレルギーの臨床 26(8):39-44, 2006[総説]	高村悦子:特集：アレルギー性結膜疾患. 症状ガイドライン. 予防と治療. アレルギーの臨床 26(8):39-44, 2006[総説]
眼科学	レジデンスのためのトライア問題トライアのオーバービュー. Frontiers in Dry Eye 1(1):65-67, 2006[総説]	高村悦子:レジデンスのためのトライア問題トライアのオーバービュー. Frontiers in Dry Eye 1(1):65-67, 2006[総説]
眼科学	Siogren症候群に対する透析プロトコル治療のコツ 上下のプログラを行なう必要性について. あたらしい眼科 23(8):1033-1034, 2006[総説]	高村悦子:Siogren症候群に対する透析プロトコル治療のコツ 上下のプログラを行なう必要性について. あたらしい眼科 23(8):1033-1034, 2006[総説]
眼科学	子どものための花粉症対策! 眼科における花粉症の診察. チャイルドヘルス 9(2):24-24, 2006[総説]	高村悦子:子どものための花粉症対策! 眼科における花粉症の診察. チャイルドヘルス 9(2):24-24, 2006[総説]
眼科学	アレルギー疾患ガイドライン(アレルギー性結膜疾患ガイドライン). Topics in Atopy 5(3):45-50, 2006[総説]	高村悦子:アレルギー疾患ガイドライン(アレルギー性結膜疾患ガイドライン). Topics in Atopy 5(3):45-50, 2006[総説]
眼科学	明視結膜炎(ブル熱). 感染. 発症. 免疫 36(2):63-65, 2006[総説]	高村悦子:明視結膜炎(ブル熱). 感染. 発症. 免疫 36(2):63-65, 2006[総説]
耳鼻咽喉科学	症候群辞典—BO-BOR syndrome. 耳喉頭鉢 78(5増刊):44, 2006[総説]	高村悦子:頭頸部疾患(ブル熱). 症候群辞典—BO-BOR syndrome. 耳喉頭鉢 78(5増刊):44, 2006[総説]
耳鼻咽喉科学	飲酒と喉声. JOHNS 22(4):535-538, 2006[総説]	今井隆之, 金子富善吉, 山本幸一, 吉原俊雄:飲酒と喉声. JOHNS 22(4):535-538, 2006[総説]
耳鼻咽喉科学	上咽頭に発生した横紋筋肉腫の一症例. 耳喉頭鉢 77(7):426-427, 2005[症例報告]	今井 隆之, 森川 敏之, 丹羽 明男, 青原 俊雄:上咽頭に発生した横紋筋肉腫の一症例. 耳喉頭鉢 77(7):426-427, 2005[症例報告]
耳鼻咽喉科学	側頭骨線維性骨異形成症の一例. 頭頸部外科 15(3):181-186, 2005[原著論文]	森川 敏之, 桑川 梅三, 丹羽 明男, 青原 俊雄:側頭骨線維性骨異形成症の一例. 頭頸部外科 15(3):181-186, 2005[原著論文]
耳鼻咽喉科学	健聴治療器による島陰茎異物症例. 耳喉頭鉢 78(12):916-917, 2006[総説]	森川 敏之, 清水義治:健聴治療器による島陰茎異物症例. 耳喉頭鉢 78(12):916-917, 2006[総説]
耳鼻咽喉科学	癡聴性難聴症—Bouillaud syndrome. 耳喉頭鉢 78(5増刊):45, 2006[総説]	西崎 文哉, 山村 審一, 吉原 俊雄:痴聴性難聴症—Bouillaud syndrome. 耳喉頭鉢 78(5増刊):45, 2006[総説]
耳鼻咽喉科学	外來交通事故防止マニアル 耳鼻咽喉科の生技. JOHNS 21(8):1165-1168, 2005[総説]	西崎 文哉, 山村 審一, 吉原 俊雄:外來交通事故防止マニアル 耳鼻咽喉科の生技. JOHNS 21(8):1165-1168, 2005[総説]
耳鼻咽喉科学	ペインコントロール 耳鼻咽喉頭頸部疾患の手術. JOHNS 21(6):853-857, 2005[総説]	吉原俊雄:ペインコントロール 耳鼻咽喉頭頸部疾患の手術. JOHNS 21(6):853-857, 2005[総説]
耳鼻咽喉科学	AIDS治療中の免疫再構築症候群による頸部腫瘍の1症例. 日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌 24(1):117-120, 2006[症例報告]	岡良和, 山村幸江, 吉原俊雄: AIDS治療中の免疫再構築症候群による頸部腫瘍の1症例. 日本耳鼻咽喉科感染症研究会会誌 24(1):117-120, 2006[症例報告]
耳鼻咽喉科学	症候群辞典—Brusa-Torricelli syndrome. 耳喉頭鉢 78(5増刊):47, 2006[総説]	須納清弘:症候群辞典—Brusa-Torricelli syndrome. 耳喉頭鉢 78(5増刊):47, 2006[総説]
耳鼻咽喉科学	滲出性中耳炎 up date 後遺症合併症. ENTOM 68(10):65-73, 2006[総説]	須納清弘:滲出性中耳炎 up date 後遺症合併症. ENTOM 68(10):65-73, 2006[総説]
耳鼻咽喉科学	高齢者の成年器喉嚨小耳中耳の手術. 老年医学 44(6):767-771, 2006[総説]	須納清弘:高齢者の成年器喉嚨小耳中耳の手術. 老年医学 44(6):767-771, 2006[総説]
耳鼻咽喉科学	拡大視野・手術—マイクロソーラーシャーにおける半規管廻孔の取り扱い. JOHNS 22(5):725-728, 2006[総説]	須納清弘:拡大視野・手術—マイクロソーラーシャーにおける半規管廻孔の取り扱い. JOHNS 22(5):725-728, 2006[総説]
耳鼻咽喉科学	MRI症例ファイル 中頭蓋窩良性腫瘍. JOHNS 21(3):357-364, 2005[総説]	須納清弘:中頭蓋窩良性腫瘍. JOHNS 21(3):357-364, 2005[総説]
耳鼻咽喉科学	耳鼻咽喉科中耳炎 Open法. 耳喉頭鉢 77(5):73-86, 2005[総説]	須納清弘:耳鼻咽喉科中耳炎 Open法. 耳喉頭鉢 77(5):73-86, 2005[総説]
耳鼻咽喉科学	耳鼻咽喉科における難治性疾患 雜体部真珠腫. JOHNS 21(9):1223-1226, 2005[総説]	須納清弘:耳鼻咽喉科における難治性疾患 雜体部真珠腫. JOHNS 21(9):1223-1226, 2005[総説]
耳鼻咽喉科学	Canal wall down法における耳小骨迷路再建. 頭頸部外科 15(1):33-37, 2005[総説]	須納清弘:Canal wall down法における耳小骨迷路再建. 頭頸部外科 15(1):33-37, 2005[総説]
耳鼻咽喉科学	耳鼻咽喉科に役立つ幼少兒症のポイント 小兒耳鼻咽喉科診断・側頭部. JOHNS 21(10):1498-1502, 2005[総説]	須納清弘:耳鼻咽喉科に役立つ幼少兒症のポイント 小兒耳鼻咽喉科診断・側頭部. JOHNS 21(10):1498-1502, 2005[総説]
耳鼻咽喉科学	Ameloblastoma of the maxilla: Report of a Case. Jpn J Rhinol 43(2):218-221, 2004[原著論文]	Yamamoto Yukio, Nishizumi Itomi, Suzuki Saori, Yoshihara Toshio: Ameloblastoma of the maxilla: Report of a Case. Jpn J Rhinol 43(2):218-221, 2004[原著論文]
耳鼻咽喉科学	上顎洞HSE液腫の1例. 耳喉頭鉢 78(8):547-550, 2006[原著論文]	山村幸江, 吉原俊雄:上顎洞HSE液腫の1例. 耳喉頭鉢 78(8):547-550, 2006[原著論文]
耳鼻咽喉科学	口腔乾燥症の診断と治療 一図内疾患と口腔乾燥症. ENTOM 65:25-28, 2006[総説]	山村幸江, 吉原俊雄:口腔乾燥症の診断と治療 一図内疾患と口腔乾燥症. ENTOM 65:25-28, 2006[総説]
耳鼻咽喉科学	症候群辞典—Bloem syndrome. 耳喉頭鉢 78(5増刊):43, 2006[総説]	山村幸江, 吉原俊雄:症候群辞典—Bloem syndrome. 耳喉頭鉢 78(5増刊):43, 2006[総説]
耳鼻咽喉科学	特集—難聴性疾患 3. 正中頭頸. 耳喉頭鉢 77(6):371-374, 2005[総説]	山村幸江, 今井 隆之, 吉原 俊雄:特集—難聴性疾患 3. 正中頭頸. 耳喉頭鉢 77(6):371-374, 2005[総説]
耳鼻咽喉科学	頸液腺癌 頸液腺癌小耳の診断と治療. ENTOM 69:32-36, 2006[総説]	吉原俊雄:頸液腺癌 小耳の診断と治療. ENTOM 69:32-36, 2006[総説]
耳鼻咽喉科学	血管瘤 頭頸部の血管瘤—腫瘍性血管瘤をどう扱うか. JOHNS 22(11):1561-1564, 2006[総説]	吉原俊雄:血管瘤 頭頸部の血管瘤—腫瘍性血管瘤をどう扱うか. JOHNS 22(11):1561-1564, 2006[総説]
耳鼻咽喉科学	小耳の血液凝固症. 小兒外科学 38(1):1362-1365, 2006[総説]	吉原俊雄:小耳の血液凝固症. 小兒外科学 38(1):1362-1365, 2006[総説]
耳鼻咽喉科学	唾液腺の痛み. 耳喉頭鉢 78(2):129-132, 2006[総説]	吉原俊雄:唾液腺の痛み. 耳喉頭鉢 78(2):129-132, 2006[総説]
耳鼻咽喉科学	別耳下臍・ステノ管の手術. 耳鼻臨床 99(1):80-81, 2006[総説]	吉原俊雄:別耳下臍・ステノ管の手術. 耳鼻臨床 99(1):80-81, 2006[総説]
耳鼻咽喉科学	知っておきたい耳鼻咽喉科疾患の病理—喉頭癌. 耳喉頭鉢 78(7):477-482, 2006[総説]	吉原俊雄:知っておきたい耳鼻咽喉科疾患の病理—喉頭癌. 耳喉頭鉢 78(7):477-482, 2006[総説]
耳鼻咽喉科学	下原良恵先生. JOHNS 21:447-451, 2005[総説]	吉原 俊雄: 下原良恵先生. JOHNS 21:447-451, 2005[総説]
耳鼻咽喉科学	耳鼻咽喉科における難治性疾患 難聴性耳下腺多形腺腫. JOHNS 21(9):1375-1379, 2005[総説]	吉原俊雄:耳鼻咽喉科における難治性疾患 難聴性耳下腺多形腺腫. JOHNS 21(9):1375-1379, 2005[総説]
耳鼻咽喉科学	耳鼻咽喉科に使われる手術器具 29. 頭頸部手術に使うビンセット、剥離剪刀. JOHNS 21(11):1705-1707, 2005[総説]	吉原 俊雄:耳鼻咽喉科に使われる手術器具 29. 頭頸部手術に使うビンセット、剥離剪刀. JOHNS 21(11):1705-1707, 2005[総説]
耳鼻咽喉科学	頭頸部肿瘤の病理診断. 頭頸部肿瘤の臨床. 耳鼻咽喉科の立場から. 病理と臨床 23(1):1160-1166, 2005[総説]	吉原俊雄:頭頸部肿瘤の病理診断. 頭頸部肿瘤の臨床. 耳鼻咽喉科の立場から. 病理と臨床 23(1):1160-1166, 2005[総説]
放射線医学(放射線科)	Radiation therapy for T2N0 laryngeal cancer. A retrospective analysis for the impact of concurrent chemotherapy on local control. Int J Radiat Oncol Biol Phys 64(4):995-1001, 2006[原著論文]	Akimoto Testuo, Nonaka Tetsuo, Kitamoto Yoshizumi, Ishikawa Hitoshi, Ninomiya Hiroshi, Chikamatsu Kazushige, Furuya Nobuhiko, Hayakawa Kazushige, Mitsuhashi Norio, Nakano Takashi: Radiation therapy for T2N0 laryngeal cancer. A retrospective analysis for the impact of concurrent chemotherapy on local control. Int J Radiat Oncol Biol Phys 64(4):995-1001, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	高線量率組織内照射の適応と効果. 臨床放射線別冊 前立腺癌放射線治療のすべて 51:155-162, 2006[総説]	秋元哲夫:高線量率組織内照射の適応と効果. 臨床放射線別冊 前立腺癌放射線治療のすべて 51:155-162, 2006[総説]
放射線医学(放射線科)	放射線治療における内分沁療法の併用の意義と考え方. 臨床放射線別冊 前立腺癌放射線治療のすべて 51:218-225, 2006[総説]	秋元哲夫:放射線治療における内分沁療法の併用の意義と考え方. 臨床放射線別冊 前立腺癌放射線治療のすべて 51:218-225, 2006[総説]
放射線医学(放射線科)	外部照射併用高線量率組織内照射による急性T期有害事象とQOL. 臨床放射線別冊 前立腺癌放射線治療のすべて 51:288-296, 2006[総説]	秋元哲夫:外部照射併用高線量率組織内照射による急性T期有害事象とQOL. 臨床放射線別冊 前立腺癌放射線治療のすべて 51:288-296, 2006[総説]

部署名	タイトル	著者
放射線医学(放射線科)	Multivoxel proton MRS for differentiation of radiation-induced necrosis and tumor recurrence after gamma knife radiosurgery for brain metastases. Brain Tumor Pathol 23(1):19-27, 2006[原著論文]	Chernof Mikhail, Hayashi Motohiro, Isawa Masahiro, Usukura Masao, Yoshida Shigeruhi, Ono Yuko, Muragaki Yoshihiro, Kubo Osami, Hori Tomokatsu: Multivoxel proton MRS for differentiation of radiation-induced necrosis and tumor recurrence after gamma knife radiosurgery for brain metastases. <i>Brain Tumor Pathol</i> 23(1):19-27, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	Comparison of H-MRS-detected metabolic characteristics in single metastatic brain tumors of different origin. Brain Tumor Pathol 23(1):35-40, 2006[原著論文]	Chernof Mikhail, Ono Yuko, Kubo Osami, Hori Tomokatsu : Comparison of H-MRS-detected metabolic characteristics in single metastatic brain tumors of different origin. <i>Brain Tumor Pathol</i> 23(1):35-40, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	Enhancement of radiosensitivity by dual inhibition of the HER family with ZD1839 ("Iressa") and trastuzumab ("Herceptin"). Int J Radiation Oncology Biol Phys 66(2):528-536, 2006[原著論文]	Fukutomo Mika, Maebayashi Katsuya, Nasu Sachiko, Seki Kaori, Mitsuhashi Norio: Enhancement of radiosensitivity by dual inhibition of the HER family with ZD1839 ("Iressa") and trastuzumab ("Herceptin"). <i>Int J Radiation Oncology Biol Phys</i> 66(2):528-536, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	高精度放射線治療のための品質保証. 臨床放射線 51(10):1179-1187, 2006[総説]	羽生祐二, 黒間将経, 士橋浩之, 大野 淳, 藤岡美代子, 野瀬百合子, 篠井至哉, 江面泰智, 森慎一郎, 那須佐知子, 三橋紀夫: 高精度放射線治療のための品質保証. <i>臨床放射線</i> 51(10):1179-1187, 2006[総説]
放射線医学(放射線科)	Accuracy of positron emission tomography for diagnosis of solid pulmonary lesions with 18F-fluorodeoxyglucose uptake below the standardized uptake value of 2.5. J Nucl Med 47:426-431, 2006[原著論文]	Hashimoto Yuichiro, Tsujikawa Tetsuya, Kondo Chisato, Maki Masako, Momose Mitsuru, Nagai Atsushi, Onuki Takamasa, Nishikawa Toshio, Kusakabe Kyoko : Accuracy of positron emission tomography for diagnosis of solid pulmonary lesions with 18F-fluorodeoxyglucose uptake below the standardized uptake value of 2.5. <i>J Nucl Med</i> 47:426-431, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	泌尿器感染症の画像診断(近畿・検査とイメージ診断2). 排尿障害プラクティス 14(2):165-169, 2006[総説]	早野敏郎, 桑鶴良平, 三橋紀夫: 泌尿器感染症の画像診断(近畿・検査とイメージ診断2). <i>排尿障害プラクティス</i> 14(2):165-169,
放射線医学(放射線科)	造影MRI診断の実際 ～脳腫瘍ガンマナイフ治療前の造影CISS画像診断における新たな有用性編. 臨床画像 22(4):352-354, 2006[総説]	林 茂弘, 白石雄雄, 小野由子, 鈴木 誠, 芦町直基: 造影MRI診断の実際 ～脳腫瘍ガンマナイフ治療前の造影CISS画像診断における新たな有用性編. <i>臨床画像</i> 22(4):352-354, 2006[総説]
放射線医学(放射線科)	Cycloxygenase-2(COX-2)-impairs treatment effects of radiotherapy for cervical cancer by inhibition of radiation-induced apoptosis. Int J Radiat Oncol Biol Phys 66(5):1347-1355, 2006[原著論文]	Ishikawa Hitoshi, Ohno Tatsuya, Kato Shingo, Wakatsuki Masaru, Ishikawa Mayumi, Ohta Toshiro, Imai Takashi, Mitsuhashi Norio, Noda Shin-ic, Nakano Takashi, Tsuji Hirohiko: Cycloxygenase-2(COX-2)-impairs treatment effects of radiotherapy for cervical cancer by inhibition of radiation-induced apoptosis. <i>Int J Radiat Oncol Biol Phys</i> 66(5):1347-1355, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	肺癌診断におけるPETの有用性. THE LUNG perspective 14:471-473, 2006[総説]	近藤千里: 肺癌診断におけるPETの有用性. <i>THE LUNG perspective</i> 14:471-473, 2006[総説]
放射線医学(放射線科)	悪物負担による心臓核医学検査. 小児内科 38(8):1463-1466, 2006[総説]	近藤千里: 悪物負担による心臓核医学検査. <i>小児内科</i> 38(8):1463-1466, 2006[総説]
放射線医学(放射線科)	256列CTを用いた立体CTによる心臓の評価－応用編－. 頭頸器科 60:561-568, 2006[研究報告]	近藤千里: 256列CTを用いて立体CTによる心臓の評価－応用編－. <i>頭頸器科</i> 60:561-568, 2006[研究報告]
放射線医学(放射線科)	256列CTを用いた立体CTによる心臓の評価. Invervention 21:53-56, 2006[研究報告]	近藤千里: 256列CTを用いた立体CTによる心臓の評価. <i>Invervention</i> 21:53-56, 2006[研究報告]
放射線医学(放射線科)	剛いでいる心臓をCTで見る. [isotope News] 629:7-13, 2006[研究報告]	近藤千里: 刚いでいる心臓をCTで見る. <i>[isotope News]</i> 629:7-13, 2006[研究報告]
放射線医学(放射線科)	PET検査における放射線管理－PET検査における被ばくと管理－. Isotope News 4:16-29, 2006[原著論文]	日下部さよ子: PET検査における放射線管理－PET検査における被ばくと管理－. <i>Isotope News</i> 4:16-29, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	放射線診断における被ばくと管理. 臨床画像 22(2):194-199, 2006[原著論文]	日下部さよ子: 放射線診断における被ばくと管理. <i>臨床画像</i> 22(2):194-199, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	放射線被ばくと防護. 核医学における被ばくと防護. Radiology Frontier 7(4):43-46, 2006[原著論文]	日下部さよ子: 放射線被ばくと防護. 核医学における被ばくと防護. <i>Radiology Frontier</i> 7(4):43-46, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	放射線被ばくと防護. 核医学における被ばくと防護. Radiology Frontier 7(4):43-46, 2006[原著論文]	日下部さよ子: 医療人として知っておくべき被ばくの知識. 6. PET診断における被ばくと管理05/10. 臨床画像 55(2):194-199, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	PETがん検診. 日本評論社. からだの科学 246:12-14, 2006[原著論文]	日下部さよ子: PETがん検診. 日本評論社. からだの科学 246:12-14, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	臨床に役立つ内分泌疾患診療マニュアル 3. 甲状腺疾患 8) 放射性ヨード療法. ホルモンと臨床 54(増刊号):113-116, 2006[原著論文]	日下部さよ子: 臨床に役立つ内分泌疾患診療マニュアル 3. 甲状腺疾患 8) 放射性ヨード療法. ホルモンと臨床 54(増刊号):113-116, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	良性内分泌疾患の治療成績 バセドウ病のアシトープ治療成績. 内分泌外科 23(1):13-17, 2006[原著論文]	日下部さよ子: 良性内分泌疾患の治療成績 バセドウ病のアシトープ治療成績. <i>内分泌外科</i> 23(1):13-17, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	放射性医薬品副作用事例調査報告 第27報 日本アシトープ協会 医学薬学会部 放射性医薬品安全性専門委員会. 核医学 43(1):23-35, 2006[原著論文]	日下部さよ子: 放射性医薬品副作用事例調査報告 第27報 日本アシトープ協会 医学薬学会部 放射性医薬品安全性専門委員会. <i>核医学</i> 43(1):23-35, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	放射性医薬品副作用事例報告について 日本アシトープ協会 医学薬学会部 放射性医薬品安全性専門委員会. 核医学 43(11):325-330, 2006[原著論文]	日下部さよ子: 放射性医薬品副作用事例報告について 日本アシトープ協会 医学薬学会部 放射性医薬品安全性専門委員会. <i>核医学</i> 43(11):325-330, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	放射性医薬品副作用－PETを中心とした患者および医療者の被ばくの知識. 月間医事 48(3):29-32, 2006[原著論文]	日下部さよ子: 放射性医薬品副作用－PETを中心とした患者および医療者の被ばくの知識. <i>月間医事</i> 48(3):29-32, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	放射線科のテクニカルアドバイス その2. 東女医大臨76(7):274-276, 2006[総説]	森勤良平: 放射線科医のテクニカルアドバイス その2. <i>東女医大臨</i> 76(7):274-276, 2006[総説]
放射線医学(放射線科)	放射線医学(放射線科)時代の画像診断について(特集) 対象子カルテと画像. Rad. Fan 3(4):27-31, 2005[総説]	森勤良平: 対象子カルテ時代の画像診断について(特集) 対象子カルテと画像. <i>Rad. Fan</i> 3(4):27-31, 2005[総説]
放射線医学(放射線科)	カルテ時代の画像診断について(特集) 対象子カルテと画像. Rad. Fan 3(4):27-31, 2005[総説]	森勤良平: 対象子カルテ時代の画像診断について(特集) 対象子カルテと画像. <i>Rad. Fan</i> 3(4):27-31, 2005[総説]
放射線医学(放射線科)	カルテ時代の画像診断について(特集) 対象子カルテと画像. Rad. Fan 3(4):27-31, 2005[総説]	森勤良平: 対象子カルテ時代の画像診断について(特集) 対象子カルテと画像. <i>Rad. Fan</i> 3(4):27-31, 2005[総説]
放射線医学(放射線科)	近畿の放射線治療法の進歩 強度変調放射線治療(IMRT). 痘と化学療法 33(4):436-443, 2005[総説]	前林勝也, 那須佐知子, 関 香織, 清原 誠, 須本弥一郎, 三橋紀夫: 最近の放射線治療法の進歩 強度変調放射線治療(IMRT). <i>癌と化学療法</i> 33(4):436-443, 2005[総説]
放射線医学(放射線科)	強度変調放射線治療(IMRT) (特集 最近の放射線治療法の進歩) 瘡と化学療法 33(4):436-443, 2005[総説]	前林勝也, 那須佐知子, 関 香織, 清原 誠, 須本弥一郎, 三橋紀夫: 最近の放射線治療法の進歩) 瘡と化学療法 33(4):436-443, 2005[総説]
放射線医学(放射線科)	Inguinal dedifferentiated liposarcoma with meningotheial-like whorls and metaplastic bone formation. Histopathology 46:587-599, 2005[総説]	Matsumoto T, Fukunaga M, Fujii H, Arakawa A, Yamasaki S, Takase M, Kuwatsuru Ryohei, Ishii Y, Fujime M: Inguinal dedifferentiated liposarcoma with meningotheial-like whorls and metaplastic bone formation. <i>Histopathology</i> 46:587-599, 2005[総説]
放射線医学(放射線科)	話題のナリ 塩酸ピコラビン錠. 日病誌 46(6):823-827, 2005[総説]	日下部さよ子: 話題のナリ 塩酸ピコラビン錠. <i>日病誌</i> 46(6):823-827, 2005[総説]
放射線医学(放射線科)	放射線科の将来像 大学間の垣根を越えた放射線診療センターの設立と積極的な人材交流を(特集 大学病院放射線科教授に聞く改革!). DIGITAL MEDICINE 6(3):33, 2006[総説]	三橋紀夫: 放射線科の将来像 大学間の垣根を越えた放射線診療センターの設立と積極的な人材交流を(特集 大学病院放射線科教授に聞く改革!). <i>DIGITAL MEDICINE</i> 6(3):33, 2006[総説]
放射線医学(放射線科)	β receptor imaging. 日本心臓核医学年会ニュースレター 8(4):8-8, 2006[総説]	日下部さよ子: β receptor imaging. 日本心臓核医学年会ニュースレター 8(4):8-8, 2006[総説]
放射線医学(放射線科)	Volumetric coronary angiography using the 256-detector row computed tomography scanner: comparison of in vivo and in vitro imaging with porcine models. Acta Radiol 47:186-191, 2006[原著論文]	Monti Shinichiro, Kondo Chisato, Suzuki Naoki, Kusakabe Masahiro, Endo Masahiro: Volumetric coronary angiography using the 256-detector row computed tomography scanner: comparison of in vivo and in vitro Imaging with porcine models. <i>Acta Radiol</i> 47:186-191, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	Physical evaluation of the weighted Feldkamp algorithms applied to the 256-detector row CT scanner for volumetric cine imaging. Acad Radiol 13(6):701-712, 2006[原著論文]	Mori Shinichiro, Endo Masahiro, Kondo Chisato, Tanada Shuji: Physical evaluation of the weighted Feldkamp algorithms applied to the 256-detector row CT scanner for volumetric cine imaging. <i>Acad Radiol</i> 13(6):701-712, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	Chemoradiotherapy with and without esophagectomy for advanced esophageal cancer. Hepatogastroenterology 53(71):705-709, 2006[原著論文]	Nakamura Tsutomu, Ota Masaho, Hayashi Kazuhiko, Eguchi Rokki, Ida Hiroko, Takasaki Ken, Mitsuhashi Norio: Chemoradiotherapy with and without esophagectomy for advanced esophageal cancer. <i>Hepatogastroenterology</i> 53(71):705-709, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	Results of radiation therapy for superficial esophageal cancer using the standard radiotherapy method recommended by the Japanese Society of Therapeutic Radiology and Oncology(JASTRO)Study Group. Anticancer Res 26(2B):1507-1512, 2006[原著論文]	Nemoto Kenji, Yamada Shogo, Nishio Masamichi, Aoki Masahiko, Nakamura Ryuuji, Matsumoto Yasuo, Sasamoto Ryuta, Saitoh Yoshihiro, Kobayashi Masao, Ohnishi Hiroshi, Sasaki Shigeru, Tamamura Hiroyasu, Mitsuromi Michihiko, Nishimura Yasumasa, Tsujino Kayoko, Takekomi Mitsuhiro, Uchida Nobue, Yamamoto Michinori, Shiroyama Yoshiyuki, Hirakawa Koichi: Results of radiation therapy for superficial esophageal cancer using the standard radiotherapy method recommended by the Japanese Society of Therapeutic Radiology and Oncology(JASTRO)Study Group. <i>Anticancer Res</i> 26(2B):1507-1512, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	CTスキャンの進歩 Dynamic CT. CLINICAL NEUROSCIENCE 24(4):465-467, 2006[総説]	小野由子: CTスキャンの進歩 Dynamic CT. <i>CLINICAL NEUROSCIENCE</i> 24(4):465-467, 2006[総説]
放射線医学(放射線科)	脳血管障害症論 IX. 四像機器・診断の進歩 各論 CT perfusion(CTP). 日本臨床 64(増刊号7):319-322, 2006[総説]	小野由子: 脳血管障害症論 IX. 四像機器・診断の進歩 各論 CT perfusion(CTP). <i>日本臨床</i> 64(増刊号7):319-322, 2006[総説]
放射線医学(放射線科)	一枚の写真から左前頭葉下面の硬膜動静脉瘤. BRAIN MEDICAL 18(4):379-381, 2006[総説]	小野由子: 一枚の写真から左前頭葉下面の硬膜動静脉瘤. <i>BRAIN MEDICAL</i> 18(4):379-381, 2006[総説]
放射線医学(放射線科)	虫垂炎とその鑑別診断(販促のCT診断). 臨床画像 23(2):185-189, 2007[総説]	鈴木一史, 桑勤良平, 三橋紀夫: 虫垂炎とその鑑別診断(販促のCT診断). <i>臨床画像</i> 23(2):185-189, 2007[総説]
放射線医学(放射線科)	Safety and efficacy of a novel hepatobiliary MR contrast agent, Gd-DTPA-DeA: Results of phase I and phase II clinical trials. J of Magnetic Resonance Imaging 23:499-508, 2006[原著論文]	Tanimoto Akhiro, Kadota Masumi, Kawamura Yasutaka, Kuwatsuma Ryochi, Gokan Takehiko, Hirohashi Shinji: Safety and efficacy of a novel hepatobiliary MR contrast agent, Gd-DTPA-DeA: Results of phase I and phase II clinical trials. <i>J of Magnetic Resonance Imaging</i> 23:499-508, 2006[原著論文]
放射線医学(放射線科)	JASTRO平成15・16年度研究課題報告 医療実態調査研究による放射線治療施設構造基準化(案)の改訂(日本版ブルーバック). 日放腫会誌 18(2):107-112, 2006[研究報告]	手島昭裕, 立崎英夫, 光森通次, 三橋紀夫, 宇野 隆, 中村和正, 角美奈子, 齊藤直人, 戸板孝文, 小口正彦, 横川雅浩, 小泉雅彦, 大西洋, 高橋 豊, 古平 錠, 山内智香子, 芦野靖夫, 小川和彦, 井上俊彦: JASTRO平成15・16年度研究課題報告 医療実態調査研究による放射線治療施設構造基準化(案)の改訂(日本版ブルーバック). <i>日放腫会誌</i> 18(2):107-112, 2006[研究報告]

部署名	タイトル	著者
歯科口腔外科学	Duchenne型筋ジストロフィー症患者に対する歯科矯正治療. 障害者歯科誌 27(2):163-168, 2006[原著論文]	荒川忠博, 嶋山博子, 扇内秀樹, 末石研二, 小原正勝, 平岡修: Duchenne型筋ジストロフィー症患者に対する歯科矯正治療. 障害者歯科誌 27(2):163-168, 2006[原著論文]
歯科口腔外科学	過去20年間の口腔扁平上皮癌の臨床的検討. 日本口腔診断学会誌 19(2):273-277, 2006[原著論文]	熊坂 壮, 丸岡寛史, 安藤智博, 扇内秀樹: 過去20年間の口腔扁平上皮癌の臨床的検討. 日本口腔診断学会誌 19(2):273-277, 2006[原著論文]
歯科口腔外科学	頬粘膜に発生した白色海綿状母斑の1例. 日本口腔粘膜学会誌 12(2):71-75, 2006[症例報告]	守田誠吾, 丸岡寛史, 深田健治, 安藤智博, 扇内秀樹: 頬粘膜に発生した白色海綿状母斑の1例. 日本口腔粘膜学会誌 12(2):71-75, 2006[症例報告]
歯科口腔外科学	高度内頸動脈狭窄症患者に発症した歯口蓋癌の1例. 有病者歯科医療誌 14(3):175-180, 2006[症例報告]	室谷聰子, 深田健治, 内山博人, 丸岡寛史, 桑澤隆輔, 扇内秀樹: 高度内頸動脈狭窄症患者に発症した歯口蓋癌の1例. 有病者歯科医療誌 14(3):175-180, 2006[症例報告]
歯科口腔外科学	頸関節リウマチによる開咬に対しプラケット尽きスプリントを用いた預防牽引法. 日本頸関節学会誌 18(2):143-147, 2006[原著論文]	岡本俊児, 荒川忠博, 深田健治, 小宮千幸, 佐藤隆輔, 扇内秀樹: 頸関節リウマチによる開咬に対しプラケット尽きスプリントを用いた預防牽引法. 日本頸関節学会誌 18(2):143-147, 2006[原著論文]
歯科口腔外科学	硬口蓋粘膜に生じた青色母斑の1例. 日本口腔外科学科誌 52(5):295-298, 2006[症例報告]	崎山博子, 安藤智博, 深田健治, 里野 寛, 片岡利之, 扇内秀樹: 硬口蓋粘膜に生じた青色母斑の1例. 日本口腔外科学科誌 52(5):295-298, 2006[症例報告]
社会支援部	Coordination issues between Home Care Physicians and Acute Physicians. 女子医学会誌 76(1):53-60, 2005[原著論文]	nunatakumiko: Coordination Issues between Home Care Physicians and Acute Physicians. 女子医学会誌 76(1):53-60, 2005[原著論文]
社会支援部	東京女子医科大学病院患者の在宅医療・療養移行について. 痘と化学療法 33(s II):299-301, 2006[原著論文]	沼田久美子, 城谷典典, 岩本安彦: 東京女子医科大学病院患者の在宅医療・療養移行について. 痘と化学療法 33(s II):299-301, 2006[原著論文]
社会支援部	がん終末期患者の在宅医療・療養移行の課題 -病状説明、告知の現状-. 厚生の指標 53(11):1-4, 2006[原著論文]	沼田久美子, 水野悟, 東間純: がん終末期患者の在宅医療・療養移行の課題 -病状説明、告知の現状-. 厚生の指標 53(11):1-4, 2006[原著論文]
社会支援部	Complication of Central Venous Catheter in Patients on Home Parenteral Nutrition: an Analysis of 68 Patients over 16 Years. Surgery Today 36:420-424, 2006[原著論文]	shirotaniniriyasu, nunatakumiko, kameokashinno: Complication of Central Venous Catheter in Patients on Home Parenteral Nutrition: an Analysis of 68 Patients over 16 Years. Surgery Today 36:420-424, 2006[原著論文]
社会支援部	Options available for the infusion of lipid emulsion in home parenteral nutrition(HPN): a questionnaire survey for hospitals in Japan where HPN is practiced. Nutrition 22:361-366, 2006[原著論文]	shirotaniniriyasu, nunatakumiko: Options available for the infusion of lipid emulsion in home parenteral nutrition(HPN): a questionnaire survey for hospitals in Japan where HPN is practiced. Nutrition 22:361-366, 2006[原著論文]
リハビリテーション部	麻痺を見るための知識一特集 よくわかる麻痺の見方・効果が見える拘縮予防のワザー. Expert Nurse 22(11):40-49, 2006[総説]	小林一成: 麻痺を見るための知識一特集 よくわかる麻痺の見方・効果が見える拘縮予防のワザー. Expert Nurse 22(11):40-49.
中央検査部	Early recurrence of lupus nephritis after renal transplantation - a case report.. Clin Transplant. 20(15):42-45, 2006[原著論文]	Fuji Akiko, Yamaguchi Yutaka, Horita Shigeru, Yumura Wako, Shirakawa Hiroki, Toraoka Satoshi: Early recurrence of lupus nephritis after renal transplantation - a case report.. Clin Transplant. 20(15):42-45, 2006[原著論文]
中央検査部	Clinical features of insulin-like growth factor-II producing non-islet-cell tumor hypoglycemia. Growth Hormone & IGF Research 16:211-216, 2006[原著論文]	Fukuda Izumi, Hizuka Naomi, Ishikawa Yukiko, Yasumoto Kuniaki, Murakami Yuko, Sata Akira, Morita Junko, Kurimoto Makiko, Okubo Yumiko, Takano Kazue: Clinical features of insulin-like growth factor-II producing non-islet-cell tumor hypoglycemia. Growth Hormone & IGF Research 16:211-216, 2006[原著論文]
中央検査部	甲状腺 ターナー女性における甲状腺疾患. ホルモンと臨床 54(秋季増刊):89-91, 2006[総説]	福田いずみ, 肥脛症対策, 盛田順子, 萩本真紀子, 村上祐子, 佐田晶, 大久保由美子, 安木久美子, 高野加寿恵: 甲状腺 ターナー女性における甲状腺疾患. ホルモンと臨床 54(秋季増刊):89-91, 2006[総説]
中央検査部	成長ホルモンのインスリン抵抗性改善機能 骨格筋を介する作用 C2C12マウス筋芽細胞を用いた検討. 成長科学協会研究年報(29):87-94, 2006[研究報告]	磯崎 収, 野野原 康吉, 吉原 愛, 村上 ひとみ, 西巻 桃子, 原田 千絵: 成長ホルモンのインスリン抵抗性改善機能 骨格筋を介する作用 C2C12マウス筋芽細胞を用いた検討. 成長科学協会研究年報(29):87-94, 2006[研究報告]
中央検査部	糖尿病腎症に対する妊娠許容条件の検討. 糖尿病と妊娠 6(1):127-135, 2006[原著論文]	佐藤 重由実, 衛井 里美, 岩木 安彦: 糖尿病腎症に対する妊娠許容条件の検討. 糖尿病と妊娠 6(1):127-135, 2006[原著論文]
中央検査部	Pathogenesis and treatment of autosomal-dominant nephrogenic diabetes insipidus caused by an aquaporin 2 mutation.. Proc Natl Acad Sci U S A. 103(38):14217-14222, 2006[原著論文]	Sohara Etsai, Rai Tatemirosu, Yang Sung-Sen, Uchida Keiko, Nitta Kosaku, Horita Shigeru, Ono Mayuko, Harada Atsushi, Sasaki Sei, Uchida Shinichi: Pathogenesis and treatment of autosomal-dominant nephrogenic diabetes insipidus caused by an aquaporin 2 mutation.. Proc Natl Acad Sci U S A. 103(38):14217-14222, 2006[原著論文]
中央検査部	A pathological analysis of lymphatic vessels in early renal allograft. Transplant Proc.. Transplant Proc. 38(10):3300-3303, 2006[原著論文]	Yamamoto Izumi, Yamaguchi Yutaka, Yamamoto Hiroyasu, Hosoya Tatsu, Horita Shigeru, Tanabe Kazunari, Fuchinou Shohei, Teraka Satoshi, Toma Hiroshi: A pathological analysis of lymphatic vessels in early renal allograft. Transplant Proc.. Transplant Proc. 38(10):3300-3303, 2006[原著論文]
感染対策部	Clinical Features of 62 Imported Cases of Dengue Fever in Japan. American Journal of Tropical Medicine and Hygiene 75(3):470-474, 2006[原著論文]	Itoda Ichiro, Masuda Gohta, Suganuma Akihiko, Imamura Akifumi, Ajisawa Atsushi, Yamada Ken-Ichiro, Yazaki Sadao, Takasaki Tomonori, Kurane Ichiro, Totsuma Kyoichi, Negishi Masayoshi: Clinical Features of 62 Imported Cases of Dengue Fever in Japan. American Journal of Tropical Medicine and Hygiene 75(3):470-474, 2006[原著論文]
感染対策部	PK/PDを考慮した抗痘薬の適応選択とは. 臨床検査 50:18-22, 2006[総説]	戸塚恭一: PK/PDを考慮した抗痘薬の適応選択とは. 臨床検査 50:18-22, 2006[総説]
感染対策部	抗痘薬の薬物動態 リボ-ノーマルアムホテリシンBヒドロキシ-アムホテリシンBの違い. 深在性真菌症-SFI Forum- 2:22-25, 2006[総説]	戸塚恭一: 抗痘薬の薬物動態 リボ-ノーマルアムホテリシンBヒドロキシ-アムホテリシンBの違い. 深在性真菌症-SFI Forum- 2:22-25,
感染対策部	感染性心内膜炎の予防と治療のガイドライン. 化学療法の領域 22(S-1):104-112, 2006[総説]	戸塚恭一: 感染性心内膜炎の予防と治療のガイドライン. 化学療法の領域 22(S-1):104-112, 2006[総説]
輸血・細胞プロセシング部	細胞洗浄法・再生医療と中央部門のかかわり. 日本アフェレンス学会雑誌 25(3):226-232, 2006[総説]	菅野 仁, 藤井寿一: 細胞洗浄法・再生医療と中央部門のかかわり. 日本アフェレンス学会雑誌 25(3):226-232, 2006[総説]
輸血・細胞プロセシング部	赤血球機能と薬剤 [葉剤と血液障害-薬剤性血球機能障害]. 血液フロンティア 16(10):1631-1636, 2006[総説]	鈴木大樹, 藤井寿一: 赤血球機能と薬剤 [葉剤と血液障害-薬剤性血球機能障害]. 血液フロンティア 16(10):1631-1636, 2006[総説]
病院病理科	Accuracy of PET for Diagnosis of Solid Pulmonary Lesions with 18F-FDG Uptake Below the Standardized Uptake Value of 2.5.. J Nucl Med 47(3):426-431, 2006[原著論文]	Hashimoto Yaichiro, Tsujikawa Tetsuya, Kondo Chisato, Maki Masako, Momose Mitsuru, Nagai Atsushi, Onuki Takahisa, Nishikawa Toshio, Kusakabe Kiyo: Accuracy of PET for Diagnosis of Solid Pulmonary Lesions with 18F-FDG Uptake Below the Standardized Uptake Value of 2.5.. J Nucl Med 47(3):426-431, 2006[原著論文]
病院病理科	Crotonaldehyde accumulates in glial cells of Alzheimer's disease brain.. Acta Neuropathol 111:422-429, 2006[原著論文]	Kawaguchi Motoaki, Shibata Noriyuki, Morikawa Shunichi, Uchida Koji, Yamamoto Tomoko, Sawada Tatsuo, Kobayashi Makio: Crotonaldehyde accumulates in glial cells of Alzheimer's disease brain.. Acta Neuropathol 111:422-429, 2006[原著論文]
病院病理科	Distribution of DC-SIGN+ dendritic cells in the lymphoid stroma of Warthin's tumour; immunohistochemical analysis. Histopathology 49(4):433-435, 2006[原著論文]	Masuda Akihiko, Yamamoto Tomoko, Nishikawa Toshio, Kobayashi Makio: Distribution of DC-SIGN+ dendritic cells in the lymphoid stroma of Warthin's tumour; immunohistochemical analysis. Histopathology 49(4):433-435, 2006[原著論文]
病院病理科	過脱酸化脂質と炎症・病理と臨床 24(5):523-526, 2006[総説]	増田義洋: 過脱酸化脂質と炎症・病理と臨床 24(5):523-526, 2006[総説]
病院病理科	心内膜細胞肥厚症. 小兒内科 38(増刊号):503-504, 2006[総説]	西川俊郎: 心内膜細胞肥厚症. 小兒内科 38(増刊号):503-504, 2006[総説]
病院病理科	Altered glycosylation of α-dystroglycan in neurons of Fukuyama congenital muscular dystrophy brains.. Brain Res 1075:223-228, 2006[原著論文]	Saito Yoshiaki, Yamamoto Tomoko, Mizuguchi Masaharu, Kobayashi Makio, Sakayori Noriko, Muramatsu Fumiaki, Morikawa Shunichi, Kato Yoichiro, Shibata Noriyuki: Altered glycosylation of α-dystroglycan in neurons of Fukuyama congenital muscular dystrophy brains.. Brain Res 1075:223-228, 2006[原著論文]
病院病理科	小児期急性・劇症心筋炎の診断と治療の指針. 日小循跡 22(4):514-524, 2006[原著論文]	佐地 効, 小川 潤, 中川雅生, 渡部誠一, 西川俊郎, 松原裕行, 安河内聰: 小児期急性・劇症心筋炎の診断と治療の指針. 日小循跡 22(4):514-524, 2006[原著論文]
病院病理科	筋萎縮性側索硬化症脳脊髄におけるcFLIPの発現. 平成17年度国立病院機構南岡山医療センター・臨床研究部研究業績集 13:27, 2006[研究報告]	森田義行, 川口泰子, 西中哲也, 高田 裕, 井原越悦, 信国吉生, 藤村俊俊, 佐古田三郎, 遠井素乃, 佐々木彰一, 小山敏雄, 斎藤義則: 筋萎縮性側索硬化症脳脊髄におけるcFLIPの発現. 平成17年度国立病院機構南岡山医療センター・臨床研究部研究業績集 13:
病院病理科	Identification of a lipid peroxidation product as a potential trigger of the p53 pathway.. J Biol Chem 281:1196-1204, 2006[原著論文]	Shibata Takahiro, Ito Kumiko, Kawai Yoshichika, Shibata Noriyuki, Kawaguchi Motoaki, Toi Sono, Kobayashi Makio: Identification of a lipid peroxidation product as a potential trigger of the p53 pathway.. J Biol Chem 281:1196-1204, 2006[原著論文]
病院病理科	Intracellular binding of fukutin and α-dystroglycan: relation to glycosylation of α-dystroglycan. Neurosci Res 56:391-399, 2006[原著論文]	Yamamoto Tomoko, Kawaguchi Motoaki, Sakayori Noriko, Muramatsu Fumiaki, Morikawa Shunichi, Kato Yoichiro, Shibata Noriyuki, Kobayashi Makio: Intracellular binding of fukutin and α-dystroglycan: relation to glycosylation of α-dystroglycan. Neurosci Res 56:391-399, 2006[原著論文]
病院病理科	BladderチェックNMP22の尿路上皮癌における臨床的有用性の検討. 医療と検査機器・試薬 29:61-63, 2006[原著論文]	横山 貢, 後藤小内紀子, 横田成司, 金室俊子, 野並裕司, 稲田達男, 西川俊郎, 小林慎雄, 東間 純: BladderチェックNMP22の尿路上皮癌における臨床的有用性の検討. 医療と検査機器・試薬 29:61-63, 2006[原著論文]
病院病理科	Immunohistochemical characteristics of mature ovarian cystic teratoma in patients with postoperative recurrence.. Int J Gynecol Pathol 25:95-100, 2006[原著論文]	Yoshikata Remi, Yamamoto Tomoko, Kobayashi Makio, Ota Hiroaki: Immunohistochemical characteristics of mature ovarian cystic teratoma in patients with postoperative recurrence.. Int J Gynecol Pathol 25:95-100, 2006[原著論文]

部署名	タイトル	著者
薬剤部	arbekacin sulfateの新生児母集団パラメータ解釈に基づいた初期投与と設計法の再評価. 日本化学会誌 54(1):520-525, 2006[原著論文]	木村 利英, 佐藤雅彦, 野々山勝人, YAGO KAZUO, 石井正浩, 砂川慶介: arbekacin sulfateの新生児母集団パラメータ解釈に基づいた初期投与と設計法の再評価. 日本化学会誌 54(1):520-525, 2006[原著論文]
薬剤部	改良型輪流容器「スタンドバッグ」の有用性に関する研究. 日本病院薬剤師会雑誌 42(6):791-794, 2006[原著論文]	佐川 勝一, 川原 康子: 改良型輪流容器「スタンドバッグ」の有用性に関する研究. 日本病院薬剤師会雑誌 42(6):791-794, 2006[原著論文]
薬剤部	PETへの薬剤師の関与. 日病薬誌 42(5):605-608, 2006[総説]	渡辺 遼, 佐川 勝一: PETへの薬剤師の関与. 日病薬誌 42(5):605-608, 2006[総説]
臨床工学部	Time decay of internal filtration flow rate in a polysulfone membrane dialyzer. Blood Purification 2006 Abstracts 24:472, 2006[一般講演]	: Time decay of internal filtration flow rate in a polysulfone membrane dialyzer. Blood Purification 2006 Abstracts 24:472, 2006[一般講演]
臨床工学部	二重膜過過血漿分離交換法と加温式リサキュレーション法. 第26回日本アフェレンス学会学術大会抄録集 25(Supplement):166, 2006[指定講演]	江口圭一: 二重膜過過血漿分離交換法と加温式リサキュレーション法. 第26回日本アフェレンス学会学術大会抄録集 25(Supplement):166, 2006[指定講演]
臨床工学部	アンケート調査結果: アクセス管理の現状調査. 第10回アクセス研究会記念大会プログラム・抄録集(プログラム・抄録集): 54, 2006[シンポ等]	江口圭一, アンケート調査結果: アクセス管理の現状調査. 第10回アクセス研究会記念大会プログラム・抄録集(プログラム・抄録集): 54, 2006[シンポ等]
臨床工学部	新しいHDF療法(間歇的補液HDF:intermittent infusion HDF)構築の可能性を探る. 第51回日本透析医学会学術集会・総会 39(Suppl): 575, 2006[シンポ等]	江口圭一, 波辺宗三人, 金野好恵, 峰松佑輔, 金子岩和, 鈴木浩一, 嶋島三千男, 秋葉隆: 新しいHDF療法(間歇的補液HDF:intermittent infusion HDF)構築の可能性を探る. 第51回日本透析医学会学術集会・総会 39(Suppl): 575, 2006[シンポ等]
臨床工学部	新しいHDF療法(間歇的補液HDF:intermittent infusion HDF)構築の可能性を探る. 第12回日本HDF研究会プログラム・予稿集(プログラム・予稿集): 71, 2006[一般講演]	江口圭一, 金野好恵, 山田祐史, 金子岩和, 波辺宗三人, 嶋島三千男, 秋葉隆: 新しいHDF療法(間歇的補液HDF:intermittent infusion HDF)構築の可能性を探る. 第12回日本HDF研究会プログラム・予稿集(プログラム・予稿集): 71, 2006[一般講演]
臨床工学部	新しいHDF療法(間歇的補液HDF:intermittent infusion HDF)構築の可能性を探る. 日本医工学治療学会第22回学術大会抄録集 18(抄録集): 120, 2006[一般講演]	江口圭一, 波辺宗三人, 金野好恵, 峰松佑輔, 金子岩和, 鈴木浩一, 嶋島三千男, 秋葉隆: 新しいHDF療法(間歇的補液HDF:intermittent infusion HDF)構築の可能性を探る. 日本医工学治療学会第22回学術大会抄録集 18(抄録集): 120, 2006[一般講演]
臨床工学部	貧血血漿モニタを指標にした水分管理の検査: 貞なし[指定講演]	: 貧血血漿モニタを指標にした水分管理の検査: 貞なし[指定講演]
臨床工学部	透析患者における附属性動脈硬化症(ASO)の現状と治療. 第6回技術試習会プログラム: 貞なし[指定講演]	: 透析患者における附属性動脈硬化症(ASO)の現状と治療. 第6回技術講習会プログラム: 貞なし[指定講演]
臨床工学部	透析透析: 一人ひとりの患者にきめ細かい透析を施行するために: 貞なし[指定講演]	: 透析透析: 一人ひとりの患者にきめ細かい透析を施行するために: 貞なし[指定講演]
臨床工学部	シャント機能評価: 貞なし[指定講演]	: シャント機能評価: 貞なし[指定講演]
臨床工学部	VALIDITY OF INTERMITTENT INFUSION HEMODIAFILTRATION. ASAIO Journal 52(2):71A, 2006[一般講演]	Eguchi Kei, Mineshima Michio : VALIDITY OF INTERMITTENT INFUSION HEMODIAFILTRATION. ASAIO Journal 52(2): 71A, 2006[一般講演]
臨床工学部	LCAP療法専用装置PlasautLCの使用経験報告. 第13回東京都臨床工学技士会学術大会発表論文集 16(29):21, 2006[一般講演]	伊部紀子, 加藤紀子, 村瀬泰子, 松木和之, 村上淳, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆: LCAP療法専用装置PlasautLCの使用経験報告. 第13回東京都臨床工学技士会学術大会発表論文集 16(29):21, 2006[一般講演]
臨床工学部	補助人工心臓「EVAHEART」装着患者のQOL~ 退院・在宅管理、そして社会復帰へ ~. 補助人工心臓「EVAHEART」装着患者のQOL~ 退院・在宅管理、そして社会復帰へ ~. 補助人工心臓「EVAHEART」装着患者のQOL~ 退院・在宅管理、そして社会復帰へ ~. [シンポ等]	: 補助人工心臓「EVAHEART」装着患者のQOL~ 退院・在宅管理、そして社会復帰へ ~. 補助人工心臓「EVAHEART」装着患者のQOL~ 退院・在宅管理、そして社会復帰へ ~. 補助人工心臓「EVAHEART」装着患者のQOL~ 退院・在宅管理、そして社会復帰へ ~. [シンポ等]
臨床工学部	次世代型補助人工心臓EVAHEARTの在宅療養プログラムと臨床工学技士の役割. 次世代型補助人工心臓EVAHEARTの在宅療養プログラムと臨床工学技士の役割 [一般講演]	: 次世代型補助人工心臓EVAHEARTの在宅療養プログラムと臨床工学技士の役割. 次世代型補助人工心臓EVAHEARTの在宅療養プログラムと臨床工学技士の役割 [一般講演]
臨床工学部	CLINICAL TRIAL OF EVAHEART: NEXT GENERATION LEFT VENTRICULAR ASSIST DEVICE. CLINICAL TRIAL OF EVAHEART: NEXT GENERATION LEFT VENTRICULAR ASSIST DEVICE.[一般講演]	: CLINICAL TRIAL OF EVAHEART: NEXT GENERATION LEFT VENTRICULAR ASSIST DEVICE. CLINICAL TRIAL OF EVAHEART: NEXT GENERATION LEFT VENTRICULAR ASSIST DEVICE.[一般講演]
臨床工学部	脳梗塞化モニターを参考にした脳循環法の選択. 脳梗塞化モニターを参考にした脳循環法の選択[一般講演]	: 脳梗塞化モニターを参考にした脳循環法の選択. 脳梗塞化モニターを参考にした脳循環法の選択[一般講演]
臨床工学部	ハウジング形状を変更したAPS-15 SAの水系透析実験による性能評価. 寅と透析 61:251, 2006[一般講演]	石森勇, 山田祐史, 村上淳, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆: ハウジング形状を変更したAPS-15 SAの水系透析実験による性能評価. 寅と透析 61:251, 2006[一般講演]
臨床工学部	ダイアライザ入ロ圧の振幅を用いた脱血圧、血液ポンプ吐出量のモニタリング法の機械モデルによる検討. 日本透析医学会雑誌 39(suppl.1):677, 2006[一般講演]	石森勇, 坂上貴光, 鈴木雄太, 小林祐美, 茂木佐奈, 村上淳, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆, 立花英幸, 今井正巳: ダイアライザ入ロ圧の振幅を用いた脱血圧、血液ポンプ吐出量のモニタリング法の機械モデルによる検討. 日本透析医学会雑誌 39(suppl.1):677,
臨床工学部	評価記入用フォーマットを用いた経腸栄養ポンプの比較検討. 医器器械学 76(4):264, 2006年[一般講演]	小糸洋子, 杉浦陽一, 柿原顯, 水井基廣, 金子岩和, 嶋島三千男: 評価記入用フォーマットを用いた経腸栄養ポンプの比較検討. 医器器械学 76(4):264, 2006年[一般講演]
臨床工学部	Solute removal characteristics in Internal Filtration Enhanced Hemodialysis(IFEHd). Hemodialysis International 10(1):127, 2006[一般講演]	Mineshima Michio, Ishimori Isamu, Akiba Takashi: Solute removal characteristics in Internal Filtration Enhanced Hemodialysis(IFEHd). Hemodialysis International 10(1):127, 2006[一般講演]
臨床工学部	血液浄化分野に從事する臨床工学技士に求められるもの(特別講演). [指定講演]	: 緒島三千男: 血液浄化分野に從事する臨床工学技士に求められるもの(特別講演). [指定講演]
臨床工学部	アブレバシス治療における分離技術の基礎と最近のトピックス(特別講演). [指定講演]	: 緒島三千男: アブレバシス治療における分離技術の基礎と最近のトピックス(特別講演). [指定講演]
臨床工学部	透析療法における最近の技術的動向(特別講演). 第69回北海道透析療法学会プログラム・抄録集: 11, 2006[指定講演]	: 緒島三千男: 透析療法における最近の技術的動向(特別講演). 第69回北海道透析療法学会プログラム・抄録集: 11, 2006[指定講演]
臨床工学部	透析療法における技術的動向と近未来(特別講演). [指定講演]	: 緒島三千男: 透析療法における技術的動向と近未来(特別講演). [指定講演]
臨床工学部	アブレバシス領域で利用されている分離技術の基礎(特別講演). 第10回日本アフェレンス学会中部地方会抄録集: 3, 2006[指定講演]	: 緒島三千男: アブレバシス領域で利用されている分離技術の基礎(特別講演). 第10回日本アフェレンス学会中部地方会抄録集: 3, 2006[指定講演]
臨床工学部	アブレバシス用膜型分離機の牛血系評価法(特集 アブレバシス療法における技術的進歩: 最近のトピックスから). 日本アフェレンス学会雑誌 25(2):85-91, 2006[総説]	峰島三千男: アブレバシス用膜型分離機の牛血系評価法(特集 アブレバシス療法における技術的進歩: 最近のトピックスから). 日本アフェレンス学会雑誌 25(2):85-91, 2006[総説]
臨床工学部	これからからのHPMに求められるもの(シンポジウム ハイパフォーマンス・メンブレンを再検証する). 第21回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会プログラム・抄録集: 25, 2006[シンポ等]	峰島三千男: これからからのHPMに求められるもの(シンポジウム ハイパフォーマンス・メンブレンを再検証する). 第21回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会プログラム・抄録集: 25, 2006[シンポ等]
臨床工学部	マイクロリニア人工腎臓システムの開発の可能性(シンポジウム 新たな科学技術はどう透析医学に活用されるか). 日本透析医学会雑誌 39(Supplement): 578, 2006[シンポ等]	峰島三千男: マイクロリニア人工腎臓システムの開発の可能性(シンポジウム 新たな科学技術はどう透析医学に活用されるか). 日本透析医学会雑誌 39(Supplement): 578, 2006[シンポ等]
臨床工学部	工学系サイドから見た透析用透析膜の問題点(ミニ・シンポジウム透析医学用語の作成に向けて). 日本透析医学会雑誌 39(Supplement): 581, 2006[シンポ等]	峰島三千男: 工学系サイドから見た透析用透析膜の問題点(ミニ・シンポジウム透析医学用語の作成に向けて). 日本透析医学会雑誌 39(Supplement): 581, 2006[シンポ等]
臨床工学部	ナビゲーション透析の可能性(ワークショップ これからの透析装置に求められる新技術). 日本透析医学会雑誌 39(Supplement): 591, 2006[シンポ等]	峰島三千男: ナビゲーション透析の可能性(ワークショップ これからの透析装置に求められる新技術). 日本透析医学会雑誌 39(Supplement): 591, 2006[シンポ等]
臨床工学部	脱血モニタ展開への可能性(シンポジウム血液浄化におけるNICOMMレーザー血流計の有用性). [シンポ等]	峰島三千男, 山田祐史, 江口圭一: 脱血モニタ展開への可能性(シンポジウム血液浄化におけるNICOMMレーザー血流計の有用性). [シンポ等]
臨床工学部	血液浄化器の機能分類にみあった性能評価基準の再検討(コンセンサスカンファレンス血液浄化器の機能分類にみあった性能評価基準). 第12回日本HDF研究会プログラム・抄録集: 41, 2006[シンポ等]	峰島三千男: 血液浄化器の機能分類にみあった性能評価基準の再検討(コンセンサスカンファレンス血液浄化器の機能分類にみあった性能評価基準). 第12回日本HDF研究会プログラム・抄録集: 41, 2006[シンポ等]
臨床工学部	ダイアライザ透析液側におけるチャネリングの測定. 第34回東京透析懇談会プログラム・抄録集: 18, 2006[一般講演]	茂木佳奈, 石森勇, 鈴木聰, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆: ダイアライザ透析液側におけるチャネリングの測定. 第34回東京透析懇談会プログラム・抄録集: 18, 2006[一般講演]
臨床工学部	透析における最近の動向と今後の展望. 勇氣会抄録集: 貞なし, 2006[指定講演]	: 勇氣会抄録集: 貞なし, 2006[指定講演]
臨床工学部	ダイアライザの利点と透析条件. 第10回血液透析技術基礎セミナーテキスト: 97, 2006[指定講演]	: 勇氣会抄録集: 勇氣会の利点と透析条件. 第10回血液透析技術基礎セミナーテキスト: 97, 2006[指定講演]
臨床工学部	透析用血液回路の標準化に関する報告書の改訂と今後の課題. 日本透析医学会雑誌 39(1):593, 2006[シンポ等]	: 勇氣会抄録集: 透析用血液回路の標準化に関する報告書の改訂と今後の課題. 日本透析医学会雑誌 39(1):593, 2006[シンポ等]
臨床工学部	透析液濃度モニタリングシステムの安全監視装置としての有用性の検討. 医工学治療 52(18):120, 2006[一般講演]	: 勇氣会抄録集: 透析液濃度モニタリングシステムの安全監視装置としての有用性の検討. 医工学治療 52(18):120, 2006[一般講演]
臨床工学部	当センターにおける標準的血液回路への取り組み. 日本臨床工学技士会会誌(26): 150, 2006[一般講演]	: 勇氣会抄録集: 当センターにおける標準的血液回路への取り組み. 日本臨床工学技士会会誌(26): 150, 2006[一般講演]
臨床工学部	当センターにおける標準的血液回路への取り組み. 日本臨床工学技士会会誌(28): 151-152, 2006[研究報告]	: 勇氣会抄録集: 当センターにおける標準的血液回路への取り組み. 日本臨床工学技士会会誌(28): 151-152, 2006[研究報告]
臨床工学部	ダイアライザ透析液側におけるチャネリングの測定. 第34回東京透析懇談会プログラム・抄録集: 16, 2006[一般講演]	: 小田順一, 坂上貴光, 峰松佑輔, 清水幹夫, 村上淳, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆: ダイアライザ透析液側におけるチャネリングの測定. 第34回東京透析懇談会プログラム・抄録集: 16, 2006[一般講演]
臨床工学部	旭化成メディカル社製ADP-01の滤過特性の検討. 第34回東京透析懇談会プログラム・抄録集: 16, 2006[一般講演]	: 小田順一, 坂上貴光, 峰松佑輔, 清水幹夫, 村上淳, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆: 旭化成メディカル社製ADP-01の滤過特性の検討. 第34回東京透析懇談会プログラム・抄録集: 16, 2006[一般講演]

部署名	タイトル	著者
臨床工学部	透析モニタHD02の測定精度の検討. 第10回アクセス研究会記念大会プログラム・抄録集: 73, 2006[一般講演]	小田順一, 横手卓也, 宮尾眞輝, 加藤紀子, 村上淳, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆; 透析モニタHD02の測定精度の検討. 第10回アクセス研究会記念大会プログラム・抄録集: 73, 2006[一般講演]
臨床工学部	安全管理を確実にするための臨床工学技士の取り組み. 医工学治療 18(Supplement):91, 2006[シンポ等]	酒井基広, 杉浦陽一, 鈴木聰, 金子岩和, 嶋島三千男: 安全管理を確実にするための臨床工学技士の取り組み. 医工学治療 18(Supplement):91, 2006[シンポ等]
臨床工学部	酸素ポンベ用圧力調整器の発火事故2例について. 医科器械学 76(4):252, 2006[一般講演]	酒井基広, 杉浦陽一, 橋保顯, 小糸敦子, 金子岩和, 嶋島三千男; 酸素ポンベ用圧力調整器の発火事故2例について. 医科器械学 76(4):252, 2006[一般講演]
臨床工学部	ユーダーから見たセーフティ針の有用性-通常針との安全性・操作性の比較-. 第33回日本血液浄化技術研究会学術大会・総会抄録集: 領なし, 2006[シンポ等]	坂上貴光, 村上淳, 金子岩和, 池辺宗三人, 嶋島三千男, 秋葉隆; ユーダーから見たセーフティ針の有用性-通常針との安全性・操作性の比較-. 第33回日本血液浄化技術研究会学術大会・総会抄録集: 領なし, 2006[シンポ等]
臨床工学部	血液透析における実血流モニタの使用経験. 医工学治療学会第22回学術大会抄録集 18(52):129, 2006[一般講演]	坂上貴光, 石森勇, 鈴木雄太, 小田祐美, 萩生佳奈, 村上淳, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆, 立花英幸, 今井正巳; 血液透析における実血流モニタの使用経験. 医工学治療学会第22回学術大会抄録集 18(52):129, 2006[一般講演]
臨床工学部	ハンディーエコーiLook25によるバスキュラーアクセス管理の有用性. 第10回アクセス研究会大会抄録: 領なし, 2006[一般講演]	坂上貴光, 鈴木聰, 横手卓也, 村上淳, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆; ハンディーエコーiLook25によるバスキュラーアクセス管理の有用性. 第10回アクセス研究会大会抄録: 領なし, 2006[一般講演]
臨床工学部	ヒト中皮細胞株を用いた細胞シートの組織化制御の試み. 第44回日本人工臓器学会予稿集 35(2):s-32, 2006/10/1[シンポ等]	崎山亮一, 関根秀一, 秋山義勝, 岡野光夫, 新田邦作, 嶋島三千男; ヒト中皮細胞株を用いた細胞シートの組織化制御の試み. 第44回日本人工臓器学会予稿集 35(2):s-32, 2006/10/1[シンポ等]
臨床工学部	収束リング型ダイアライザにおける内部濾過促進現象. 日本医工学治療学会 第22回学術大会抄録集 18(suppl):102, 2006[一般講演]	崎山亮一, 石森勇, 春原拓司, 増田利明, 嶋島三千男; 収束リング型ダイアライザにおける内部濾過促進現象. 日本医工学治療学会 第22回学術大会抄録集 18(suppl):102, 2006[一般講演]
臨床工学部	腹膜纖維症改善を目的としたヒト中皮細胞株細胞シートの作製と移植の試み. 第12回日本腹膜透析研究会/国際腹膜透析シンポジウム Program/Abstracts: 153, 2006/10/1[一般講演]	崎山亮一, 関根秀一, 秋山義勝, 岡野光夫, 嶋島三千男; 腹膜纖維症改善を目的としたヒト中皮細胞株細胞シートの作製と移植の試み. 第12回日本腹膜透析研究会/国際腹膜透析シンポジウム Program/Abstracts: 153, 2006/10/1[一般講演]
臨床工学部	APS-15Rにおける内部濾過率の経時変化. 第12回日本HDF研究会プログラム・抄録集, 2006[一般講演]	崎山亮一, 石森勇, 嶋島三千男; APS-15Rにおける内部濾過率の経時変化. 第12回日本HDF研究会プログラム・抄録集, 2006[一般講演]
臨床工学部	当院の透析患者における閉塞性動脈硬化症(ASO)の合併率とその対応. 第34回東京透析懇談会プログラム・抄録集: 21, 2006[一般講演]	崎山亮一, 石森勇, 嶋島三千男; 当院の透析患者における閉塞性動脈硬化症(ASO)の合併率とその対応. 第34回東京透析懇談会プログラム・抄録集: 21, 2006[一般講演]
臨床工学部	フォルムABIを用いたスクリーニング検査実施による当センター透析患者の閉塞性動脈硬化症(ASO)合併率とその対応. 第26回日本アエレシス学会学術大会抄録集: 130, 2006[一般講演]	角田祐史, 飛鳥, 王金財好, 恵村上淳, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆; フォルムABIを用いたスクリーニング検査実施による当センター透析患者の閉塞性動脈硬化症(ASO)合併率とその対応. 第26回日本アエレシス学会学術大会抄録集: 130, 2006[一般講演]
臨床工学部	新しい人工腎臓治療システムの開発をめざした膜蒸留技術の基礎的検討. 東京女子医科大学雑誌 76(10-11):410-416, 2006[原著論文論文]	鈴木聰, 嶋島三千男, 新田孝作; 新しい人工腎臓治療システムの開発をめざした膜蒸留技術の基礎的検討. 東京女子医科大学雑誌 76(10-11):410-416, 2006[原著論文論文]
臨床工学部	外部透析システムにもとづく透析液再生型腹膜透析の溶質除去特性とアルブミンの浸透効果を利用した除水特性に対する基礎的・臨床的検討. 医工学治療 18(4): 243-251, 2006[原著論文論文]	鈴木聰, 嶋島三千男, 新田孝作; 外部透析システムにもとづく透析液再生型腹膜透析の溶質除去特性とアルブミンの浸透効果を利用した除水特性に対する基礎的・臨床的検討. 医工学治療 18(4): 243-251, 2006[原著論文論文]
臨床工学部	サーモバーベーションによる血液水分回収の可能性. 人工臓器 35(2):S16, 2006[シンポ等]	鈴木聰, 萩生佳奈, 嶋島亮一, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆; サーモバーベーションによる血液水分回収の可能性. 人工臓器 35(2):S16, 2006[シンポ等]
臨床工学部	蒸気透過膜における水移動量に及ぼすガス流量の影響. 日本透析医学会誌 39(S.I):713, 2006[一般講演]	鈴木聰, 佐藤祐輔, 萩生佳奈, 村上淳, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆; 蒸気透過膜における水移動量に及ぼすガス流量の影響. 日本透析医学会誌 39(S.I):713, 2006[一般講演]
臨床工学部	東レ社製透析装置TR3000Sに搭載された実血流モニタの臨床評価. 第21回ハイパフォーマンスマップレン研究会プログラム・抄録集: 60, 2006[一般講演]	鈴木聰, 石森勇, 坂上貴光, 小田祐美, 萩生佳奈, 村上淳, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆, 立花英幸, 今井正巳; 東レ社製透析装置TR3000Sに搭載された実血流モニタの臨床評価. 第21回ハイパフォーマンスマップレン研究会プログラム・抄録集: 60, 2006[一般講演]
臨床工学部	東レ・メディカ社製TR-3000Sに搭載された測定血流量モニタの臨床評価. 臨と透析(別冊) 第61巻別冊: 287-290, 2006[研究報告]	鈴木聰, 石森勇, 坂上貴光, 小田祐美, 萩生佳奈, 村上淳, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆, 立花英幸, 今井正巳; 東レ・メディカ社製TR-3000Sに搭載された測定血流量モニタの臨床評価. 臨と透析(別冊) 第61巻別冊: 287-290, 2006[研究報告]
臨床工学部	アフェレシス療法におけるレーザー血流計の有用性. 日本アエレシス学会雑誌(1340-5888) 25(3):261-262, 2006[シンポ等]	山田祐史, 江口圭, 角田飛鳥, 鈴木雄太, 村瀬泰子, 山中昭広, 小田順一, 石川亜矢子, 金子岩和, 池辺宗三人, 秋葉隆, 嶋島三千男; アフェレシス療法におけるレーザー血流計の有用性. 日本アエレシス学会雑誌(1340-5888) 25(3):261-262, 2006[シンポ等]
臨床工学部	透析回路内の実血流測定を目的としたレーザー血流計の応用. 日本医工学治療学会 18:131, 2006[一般講演]	山田祐史, 江口圭, 角田飛鳥, 鈴木雄太, 村瀬泰子, 山中昭広, 小田順一, 石川亜矢子, 金子岩和, 池辺宗三人, 秋葉隆, 嶋島三千男; 透析回路内の実血流測定を目的としたレーザー血流計の応用. 日本医工学治療学会 18:131, 2006[一般講演]
臨床工学部	自己回収血を回路内充填に用いた小児血液浄化の一例. 日本アエレシス学会誌 25(3):261, 2006[一般講演]	:自己回収血を回路内充填に用いた小児血液浄化の一例. 日本アエレシス学会誌 25(3):261, 2006[一般講演]
臨床工学部	自己回収血を回路内充填に用いた小児血液浄化の一例. 第28回日本小児腎不全学会. プログラム・抄録集: 107[一般講演]	:自己回収血を回路内充填に用いた小児血液浄化の一例. 第28回日本小児腎不全学会. プログラム・抄録集: 107[一般講演]
臨床工学部	新しい腹膜機能の評価法(PD排液濃縮法)-その1:技術的側面から-. 第12回日本腹膜透析研究会/国際腹膜透析シンポジウム プログラム・抄録集: 154[一般講演]	:新しい腹膜機能の評価法(PD排液濃縮法)-その1:技術的側面から-. 第12回日本腹膜透析研究会/国際腹膜透析シンポジウム プログラム・抄録集: 154[一般講演]
臨床工学部	血漿成分分画器Evaflux-5Aの漏過特性におよぼす温度の影響. 日本アエレシス学会雑誌 25(2):153-158, 2006[原著論文論文]	金野好恵, 江口圭, 増松佑輔, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆; 血漿成分分画器Evaflux-5Aの漏過特性におよぼす温度の影響. 日本アエレシス学会雑誌 25(2):153-158, 2006[原著論文論文]
臨床工学部	アエレシス療法における温度変化を利用した分画分離技術. 日本アエレシス学会雑誌 25(2):99-104, 2006[総説]	金野好恵, 江口圭, 増松佑輔, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆; アエレシス療法における温度変化を利用した分画分離技術. 日本アエレシス学会雑誌 25(2):99-104, 2006[総説]
臨床工学部	血漿成分分離能を保持するための至適機操作条件の模索. 血漿成分分画器(Evaflux-5A)の分画分離特性に関する温度の影響と膜間圧力差モニタリングの重要性. 26(supplement):108, 2006[シンポ等]	金野好恵, 江口圭, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆; 血漿成分分離能を保持するための至適操作条件の模索. 血漿成分分画器(Evaflux-5A)の分画分離特性に関する温度の影響と膜間圧力差モニタリングの重要性. 26(supplement):108, 2006[シンポ等]
臨床工学部	装置自動化に向けてのセーフティマネジメント. 2006[シンポ等]	富尾真輝, 鈴木聰, 村上淳, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆; 装置自動化に向けてのセーフティマネジメント. 2006[シンポ等]
臨床工学部	持続緩徐式血液浄化装置の除水精度の検討. 2006[一般講演]	富尾真輝, 鈴木聰, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆; 装置元史, 元治純; 持続緩徐式血液浄化装置の除水精度の検討. 2006[一般講演]
臨床工学部	定期的な透析液の消耗部品交換の有用性の検討. 2006[一般講演]	宮尾真輝, 石森勇, 横井良, 横井卓也, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆; 定期的な透析装置の消耗部品交換の有用性の検討. 2006[一般講演]
臨床工学部	「ワークショップ4 小児診察におけるアエレシスの進歩」小児領域におけるアエレシスの技術的進歩. 日本アエレシス学会雑誌 25(SUPPL): 102, 2006[シンポ等]	相馬泉, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆, 服部元史; 「ワークショップ4 小児診察におけるアエレシスの進歩」小児領域におけるアエレシスの技術的進歩. 日本アエレシス学会雑誌 25(SUPPL): 102, 2006[シンポ等]
臨床工学部	「ワークショップ4 急性血液浄化での省力化とリスクマネジメントについて」小児領域での急性血液浄化法におけるリスクマネジメントについて~臨床工学技士の立場から~. 学会抄録集: 65, 2006[シンポ等]	相馬泉, 小澤和由, 村上淳, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆, 服部元史; 「ワークショップ4 急性血液浄化での省力化とリスクマネジメントについて~小児領域での急性血液浄化法におけるリスクマネジメントについて~臨床工学技士の立場から~. 学会抄録集: 65, 2006[シンポ等]
臨床工学部	乳児における川崎病ガンマグロブリン不応例に対する血漿交換療法の位置づけ. 学会抄録集: 31, 2006[一般講演]	相馬泉, 富村正和, 清水啓夫, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆, 服部元史; 乳児における川崎病ガンマグロブリン不応例に対する血漿交換療法の位置づけ. 学会抄録集: 31, 2006[一般講演]
臨床工学部	当院における新入職員への教育体制の現状. 日本臨床工学技士会会報 27:98, 2006[一般講演]	相馬泉, 石森勇, 板上貴光, 齊原英利, 村上淳, 金子岩和, 嶋島三千男; 当院における新入職員への教育体制の現状. 日本臨床工学技士会会報 27:98, 2006[一般講演]
臨床工学部	長期型バスキュラーカテーテル使用上の問題点. 日本透析医学会誌 39(SUPPL):901, 2006[一般講演]	相馬泉, 村上淳, 金子岩和, 嶋島三千男, 服部元史; 長期型バスキュラーカテーテル使用上の問題点. 日本透析医学会誌 39(SUPPL):901, 2006[一般講演]
臨床工学部	小児血液透析における治療条件設定の一考察~数学的シミュレーションによるアプローチ~. 学会抄録集: 63, 2006[一般講演]	相馬泉, 村上淳, 金子岩和, 嶋島三千男, 服部元史; 小児血液透析における治療条件設定の一考察~数学的シミュレーションによるアプローチ~. 学会抄録集: 63, 2006[一般講演]
臨床工学部	当院における小児透析の実際~小児透析の実施を何が難しくしているのか?. なし[指定講演]	:当院における小児透析の実際~小児透析の実施を何が難しくしているのか?. なし[指定講演]
臨床工学部	カーボールケープの実際. なし[指定講演]	:カーボールケープの実際. なし[指定講演]
臨床工学部	各バスキュラーアクセス流速測定法の精度とその実際. 第10回アクセス研究会抄録集, 2006[シンポ等]	横手卓也, 江口圭, 加藤紀子, 村上淳, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆; 各バスキュラーアクセス流速測定法の精度とその実際. 第10回アクセス研究会抄録集, 2006[シンポ等]
臨床工学部	透析モニターHD02の使用経験. 2006[一般講演]	横手卓也, 小田順一, 横井良, 横井卓也, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉隆; 透析モニターHD02の使用経験. 2006[一般講演]
臨床工学部	アドアクセス管理を目的としたアドアクセス流速測定の意義とその実際. 臨と透析 61別冊: 89-92, 2006[研究報告]	横手卓也; アドアクセス管理を目的としたアドアクセス流速測定の意義とその実際. 臨と透析 61別冊: 89-92, 2006[研究報告]
臨床工学部	臨床工学部	

部署名	タイトル	著者
一次診療科	肝転移巣を経カテーテル的肝動脈塞栓術で治療した悪性褐色細胞腫の1例. 日本内分泌学会雑誌 81(Suppl):33-36, 2005[症例報告]	西巻桃子, 田辺晶代, 鳥居信之, 野村 翼, 小原泰男, 萩野加奈恵:肝転移巣を経カテーテル的肝動脈塞栓術で治療した悪性褐色細胞腫の1例. 日本内分泌学会雑誌 81(Suppl):33-36, 2005[症例報告]
一次診療科	ステロイド治療患者の降圧薬处方のノハウ. 降圧薬处方のノハウ. 成人病と生活習慣病 36(4):430-432, 2006[総説]	野村 翼:ステロイド治療患者の降圧薬处方のノハウ(降圧薬处方のノハウ). 成人病と生活習慣病 36(4):430-432, 2006[総説]
一次診療科	副腎皮質機能(内分泌症候群No.1、内分沁症候群(第2版)1) 別冊日本臨床;717-719, 2006[総説]	野村 翼:副腎皮質機能(内分泌症候群No.1、内分沁症候群(第2版)1), 別冊日本臨床;717-719, 2006[総説]
一次診療科	非臍帯性甲状腺腫(甲状腺疾患の診断と治療). 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 78(4):281-285, 2006[総説]	野村 翼, 広原 台:非臍帯性甲状腺腫(甲状腺疾患の診断と治療). 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 78(4):281-285, 2006[総説]
一次診療科	Na+水調節における肺質コルチコイドの役割(体液調節とホルモン). ホルモンと臨床 54(5):27-31, 2006[総説]	齋藤 洋, 野野 加野 喬:Na+水調節における肺質コルチコイドの役割(体液調節とホルモン). ホルモンと臨床 54(5):27-31,
一次診療科	東京女子医科大学病院の電子カルテシステム. 日本診療情報管理学会誌 32(2):31-33, 2006[総説]	齋藤 登:東京女子医科大学病院の電子カルテシステム. 日本診療情報管理学会誌 32(2):31-33, 2006[総説]
循環器内科学	Fundamental Lesson 抜り方 肥大型心筋症はどのように診断して何を計画すればよいか. 心エコー 7(5):354-361, 2006[総説]	新井光太郎, 笠貫 宏, 吉川純一:Fundamental Lesson 抜り方 肥大型心筋症はどのように診断して何を計画すればよいか. 心エコー 7(5):354-361, 2006[総説]
循環器内科学	市中総合病院における過去20年間の感染性心内膜炎の動向と院内予後予測因子の検討. J Cardiol 47(2):73-81, 2006[原著論文]	江島浩一郎, 岡 俊明, 谷本京美, 石塚尚子, 笠貫 宏:市中総合病院における過去20年間の感染性心内膜炎の動向と院内予後予測因子の検討. J Cardiol 47(2):73-81, 2006[原著論文]
循環器内科学	臨床工学技士の重要な職域となったベースメーカー業務 ベースメーカー植込み手術の合併症. Cli Eng 17(8):844-849, 2006[総説]	江島浩一郎, 庄田守男:臨床工学技士の重要な職域となったベースメーカー業務 ベースメーカー植込み手術の合併症. Cli Eng 17(8):844-849, 2006[総説]
循環器内科学	慢性心不全治療の進歩 成因と臨床研究 治療の進歩 非薬物療法 心臓再同期療法. 日臨床 64(5):941-948, 2006[総説]	古堅あさず, 松田直樹, 笠貫 宏:慢性心不全治療の進歩 成因と臨床研究 治療の進歩 非薬物療法 心臓再同期療法. 日臨床 64(5):941-948, 2006[総説]
循環器内科学	内科医のための補助循環装置・人工臓器の最新事情 心臓再同期療法(Cardiac Resynchronization Therapy). 分子心血管病 7(5):476-484, 2006[総説]	古堅あさず, 松田直樹:内科医のための補助循環装置・人工臓器の最新事情 心臓再同期療法(Cardiac Resynchronization Therapy). 分子心血管病 7(5):476-484, 2006[総説]
循環器内科学	不整脈研究の最新動向 遺伝子異常と不整脈 不整脈源性右室心筋症と遺伝子異常 ARVCと遺伝子変異. 医学のあゆみ 217(6):664-668, 2006[総説]	萩原誠久, 榎木本祐, 笠貫 宏:不整脈研究の最新動向 遺伝子異常と不整脈 不整脈源性右室心筋症と遺伝子異常 ARVCと遺伝子変異. 医学のあゆみ 217(6):664-668, 2006[総説]
循環器内科学	心室頻拍・心室細動 心室頻拍・心室細動の電気的除細動 一刻も早く停止させるために. ICUとCCU 30(7):479-486, 2006[総説]	萩原誠久, 笠貫 宏:心室頻拍・心室細動 心室頻拍・心室細動の電気的除細動 一刻も早く停止させるために. ICUとCCU 30(7):479-486, 2006[総説]
循環器内科学	急性心筋梗塞患者の入院時血清クレアチニン値上界と血清C-線維・助手待遇AC-reactive protein値上昇の併存が予後に与える影響について. 日冠疾患会誌 12(24-28, 2006[原著論文]	本田 順, 山口淳一, 高木 厚, 長島道哉, 栗原朋宏, 新井清仁, 石井康宏, 親見由起夫, 萩原誠久, 笠貫 宏:急性心筋梗塞患者の入院時血清クレアチニン値上界と血清C-線維・助手待遇AC-reactive protein値上昇の併存が予後に与える影響について. 日冠疾患会誌 12(24-28, 2006[原著論文]
循環器内科学	急性心筋梗塞患者の入院時血清クレアチニン値上界と血清C-reactive protein値上昇の併存が予後に与える影響について. 日冠疾患会誌 12(1):24-28, 2006[原著論文]	本田 順, 山口淳一, 高木 厚, 長島道哉, 栗原朋宏, 新井清仁, 石井康宏, 親見由起夫, 萩原誠久, 笠貫 宏:急性心筋梗塞患者の入院時血清クレアチニン値上界と血清C-reactive protein値上昇の併存が予後に与える影響について. 日冠疾患会誌 12(1):24-28,
循環器内科学	心エコー 女性の活躍 女性医師・技師へのメッセージ 性差と医療 3(8):889-893, 2006[総説]	石塚尚子:心エコー 女性の活躍 女性医師・技師へのメッセージ 性差と医療 3(8):889-893, 2006[総説]
循環器内科学	Common Diseaseインストラクションマニュアル 患者に何をどう説明するか 循環器疾患 感染性心内膜炎. Medicina 43(12):46-49, 2006[総説]	石塚尚子:Common Diseaseインストラクションマニュアル 患者に何をどう説明するか 循環器疾患 感染性心内膜炎. Medicina 43(12):46-49, 2006[総説]
循環器内科学	急性心筋梗塞患者における造影剤誘発性嘔吐の臨床的意義. J Cardiol 48(1):9-16, 2006[原著論文]	重城健太郎, 山口淳一, 大林貴史, 鈴木香里, 關口治樹, 長崎道哉, 親見由起夫, 笠貫 宏:急性心筋梗塞患者における造影剤誘発性嘔吐の臨床的意義. J Cardiol 48(1):9-16, 2006[原著論文]
循環器内科学	循環器学2006年の進歩 不整脈学研究の進歩. 循環器専門医 14(2):322-328, 2006[総説]	笠貫 宏:循環器学2006年の進歩 不整脈学研究の進歩. 循環器専門医 14(2):322-328, 2006[総説]
循環器内科学	心臓突然死の予知と予防. ICUとCCU 30(10):834-840, 2006[総説]	笠貫 宏:心臓突然死の予知と予防. ICUとCCU 30(10):834-840, 2006[総説]
循環器内科学	日本人の慢性心不全におけるカルペジロール治療の長期予後と忍容性. J Cardiol 47(5):229-237, 2006[原著論文]	川城直美, 松田直樹, 斎藤謙子, 内田吉枝, 笠貫 宏:日本人の慢性心不全におけるカルペジロール治療の長期予後と忍容性. J Cardiol 47(5):229-237, 2006[原著論文]
循環器内科学	Postural change-associated alterations in QT/QTC intervals on electrocardiograms. J Arrhythmia 21(5):528, 2006[原著論文]	久保 伸, 村上省吾, 大坂邦明, 設賀 刚, 入江 伸, 笠貫 宏:Postural change-associated alterations in QT/QTC intervals on electrocardiograms. J Arrhythmia 21(5):528, 2006[原著論文]
循環器内科学	循環器疾患の画像診断 up to date 不整脈カテーテル治療支援システム:CARTOシステム. Cardiac Practice 17(4):391-396, 2006[総説]	中西哲之, 笠貫 宏:循環器疾患の画像診断 up to date 不整脈カテーテル治療支援システム:CARTOシステム. Cardiac Practice 17(4):391-396, 2006[総説]
循環器内科学	慢性心不全治療の進歩 成因と臨床研究 治療の進歩 非薬物療法 植込み型除細動器(ICD). 日臨床 64(5):949-954, 2006[総説]	松田直樹:慢性心不全治療の進歩 成因と臨床研究 治療の進歩 非薬物療法 植込み型除細動器(ICD). 日臨床 64(5):949-954,
循環器内科学	不整脈研究の最新動向 心不全の心臓再同期療法 心臓再同期療法の理論的根拠 responderとnonresponder. 医学のあゆみ 217(6):677-681, 2006[総説]	松田直樹:不整脈研究の最新動向 心不全の心臓再同期療法 心臓再同期療法の理論的根拠 responderとnonresponder. 医学のあゆみ 217(6):677-681, 2006[総説]
循環器内科学	不整脈 診断と治療 不整脈の薬物療法の現状と展望 抗不整脈薬の分類と電気生理. 日内科会誌 95(2):240-245, 2006[総説]	松田直樹:不整脈 診断と治療 不整脈の薬物療法の現状と展望 抗不整脈薬の分類と電気生理. 日内科会誌 95(2):240-245, 2006[総説]
循環器内科学	循環器内科学 心臓再同期療法:CRT. 医学のあゆみ 216(6):479-481, 2006[総説]	松田直樹:循環器内科学 心臓再同期療法:CRT. 医学のあゆみ 216(6):479-481, 2006[総説]
循環器内科学	不整脈非薬物療法の現状と5年後の展望 心臓再同期療法(CRT)とCRT-D. 呼吸と循環 55(1):41-49, 2006[総説]	松田直樹:不整脈非薬物療法の現状と5年後の展望 心臓再同期療法(CRT)とCRT-D. 呼吸と循環 55(1):41-49, 2006[総説]
循環器内科学	心不全治療 up to date 心不全の非薬物療法 心臓再同期療法(CRT)の適応と長期成績. Cardiac Practice 17(3):271-276, 2006[総説]	松田直樹:心不全治療 up to date 心不全の非薬物療法 心臓再同期療法(CRT)の適応と長期成績. Cardiac Practice 17(3):271-276, 2006[総説]
循環器内科学	心不全治療 Controversy 2006 補助人工心臓(LVAD)のタイミング 内科的立場から. Cardiovase Med-Surg 8(4):425-428, 2006[総説]	松田直樹:心不全治療 Controversy 2006 補助人工心臓(LVAD)のタイミング 内科的立場から. Cardiovase Med-Surg 8(4):425-428, 2006[総説]
循環器内科学	慢性心不全 新しい展開と治療 アミオダロンとICDによる致死的不整脈治療 医学と薬学 55(6):839-845, 2006[総説]	松田直樹:慢性心不全 新しい展開と治療 アミオダロンとICDによる致死的不整脈治療 医学と薬学 55(6):839-845, 2006[総説]
循環器内科学	Cardiac Resynchronization Therapy(CRT) 心不全治療に活かす 診る Dysynchronyにおけるelectromechanical dissociation. Heart View 10(9):983-987, 2006[総説]	松田直樹:Cardiac Resynchronization Therapy(CRT) 心不全治療に活かす 診る Dysynchronyにおけるelectromechanical dissociation. Heart View 10(9):983-987, 2006[総説]
循環器内科学	管理不良不整脈へのアプローチ 妊娠性不整脈にどう対処するか 病態ごとの治療抵抗性不整脈の管理 周術期治療抵抗性不整脈への治療戦略. Modern Physician 26(10):1587-1590, 2006[総説]	松田直樹:管理不良不整脈へのアプローチ 妊娠性不整脈にどう対処するか 病態ごとの治療抵抗性不整脈の管理 周術期治療抵抗性不整脈への治療戦略. Modern Physician 26(10):1587-1590, 2006[総説]
循環器内科学	21世紀の不整脈診療 Brugada症候群. 成人病と生活習慣病 36(11):1355-1361, 2006[総説]	松田直樹:21世紀の不整脈診療 Brugada症候群. 成人病と生活習慣病 36(11):1355-1361, 2006[総説]
循環器内科学	心不全UPDATE 心不全の非薬物療法 心臓再同期療法. 医学のあゆみ 218(4):1271-1276, 2006[総説]	松田直樹:心不全UPDATE 心不全の非薬物療法 心臓再同期療法. 医学のあゆみ 218(4):1271-1276, 2006[総説]
循環器内科学	低心機能例におけるアミオダロンの位置づけ 心臓再同期療法を含む新しいアプローチ 致死性心室性不整脈. Prog Med 26(Suppl.1):1486-1492, 2006[総説]	松田直樹:低心機能例におけるアミオダロンの位置づけ 心臓再同期療法を含む新しいアプローチ 致死性心室性不整脈. Prog Med 26(Suppl.1):1486-1492, 2006[総説]
循環器内科学	抗血小板療法 アテローム血栓症をいかに予防・治療するか? 一次予防としての抗血小板療法 その適応とガイドライン. Heart View 10(13):1416-1421, 2006[総説]	野口 哲, 石塚尚子, 谷本京美, 笠貫 宏:抗血小板療法 アテローム血栓症をいかに予防・治療するか? 一次予防としての抗血小板療法 その適応とガイドライン. Heart View 10(13):1416-1421, 2006[総説]
循環器内科学	心尖部肥大型心筋症における左室内拡張拘張異性血流の経過観察. J Cardiol 47(1):15-23, 2006[原著論文]	野口 哲:心尖部肥大型心筋症における左室内拡張拘張異性血流の経過観察. J Cardiol 47(1):15-23, 2006[原著論文]
循環器内科学	施血性心疾患に対する硝酸薬のエビデンスを考える HIJAMI研究の結果からみた硝酸薬の有用性. Therapeutic Res 27(7):1277-1287, 2006[総説]	小川洋司:施血性心疾患に対する硝酸薬のエビデンスを考える HIJAMI研究の結果からみた硝酸薬の有用性. Therapeutic Res 27(7):1277-1287, 2006[総説]
循環器内科学	Pilsicainide静注により持続性單形性心室頻拍が誘発されアブレーションを行った1例. 臨床心臓電気生理 29:241-248, 2006[症例報告]	大木麻希子, 庄田守男, 谷崎剛平, 河井浩孝, 綱代洋一, 佐藤高栄, 高橋一浩, 莫申哲之, 江島浩一郎, 萩原誠久, 笠貫 宏: Pilsicainide静注により持続性單形性心室頻拍が誘発されアブレーションを行った1例. 臨床心臓電気生理 29:241-248, 2006[症例報告]
循環器内科学	Comprehensive genetic analysis of relevant four genes in 49 patients with Marfan syndrome or Marfan-related phenotypes. Am J Med Genet Pt A 140A:1719-1725, 2006[原著論文]	佐藤佳和, 松本直通:Comprehensive genetic analysis of relevant four genes in 49 patients with Marfan syndrome or Marfan-related phenotypes. Am J Med Genet Pt A 140A:1719-1725, 2006[原著論文]
循環器内科学	Mild and short recurrence of type II amiodarone-induced thyrotoxicosis in three patients receiving amiodarone continuously for more than 10 years. Endocr J 53(4):531-538, 2006[原著論文]	Sato Kanji, Shige Tsuyoshi, Matsuda Naoki, Onoda Noritaka, Takeno Kazue, Hagiwara Nobuhisa, Kasanuki Hiroshi: Mild and short recurrence of type II amiodarone-induced thyrotoxicosis in three patients receiving amiodarone continuously for more than 10 years. Endocr J 53(4):531-538, 2006[原著論文]

部署名	タイトル	著者
循環器内科学	T cells in the atherosclerosis plaque: A role for TRAIL-producing T cells in the rupture of the atherosclerotic plaque. . Low-dose radiation exposures and bio-defense system:99-102, 2006[研究報告]	Sato Kayoko, Shiga Tsuyoshi, Matsuda Naoki, Onoda N, Takano K, Hagiwara Nobuhisa, Kasanuki Hiroshi:T cells in the atherosclerosis plaque: A role for TRAIL-producing T cells in the rupture of the atherosclerotic plaque. . Low-dose radiation exposures and bio-defense system:99-102, 2006[研究報告]
循環器内科学	ICDとβ遮断薬,amiodarone作用の役割. Prog Med 26(9):2349-2352, 2006[原著論文]	志賀 刚, 松田直樹, 山田雄一郎, 弓野 大, 萩原誠久, 笠貫 宏:ICDとβ遮断薬,amiodarone作用の役割. Prog Med 26(9):2349-2352, 2006[原著論文]
循環器内科学	非抗不整脈薬の新薬開発におけるQT/QTc間隔の取扱い ICH E14 Step4を受けて. 臨床薬理 37(2):83-87, 2006[総説]	志賀 刚:非抗不整脈薬の新薬開発におけるQT/QTc間隔の取扱い ICH E14 Step4を受けて. 臨床薬理 37(2):83-87, 2006[総説]
循環器内科学	循環器用薬剤の他臓器作用,非循環器用薬剤の循環器系への作用 循環器用薬剤の妊娠に及ぼす影響. 呼吸と循環 54(5):471-478, 2006[総説]	志賀 刚:循環器用薬剤の他臓器作用,非循環器用薬剤の循環器系への作用 循環器用薬剤の妊娠に及ぼす影響. 呼吸と循環 54(5):471-478, 2006[総説]
循環器内科学	適応外使用のエビデンス 循環器領域における薬物治療と適応外使用を考える EBMと併鑑適応. EBMジャーナル 7(3):451-459, 2006[総説]	志賀 刚:適応外使用のエビデンス 循環器領域における薬物治療と適応外使用を考える EBMと併鑑適応. EBMジャーナル 7(3):451-459, 2006[総説]
循環器内科学	アミオダロン 日本人における有効性と安全性. 循環器科 59(6):599-604, 2006[総説]	志賀 刚:アミオダロン 日本人における有効性と安全性. 循環器科 59(6):599-604, 2006[総説]
循環器内科学	心臓弁膜症 知っておきたい最善の診断と治療 弁膜症に関するトピックス 臨床現場で実際どのように管理するのか? 高齢者の弁膜疾患 とくに気をつけなさい 内科 97(3):507-512, 2006[総説]	島本 雄一:心臓弁膜症 知っておきたい最善の診断と治療 弁膜症に関するトピックス 臨床現場で実際どのように管理するのか? 高齢者の弁膜疾患 とくに気をつけること 内科 97(3):507-512, 2006[総説]
循環器内科学	急性冠症候群 診断・治療法の進歩 特殊 危険因子と予防法. 日臨床 64(4):779-787, 2006[総説]	鷲本 勝, 川名正毅:急性冠症候群 診断・治療法の進歩 特殊 危険因子と予防法. 日臨床 64(4):779-787, 2006[総説]
循環器内科学	プライマリー不整脈疾患 その病態理解から治療へ 診断・鑑別を要する疾患 ARVCと心筋炎. Heart View 10(5):540-542, 2006[総説]	庄田守男:プライマリー不整脈疾患 その病態理解から治療へ 診断・鑑別を要する疾患 ARVCと心筋炎. Heart View 10(5):540-542, 2006[総説]
循環器内科学	診断と治療 最近の進歩 不規則 心房細動アブレーション治療の適応と問題点. Ann Rev循環器 2006:208-214, 2006[総説]	庄田守男:診断と治療 最近の進歩 不規則 心房細動アブレーション治療の適応と問題点. Ann Rev循環器 2006:208-214, 2006[総説]
循環器内科学	医療機器の治療と臨床工学技士の役割 薬事法改正による法制化への対応 臨床試験における臨床工学技士の役割. Cli Eng 17(3):258-260, 2006[総説]	庄田守男:医療機器の治療と臨床工学技士の役割 薬事法改正による法制化への対応 臨床試験における臨床工学技士の役割. Cli Eng 17(3):258-260, 2006[総説]
循環器内科学	Hyper-echoic plaque with high attenuation in intravascular ultrasound may predict slow flow during percutaneous coronary intervention. Nepal Med Coll J 8(3):204-207, 2006[原著論文]	Shrestha Babaram, Takagi Atsushi, Ishii Yasuhiro, Tsurumi Yukio, Kasanuki Hiroshi: Hyper-echoic plaque with high attenuation in intravascular ultrasound may predict slow flow during percutaneous coronary intervention. Nepal Med Coll J 8(3):204-207, 2006[原著論文]
循環器内科学	Excessive intrastent plaque volume is the major cause of restenosis after intracoronary bare metal stent implantation: a 3-dimensional intravascular ultrasound and quantitative coronary angiography based study. Nepal Med Coll J 8(2):82-87, 2006[原著論文]	Shrestha Babaram, Takagi Atsushi, Ishii Yasuhiro, Tsurumi Yukio, Kasanuki Hiroshi: Excessive intrastent plaque volume is the major cause of restenosis after intracoronary bare metal stent implantation: a 3-dimensional intravascular ultrasound and quantitative coronary angiography based study. Nepal Med Coll J 8(2):82-87, 2006[原著論文]
循環器内科学	Non-invasive assessment of coronary arterial tone using trans-thoracic Doppler echocardiography. Circulation J 70(4):459-62, 2006[原著論文]	Takagi Atsushi, Tsurumi Yukio, Arai Kotaro, Ishii Yasuhiro, Tanimoto Kyomi, Tanimoto Kyomi, Kasanuki Hiroshi: Non-invasive assessment of coronary arterial tone using trans-thoracic Doppler echocardiography. Circulation J 70(4):459-62, 2006[原著論文]
循環器内科学	Single administration of cerivastatin, an HMG-CoA reductase inhibitor, improves the coronary flow velocity reserve: a transthoracic Doppler echocardiography study. Heart Vessels 21(5):298-301, 2006[原著論文]	Takagi Atsushi, Tsurumi Yukio, Ishizuka Naoko, Omori Hisako, Arai Kyohito, Hagiwara Nobuhisa, Kasanuki Hiroshi: Single administration of cerivastatin, an HMG-CoA reductase inhibitor, improves the coronary flow velocity reserve: a transthoracic Doppler echocardiography study. Heart Vessels 21(5):298-301, 2006[原著論文]
循環器内科学	根拠に基づいた循環器看護の実践 ヘルスプロモーションから終末期ケアまで 基礎編 循環器看護の実践の基盤となるもの 循環器疾患の治療に関する基礎的理解 循環器疾患の診断法の進歩. 看護技術 52(5):38-42, 2006[総説]	高木 厚, 笠貫 宏:根拠に基づいた循環器看護の実践 ヘルスプロモーションから終末期ケアまで 基礎編 循環器看護の実践の基盤となるもの 循環器疾患の治療に関する基礎的理解 循環器疾患の診断法の進歩. 看護技術 52(5):38-42, 2006[総説]
循環器内科学	診断の指針 治療の指針 急性胸痛の評価. 総合臨床 55(3):531-532, 2006[総説]	高木 厚:診断の指針 治療の指針 急性胸痛の評価. 総合臨床 55(3):531-532, 2006[総説]
循環器内科学	不安定狭心症の子後評価におけるC反応性蛋白および心筋トロポニンTの意義. J Cardiol 47(4):173-179, 2006[原著論文]	田中博之, 鶴見由起夫, 笠貫 宏:不安定狭心症の子後評価におけるC反応性蛋白および心筋トロポニンTの意義. J Cardiol 47(4):173-179, 2006[原著論文]
循環器内科学	心臓非歎症 知っておきたい最善の診断と治療 症瘕生理・診断・治療・予後 感染性心内膜炎. 内科 97(3):477-483, 2006[総説]	谷本京美:心臓非歎症 知っておきたい最善の診断と治療 症瘕生理・診断・治療・予後 感染性心内膜炎. 内科 97(3):477-483,
循環器内科学	ER-ICUでの薬の使い方Q&A プロの実践と秘訣に学ぶ 循環器疾患の緊急治療 感染性心内膜炎. 救急・集中治療 18(7月8日):1003-1013, 2006[総説]	谷本京美:ER-ICUでの薬の使い方Q&A プロの実践と秘訣に学ぶ 循環器疾患の緊急治療 感染性心内膜炎. 救急・集中治療 18(7月8日):1003-1013, 2006[総説]
循環器内科学	Critical roles of muscle-secreted angiogenic factors in therapeutic neovascularization. Circ Res 98(9):1194-1202, 2006[原著論文]	Tateno Kaoru, Minamino Tohru, Toki Haruhiro, Akazawa Hiroshi, Shimizu Naomi, Takeda Shinichi, Kunieda Takeshige, Miyauchi Hideyuki, Oyama Tomomi, Matsura Kaoru, Nishi Junichiro, Kobayashi Yoshiro, Nagai Toshio, Kuwabara Yoichi, Iwakura Yoichiro, Nomura Fumiyo, Saito Yesushi, Komuro Itse: Critical roles of muscle-secreted angiogenic factors in therapeutic neovascularization. Circ Res 98(9):1194-1202, 2006[原著論文]
循環器内科学	心房細動 抗血栓療法ガイドラインとの実践. 血栓と循環 14(1):52-57, 2006[総説]	Watanabe Eri, Matsuda Naoki, Shiga Tsuyoshi, Kajimoto Katsuya, Ajiro Yoichi, Kawarai Hirotaka, Kasanuki Hiroshi, Kawana Masatoshi: Significance of 8-hydroxy-2'-deoxyguanosine levels in patients with idiopathic dilated cardiomyopathy. J Card Fail 12(7):527-32, 2006[原著論文]
循環器内科学	Significance of 8-hydroxy-2'-deoxyguanosine levels in patients with idiopathic dilated cardiomyopathy. J Card Fail 12(7):527-32, 2006[原著論文]	柳下大悟, 庄田守男, 木 猛雅, 谷崎剛平, 中真智夫, 江島浩一郎, 二川圭介, 松田直樹, 萩原誠久, 笠貫 宏, 高橋一浩, 鈴木鋼毅:高除細動閾値低至例に対する冠静脈後側壁へのコイル電極留置が有効であった1例. 心臓 38(Suppl.4):61-66, 2006[症例報告]
循環器内科学	Video-assisted thoracoscopy to treat atrial tachycardia arising from left atrial appendage. J Cardiovasc Electrophysiol 17(8):895-898, 2006[原著論文]	Yamada Yujiro, Ajiro Yoichi, Shoda Morio, Kawai Akiko, Hagiwara Nobuhisa, Kurosawa Hiromi, Kasanuki Hiroshi: Video-assisted thoracoscopy to treat atrial tachycardia arising from left atrial appendage. J Cardiovasc Electrophysiol 17(8):895-898, 2006[原著論文]
循環器内科学	アミオダロン肺炎の薬剤疫学的研究. Prog Med 26(Suppl.1):1394-1398, 2006[原著論文]	山田 雄一, 志賀 刚, 鈴木 鋼毅, 長沼英代子, 松田直樹, 萩原誠久, 笠貫 宏:アミオダロン肺炎の薬剤疫学的研究. Prog Med 26(Suppl.1):1394-1398, 2006[原著論文]
循環器内科学	生活習慣病の実地診療 最新の病期・病態別診療指針 生活習慣病の病期・病態別診療指針と薬の選択法 対眠時無呼吸症候群. Med Pract 23(9):1569-1573, 2006[総説]	弓野 大, 成井浩司:生活習慣病の実地診療 最新の病期・病態別診療指針 生活習慣病の病期・病態別診療指針と薬の選択法 対眠時無呼吸症候群. Med Pract 23(9):1569-1573, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	Marfan症候群における新しい心臓血管外科治療 早期の予防的術による遠隔生存率の向上. 心臓 38(5):431-436, 2006[総説]	背見茂之:Marfan症候群における新しい心臓血管外科治療 早期の予防的術による遠隔生存率の向上. 心臓 38(5):431-436, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	まいてぐにく 急性大動脈弓部解離の遠位断端形成と吻合法. 胸部外科 59(13):1145, 2006[総説]	背見茂之:まいてぐにく 急性大動脈弓部解離の遠位断端形成と吻合法. 胸部外科 59(13):1145, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	Anatomic correction of congenitally corrected transposition and its close cousins. Cardiol Young 16 (Suppl 3):85-90, 2006[原著論文]	Bova E, Ohye R, Devaney E, Kurosawa Hiromi, Shin'oka Toshiharu, Ikeda Aki, Nakaniishi Toshio: Anatomic correction of congenitally corrected transposition and its close cousins. Cardiol Young 16 (Suppl 3):85-90, 2006[原著論文]
心臓血管外科学(成人・小児)	Long-term results of modified bental procedure using flanged composite aortic prosthesis and separately interposed coronary graft technique. Interact CardioVasc Thorac Surg 5:574-577, 2006[原著論文]	Hirashima Yujiro, Aomi Shigejuku, Saito Satoshi, Kihara Shin'ichi, Tomioka Hideyuki, Kurosawa Hiromi: Long-term results of modified bental procedure using flanged composite aortic prosthesis and separately interposed coronary graft technique. Interact CardioVasc Thorac Surg 5:574-577, 2006[原著論文]
心臓血管外科学(成人・小児)	内科医のための補助循環装置・人工臓器の最新事情 培養人工血管(Tissue Engineering Graft). 分子心血管病 7(5):503-510, 2006[総説]	保木恭子:新岡俊治:内科医のための補助循環装置・人工臓器の最新事情 培養人工血管(Tissue Engineering Graft). 分子心血管病 7(5):503-510, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	目でみる新生児・乳児期心臓血管外科 先天性心疾患領域における再生医療-Tissue engineeringの展望. 小児外科 38(2):239-244, 2006[総説]	市原有起:松村剛義, 新岡俊治:目でみる新生児・乳児期心臓血管外科 先天性心疾患領域における再生医療-Tissue engineeringの展望. 小児外科 38(2):239-244, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	次世代型補助人工心臓の埋め込み手術の経験. 体外循環技術 33(2):174-176, 2006[原著論文]	五十嵐利博, 中尾一俊, 遠山範淳, 長坂淳一, 三浦貴之, 北村麻未, 海老澤佳世, 斎藤聰, 木原信一郎, 山崎健二, 黒澤博身, 小山秀一:次世代型補助人工心臓の埋め込み手術の経験. 体外循環技術 33(2):174-176, 2006[原著論文]
心臓血管外科学(成人・小児)	Effectiveness of carvedilol for congestive heart failure that developed long after modified Fontan operation.. Pediatr Cardiol 27:473-475, 2006[原著論文]	Ishibashi Nobuyuki, Kita N, Nishiyama M, Murakami Yasuo, Mori Katsuhiko, Mimori Shigekazu, Ando Masahiko, Takahashi Y, Nakaniishi Toshio: Effectiveness of carvedilol for congestive heart failure that developed long after modified Fontan operation.. Pediatr Cardiol 27:473-475, 2006[原著論文]

部署名	タイトル	著者
心臓血管外科学(成人・小児)	The nomenclature, definition and classification of discordant atrioventricular connections. <i>Cardiol Young</i> 16(Suppl. 3):72-84, 2006[原著論文]	Jacobs JP, Franklin RCG, Wilkinson JL, Cochrane AD, Kari TR, Aiello VD, Beland MJ, Colan SD, Elliott MJ, Gaynor JW, Krogmann ON, Kurosawa Hiromi, Maruszewski B, Stellin G, Tchervenkov CI, Weinberg PM: The nomenclature, definition and classification of discordant atrioventricular connections. <i>Cardiol Young</i> 16(Suppl. 3):72-84, 2006[原著論文]
心臓血管外科学(成人・小児)	What is operative mortality? Defining death in a surgical registry database: A report of the STS Congenital Database Taskforce and the Joint EACTS-STS Congenital Database Committee. <i>Ann Thorac Surg</i> 5:1937-1941, 2006[原著論文]	Jacobs JP, Mavroudis C, Jacobs ML, Maruszewski B, Tchervenkov CI, Lacour-Gayet FG, Clarke DR, Yeh T, Walters HL, Kurosawa Hiromi, Stellin G, Ebels T, Elliott MJ: What is operative mortality? Defining death in a surgical registry database: A report of the STS Congenital Database Taskforce and the Joint EACTS-STS Congenital Database Committee. <i>Ann Thorac Surg</i> 5:1937-1941, 2006[原著論文]
心臓血管外科学(成人・小児)	Classification of the functionally univentricular heart: unity from mapped codes. <i>Cardiol Young</i> 16:9-12, 2006[原著論文]	Jacobs JP, Franklin RCG, Jacobs ML, Colan SD, Tchervenkov CI, Maruszewski B, Gaynor JW, Spray TL, Stellin G, Aiello VD, Beland MJ, Krogmann ON, Kurosawa Hiromi, Weinberg PM, Elliott MJ, Mavroudis C: Classification of the functionally univentricular heart: unity from mapped codes. <i>Cardiol Young</i> 16:9-12, 2006[原著論文]
心臓血管外科学(成人・小児)	診断と治療 最近の進歩 心不全 植込み型補助人工心臓によるDestination Therapy. <i>Ann Rev循環器</i> 2006:199-202, 2006[総説]	川合明彦: 診断と治療 最近の進歩 心不全 植込み型補助人工心臓によるDestination Therapy. <i>Ann Rev循環器</i> 2006:199-202, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	診断と治療 最近の進歩 心不全 植込み型補助人工心臓によるDestination Therapy. <i>Ann Rev循環器</i> 2006:199-202, 2006[総説]	川合明彦: 診断と治療 最近の進歩 心不全 植込み型補助人工心臓によるDestination Therapy. <i>Ann Rev循環器</i> 2006:199-202, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	体外循環を安全に行うためのシミュレーション教育 体外循環シミュレーション教育に期待される安全性の向上とシステム統一化の必要性.. 人工臓器 35: 249-251, 2006[総説]	北村麻未, 五十嵐利輝, 三浦貴之, 海老澤佳延, 長坂章一, 中尾一俊, 富澤康子, 斎藤聰, 石山雅邦, 新岡俊治, 黒澤博身, 百瀬直樹: 体外循環を安全に行うためのシミュレーション教育 体外循環シミュレーション教育に期待される安全性の向上とシステム統一化の必要性.. 人工臓器 35:249-251, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	私のOP録 Apico-aortic bypass術後20年経過例. <i>Cardiovasc Med-Surg</i> 8(2):191-194, 2006[総説]	小柳 仁: 私のOP録 Apico-aortic bypass術後20年経過例. <i>Cardiovasc Med-Surg</i> 8(2):191-194, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	成人先天性心疾患の診断と治療 総論. <i>Cardiovasc Med-Surg</i> 8(1):7-8, 2006[総説]	黒澤博身: 成人先天性心疾患の診断と治療 総論. <i>Cardiovasc Med-Surg</i> 8(1):7-8, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	日本の医療制度についての諸問題 心臓血管外科の保険制度・諸外国との比較. 日外科会誌 107(臨増3):18-19, 2006[総説]	黒澤博身: 日本の医療制度についての諸問題 心臓血管外科の保険制度・諸外国との比較. 日外科会誌 107(臨増3):18-19, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	体外循環を安全に行うためのシミュレーション教育 ウエットラボによる人工心肺シミュレーションの検討 技術指導者の立場から. 人工臓器 35:219-223, 2006[総説]	又吉 徹, 百瀬直樹, 南 茂, 安野 誠, 見目恭一, 富澤康子: 体外循環を安全に行うためのシミュレーション教育 ウエットラボによる人工心肺シミュレーションの検討 技術指導者の立場から. 人工臓器 35:219-223, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	Evaluation of tissue-engineered vascular autografts. <i>Tissue Eng</i> 12(11):3075-3083, 2006[原著論文]	Matsumura Gouki, Ishihara Yoko, Miyagawa-Tomita Sachiko, Ikeda Yoshiro, Matsuda Syojiro, Kurosawa Hiromi, Shin'oka Toshiharu: Evaluation of tissue-engineered vascular autografts. <i>Tissue Eng</i> 12(11):3075-3083, 2006[原著論文]
心臓血管外科学(成人・小児)	再生医学 臨床と研究の最前線 臨床編 心臓 組織工学による心臓弁, 血管再生. 医学のあゆみ 217(5):424-428, 2006[総説]	宮本真嘉, 新岡俊治, 黒澤博身: 再生医学 臨床と研究の最前線 臨床編 心臓 組織工学による心臓弁, 血管再生. 医学のあゆみ 217(5):424-428, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	体外循環を安全に行うためのシミュレーション教育 人工心肺シミュレーション回路の作製. 人工臓器 35:214-218, 2006[総説]	百瀬直樹, 新見能成, 西田有里, 又吉徹, 東地, 富澤康子, 又吉 徹, 南 茂, 安野 誠, 岡庭功治, 神谷勝弘: 体外循環を安全に行うためのシミュレーション教育 人工心肺シミュレーション回路の作製. 人工臓器 35:214-218, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	胸部外科医の処遇および処遇改善の将来展望 指導される側のobligationから指導者・制度設計サイドのobligationの見直しへ 心臓血管外科専門医制度の可視化に向けて. <i>Cardiovasc Med-Surg</i> 8(4):430-436, 2006[原著論文]	西田博, 木原克一郎, 斎藤聰, 黒澤博身: 胸部外科医の処遇および処遇改善の将来展望 指導される側のobligationから指導者・制度設計サイドのobligationの見直しへ 心臓血管外科専門医制度の可視化に向けて. <i>Cardiovasc Med-Surg</i> 8(4):430-436, 2006[原著論文]
心臓血管外科学(成人・小児)	透析患者の循環器病変避けられない宿命か? 透析患者の弁膜異常 外科的治療. 臨床透析 22(4):443-453, 2006[総説]	西田博: 透析患者の循環器病変避けられない宿命か? 透析患者の弁膜異常 外科的治療. 臨床透析 22(4):443-453, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	わが国の冠動脈疾患の臨床エビデンス わが国における冠動脈疾患治療のコスト. 血管医学 7(1):59-70, 2006[総説]	西田博, 黒澤博身, 松田晋哉, 橋本英樹: わが国における冠動脈疾患治療のコスト. 血管医学 7(1):59-70, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	DES時代の左主幹部疾患治療 DES時代における左主幹部疾患に対するCABGの成績. <i>Coron Intervent</i> 2(5):12-21, 2006[総説]	西田博: DES時代の左主幹部疾患治療 DES時代における左主幹部疾患に対するCABGの成績. <i>Coron Intervent</i> 2(5):12-21, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	心臓血管系ノックアウトマウス(hes)における心疾患発症機構の解明と心機能評価. :1-131, 2006[研究報告]	西田博, 遠藤真弘, 富澤康子: 心臓血管系ノックアウトマウス(hes)における心疾患発症機構の解明と心機能評価. :1-131, 2006[研究報告]
心臓血管外科学(成人・小児)	透析患者の循環器病変 避けられない宿命か? 透析患者の冠動脈・虚血性疾患へのインターべンション治療 外科的治療 透析患者に対する冠動脈バイパス術 星期および遅延成績. 臨床透析 22(4):429-435, 2006[総説]	齋藤 駿, 山崎健二, 遠藤真弘, 黒澤博身: 透析患者の循環器病変 避けられない宿命か? 透析患者の冠動脈・虚血性疾患へのインターべンション治療 外科的治療 透析患者に対する冠動脈バイパス術 星期および遅延成績. 臨床透析 22(4):429-435, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	Journal of Artificial Organs 2005: the year in review. <i>J Artif Organs</i> 9:1-7, 2006[総説]	澤 芳树, 堀内 孝, 岸田晶夫, 増尾 篤, 水口一三, 西村元進, 大城隆文, 新里高弘, 吳 英介, 富澤康子, 渡辺 弘: <i>Journal of Artificial Organs 2005: the year in review. J Artif Organs 9:1-7, 2006[総説]</i>
心臓血管外科学(成人・小児)	人工血管から再生血管. 脳血管 46(2):165-170, 2006[総説]	新聞俊治: 人工血管から再生血管. 脳血管 46(2):165-170, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	循環器医のキャリアデザイン 研究を臨床に活かすには? 外科. <i>Cardiovasc Med-Surg</i> 8(3):245-252, 2006[総説]	新聞俊治: 循環器医のキャリアデザイン 研究を臨床に活かすには? 外科. <i>Cardiovasc Med-Surg</i> 8(3):245-252, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	Chronic expanding intrapericardial hematoma after pericardial paracentesis. <i>J Card Surg</i> 21(5):491-493, 2006[原著論文]	Sugiura Tadahisa, Nishida Hiroshi, Ishitoya Hiroshi, Tomizawa Yasuko, Saito Satoshi, Endo Masahiro, Kurosawa Hiromi: Chronic expanding intrapericardial hematoma after pericardial paracentesis. <i>J Card Surg</i> 21(5):491-493, 2006[原著論文]
心臓血管外科学(成人・小児)	Successful explantation of ventricular assist device for systemic ventricular assistance in a patient with congenitally corrected transposition of the great arteries. <i>Interact CardioVasc Thorac Surg</i> 5(6):792-793, 2006[原著論文]	: Successful explantation of ventricular assist device for systemic ventricular assistance in a patient with congenitally corrected transposition of the great arteries. <i>Interact CardioVasc Thorac Surg</i> 5(6):792-793, 2006[原著論文]
心臓血管外科学(成人・小児)	The nomenclature, definition and classification of hypoplastic left heart syndrome. <i>Cardiol Young</i> 16(4):339-368, 2006[原著論文]	Tchervenkov CI, Jacobs JP, Weinberg PM, Aiello VD, Beland MJ, Colan SD, Elliott MJ, Franklin RCG, Gaynor JW, Krogmann ON, Kurosawa H, Maruszewski B, Stellin G: The nomenclature, definition and classification of hypoplastic left heart syndrome. <i>Cardiol Young</i> 16(4):339-368, 2006[原著論文]
心臓血管外科学(成人・小児)	The nomenclature, definition and classification of hypoplastic left heart syndrome. <i>Cardiol Young</i> 16(4):339-368, 2006[原著論文]	Tchervenkov CI, Jacobs JP, Weinberg PM, Aiello VD, Beland MJ, Colan SD, Elliott MJ, Franklin RCG, Gaynor JW, Krogmann ON, Kurosawa H, Maruszewski B, Stellin G: The nomenclature, definition and classification of hypoplastic left heart syndrome. <i>Cardiol Young</i> 16(4):339-368, 2006[原著論文]
心臓血管外科学(成人・小児)	Corrosion of stainless steel sternal wire after long-term implantation. <i>J Artif Organs</i> 9:61-66, 2006[原著論文]	Tomizawa Yasuko, Hanawa Takaao, Kuroda Daisuke, Nishida Hiroshi, Endo Masahiro: Corrosion of stainless steel sternal wire after long-term implantation. <i>J Artif Organs</i> 9:61-66, 2006[原著論文]
心臓血管外科学(成人・小児)	体外循環を安全に行うためのシミュレーション教育 体外循環のトラブルシミュレーション ウエットラボの経験. 人工臓器 35(1):233-236, 2006[原著論文]	富澤康子, 四雄良平, 百瀬直樹, 安野 誠, 又吉 徹, 南 茂, 見目恭一, 神谷勝弘: 体外循環を安全に行うためのシミュレーション教育 体外循環のトラブルシミュレーション ウエットラボの経験. 人工臓器 35(1):233-236, 2006[原著論文]
心臓血管外科学(成人・小児)	機能的足場にrhbFGFを組み込んだ人工臓器・生体材料への血管新生と組織再構築. :1-108, 2006[研究報告]	富澤康子: 機能的足場にrhbFGFを組み込んだ人工臓器・生体材料への血管新生と組織再構築. :1-108, 2006[研究報告]
心臓血管外科学(成人・小児)	血管の再生医療. ティッシュエンジニアリング 2006:126-129, 2006[総説]	渡辺成仁, 新岡俊治: 血管の再生医療. ティッシュエンジニアリング 2006:126-129, 2006[総説]
心臓血管外科学(成人・小児)	根拠に基づいた循環器看護の実践 ヘルスプロモーションから終末期ケアまで 基礎編 循環器看護の実践の基礎となるもの 基礎的理識 次世代型補助人工心臓EVAHARTによる重症心不全治療. 看護技術 52(5):31-33, 2006[総説]	山岸桂二: 根拠に基づいた循環器看護の実践 ヘルスプロモーションから終末期ケアまで 基礎編 循環器看護の実践の基礎となるもの 基礎的理識 次世代型補助人工心臓EVAHARTによる重症心不全治療. 看護技術 52(5):31-33, 2006[総説]
循環器小児科	Analysis of voltage-gated potassium channel beta1 subunits in the porcine neonatal ductus arteriosus. <i>Pediatr Res</i> 59(2):167-174, 2006[原著論文]	Hayama Emiko, Imaura Shin-ichiro, Wu Cuijiao, Nakazawa Makoto, Matsuka Rumiko, Nakamichi Toshio: Analysis of voltage-gated potassium channel beta1 subunits in the porcine neonatal ductus arteriosus. <i>Pediatr Res</i> 59(2):167-174, 2006[原著論文]

部署名	タイトル	著者
循環器小児科	Prevalence of Arrhythmias and Their Risk Factors Mid-and Long-Term After the Arterial Switch Operation. <i>Pediatr Cardiol</i> 27:689-694, 2006[原著論文]	Hayashi George, Kuroski Kenichi, Echig Shigeyuki, Kado Hideaki, Fukushima Norihide, Yokota Michio, Niwa Kouichirou, Shinohara Tokuko , Nakazawa Makoto : Prevalence of Arrhythmias and Their Risk Factors Mid-and Long-Term After the Arterial Switch Operation. <i>Pediatr Cardiol</i> 27:689-694, 2006[原著論文]
循環器小児科	Expression of myeloid-related protein MRP 8 and MRP 14 in patients with acute Kawasaki disease.. <i>J Am Coll Cardiol</i> 48(6):1257-64, 2006[原著論文]	Hirono Keiichi, Poell D, Xing Y, Miyagawa Tomita S, Ye F, Ahlmann M, Vogl T, Futatani Takashi, Rui C, Yu X, Watanabe Kazuhiro, Watanabe Sayaka, Tsubata Shinrichi, Ueze Keiichiro, Hashimoto Ikuo, Ichida Fukiko, Nakazawa Makoto, Roth J, Miyawaki Toshiro : Expression of myeloid-related protein MRP 8 and MRP 14 in patients with acute Kawasaki disease.. <i>J Am Coll Cardiol</i> 48(6):1257-64, 2006[原著論文]
循環器小児科	Beta-blocker therapy for cardiac dysfunction in patients with muscular dystrophy. <i>Circ J</i> 70(8):991-4, 2006[原著論文]	Kajimoto Hidemi, Ishigaki Keiko, Okumura Kenichi, Tomimatsu Hirofumi, Nakazawa Makoto, Saito Kayoko, Osawa Makiko , Nakaniishi Toshiro : Beta-blocker therapy for cardiac dysfunction in patients with muscular dystrophy. <i>Circ J</i> 70(8):991-4, 2006[原著論文]
循環器小児科	Successful multiple coils embolization for bilateral patent ductus arteriosus with isolate subclavian artery.. <i>Pediatr Int</i> 48:510-513., 2006[原著論文]	Kanamaru Hiroshi, Karasawa Kensuke, Miyashita Michio, Ayusawa Mamoru, Sumitomo Naokata, Okada Tomoo, Harada Kensuke , Nakaniishi Toshiro : Successful multiple coils embolization for bilateral patent ductus arteriosus with isolate subclavian artery.. <i>Pediatr Int</i> 48:510-513., 2006[原著論文]
循環器小児科	心臓・血管形成とNotchシグナル、医学のあゆみ 217(12):1083-87, 2006[総説]	小久保博樹,宮川-富田幸子,相賀裕美子 :心臓・血管形成とNotchシグナル、医学のあゆみ 217(12):1083-87, 2006[総説]
循環器小児科	母体・胎児・新生児の心肺機能低下時の反応と対応 心疾患合併妊娠での心肺機能低下例の検討. 周産期学シンポジウム(24):71-75, 2006[原著論文]	牧野康男, 松田義雄, 石井徹子, 小野恵里奈, 秋林政香, 川道弥生, 三谷 駿, 中澤 誠, 仁志田博司, 太田博明:母体・胎児・新生児の心肺機能低下時の反応と対応 心疾患合併妊娠での心肺機能低下例の検討. 周産期学シンポジウム(24):71-75, 2006[原著論文]
循環器小児科	座談会 心臓の発生と先天性心疾患、そして再生医療への展望 Notchシグナルと心内膜床形成. 分子心血管病 7(2):169-177, 2006[総説]	宮川-富田幸子 , 小久保博樹:座談会 心臓の発生と先天性心疾患、そして再生医療への展望 Notchシグナルと心内膜床形成. 分子心血管病 7(2):169-177, 2006[総説]
循環器小児科	Notch シグナルと心内膜床形成. 分子心血管病 7(2):55-63, 2006[総説]	宮川-富田幸子 , 小久保博樹:Notch シグナルと心内膜床形成. 分子心血管病 7(2):55-63, 2006[総説]
循環器小児科	心臓発生に関する基礎知識 第5回心臓血管発生研究会テキスト:3-10, 2006[総説]	宮川-富田幸子 :心臓発生に関する基礎知識 第5回心臓血管発生研究会テキスト:3-10, 2006[総説]
循環器小児科	心内膜床の形成. 第5回心臓血管発生研究会テキスト:39-47, 2006[総説]	宮川-富田幸子 :心内膜床の形成. 第5回心臓血管発生研究会テキスト:39-47, 2006[総説]
循環器小児科	側副伝導系の発生. 第5回心臓血管発生研究会テキスト:59-65, 2006[総説]	宮川-富田幸子 :側副伝導系の発生. 第5回心臓血管発生研究会テキスト:59-65, 2006[総説]
循環器小児科	Cardiovascular anomalies associated with chromosome 22q1.2 deletion. <i>Int J Cardiol</i> 114:147-149, 2006[原著論文]	Momma Kazuo:Cardiovascular anomalies associated with chromosome 22q1.2 deletion. <i>Int J Cardiol</i> 114:147-149, 2006[原著論文]
循環器小児科	ACE inhibitors in pediatric patients with heart failure. <i>Pediatr Drugs</i> 8(1):55-69, 2006[原著論文]	Momma Kazuo:ACE inhibitors in pediatric patients with heart failure. <i>Pediatr Drugs</i> 8(1):55-69, 2006[原著論文]
循環器小児科	In vivo reopening of the neonatal ductus arteriosus by a prostaglandin EP4-receptor agonist in the rat.. <i>Prostaglandins Other Lipid Mediat</i> 78(1-2):117-28, 2006[原著論文]	Momma Kazuo, Toyoshima Katsushi, Takeuchi Daiki, Imamura Shin-ichiro, Nakaniishi Toshiro:In vivo reopening of the neonatal ductus arteriosus by a prostaglandin EP4-receptor agonist in the rat.. <i>Prostaglandins Other Lipid Mediat</i> 78(1-2):117-28, 2006[原著論文]
循環器小児科	疾患の病因と病態 チアノーゼ性心疾患とVEGF. <i>Ann Rev循環器</i> 2006:79-83, 2006[総説]	森 審樹:疾患の病因と病態 チアノーゼ性心疾患とVEGF. <i>Ann Rev循環器</i> 2006:79-83, 2006[総説]
循環器小児科	小児の治療指針 循環器 完全大血管転位. 小児科臨 69(増刊):365-368, 2006[総説]	森 審樹:小児の治療指針 循環器 完全大血管転位. 小児科臨 69(増刊):365-368, 2006[総説]
循環器小児科	チアノーゼ型先天性心疾患にみられる脅疾患の頻度、成因解析と診断、治療法の策定. 日本小児循環器学会雑誌 22(2):58-61, 2006[研究報告]	長崎正賞, 丹羽公一郎, 赤木徳治, 佐々木彰人, 篠原源子, 越後茂之, 岸野真也, 石澤 晴, 寺井 勝, 長田道夫, 服部元史, 和田尚弘, 渡江健, 飯島一誠, 上村 力, チアノーゼ型先天性心疾患にみられる脅疾患の頻度、成因解析と診断、治療法の策定. 日本小児循環器学会雑誌 22(2):58-61, 2006[研究報告]
循環器小児科	Cardiac involvement in Fukuyama-type congenital muscular dystrophy. <i>Pediatr</i> 117(6):c11872-1192, 2006[原著論文]	Nakaniishi Toshiro, Sakaihisa Masako, Kaneda Yoshiro, Tomimatsu Hirofumi, Saito Kayoko, Nakazawa Makoto, Osawa Makiko :Cardiac involvement in Fukuyama-type congenital muscular dystrophy. <i>Pediatr</i> 117(6):c11872-1192, 2006[原著論文]
循環器小児科	診断と治療 最近の進歩 先天性心疾患 脂肪管開存のcoil embolization. <i>Ann Rev循環器</i> 2006:333-335, 2006[総説]	中西敏雄:診断と治療 最近の進歩 先天性心疾患 脂肪管開存のcoil embolization. <i>Ann Rev循環器</i> 2006:333-335, 2006[総説]
循環器小児科	目で見る新生児・乳児期心臓血管外科 新生児期・乳児期に治療を行った心疾患児の長期予後. 小児外科 38(2):219-223, 2006[総説]	中西敏雄:目で見る新生児・乳児期心臓血管外科 新生児期・乳児期に治療を行った心疾患児の長期予後. 小児外科 38(2):219-223, 2006[総説]
循環器小児科	成人先天性心疾患の診断と治療 Fontan手術後. <i>Cardiovasc Med-Surg</i> 8(1):29-34, 2006[総説]	中西敏雄:成人先天性心疾患の診断と治療 Fontan手術後. <i>Cardiovasc Med-Surg</i> 8(1):29-34, 2006[総説]
循環器小児科	右心症の発生頻度と成因. 日医界新聞 43(9):111-112, 2006[総説]	中西敏雄:右心症の発生頻度と成因. 日医界新聞 43(9):111-112, 2006[総説]
循環器小児科	Guidelines for the use of palivizumab in infants and young children with congenital heart disease. <i>Pediatr Int</i> 48(2):190-193, 2006[総説]	Nakaezawa Makoto, Saji Tsutomi, Ichida Fukiko, Oyama Kotaro, Harada Kensuke, Kusuda Satoshi:Guidelines for the use of palivizumab in infants and young children with congenital heart disease. <i>Pediatr Int</i> 48(2):190-193, 2006[総説]
循環器小児科	成人チアノーゼ性先天性心疾患例の罹病率、生存率に關する危険因子の検討 多施設共同研究. 日小児循環器会誌 22(5):585-590, 2006[原著論文]	中澤 誠, 坂崎裕介, 丹羽公一郎, 越後茂之, 村上智明, 高室基樹, 小山耕太郎, 百々秀心, 高橋一浩, 林 恵一, 松島正義, 松川正彦, 福島教穂, 堀野貞也, 堀野貞也, 堀野貞也, 赤木積治, 城尾邦隆, 佐野和家子, 日本小児循環器学会研究委員会:成人チアノーゼ性先天性心疾患症例の罹病率、生存率に關する危険因子の検討 多施設共同研究. 日小児循環器会誌 22(5):585-590, 2006[原著論文]
循環器小児科	循環器病の診断と治療に関するガイドライン(2004-2005年度合同研究班報告) ダイジェスト版 心臓血管疾患における遺伝学的検査と遺伝カウンセリング	中澤 誠, 背見茂之, 梅村 敏, 黒山虎之, 谷口直之, 小杉真司, 斎藤加代子, 城尾邦隆, 水井良三, 平原史樹, 福島義光, 松岡瑞美子, 松田一郎, 松森 昭, 山岸敦幸, 上石友章, 今井 錠, 佐地 効, 西尾亮介, 田中敏博:循環器病の診断と治療に関するガイドライン(2004-2005年度合同研究班報告) ダイジェスト版 心臓血管疾患における遺伝学的検査と遺伝カウンセリングに関するガイドライン. <i>Circulation</i> J 70(SupplIV):1377-1389, 2006[総説]
循環器小児科	高脂血症の診断と治療に関するガイドライン(2004-2005年度合同研究班報告) 心臓血管疾患における遺伝学的検査と遺伝カウンセリングに関するガイドライン. <i>Circulation</i> J 70(SupplIV):1329-1375, 2006[総説]	中澤 誠, 背見茂之, 梅村 敏, 黒山虎之, 谷口直之, 小杉真司, 斎藤加代子, 城尾邦隆, 水井良三, 平原史樹, 福島義光, 松岡瑞美子, 松田一郎, 松森 昭, 山岸敦幸, 上石友章, 今井 錠, 佐地 効, 西尾亮介, 田中敏博:循環器病の診断と治療に関するガイドライン(2004-2005年度合同研究班報告) 心臓血管疾患における遺伝学的検査と遺伝カウンセリングに関するガイドライン. <i>Circulation</i> J 70(SupplIV):1329-1375, 2006[総説]
循環器小児科	動脈硬化早期診断の意義 血管機能検査の実際と今後の展望 血管機能検査法 スティップネス・バラメータβ検査の実際と注意点. <i>Med Technol</i> 34(1):35-40, 2006[総説]	仁木清英, 背見茂之, 阿部一彦:動脈硬化早期診断の意義 血管機能検査の実際と今後の展望 血管機能検査法 スティップネス・バラメータβ検査の実際と注意点. <i>Med Technol</i> 34(1):35-40, 2006[総説]
循環器小児科	成人先天性心疾患の診断と治療 完全大血管転位症. <i>Cardiovasc Med-Surg</i> 8(1):35-38, 2006[総説]	篠原信子:成人先天性心疾患の診断と治療 完全大血管転位症. <i>Cardiovasc Med-Surg</i> 8(1):35-38, 2006[総説]
循環器小児科	Effect of decreased umbilical blood flow and hemorrhage, and decreased prostaglandins on the ductus venosus diameter in the rat. <i>Biol Neonate</i> 89(1):42-49, 2006[原著論文]	Takeuchi Daiki, Momma Kazuo:Effect of decreased umbilical blood flow and hemorrhage, and decreased prostaglandins on the ductus venosus diameter in the rat. <i>Biol Neonate</i> 89(1):42-49, 2006[原著論文]
循環器小児科	Evaluation of right ventricular performance long after the atrial switch operation for transposition of the great arteries using the Doppler Tei index. <i>Pediatr Cardiol</i> 27(1):78-83, 2006[原著論文]	Takeuchi Daiki, Nakaniishi Toshiro, Tomimatsu Hirofumi, Nakazawa Makoto:Evaluation of right ventricular performance long after the atrial switch operation for transposition of the great arteries using the Doppler Tei index. <i>Pediatr Cardiol</i> 27(1):78-83, 2006[原著論文]
循環器小児科	動画像による先天性心疾患のエコー診断トレーニングシステムの研究. エム・オー・エー健康科学センター研究報告集 11:63-74, 2006[総説]	富松宏文, 田中直巳:動画像による先天性心疾患のエコー診断トレーニングシステムの研究. エム・オー・エー健康科学センター研究報告集 11:63-74, 2006[総説]
循環器小児科	上手な潜水の評価方法について. 日小児腎不全会誌 26:33-34, 2006[総説]	高松宏文:上手な潜水の評価方法について. 日小児腎不全会誌 26:33-34, 2006[総説]
循環器小児科	In vivo dilatation of the fetal and postnatal ductus arteriosus by inhibition of phosphodiesterase 3 in rats. <i>Biol Neonate</i> 89(4):251-256, 2006[原著論文]	Tohyoshima Katsushi, Momma Kazuo, Iimura Shinichiro, Nakaniishi Toshiro :In vivo dilatation of the fetal and postnatal ductus arteriosus by inhibition of phosphodiesterase 3 in rats. <i>Biol Neonate</i> 89(4):251-256, 2006[原著論文]
循環器小児科	Constriction of the ductus arteriosus by selective inhibition of cyclooxygenase-1 and -2 in near-term and preterm fetal rats. <i>Prostaglandins Other Lipid Mediators</i> 79(1-2):34-42, 2006[原著論文]	Tohyoshima Katsushi, Takeda Atsushi, Iimura Shinichiro, Nakaniishi Toshiro, Momma Kazuo:Constriction of the ductus arteriosus by selective inhibition of cyclooxygenase-1 and -2 in near-term and preterm fetal rats. <i>Prostaglandins Other Lipid Mediators</i> 79(1-2):34-42, 2006[原著論文]
循環器小児科	Activation of Notch1 signaling in cardiogenic mesoderm induces deformed heart morphogenesis. <i>Development</i> 133:1625-1634, 2006[原著論文]	Watanabe Yusuke, Kokubo Hiroki, Miyagawa-Tomita Sachiko, Endo Maho, Igarashi Katsuhiko, Kannou Jun, Saga Yumiko:Activation of Notch1 signaling in cardiogenic mesoderm induces deformed heart morphogenesis. <i>Development</i> 133:1625-1634, 2006[原著論文]
循環器小児科	動脈管におけるATP感受性カリウムチャンネル,膜電位依存性カリウムチャンネルの発現. 東女医大誌 76(5~6):212-218, 2006[原著論文]	吳 球籍:動脈管におけるATP感受性カリウムチャンネル,膜電位依存性カリウムチャンネルの発現. 東女医大誌 76(5~6):212-218, 2006[原著論文]
循環器小児科	形態登録委員会報告 左心低形成症候群の形態学的統計. 日小児循環器会誌 22(6):681-686, 2006[原著論文]	山村英司, 西畠 信, 西川俊郎, 形態登録委員会:形態登録委員会報告 左心低形成症候群の形態学的統計. 日小児循環器会誌 22(6):681-686, 2006[原著論文]

部署名	タイトル	著者
消化器内科学	Intrahepatic biliary epithelial cell damage and inflammation in portal tract association with chronic colitis-harboring TCR $\alpha$ -/-mice. Hepatol Res 34:3-8, 2006[原著論文]	Haruta Ikuko, Hashimoto Etsuko, Kato Yoichiro, Shibata Noriyuki, Kobayashi Makio, Shiratori Keiko: Intrahepatic biliary epithelial cell damage and inflammation in portal tract association with chronic colitis-harboring TCR $\alpha$ -/-mice. Hepatol Res 34:3-8, 2006[原著論文]
消化器内科学	Lipotetraoleic acid may affect the pathogenesis of bile duct damage in primary biliary cirrhosis. Autoimmunity 39(2):129-135, 2006[原著論文]	Haruta Ikuko, Hashimoto Etsuko, Kato Yoichiro, Kikuchi Ken, Kato Hidehito, Yagi Junji, Uchiyama Takehiko, Kobayashi Makio, Shiratori Keiko: Lipotetraoleic acid may affect the pathogenesis of bile duct damage in primary biliary cirrhosis. Autoimmunity 39(2):129-135, 2006[原著論文]
消化器内科学	原発性胆汁性肝硬変(特集・肝移植—その適応疾患と移植のタイミング)、クリニカ 33(3):144-148, 2006[総説]	森田信子、橋本悦子:原発性胆汁性肝硬変(特集・肝移植—その適応疾患と移植のタイミング)、クリニカ 33(3):144-148, 2006[総説]
消化器内科学	NASHの診断と治療. Therapeutic Research 27(1):19-28, 2006[総説]	橋本悦子:NASHの診断と治療. Therapeutic Research 27(1):19-28, 2006[総説]
消化器内科学	自己免疫性肝疾患と性差. 性差と医療 3(2):217-222, 2006[総説]	橋本悦子:自己免疫性肝疾患と性差. 性差と医療 3(2):217-222, 2006[総説]
消化器内科学	NASH 内科 97(6):1042, 2006[総説]	橋本悦子:NASH 内科 97(6):1042, 2006[総説]
消化器内科学	NASH(Grand Rounds). 消化器の臨 9(3):233-243, 2006[総説]	橋本悦子:NASH(Grand Rounds). 消化器の臨 9(3):233-243, 2006[総説]
消化器内科学	NASHと肝発癌(特集・肝発癌と進展の分子メカニズム). 糖尿病合併症 20(2):274-277, 2006[総説]	橋本悦子:NASHと肝発癌(特集・肝発癌と進展の分子メカニズム). 糖尿病合併症 20(2):274-277, 2006[総説]
消化器内科学	メタボリックシンドロームの肝病変NAFLD—肝硬変・肝細胞癌への進行(脂肪肝とメタボリックシンドローム). 糖尿病合併症 20(2):164-167, 2006[総説]	橋本悦子:八込 賢, 戸張真紀, 谷合麻紀子, 德重亮年, 白鳥敬子:メタボリックシンドロームの肝病変NAFLD—肝硬変・肝細胞癌への進行(脂肪肝とメタボリックシンドローム). 糖尿病合併症 20(2):164-167, 2006[総説]
消化器内科学	肝硬化症の臨床診断(特集・消化器における經緯化研究の新しい動向). 医と薬学 56(3):334-339, 2006[総説]	橋本悦子:肝硬化症の臨床診断(特集・消化器における經緯化研究の新しい動向). 医と薬学 56(3):334-339, 2006[総説]
消化器内科学	なぜNAFLD・NASHが注目されるようになったか(特集 NAFLDとNASHの治療と栄養管理). 臨床栄養 109(6):730, 2006[総説]	橋本悦子:なぜNAFLD・NASHが注目されるようになったか(特集 NAFLDとNASHの治療と栄養管理). 臨床栄養 109(6):730, 2006[総説]
消化器内科学	NASH発症例の特徴(特集 非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)－疾患概念からマネージメントまで). 肝・胆・脾 53(3):393-400, 2006[総説]	橋本悦子:NASH発症例の特徴(特集 非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)－疾患概念からマネージメントまで). 肝・胆・脾 53(3):393-400, 2006[総説]
消化器内科学	最近の話題[NASHとは・総合臨床 55(11):2701-2702, 2006[総説]]	橋本悦子:最近の話題[NASHとは・総合臨床 55(11):2701-2702, 2006[総説]]
消化器内科学	NAFLDとNASHの診断と治療. 日本小児栄養消化器臨学会雑誌 20(2):56-63, 2006[総説]	橋本悦子:NAFLDとNASHの診断と治療. 日本小児栄養消化器臨学会雑誌 20(2):56-63, 2006[総説]
消化器内科学	非B/C型肝炎と肝細胞癌(特集 非B/C型肝炎). 臨床消化器内科 21(12):1651-1658, 2006[総説]	橋本悦子:非B/C型肝炎と肝細胞癌(特集 非B/C型肝炎). 臨床消化器内科 21(12):1651-1658, 2006[総説]
消化器内科学	NASHの診断基準(特集 非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)). 月歯 64(6):1025-1032, 2006[総説]	橋本悦子:NASHの診断基準(特集 非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)). 月歯 64(6):1025-1032, 2006[総説]
消化器内科学	Hyaluronic acid levels can predict severe fibrosis and platelet counts can predict cirrhosis in patients with nonalcoholic fatty liver disease. J Gastroenterol 21(9):1459-1465, 2006[原著論文]	Kaneda Hiroyuki, Hashimoto Etsuko, Yatsushige, Tokushige, Katsutoshi, Shiratori Keiko: Hyaluronic acid levels can predict severe fibrosis and platelet counts can predict cirrhosis in patients with nonalcoholic fatty liver disease. J Gastroenterol 21(9):1459-1465.
消化器内科学	IFN, Ribavirin併用療法無効例に関する遺伝子多型を含む検討. 肝臓 17(6):290-297, 2006[原著論文]	松下典典子, 德重亮年, 高倉美保子, 戸張真紀, 八込 賢, 谷合麻紀子, 橋本悦子, 白鳥敬子:IFN, Ribavirin併用療法無効例に関する遺伝子多型を含む検討. 肝臓 17(6):290-297, 2006[原著論文]
消化器内科学	慢性肝炎(特集 内科疾患最新の治療—専門家からのアドバイス)—内科 97(6):1050, 2006[総説]	森下慶二, 清水京子:慢性肝炎(特集 内科疾患最新の治療—専門家からのアドバイス). 内科 97(6):1050, 2006[総説]
消化器内科学	慢性肝炎の診断(慢性肝炎3). 治疗学 40(10):1077-1082, 2006[総説]	森下慶二, 清水京子:慢性肝炎の診断(慢性肝炎3). 治疗学 40(10):1077-1082, 2006[総説]
消化器内科学	慢性肝炎の診断(慢性肝炎3). 治疗学 40(10):1077-1082, 2006[総説]	森下慶二, 清水京子:慢性肝炎の診断(慢性肝炎3). 治疗学 40(10):1077-1082, 2006[総説]
消化器内科学	内視鏡的結石術(EVL/EVLs)(特集 食道静脈瘤治療—選択と手技). 消化器の臨 9(4):389-398, 2006[総説]	Nakamura Shinichi, Mitsunaga Atsushi, Konishi Hiroyuki, Oi Itaru, Shiratori Keiko, Suzuki Shigeru: long-term follow up of gastric antral vascular ectasia treated by argon plasma coagulation. Dig Endosc 18(2):128-133, 2006[原著論文]
消化器内科学	食道静脈瘤治療におけるEVL,EISの位置付け(食道静脈瘤の内視鏡治療). Mod Physician 26(7):1069-1077, 2006	中村真一, 光永 幸, 今井隆二郎, 石川一郎, 白戸 泉, 清水品平, 小西洋之, 大井 至, 白鳥敬子:食道静脈瘤治療におけるEVL,EISの位置付け(食道静脈瘤の内視鏡治療). Mod Physician 26(7):1069-1077, 2006
消化器内科学	食道・胃静脈瘤 内視鏡による最新の治療. Nikkei Medical 4:16-19, 2006[総説]	中村真一:食道・胃静脈瘤 内視鏡による最新の治療. Nikkei Medical 4:16-19, 2006[総説]
消化器内科学	内視鏡的結石術(EVL/EVLs)(特集 食道静脈瘤治療—選択と手技). 消化器の臨 9(4):389-398, 2006[総説]	中村真一, 光永 幸, 今井隆二郎, 白戸 泉, 岸野真衣子, 小西洋之, 大井 至, 白鳥敬子:内視鏡的結石術(EVL/EVLs)(特集 食道静脈瘤治療—選択と手技). 消化器の臨 9(4):389-398, 2006[総説]
消化器内科学	Long-term outcome of autoimmune pancreatitis after oral prednisolone therapy. Intern Medicine 45:497-501, 2006[原著論文]	Nishina Takeyoshi, Toki Fumitake, Oyama Hiroyuki, Shimizu Kyoko, Shiratori Keiko: Long-term outcome of autoimmune pancreatitis after oral prednisolone therapy. Intern Medicine 45:497-501, 2006[原著論文]
消化器内科学	Prevalence of pancreatic and biliary tract tumors in pancreas divisum. J Gastroenterol 41(11):1088-1093, 2006[原著論文]	Nishina Takeyoshi, Toki Fumitake, Oi Itaru, Oyama Hiroyuki, Hatori Takashi, Shiratori Keiko: Prevalence of pancreatic and biliary tract tumors in pancreas divisum. J Gastroenterol 41(11):1088-1093, 2006[原著論文]
消化器内科学	胆管非融合の診断におけるMRCPの有用性と問題点—ERCPと対比して—(臨床研究)(第81回日本消化器内視鏡学会関東地方会論文集). Progress of Digestive endoscopy 68(2):77, 2006[総説]	西野隆義, 土岐武志, 大井 至, 小山祐康, 白鳥敬子:胆管非融合の診断におけるMRCPの有用性と問題点—ERCPと対比して—(臨床研究)(第81回日本消化器内視鏡学会関東地方会論文集). Progress of Digestive endoscopy 68(2):77, 2006[総説]
消化器内科学	ERCP後腹膜炎の実態と危険因子(特集 ERCP後腹膜炎とその予防). 胆と肺 27(8):529-532, 2006[総説]	西野隆義, 土岐武志, 大井 至, 小山祐康, 白鳥敬子:ERCP後腹膜炎の実態と危険因子(特集 ERCP後腹膜炎とその予防). 胆と肺 27(8):529-532, 2006[総説]
消化器内科学	Turner症候群にCrohn病・結節性紅斑・橋本病を合併した1例. 日消病会誌 103(9):1039-1043, 2006[症例報告]	野登はるか, 飯村光洋, 斎部豊彦, 谷島麻利亞, 羽村公代, 高崎剛子, 寝屋直子, 鳥居信之, 飯塚文瑛, 白鳥敬子:Turner症候群にCrohn病・結節性紅斑・橋本病を合併した1例. 日消病会誌 103(9):1039-1043, 2006[症例報告]
消化器内科学	Clinicopathologic features of patients with intrahepatic cholangiocarcinoma who are seropositive for $\alpha$ -fetoprotein-L3 and those with combined hepatocellular and cholangiocarcinoma. J Gastroenterol 21:869-873, 2006[原著論文]	Okuda Hiroaki, Shiratori Keiko, Yamamoto Masazku, Takasaki Ken, Nakano Masayuki: Clinicopathologic features of patients with intrahepatic cholangiocarcinoma who are seropositive for $\alpha$ -fetoprotein-L3 and those with combined hepatocellular and cholangiocarcinoma. J Gastroenterol 21:869-873, 2006[原著論文]
消化器内科学	肝硬変患者に対する長期の夜間就寝前栄養(LES)による栄養アセスメントとQOLについて. 静脈経腸栄養 21(4):71-77, 2006[原著論文]	奥田博明, 白鳥敬子, 立公示次:肝硬変患者に対する長期の夜間就寝前栄養(LES)による栄養アセスメントとQOLについて. 静脈経腸栄養 21(4):71-77, 2006[原著論文]
消化器内科学	当院健診センターでの脳ドック成績の検討—無症候性肝硬変の危険因子としての眼底検査の重要性. 人間ドック 21(3):695-703, 2006[原著論文]	志賀智子, 大和田泰, 星野達夫, 長原 光, 白鳥敬子:当院健診センターでの脳ドック成績の検討—無症候性肝硬変の危険因子としての眼底検査の重要性. 人間ドック 21(3):695-703, 2006[原著論文]
消化器内科学	胆の線維化機序—胆星細胞をめぐって—. 日消病会誌 103(8):924-930, 2006	清水京子:胆の線維化機序—胆星細胞をめぐって—. 日消病会誌 103(8):924-930, 2006
消化器内科学	胆管細胞癌とPPAR $\gamma$ の関わり(胆星細胞における線維化研究の新しい動向). 医学と薬学 56(4):515-521, 2006[総説]	清水京子:胆管細胞癌とPPAR $\gamma$ の関わり(胆星細胞における線維化研究の新しい動向). 医学と薬学 56(4):515-521, 2006[総説]
消化器内科学	消化管内分泌細胞 ガストリーマー(頭頸ホルモン)(新訂別症候群シリーズNo.3). 別冊日本臨床(3):363-366, 2006[総説]	清水京子, 白鳥敬子:消化管内分泌細胞 ガストリーマー(頭頸ホルモン)(新訂別症候群シリーズNo.3). 別冊日本臨床(3):363-366, 2006[総説]
消化器内科学	肝リバーザー(検査項目 各論). 日医師会誌 135(特別号):S128, 2006[原著論文]	白鳥敬子:肝リバーザー(検査項目 各論). 日医師会誌 135(特別号):S128, 2006[原著論文]
消化器内科学	消化管ホルモン. Annu Rev Gastroenterol 77-82, 2006[総説]	白鳥敬子:消化管ホルモン. Annu Rev Gastroenterol 77-82, 2006[総説]
消化器内科学	(消化器内科の臨床研究—臨床の最先端) 女医界(764):3, 2006[総説]	白鳥敬子:「消化器内科の臨床研究—臨床の最先端」女医界(764):3, 2006[総説]
消化器内科学	胆管の早期診断とStarc診断(胆管治瘻—最近の動向). 日外会誌 107(4):164-167, 2006[総説]	白鳥敬子:胆管の早期診断とStarc診断(胆管治瘻—最近の動向). 日外会誌 107(4):164-167, 2006[総説]
消化器内科学	敗血症リバーザーA2(検査項目 各論). 日医師会誌 135(特別号):S129, 2006[総説]	白鳥敬子:敗血症リバーザーA2(検査項目 各論). 日医師会誌 135(特別号):S129, 2006[総説]
消化器内科学	ヘンチコロト試験(除外分沁機能検査). 日医師会誌 135(特別号):S287, 2006[総説]	白鳥敬子:ヘンチコロト試験(除外分沁機能検査). 日医師会誌 135(特別号):S287, 2006[総説]
消化器内科学	消化器疾患における性差(疾患別性差—各科における最新エビデンス). 医のあゆみ 219(5):363-368, 2006[総説]	白鳥敬子:清水京子, 高山敬子:消化器疾患における性差(疾患別性差—各科における最新エビデンス). 医のあゆみ 219(5):363-368, 2006[総説]
消化器内科学	胆炎の病態の解明と治療法の確立. 靖女医大誌 10:33, 2006[研究報告]	白鳥敬子:清水京子, 高山敬子:胆炎の病態の解明と治療法の確立. 靖女医大誌 10:33, 2006[研究報告]
消化器内科学	慢性胆管炎の診断と治療. 靖女医大誌 10:62, 2006[研究報告]	白鳥敬子:清水京子, 高山敬子:慢性胆管炎モデルの作製と、胆管炎発症機序の検討. 平成17年度総括・分担研究報告書(難治性自己免疫疾患の画期的治療法の開発に関する臨床研究) 10:62, 2006[研究報告]
消化器内科学	肝疾患と性差. 性差と医療 3(6):653-658, 2006	白鳥敬子:急性肝炎(III.胆・胰疾患), 消化器疾患ガイドライン—最新の診療指針—(今日の治療) 13(臨増):S215-S219, 2006[総説]
消化器内科学	重症急性肝炎に伴う幹細胞癌が脾と腎に穿破した1例. 脾臓 21(4):368-364, 2006[症例報告]	田原純子, 清水京子, 平山浩美, 前出幸子, 小山祐康, 中村真一, 羽鳥 陸, 白鳥敬子:重症急性肝炎に伴う幹細胞癌が脾と腎に穿破した1例. 脾臓 21(4):368-364, 2006[症例報告]
消化器内科学	C型肝炎—インターフェロン療法脱落と効果不十分例への対策(慢性肝炎の薬物療法). 薬局 57:3253-3256, 2006[総説]	谷合麻紀子, 橋本悦子, 白鳥敬子: C型肝炎—インターフェロン療法脱落と効果不十分例への対策(慢性肝炎の薬物療法). 薬局 57:3253-3256, 2006[総説]

部署名	タイトル	著者
消化器内科学	酸化ストレスと胆管上皮障害(腫瘍化を求めて)(特集 コランギオサイト研究の最近の展開)、肝・胆・脾 53(6):1103-1107, 2006[総説]	谷合麻紀子, 棚本悦子:酸化ストレスと胆管上皮障害(腫瘍化を求めて)(特集 コランギオサイト研究の最近の展開)、肝・胆・脾 53(6):1103-1107, 2006[総説]
消化器内科学	図説-NASHの自然経過(特集 非アルコール性脂肪性肝炎(NASH))、日臨 64(6):1014, 2006[総説]	中野-NASHの自然経過(特集 非アルコール性脂肪性肝炎(NASH))、日臨 64(6):1014, 2006[総説]
消化器内科学	Clinical significance of soluble TNF receptor in Japanese patients with non-alcoholic steatohepatitis. Clinical And Experimental Research 29(12):298S-303S, 2006[原著論文]	Tokushige Katsutoshi, Hashimoto Etsuko, Tsuchiya Noriko, Kaneda Hiroyuki, Tamai Makiko, Shiratori Keiko: Clinical significance of soluble TNF receptor in Japanese patients with non-alcoholic steatohepatitis. Clinical And Experimental Research 29(12):298S-303S, 2006[原著論文]
消化器内科学	アルコール性肝障害の肝細胞癌発生におけるB型肝炎ウイルス既往感染の影響に関する、日本アルコール・薬物医学会雑誌 41(2):120-127, 2006[原著論文]	徳重克年, 横木悦子, 戸張真紀, 八辻 财, 高倉美保子, 谷合麻紀子, 白鳥敬子:アルコール性肝障害の肝細胞癌発生におけるB型肝炎ウイルス既往感染の影響に関する、日本アルコール・薬物医学会雑誌 41(2):120-127, 2006[原著論文]
消化器内科学	原発性傾性性胆管炎(III.胆・胰疾患) 消化器疾患ガイドライン最新の診療指針(一今日の治療) 13(臨地):S211-S214, 2005[総説]	徳重克年, 横木悦子:原発性傾性性胆管炎(III.胆・胰疾患), 消化器疾患ガイドライン最新の診療指針(一今日の治療) 13(臨地):S211-S214, 2005[総説]
消化器内科学	科学的根拠に基づく胆症診療ガイドライン(特別寄稿). 膽臓 21(4):315-322, 2006[総説]	山口幸二, 白鳥敬子, 堀尾克之, 石川 治, 舟越博彌, 田中雅夫:科学的根拠に基づく胆症診療ガイドライン(特別寄稿). 膽臓 21(4):315-322, 2006[総説]
消化器内科学	NAFLDの長期予後-NASH特に肝結合併例について(特論)(特集 非アルコール性脂肪性肝炎NASH-基礎・臨床研究最新動向)、日臨 64(6):1173-1179, 2006[総説]	八辻 财, 棚本悦子:NAFLDの長期予後-NASH特に肝結合併例について(特論)(特集 非アルコール性脂肪性肝炎NASH-基礎・臨床研究最新動向)、日臨 64(6):1173-1179, 2006[総説]
消化器内科学	NAFLDとNASHの疾患概念と診断基準(特集 NAFLDとNASHの治療と栄養管理)、臨床栄養 109(6):732-736, 2006[総説]	八辻 财, 棚本悦子:NAFLDとNASHの疾患概念と診断基準(特集 NAFLDとNASHの治療と栄養管理)、臨床栄養 109(6):732-736,
消化器内科学	NAFLD-NASHにおける性差-別冊医学のあゆみ(NAFLDのすべて):38-43, 2006[総説]	八辻 财, 棚本悦子:NAFLD-NASHにおける性差-別冊医学のあゆみ(NAFLDのすべて):38-43, 2006[総説]
消化器外科学	Surgical shunt closure via the lumen of an intrahepatic portal aneurysm. Dig Surg 23:259-261, 2006[症例報告]	Ariizumi Shunichi, Takasaki Ken, Yamamoto Masakazu, Katsuragawa Hideo, Kataigiri Satoshi, Kodera Yoshihito: Surgical shunt closure via the lumen of an intrahepatic portal aneurysm. Dig Surg 23:259-261, 2006[症例報告]
消化器外科学	肝硬変合併肝癌切除後の難治性腹水と治療(特集 消化器外科術後合併症の治療戦略)-私たちはどのように治療している)、臨床外科 61(13):1605-1612, 2006[総説]	有泉俊一, 片桐 啓, 清野実枝, 山本雅一, 高崎 健:肝硬変合併肝癌切除後の難治性腹水と治療(特集 消化器外科術後合併症の治療戦略)-私たちはどのように治療している)、臨床外科 61(13):1605-1612, 2006[総説]
消化器外科学	頸瘤形成型肝内胆管癌の肝切除-復性肝炎、肝硬変を伴う肝内胆管癌の特徴-(特集 肝がん治療のすべて)、肝・胆・脾 53(5):989-996, 2007[総説]	有泉俊一, 片桐 啓, 山本雅一:頸瘤形成型肝内胆管癌の肝切除-復性肝炎、肝硬変を伴う肝内胆管癌の特徴-(特集 肝がん治療のすべて)、肝・胆・脾 53(5):989-996, 2007[総説]
消化器外科学	全胃幽門輪温存脾臍十二指腸切除外(PPPD)術後晚期消化性潰瘍症例の検討. 胆嚢の生理機能 22(1):17-21, 2006[原著論文]	福田 覚, 羽鳥 隆, 鬼澤俊輔, 今泉俊秀, 高崎 健:全胃幽門輪温存脾臍十二指腸切除外(PPPD)術後晚期消化性潰瘍症例の検討. 胆嚢の生理機能 22(1):17-21, 2006[原著論文]
消化器外科学	多発性非機能性脛内分泌腫瘍の一例除例(症例報告). 膽臓 21(5):412-417, 2006[症例報告]	福田 覚, 羽鳥 隆, 鬼澤俊輔, 井金信雄, 大原敏敏, 古川健司, 松浦裕史, 高崎 健:多発性非機能性脛内分泌腫瘍の一例除例(症例報告). 膽臓 21(5):412-417, 2006[症例報告]
消化器外科学	神經原性腫瘍(肺・胆道周囲の腫瘍性病変) (特集 肺・胆道周囲の腫瘍性病変-後腹膜を中心)、消化器画像 8(6):707-710, 2006[総説]	羽鳥 隆, 福田 覚, 鬼澤俊輔, 杉木孝章, 松浦裕史, 藤田 泉, 今泉俊秀, 山本雅一:神經原性腫瘍(肺・胆道周囲の腫瘍性病変) (特集 肺・胆道周囲の腫瘍性病変-後腹膜を中心)、消化器画像 8(6):707-710, 2006[総説]
消化器外科学	長期生存脾管癌の臨床と画像(東京女子医科大学) (特集 長期生存脾管癌の臨床と画像)、消化器画像 8(4):453-457, 2006[総説]	羽鳥 隆, 福田 覚, 鬼澤俊輔, 杉木孝章, 古川健司, 松浦裕史, 藤田 泉, 今泉俊秀, 山本雅一:長期生存脾管癌の臨床と画像(東京女子医科大学) (特集 長期生存脾管癌の臨床と画像)、消化器画像 8(4):453-457, 2006[総説]
消化器外科学	TS-1(紫精・VII.肝癌の治療)、日臨(増刊):194-197, 2006	林 和彦, 内田数海, 羽鳥 隆, 高崎 健:TS-1(紫精・VII.肝癌の治療)、日臨(増刊):194-197, 2006
消化器外科学	Intrahepatic cholangiocarcinoma with lymph node metastasis successfully treated by immunotherapy with CD3-activated T cells and dendritic cells after surgery: report of a case. Surgery Today 36:559-562, 2006[症例報告]	Higuchi Ryota, Yamamoto Masakazu, Hatori Takashi, Shimizu Koichi, Imai Kenichiro, Takasaki Ken: Intrahepatic cholangiocarcinoma with lymph node metastasis successfully treated by immunotherapy with CD3-activated T cells and dendritic cells after surgery: report of a case. Surgery Today 36:559-562, 2006[症例報告]
消化器外科学	インターフェロン療法著効後に2回の再発を来たしたHCV陽性肝細胞癌の1例. 日消化会誌 39(2):209-214, 2006[症例報告]	袖丸亮, 片桐 啓, 山本雅一, 川端秀雄, 吉利貴治, 斎藤美枝, 有泉俊一, 小寺由人, 大坪愛人, 高崎 健:インターフェロン療法著効後に2回の再発を来たしたHCV陽性肝細胞癌の1例. 日消化会誌 39(2):209-214, 2006[症例報告]
消化器外科学	肝原発が示唆された多発肝カルチノイドの1例. Liver Cancer 12(1):8-17, 2006[症例報告]	今井健一郎, 山本雅一, 有泉俊一, 桂川秀穂, 片桐 啓, 吉利貴治, 浦橋泰然, 加藤幸章, 西口岳春, 藤田 泉, 高崎 健, 斎藤明子, 中野雅行:肝原発が示唆された多発肝カルチノイドの1例. Liver Cancer 12(1):8-17, 2006[症例報告]
消化器外科学	直腸神経鞘腫の1例(第81回日本消化器内視鏡学会関東地方会論文集)、Progress of Digestive endoscopy 68(2):156, 2006[症例報告]	今井健一郎, 井上雄志, 太田洋介, 山本雅一, 高崎 健:直腸神経鞘腫の1例(第81回日本消化器内視鏡学会関東地方会論文集)、Progress of Digestive endoscopy 68(2):156, 2006[症例報告]
消化器外科学	Lymph node metastases and recurrence of rectal submucosal invasive carcinoma. 東女医大誌 76(4):155-159, 2006[原著論文]	Inoue Yuji, Saied Shin, Yamamoto Masakazu, Takasaki Ken: Lymph node metastases and recurrence of rectal submucosal invasive carcinoma. 東女医大誌 76(4):155-159, 2006[原著論文]
消化器外科学	大腸癌肝転移肝切除後残肝再発に対する治療(特集 転移性肝癌治療の進歩). 消外 29(8):1169-1174, 2006[総説]	井上雄志, 高崎 健, 山本雅一, 小寺由人, 斎田 真:大腸癌肝転移肝切除後残肝再発に対する治療(特集 転移性肝癌治療の進歩). 消外 29(8):1169-1174, 2006[総説]
消化器外科学	振り子. 消化器科 42(6):532-536, 2006[総説]	井上雄志, 斎田 真: 胃部巣癌, 市場 洋, 向 佐礼, 大井 至, 山本雅一:振り子. 消化器科 42(6):532-536, 2006[総説]
消化器外科学	大腸sm部内視鏡治療後の遺残再発の実態とその治療. 消内視鏡 18(3):347-354, 2006[総説]	井上雄志, 斎田 真: 胃部巣癌, 市場 洋, 向 佐礼, 山本雅一, 大井 至, 高崎 健:大腸sm部内視鏡治療後の遺残再発の実態とその治療. 消内視鏡 18(3):347-354, 2006[総説]
消化器外科学	Cell delivery in regenerative medicine: The cell sheet engineering approach. Journal of controlled release:1-11, 2006[総説]	Joseph Yang, 大和雅之, Koji Nishida, 大木岳志, Masa Kanzaki, Hidetaka Sekine, Tatsuya Shimizu, 岡野光夫:Cell delivery in regenerative medicine: The cell sheet engineering approach. Journal of controlled release:1-11, 2006[総説]
消化器外科学	Surgical outcomes in patients with ruptured hepatocellular carcinoma. 東女医大誌 76(4):168-172, 2006[原著論文]	Katsuragawa Hideo, Yamamoto Masakazu, Katajiri Satoshi, Takasaki Ken: Surgical outcomes in patients with ruptured hepatocellular carcinoma. 東女医大誌 76(4):168-172, 2006[原著論文]
消化器外科学	5-Fluorouracil-related gene expression levels in primary colorectal cancer and corresponding liver metastasis. Int J Cancer 119(3):522-526, 2006[原著論文]	Kuramochi Hidekazu, Hayashi Kazuhiko, Uchida Kazumi, Miyakura Satoru, Takasaki Ken: 5-Fluorouracil-related gene expression levels in primary colorectal cancer and corresponding liver metastasis. Int J Cancer 119(3):522-526, 2006[原著論文]
消化器外科学	Vascular endothelial growth factor messenger RNA expression level is preserved in liver metastases compared with corresponding primary colorectal cancer. Clin Cancer Res 12(1):29-33, 2006[原著論文]	Kuramochi Hidekazu, Hayashi Kazuhiko, Uchida Kazumi, Miyakura Satoru, Takasaki Ken: Vascular endothelial growth factor messenger RNA expression level is preserved in liver metastases compared with corresponding primary colorectal cancer. Clin Cancer Res 12(1):29-33, 2006[原著論文]
消化器外科学	Fabrication of transplantable human oral mucosal epithelial cell sheets using temperature-responsive culture inserts without feeder layer cells. J artif organs 9:185-191, 2006[原著論文]	Murakami Daisuke, Yamato Masayuki, Oki Takeshi, Takagi Ryo, Namiki Hideo, Okano Teruo:Fabrication of transplantable human oral mucosal epithelial cell sheets using temperature-responsive culture inserts without feeder layer cells. J artif organs 9:185-191, 2006[原著論文]
消化器外科学	The effect of micropores in the surface of temperature-responsiv culture inserts on the fabrication of transplantable canine oral mucosal epithelial cell sheets. Biomaterials 27:5518-5523, 2006[原著論文]	Murakami Daisuke, Yamato Masayuki, Oki Takeshi, Takagi Ryo, Namiki Hideo, Okano Teruo:The effect of micropores in the surface of temperature-responsiv culture inserts on the fabrication of transplantable canine oral mucosal epithelial cell sheets. Biomaterials 27:5518-5523, 2006[原著論文]
消化器外科学	Chemoradiotherapy with and without esophagectomy for advanced esophageal cancer. Hepato-Gastroenterology 53:705-709, 2006[原著論文]	中村 努, 太田正樹, 林 和彦, 江口礼紀, 井手博子, 高崎 健, 三橋紀夫:Chemoradiotherapy with and without esophagectomy for advanced esophageal cancer. Hepato-Gastroenterology 53:705-709, 2006[原著論文]
消化器外科学	外科治療の適応と実際. 消化器の臨 9(1):73-77, 2006[総説]	中村 努, 太田正樹, 林 和彦, 高崎 健:外科治療の適応と実際. 消化器の臨 9(1):73-77, 2006[総説]
消化器外科学	Treatment of oesophageal ulcerations using endoscopic transplantation of tissue engineered autologous oral mucosal epithelial cell sheets in a canine model. Gut 55(12):1704-1710, 2006[原著論文]	Oki Takeshi, Yamato Masayuki, Murakami Daisuke, Takagi Ryo, Namiki Hideo, Okano Teruo, Takasaki Ken:Treatment of oesophageal ulcerations using endoscopic transplantation of tissue engineered autologous oral mucosal epithelial cell sheets in a canine model. Gut 55(12):1704-1710, 2006[原著論文]
消化器外科学	経内視鏡的傍吻合粘膜上皮細胞シート移植による食道再建(21世紀COE記念シンポジウム・再生医療の最前線)(特集 第71回東京女子医科大学学会総会)、東女医大誌 76(4):179-183, 2006[総説]	大木岳志, 大和雅之, 岡野光夫, 高崎 健:経内視鏡的傍吻合粘膜上皮細胞シート移植による食道再建(21世紀COE記念シンポジウム・再生医療の最前線)(特集 第71回東京女子医科大学学会総会)、東女医大誌 76(4):179-183, 2006[総説]
消化器外科学	良性腫瘍に対する内視鏡治療 1)上部消化管 (2)粘膜下腫瘍・食道. 胃と腸 41(4):573-577, 2006[総説]	太田正樹, 中村 努, 林 和彦, 内田数海, 武市智志, 成宮孝祐, 高崎 健:良性腫瘍に対する内視鏡治療 1)上部消化管 (2)粘膜下腫瘍・食道. 胃と腸 41(4):573-577, 2006[総説]

部署名	タイトル	著者
消化器外科学	進行胆囊癌に対する(拡大)肝右葉・全胃幽門輪存脾臍十二指腸切除術(肝・胆・脾の手術)(特集 胆道領域のUp to dateな疑間に答える). 臨床外科 61(11):269-279, 2006[総説]	太田岳洋, 吉川達也, 山本雅一, 新井達雄, 吾妻 司, 大坪毅人, 小畠英俊, 桂川秀郎, 今泉俊秀, 高崎 健;進行胆囊癌に対する(拡大)肝右葉・全胃幽門輪存脾臍十二指腸切除術(肝・胆・脾の手術)(特集 胆道領域のUp to dateな疑間に答える). 臨床外科 61(11):269-279, 2006[総説]
消化器外科学	胆囊癌リバース転移陽性生存例の臨床像—術前診断で術式選択が可能か—(胆道領域のUp to dateな疑間に答える)(特集 胆道領域のUp to dateな疑間に答える). 胆と膵 27(9):655-659, 2006[総説]	太田岳洋, 新井由達彦, 谷澤武久, 犀山英樹, 破口亮太, 竹下信吾, 渡野英枝, 山本雅一;胆囊癌リバース転移陽性生存例の臨床像—術前診断で術式選択が可能か—(胆道領域のUp to dateな疑間に答える)(特集 胆道領域のUp to dateな疑間に答える). 胆と膵 27(9):655-659, 2006[総説]
消化器外科学	2チャンネルスコープを用いた超音波ガイド下穿刺吸引細胞診により術前診断し得た直腸GISTの1例. Gastroenterology Endoscopy 48(12):2792-2798, 2006[症例報告]	齐田 真, 井上雄志, 斎原知明, 手塚 徹, 大坪毅人, 小畠英俊, 吉利賛治, 西川俊郎, 山本雅一, 大井 至, 高崎 健;2チャンネルスコープを用いた超音波ガイド下穿刺吸引細胞診により術前診断し得た直腸GISTの1例. Gastroenterology Endoscopy 48(12):2792-2798, 2006[症例報告]
消化器外科学	皮内反応は腫瘍抗原に対する特異的免疫反応と臨床効果の指標になるか(特別企画 癌免疫療法の効果判定法について). Biotherapy 20:190-196, 2006[総説]	清水公一, 竹下信吾, 小寺由人, 山本雅一, 有賀 浩;皮内反応は腫瘍抗原に対する特異的免疫反応と臨床効果の指標になるか(特別企画 癌免疫療法の効果判定法について). Biotherapy 20:190-196, 2006[総説]
消化器外科学	術後肝癌再発抑制を目指した樹状細胞療法. Bio Clinica 21(2):125-129, 2006[総説]	清水公一, 有賀 浩;術後肝癌再発抑制を目指した樹状細胞療法. Bio Clinica 21(2):125-129, 2006[総説]
消化器外科学	OK432-activated natural killer cells enhanced trastuzumab (Herceptin)-mediated antibody-dependent cellular cytotoxicity in patients with advanced cancer. Anticancer Research 26(6B):4327-4333, 2006[原著論文]	Sudo Toshimi, Aruga Atsushi, Shimizu Koichi, Matsushita Norimasa, Takasaki Ken: OK432-activated natural killer cells enhanced trastuzumab (Herceptin)-mediated antibody-dependent cellular cytotoxicity in patients with advanced cancer. Anticancer Research 26(6B):4327-4333, 2006[原著論文]
消化器外科学	TS-1/CDDP併用療法にて長期CRを維持し切除にて病巣消失を確認された進行胃癌の1例. 日消化会誌 39(1):38-43, 2006[症例報告]	杉木恭章, 井上達夫, 桑取義典, 上小鶴弘幸, 小熊英俊, 高崎 健;TS-1/CDDP併用療法にて長期CRを維持し切除にて病巣消失を確認された進行胃癌の1例. 日消化会誌 39(1):38-43, 2006[症例報告]
消化器外科学	十二指腸乳頭部癌に対するオーダーメード手術(手術手技). 外科治療 94(2):228-233, 2006[総説]	高崎 健, 新井達雄, 太田岳洋, 山本雅一;十二指腸乳頭部癌に対するオーダーメード手術(手術手技). 外科治療 94(2):228-233, 2006[総説]
消化器外科学	動脈穿刺・動脈路確保(術前・術後に必要な処置)(特集 外科研修医マニュアル・Ⅰ). 消外 29(4):421-425, 2006[総説]	武市智志, 山本雅一;動脈穿刺・動脈路確保(術前・術後に必要な処置)(特集 外科研修医マニュアル・Ⅰ). 消外 29(4):421-425,
消化器外科学	Intrahepatic recurrence after surgery in patients with intrahepatic cholangiocarcinoma (editorial). J Gastroenterol 41(9):925-926, 2006[総説]	Yamamoto Masakazu, Ariizumi Shunichi: Intrahepatic recurrence after surgery in patients with intrahepatic cholangiocarcinoma (editorial). J Gastroenterol 41(9):925-926, 2006[総説]
消化器外科学	Hepatocellular carcinoma with a central scar and a scalloped tumor margin resembling focal nodular hyperplasia in macroscopic appearance. Journal of Surgical Oncology 94:587-591, 2006[原著論文]	山本雅一, 有島一郎, 吉利賛治, 斎藤明子, 中野雅行, 高崎 健;Hepatocellular carcinoma with a central scar and a scalloped tumor margin resembling focal nodular hyperplasia in macroscopic appearance. Journal of Surgical Oncology 94:587-591, 2006[原著論文]
消化器外科学	肝内部クリンソーグ一括処理による肝左区域(肝左葉)切除(特集 イラストレイティッド外科標準術式). 臨床外科 61(11):233-238, 2006[総説]	山本雅一, 高崎 健, 大坪毅人;肝内部クリンソーグ一括処理による肝左区域(肝左葉)切除(特集 イラストレイティッド外科標準術式). 臨床外科 61(11):233-238, 2006[総説]
消化器内視鏡科	生体腎移植後に発症したサイトメガロウイルス(CMV)関連腎病変の1例(第81回日本消化器内視鏡学会関東地方会論文集). Progress of Digestive endoscopy 68(2):104, 2006[症例報告]	市場 春, 光永 駿, 石川一郎, 清水晶平, 白戸 泉, 小西洋之, 中村真一, 大井 至;生体腎移植後に発症したサイトメガロウイルス(CMV)関連腎病変の1例(第81回日本消化器内視鏡学会関東地方会論文集). Progress of Digestive endoscopy 68(2):104, 2006[症例報告]
消化器内視鏡科	内視鏡的膝蓋遮影と膝疾患(特別企画 第36回日本膝学会大会). 膝臓 21(1):1-12, 2006[総説]	大井 至;内視鏡的膝蓋遮影と膝疾患(特別企画 第36回日本膝学会大会). 膝臓 21(1):1-12, 2006[総説]
消化器内視鏡科	Autoimmune pancreatitis can be classified into early and advanced stages. Pancreas 33(4):345-350, 2006[原著論文]	Suda Koichi, Oi Itaru: Autoimmune pancreatitis can be classified into early and advanced stages. Pancreas 33(4):345-350, 2006[原著論文]
神経内科学	アスピリン内服中の脳血管障害患者における脳血管障害の危険因子および頸動脈病変の血小板凝集能に及ぼす影響. 東女医大誌 76(3):122-127, 2006[原著論文]	朴 木順, 山崎昌子, 内山真一郎, 岩田 誠;アスピリン内服中の脳血管障害患者における脳血管障害の危険因子および頸動脈病変の血小板凝集能に及ぼす影響. 東女医大誌 76(3):122-127, 2006[原著論文]
神経内科学	高圧酸素療法が有効であった間歇型一酸化炭素中毒. 神経内科 64(6):626-632, 2006[症例報告]	広庄敏子, 倭嶋 隆, 内山真一郎, 岩田 誠;高圧酸素療法が有効であった間歇型一酸化炭素中毒. 神経内科 64(6):626-632, 2006[症例報告]
神経内科学	Spectacular Shrinking Deficitを呈したアテローム血栓性脳梗塞の1例. Therapeutic Research 27(1):137-142, 2006[症例報告]	木下 順, 内山真一郎, 達藤美穂, 小林正樹, 清水博子, 岩田 誠;Spectacular Shrinking Deficitを呈したアテローム血栓性脳梗塞の1例. Therapeutic Research 27(1):137-142, 2006[症例報告]
神経内科学	Crow-Fukase症候群の臨床的検討. 東京女子医科大学総合研究所紀要 25, 2006[研究報告]	坂場 真, 望月 淑子, 岩田 誠;Crow-Fukase症候群の臨床的検討. 東京女子医科大学総合研究所紀要 25, 2006[研究報告]
神経内科学	Intractable hiccups induced by high dose intravenous methylprednisolone in a patient with multiple sclerosis. Eur J Neurology 13(2):201-202, 2006[症例報告]	Iijima Mutsumi, Uchigata Masanobu, Ohashi Takashi, Kata Haruhiko: Intractable hiccups induced by high dose intravenous methylprednisolone in a patient with multiple sclerosis. Eur J Neurology 13(2):201-202, 2006[症例報告]
神経内科学	脳梗塞を併発した片頭痛7症例の臨床的検討. 脳卒中 28(3):385-390, 2006[原著論文]	飯嶋 隆, 内山真一郎, 吉澤浩志, 藤井 幸, 益田陽子, 松村美由起, 田邊紀子, 岩田 誠;脳梗塞を併発した片頭痛7症例の臨床的検討. 脳卒中 28(3):385-390, 2006[原著論文]
神経内科学	お香が脳機能に及ぼす影響—自発脳波・事象関連電位による評価—. 日本薬物脳波学会雑誌 8(1):29-31, 2006[原著論文]	飯嶋 隆, 大澤英貴雄, 西谷信之, 岩田 誠;お香が脳機能に及ぼす影響—自発脳波・事象関連電位による評価—. 日本薬物脳波学会雑誌 8(1):29-31, 2006[原著論文]
神経内科学	事象関連電位検査の臨床応用 a.聴覚性事象関連電位の臨床応用. 神経内科 Suppl(4):367-373, 2006[総説]	坂嶋 隆, 大澤英貴雄, 正岡良徳;事象関連電位検査の臨床応用 a.聴覚性事象関連電位の臨床応用. 神経内科 Suppl(4):367-373,
神経内科学	Pharmacoeconomic analysis of cilostazol for the secondary prevention of cerebral infarction.. Circ J 70(4):453-458, 2006[原著論文]	Inoue Taduo, Kobayashi Makoto, Uotsuka Yoshiro, Uchiyama Shinichiro: Pharmacoeconomic analysis of cilostazol for the secondary prevention of cerebral infarction.. Circ J 70(4):453-458, 2006[原著論文]
神経内科学	芸術を創る脳内コミュニケーション. 作業療法 25(6):492-496, 2006[原著論文]	岩田 誠;芸術を創る脳内コミュニケーション. 作業療法 25(6):492-496, 2006[原著論文]
神経内科学	言語の脳機会. 日内会誌 95(9):1691-1697, 2006[総説]	岩田 誠;言語の脳機会. 日内会誌 95(9):1691-1697, 2006[総説]
神経内科学	神経変性疾患の画像診断. 且内会誌 95(10):2099-2104, 2006[総説]	岩田 誠;神経変性疾患の画像診断. 且内会誌 95(10):2099-2104, 2006[総説]
神経内科学	頭蓋骨を深くするhyperexcitabilities. CLINICAL NEUROSCIENCE 24(11):1288-1289, 2006[総説]	岩田 誠;頭蓋骨を深くするhyperexcitabilities. CLINICAL NEUROSCIENCE 24(11):1288-1289, 2006[総説]
神経内科学	肺骨神経麻痺が長期間化筋萎縮をきたした2型糖尿病の1例. 糖尿病 49(5):337-341, 2006[症例報告]	金井明子, 手納信一, 大屋純子, 石井晶子, 皆野由子, 中神明子, 竹内 恵, 岩本安彦;肺骨神経麻痺が長期化筋萎縮をきたした2型糖尿病の1例. 糖尿病 49(5):337-341, 2006[症例報告]
神経内科学	Fatal cerebral hemorrhage in mitochondrial encephalomyopathy. Clinical and pathological data of a case. J Neurol 253(4):529-530, 2006[症例報告]	Kato Haruhisa, Uchigata Masanobu, Iijima Mutsumi, Shimizu Seiichiro, Nonaka Ikuya, Goto Yuichi: Fatal cerebral hemorrhage in mitochondrial encephalomyopathy. Clinical and pathological data of a case. J Neurol 253(4):529-530, 2006[症例報告]
神経内科学	<頭蓋内疾患における救急診療> アテローム血栓性脳梗塞. 頭脳 97(5):776-779, 2006[総説]	丸山健二, 内山真一郎 <頭蓋内疾患における救急診療> アテローム血栓性脳梗塞. 頭脳 97(5):776-779, 2006[総説]
神経内科学	脳血管障害と椎間盤突出症. Current Therapy 24(1):43-46, 2006[総説]	益田陽子, 内山真一郎;脳血管障害と椎間盤突出症. Current Therapy 24(1):43-46, 2006[総説]
神経内科学	アテローム血栓症に対する国際観察研究—REACH Registry-. 脳卒中 28(4):538, 2006[原著論文]	松本麻衣子, 内山真一郎, 田島和義, 田池康夫;アテローム血栓症に対する国際観察研究—REACH Registry-. 脳卒中 28(4):538,
神経内科学	A Study of Emotional Sweating in Patients with Chronic Fatigued Syndrome. 東京女子医科大学雑誌 76(8~9):374-380, 2006[原著論文]	Matsumura Miyuki, Takekami Toshiko, Tenaka Akemi, Watanabe Hiromi, Iwata Makoto; A Study of Emotional Sweating in Patients with Chronic Fatigued Syndrome. 東京女子医科大学雑誌 76(8~9):374-380, 2006[原著論文]
神経内科学	大脳白質病変と脊髄萎縮を認めたadrenomyeloneuropathyの1例. 神経内科 64(4):426-428, 2006[症例報告]	水野 真由子, 井口 正寛, 白田 明子, 山根 清美;大脳白質病変と脊髄萎縮を認めたadrenomyeloneuropathyの1例. 神経内科 64(4):426-428, 2006[症例報告]
神経内科学	不安定ブラークの機能画像診断. 症候群歩行 27(46):9-16, 2006[研究報告]	内藤博昭, 沢谷親夫, 横木弘行, 内山真一郎, 水野杏一, 栗林幸夫, 佐名 篤, 中谷 敏, 玉木長良, 横地一樹;不安定ブラークの機能画像診断. 症候群歩行 27(46):9-16, 2006[研究報告]
神経内科学	認知症(痴呆)〇認知症患者のどのような症状に対して薬剤が有効ですか?. Melio Brain & Mind 2006:190-191, 2006[総説]	Mebio Brain & Mind 2006:190-191, 2006[総説]
神経内科学	認知症(痴呆)〇病院と種々の老人ケア施設がどのように連携すれば、患者のQOLを向上させることができますか?(有意義なこととは). Melio Brain & Mind 2006:192-193, 2006[総説]	Mebio Brain & Mind 2006:192-193, 2006[総説]
神経内科学	ペーキングソーン病(PD)のapathy(意欲低下)とうつ状態—非象関連電位による評価. 日本薬物脳波学会雑誌 8(1):43-45, 2006[研究報告]	大澤英貴雄, 頼場 恵, 宇野洋美, 飯嶋 隆, 牛島良介, 岩田 誠;ペーキングソーン病(PD)のapathy(意欲低下)とうつ状態—非象関連電位による評価. 日本薬物脳波学会雑誌 8(1):43-45, 2006[研究報告]
神経内科学	アスピリン内服中の脳血管障害患者における脳血管障害の危険因子および頸動脈病変の血小板凝集能に及ぼす影響. 東京女子医科大学雑誌 76(3):122-127, 2006[原著論文]	朴 木順, 山崎昌子, 内山真一郎, 岩田 誠;アスピリン内服中の脳血管障害患者における脳血管障害の危険因子および頸動脈病変の血小板凝集能に及ぼす影響. 東京女子医科大学雑誌 76(3):122-127, 2006[原著論文]
神経内科学	Ubiquitin-positive frontotemporal lobar degeneration presenting with progressive Gogi (word-meaning) aphasia. A neuropsychological, radiological and pathological evaluation of a Japanese semantic dementia patient. J Neurol Sci 250(1):3-9, 2006[原著論文]	Sakurai Yasuhisa, Tsuchiya K, Oda T, Hori K, Tominaga I, Akiyama H, Bando M, Haga C, Iwata Makoto, Mannen Toru; Ubiquitin-positive frontotemporal lobar degeneration presenting with progressive Gogi (word-meaning) aphasia. A neuropsychological, radiological and pathological evaluation of a Japanese semantic dementia patient. J Neurol Sci 250(1):3-9, 2006[原著論文]
神経内科学	Neuronal inclusions in sporadic motor neuron disease are negative for alpha-synuclein. Neurosci Lett 397(1, 2):15-19, 2006[原著論文]	Sasaki Shoichi, Komori Takashi, Iwata Makoto; Neuronal inclusions in sporadic motor neuron disease are negative for alpha-synuclein. Neurosci Lett 397(1, 2):15-19, 2006[原著論文]

部署名	タイトル	著者
神経内科学	Parvalbumin and calbindin D-28k immunoreactivity in transgenic mice with a G93A mutant SOD1 gene. <i>Brain Res</i> 1083(1):196-203, 2006[原著論文]	Sasaki Shioichi, Warita Hitoshi, Komori Takashi, Murakami Tetsuro, Abe Koji, Iwata Makoto: Parvalbumin and calbindin D-28k immunoreactivity in transgenic mice with a G93A mutant SOD1 gene. <i>Brain Res</i> 1083(1):196-203, 2006[原著論文]
神経内科学	Low-dose aspirin for prevention of stroke in low-risk patients with atrial fibrillation: Japan Atrial Fibrillation Stroke Trial. <i>Stroke</i> 37(2):447-451, 2006[原著論文]	Sato Hiroshi, Ishikawa Kinji, Kitabatake Akira, Ogawa Satoshi, Maruyama Yukio, Yokota Yoshiyuki, Fukuyama Takaya, Doi Yoshinori, Mochizuki Seibu, Izumi Tohru, Takekoshi Noboru, Yoshida Kiyoji, Hiramori Katsuhiko, Origasa Hideki, Uchiyama Shinichiro, Matsumoto Masayasu, Yamaguchi Takenori, Hori Masatugu: Low-dose aspirin for prevention of stroke in low-risk patients with atrial fibrillation: Japan Atrial Fibrillation Stroke Trial. <i>Stroke</i> 37(2):447-451, 2006[原著論文]
神経内科学	Increased von Willebrand factor in acute stroke patients with atrial fibrillation. <i>J Stroke Cerebrovasc Dis</i> 15(1):1-7, 2006[原著論文]	Sato Mika, Suzuki Akiumi, Nagata Ken, Uchiyama Shinichiro: Increased von Willebrand factor in acute stroke patients with atrial fibrillation. <i>J Stroke Cerebrovasc Dis</i> 15(1):1-7, 2006[原著論文]
神経内科学	Change of excitability in brainstem and cortical visual processing in migraine exhibiting allodynia. <i>Headache</i> 46:1535-1544, 2006[原著論文]	Shibata Koichi, Yamane Kiyomi, Iwata Makoto: Change of excitability in brainstem and cortical visual processing in migraine exhibiting allodynia. <i>Headache</i> 46:1535-1544, 2006[原著論文]
神経内科学	A case of biopsy-proven leptomeningeal amyloidosis and IVIG-responsive polyneuropathy associated with Ala25Thr transthyretin gene mutation. <i>Amyloid J Protein Folding Discord</i> 13(3):37-41, 2006[原著論文]	Shimizu Yuko, Takouchi Megumi, Matsumura Miyuki, Tokuda Takahiko, Iwata Makoto: A case of biopsy-proven leptomeningeal amyloidosis and IVIG-responsive polyneuropathy associated with Ala25Thr transthyretin gene mutation. <i>Amyloid J Protein Folding Discord</i> 13(3):37-41, 2006[原著論文]
神経内科学	IFN- $\beta$ を投与した多発性硬化症患者末梢のCD4+CD25+high 制御性T細胞とFoxp3遺伝子発現の検討. 東京女子医大総合研究所紀要 25(6):61-62, 2005[研究報告]	清水優子, 太田宏平, 清水優子, 大原久仁子, 岩田誠: IFN- $\beta$ を投与した多発性硬化症患者末梢のCD4+CD25+high 制御性T細胞とFoxp3遺伝子発現の検討. 東京女子医大総合研究所紀要 25(6):61-62, 2005[研究報告]
神経内科学	多発性硬化症におけるインターフェロン $\beta$ -1b療法の外来導入の実際. 東京女子医科大学雑誌 76(6):205-211, 2006[原著論文]	大橋高志, 太田宏平, 清水優子, 大原久仁子, 竹内千仙, 岩田誠: 多発性硬化症におけるインターフェロン $\beta$ -1b療法の外来導入の実際. 東京女子医大雑誌 76(6):205-211, 2006[原著論文]
神経内科学	多発性硬化症における免疫吸着療法. 平成17年度厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服事業「難治性疾患の早期的診断・治療法に関する研究」平成17年度総括・分担研究報告書: 48-51, 2006[研究報告]	大橋高志, 太田宏平, 清水優子, 大原久仁子, 竹内千仙, 岩田誠: 多発性硬化症における免疫吸着療法. 平成17年度厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服事業「難治性疾患の早期的診断・治療法に関する研究」平成17年度総括・分担研究報告書: 48-51.
神経内科学	Predictors of good prognosis in total anterior circulation infarction within 6 h after onset under conventional therapy.. <i>Acta Neurol Scand</i> 113(5):301-306, 2006[原著論文]	Tai Hideaki, Uchiyama Shinichiro, Usui Toru: Predictors of good prognosis in total anterior circulation infarction within 6 h after onset under conventional therapy. <i>Acta Neurol Scand</i> 113(5):301-306, 2006[原著論文]
神経内科学	抗凝固療法と抗血小板薬の使い分け. <i>Current Therapy</i> 24(10):878-881, 2006[総説]	林洋美, 内山真一郎: 抗凝固療法と抗血小板薬の使い分け. <i>Current Therapy</i> 24(10):878-881, 2006[総説]
神経内科学	インターベンション時代の脳卒中学会 非血栓的指標と脳梗塞の臨床. 日本臨床 64(8):29-32, 2006[総説]	林洋美, 内山真一郎: インターベンション時代の脳卒中学会 非血栓的指標と脳梗塞の臨床. 日本臨床 64(8):29-32, 2006[総説]
神経内科学	脳梗塞の危険因子としての $\beta$ 2-glycoprotein(遺伝子多型). 脳卒中 27(4):608-611, 2005[総説]	林洋美, 内山真一郎: 危険因子としての $\beta$ 2-glycoprotein(遺伝子多型). 脳卒中 27(4):608-611, 2005[総説]
神経内科学	抗血栓療法中に発症した脳出血の臨床的特徴: 多施設共回後向き研究(循環器病研究委託費15公-1). 脳卒中 28(4):539-543, 2006[原著論文]	豊田一則, 矢坂正穂, 長田乾, 尾尾義勝, 枝本知希, 山本正祐, 内山真一郎, 長尾之宏, 岩田和德, 高橋淳, 嶋峰一天: 抗血栓療法中に発症した脳出血の臨床的特徴: 多施設共回後向き研究(循環器病研究委託費15公-1). 脳卒中 28(4):539-543.
神経内科学	頭動脈エコー、検査と技術 34(11):1347-1352, 2006[総説]	塙由紀子: 頭動脈エコー、検査と技術 34(11):1347-1352, 2006[総説]
神経内科学	不安定ブラークの画像診断. <i>Vascular Lab</i> 3(3):307-310, 2006[総説]	塙由紀子: 不安定ブラークの画像診断. <i>Vascular Lab</i> 3(3):307-310, 2006[総説]
神経内科学	機械弁置換症例における栓子シグナルと症状. <i>Vascular Lab</i> 3(3):338-339, 2006[総説]	塙由紀子: 機械弁置換症例における栓子シグナルと症状. <i>Vascular Lab</i> 3(3):338-339, 2006[総説]
神経内科学	New modalities and aspects of antiplatelet therapy for stroke prevention.. <i>Cerebrovasc Dis</i> 21(S1):7-16, 2006[原著論文]	Uchiyama Shinichiro: New modalities and aspects of antiplatelet therapy for stroke prevention.. <i>Cerebrovasc Dis</i> 21(S1):7-16, 2006[原著論文]
神経内科学	New modalities for the treatment of acute cardioembolic stroke. <i>Intern Med</i> 45(8):493-494, 2006[総説]	Uchiyama Shinichiro: New modalities for the treatment of acute cardioembolic stroke. <i>Intern Med</i> 45(8):493-494, 2006[総説]
神経内科学	J-TRACE研究会:脳血管疾患・心疾患に伴う血管イベント発症に関する全国実態調査(J-TRACE) シンポジウムⅡ 脳卒中の大規模調査. 脳卒中 28(4):535-537, 2006[原著論文]	内山真一郎, 折笠秀樹, 後藤慶哉, 岩田和幸, 渡辺伸夫: J-TRACE研究会: 脳血管疾患・心疾患に伴う血管イベント発症に関する全国実態調査(J-TRACE) シンポジウムⅡ 脳卒中の大規模調査. 脳卒中 28(4):535-537, 2006[原著論文]
神経内科学	カリント抗HIT抗体群とTrousseau症候群. 脳卒中 27(4):547-552, 2005[原著論文]	内山真一郎, 林洋美, 清水優子, 岩田誠: カリント抗HIT抗体群とTrousseau症候群. 脳卒中 27(4):547-552, 2005[原著論文]
神経内科学	抗リン脂質抗体症候群 特集 Cryptogenic stroke(潜因性脳卒中).. 脳と神経 58(1):593-590, 2006[総説]	内山真一郎, 林洋美, 清水優子, 岩田誠: 抗リン脂質抗体症候群 特集 Cryptogenic stroke(潜因性脳卒中).. 脳と神経 58(1):593-590, 2006[総説]
神経内科学	メタボリックシンドローム 特集 高齢者の脳卒中予防. <i>Geriatr Med</i> 44(10):1415-1421, 2006[総説]	内山真一郎: メタボリックシンドローム 特集 高齢者の脳卒中予防. <i>Geriatr Med</i> 44(10):1415-1421, 2006[総説]
神経内科学	アスピリン・インターベンション時代の脳卒中學(改定第2版)上一超急性期から再発予防まで.. 日本臨床 増刊7(通巻901):562-567, 2006[総説]	内山真一郎: アスピリン・インターベンション時代の脳卒中學(改定第2版)上一超急性期から再発予防まで.. 日本臨床 増刊7(通巻901):562-567, 2006[総説]
神経内科学	抗血小板療法 インターベンション時代の脳卒中學(改定第2版)下一超急性期から再発予防まで.. 日本臨床 増刊7(通巻901):75-80, 2006[総説]	内山真一郎: 抗血小板療法 インターベンション時代の脳卒中學(改定第2版)下一超急性期から再発予防まで.. 日本臨床 増刊7(通巻901):75-80, 2006[総説]
神経内科学	抗血小板療法による心・脳血管障害の予防. 特集 高齢者における薬物介入試験.. <i>Geriatr Med</i> 44(12):191-196, 2006[総説]	内山真一郎: 抗血小板療法による心・脳血管障害の予防. 特集 高齢者における薬物介入試験.. <i>Geriatr Med</i> 44(12):191-196,
神経内科学	血栓溶解療法の有効性と安全性. 特集 脳血栓中の血栓溶解療法.. <i>Vasc Lab</i> 3(1):28-34, 2006[総説]	内山真一郎: 血栓溶解療法の有効性と安全性 特集 脳血栓中の血栓溶解療法.. <i>Vasc Lab</i> 3(1):28-34, 2006[総説]
神経内科学	脳梗塞 特集 脳卒中プロトコール2006.. 臨診と治療 94(6):1029-1034, 2006[総説]	内山真一郎: 脳梗塞 特集 脳卒中プロトコール2006.. 臨診と治療 94(6):1029-1034, 2006[総説]
神経内科学	抗血栓療法・動脈硬化危険因子の治療の実際とEBM.. 循環器科 59(S3):573-582, 2006[総説]	内山真一郎: 抗血栓療法・動脈硬化危険因子の治療の実際とEBM.. 循環器科 59(S3):573-582, 2006[総説]
神経内科学	わが国で開発されたシロスタゾールの特徴. 特集 抗血小板療法アテローム血栓症をいかに予防・治療するか? .. Heart View 10(13):1382-1387, 2006[総説]	内山真一郎: わが国で開発されたシロスタゾールの特徴. 特集 抗血小板療法アテローム血栓症をいかに予防・治療するか? .. Heart View 10(13):1382-1387, 2006[総説]
神経内科学	クロピドグレル 話題の新展. <i>Cardiac Pract</i> 17(4):429-431, 2006[総説]	内山真一郎: クロピドグレル 話題の新展. <i>Cardiac Pract</i> 17(4):429-431, 2006[総説]
神経内科学	指定講演1 脳卒中の一次・二次予防について. 第3回先進医療フォーラムー時間軸からみた脳血管傷害の予防と治療ー.. 血栓止血誌 17(4):479-484, 2006[総説]	内山真一郎: 指定講演1 脳卒中の一次・二次予防について. 第3回先進医療フォーラムー時間軸からみた脳血管傷害の予防と治療ー.. 血栓止血誌 17(4):479-484, 2006[総説]
神経内科学	クロビドグレル 話題のくすり. 日疾誌 42(10):1345-1349, 2006[総説]	内山真一郎: クロビドグレル 話題のくすり. 日疾誌 42(10):1345-1349, 2006[総説]
神経内科学	マルチブリスリスクファクターと抗血栓療法 脳血管イベント抑制とマルチブリスリスクマネージメント. 脳と循環 11(3):217-223, 2006[総説]	内山真一郎: マルチブリスリスクファクターと抗血栓療法 脳血管イベント抑制とマルチブリスリスクマネージメント. 脳と循環 11(3):217-223, 2006[総説]
神経内科学	脳卒中の予防の最近の動向. 月臨内会誌 21(2):211-224, 2006[総説]	内山真一郎: 脳卒中の予防の最近の動向. 月臨内会誌 21(2):211-224, 2006[総説]
神経内科学	アテローム血栓症の抗血小板療法 特集 アテローム血栓症の病態と治療.. <i>Vasc Lab</i> 3(3):319-326, 2006[総説]	内山真一郎: アテローム血栓症の抗血小板療法 特集 アテローム血栓症の病態と治療.. <i>Vasc Lab</i> 3(3):319-326, 2006[総説]
神経内科学	脳ドックの役割と実際 特集 脳卒中の強化とその最前線 臨床医に求められるもの. <i>Prog in Med</i> 26(6):1227-1232, 2006[総説]	内山真一郎: 脳ドックの役割と実際 特集 脳卒中の強化とその最前線 臨床医に求められるもの. <i>Prog in Med</i> 26(6):1227-1232, 2006[総説]
神経内科学	心原性脳栓塞症における急性期抗凝固療法の意義とその臨床効果 心房細動と脳血栓塞栓症 特集 脳梗塞疾患と抗凝固療法 最近の話題. 最新医学 61(8):1621-1626, 2006[総説]	内山真一郎: 心原性脳栓塞症における急性期抗凝固療法の意義とその臨床効果 心房細動と脳血栓塞栓症 特集 脳梗塞疾患と抗凝固療法 最近の話題. 最新医学 61(8):1621-1626, 2006[総説]
神経内科学	撲滅病と脳血管障害 シリーズ 斎居病の治療(9). 東京医大誌 76(3):103-108, 2006[総説]	内山真一郎: 撲滅病と脳血管障害 シリーズ 斎居病の治療(9). 東京医大誌 76(3):103-108, 2006[総説]
神経内科学	フルラクリンによる抗凝固療法の展望 特集 心房細動 血栓と循環 14(1):62-65, 2006[総説]	内山真一郎: フルラクリンによる抗凝固療法の展望 特集 心房細動 血栓と循環 14(1):62-65, 2006[総説]
神経内科学	脳梗塞の予防と治療 特集 内科学の展望 高齢化時代の内科学. 日内会誌 95(3):8-13, 2006[総説]	内山真一郎: 脳梗塞の予防と治療 特集 内科学の展望 高齢化時代の内科学. 日内会誌 95(3):8-13, 2006[総説]
神経内科学	大規模臨床試験で示されたアスピリンの有用性 虐血性脳血管障害の予防・治療のエビデンス. 治療学 40(3):255-259, 2006[総説]	内山真一郎: 大規模臨床試験で示されたアスピリンの有用性 虐血性脳血管障害の予防・治療のエビデンス. 治療学 40(3):255-259, 2006[総説]
神経内科学	血栓症予防のガイドライン. 脳卒中予防のための抗血栓療法. 東京都医師会誌 59(3):210-230, 2006[総説]	内山真一郎: 血栓症予防のガイドライン. 脳卒中予防のための抗血栓療法. 東京都医師会誌 59(3):210-230, 2006[総説]
神経内科学	(-PA)以後の血栓溶解療法状況 特集 (-PA)が現く新たな脳梗塞急性期治療の地平. <i>Mebio</i> 23(2):52-57, 2006[総説]	内山真一郎: (-PA)以後の血栓溶解療法状況 特集 (-PA)が現く新たな脳梗塞急性期治療の地平. <i>Mebio</i> 23(2):52-57, 2006[総説]
神経内科学	メタボリックシンドロームのボリビルド. 特集 メタボリックシンドロームと脳卒中. 分子脳血管病 5(1):61-66, 2006[総説]	内山真一郎: メタボリックシンドロームのボリビルド. 特集 メタボリックシンドロームと脳卒中. 分子脳血管病 5(1):61-66, 2006[総説]
神経内科学	抗血小板薬と抗凝固薬の使い方と日常生活指導. 特集 血栓症 血管障害に対する医療. 成人病と生活習慣病 36(2):215-219, 2006[総説]	内山真一郎: 抗血小板薬と抗凝固薬の使い方と日常生活指導. 特集 血栓症 血管障害に対する医療. 成人病と生活習慣病 36(2):215-219, 2006[総説]
神経内科学	脳梗塞 特集 斎居病マクロアンギオパシー. 日本臨床 64(11):2039-2044, 2006[総説]	内山真一郎: 脳梗塞 特集 斎居病マクロアンギオパシー. 日本臨床 64(11):2039-2044, 2006[総説]
神経内科学	血小板血栓とフィブリン血栓 その基礎と臨床 (-PA)時代の脳梗塞治療. 成人病と生活習慣病 36(5):488-494, 2006[総説]	内山真一郎: 血小板血栓とフィブリン血栓 その基礎と臨床 (-PA)時代の脳梗塞治療. 成人病と生活習慣病 36(5):488-494, 2006[総説]

部署名	タイトル	著者
神経内科学	抗血栓療法のニュートレンド. 心臓 38(4):412-413, 2006[総説]	内山真一郎:抗血栓療法のニュートレンド. 心臓 38(4):412-413, 2006[総説]
神経内科学	抗血栓療法 シンポジウム2-4 Brain Attack Update. 臨床神経 46(11):844-846, 2006[総説]	内山真一郎:抗血栓療法 シンポジウム2-4 Brain Attack Update. 臨床神経 46(11):844-846, 2006[総説]
神経内科学	抗血栓療法と脳血管障害. 総合臨床 55(7):1872-1881, 2006[総説]	内山真一郎:抗血栓療法と脳血管障害. 総合臨床 55(7):1872-1881, 2006[総説]
神経内科学	序文 脳卒中予防の動向と脳血管障害の進化学 Update. Advances in Stroke, Stroke 日本語版 1(1):5, 2006[総説]	内山真一郎:序文 脳卒中予防の動向と脳血管障害の進化学 Update. Advances in Stroke, Stroke 日本語版 1(1):5, 2006[総説]
神経内科学	脳卒中予防の最近の動向と脳血管障害の進化学 Update. Advances in Stroke, Stroke 日本語版 1(1):5, 2006[総説]	内山真一郎:脳卒中予防の最近の動向と脳血管障害の進化学 Update. Advances in Stroke, Stroke 日本語版 1(1):5, 2006[総説]
神経内科学	血栓溶解薬、抗凝固薬、抗血小板薬. Advances in Stroke, Stroke 日本語版 1(2):4, 2006[総説]	内山真一郎:血栓溶解薬、抗凝固薬、抗血小板薬. Advances in Stroke, Stroke 日本語版 1(2):4, 2006[総説]
神経内科学	脢梗塞-TIA予防に関するAHA/ASAガイドラインの發表を受けて. Medical Tribune(4月号):134-137, 2006[総説]	内山真一郎:脢梗塞-TIA予防に関するAHA/ASAガイドラインの發表を受けて. Medical Tribune(4月号):134-137, 2006[総説]
神経内科学	脜質低下療法による脳卒中患者の再発抑制効果について. J Med Society(120):60-63, 2006[総説]	内山真一郎:脜質低下療法による脳卒中患者の再発抑制効果について. J Med Society(120):60-63, 2006[総説]
神経内科学	脜質低下療法 脳卒中の予防. Brain 10(10):4-5, 2006[総説]	内山真一郎:脜質低下療法 脳卒中の予防. Brain 10(10):4-5, 2006[総説]
神経内科学	アテローム硬化・血栓形成の分子機序. インターベンション時代の脳卒中學(改定第2版)上?超急性期から再発予防まで?. 日本臨床 64(増刊7):91-96, 2006[総説]	内山真一郎:アテローム硬化・血栓形成の分子機序. インターベンション時代の脳卒中學(改定第2版)上?超急性期から再発予防まで?. 日本臨床 64(増刊7):91-96, 2006[総説]
神経内科学	凝血学的異常. 特集 インターベンション時代の脳卒中學 超急性期から再発予防まで. 日本臨床 64(増刊7):204-208, 2006[総説]	内山真一郎:内山真一郎:凝血学的異常 特集 インターベンション時代の脳卒中學 超急性期から再発予防まで. 日本臨床 64(増刊7):204-208, 2006[総説]
神経内科学	知っておきたい血管医学用語 CD40L, Vascular Medicine 2(4):369-373, 2006[総説]	内山真一郎:内山真一郎:知っておきたい血管医学用語 CD40L, Vascular Medicine 2(4):369-373, 2006[総説]
神経内科学	疾患と検査値の推移 脑梗塞に対する抗血小板療法の血小板凝集能検査によるモニター. 検査と技術 34(10):965-971, 2006[総説]	内山真一郎:内山真一郎:疾患と検査値の推移 脑梗塞に対する抗血小板療法の血小板凝集能検査によるモニター. 検査と技術 34(10):965-971, 2006[総説]
神経内科学	脢瘻離断症候群. 総合リハビリテーション 34(9):861-866, 2006[総説]	吉澤浩志, 郡秀明:脢瘻離断症候群. 総合リハビリテーション 34(9):861-866, 2006[総説]
脳神経外科学	A haplotypic spanning two genes, ELN and LIMK1, decreases their transcripts and confers susceptibility to intracranial aneurysms.. Hum Mol Genet 15(10):1722-1734, 2006[原著論文]	Akagawa Hiroki, Sakamoto Yasushi, Yoneyama Taku, Kasuya Hidetoshi, Onida Hideaki, Hori Tomokatsu, Kubota Yuichi, Machida Ryuichi, Saeki N, Hata A, Hashiguchi Kazunori, Kinura E: A haplotypic spanning two genes, ELN and LIMK1, decreases their transcripts and confers susceptibility to intracranial aneurysms.. Hum Mol Genet 15(10):1722-1734, 2006[原著論文]
脳神経外科学	小児深部小病変摘出におけるアップデーターナビゲーションの必要性. 脳腫瘍の外科-脢腫瘍手術の進歩と限界-. 348-356, 2006.12.5[総説]	天野耕作, 村垣晋吾, 藍原康雄, 田中雅彦, 丸山隆志, 井上達也, 石川達也, 久保長生, 鳩智勝: 小児深部小病変摘出におけるアップデーターナビゲーションの必要性. 脳腫瘍の外科-脢腫瘍手術の進歩と限界-. 348-356, 2006.12.5[総説]
脳神経外科学	Comparison of 1H-MRS-detected metabolic characteristics in single metastatic brain tumors of different origin. Brain tumor pathology 23: 35-40, 2006[原著論文]	チエルノフミハイル, 小野由子, 久保長生, 鳩智勝: Comparison of 1H-MRS-detected metabolic characteristics in single metastatic brain tumors of different origin. Brain tumor pathology 23: 35-40, 2006[原著論文]
脳神経外科学	Multivoxel proton MRS for differentiation of radiation-induced necrosis and tumor recurrence after gamma knife radiosurgery for brain metastases. Brain tumor pathology 23:19-27, 2006[原著論文]	Chernov Mikhail F., Heyashi Motohiro, Izawa Masahiro, Usukura Masao, Yoshiha Sigitos, Ono Yuko, Muragaki Yoshihiro, Kubo Osami, Hori Tomokatsu, Takakura Kintomo: Multivoxel proton MRS for differentiation of radiation-induced necrosis and tumor recurrence after gamma knife radiosurgery for brain metastases. Brain tumor pathology 23:19-27, 2006[原著論文]
脳神経外科学	Three-way Bipolar Forceps: a Novel Bipolar Coagulator System for Nerve Stimulation and Detection of Nerve Potentials. Neurologia medico-chirurgica 46(4):169-175, 2006[原著論文]	Fujita Yoshiyuki, Muragaki Yoshihiro, Nambu Kyoko, Hori Tomokatsu, Iseki Hiroshi: Three-way Bipolar Forceps: a Novel Bipolar Coagulator System for Nerve Stimulation and Detection of Nerve Potentials. Neurologia medico-chirurgica 46(4):169-175, 2006[原著論文]
脳神経外科学	選択的脊髄後根遮断術における術中モニタリング. 脊髄機能診断学 27(1):121-123, 2006[原著論文]	福柳聰子, 平孝臣: 选択的脊髄後根遮断術における術中モニタリング. 脊髄機能診断学 27(1):121-123, 2006[原著論文]
脳神経外科学	頭面痛に対する末梢神経刺激. 機能的脳神経外科 45:20-21, 2006[原著論文]	後藤真一, 平孝臣, 落合卓, 佐々木泰之, 堀智勝: 頭面痛に対する末梢神経刺激. 機能的脳神経外科 45:20-21, 2006[原著論文]
脳神経外科学	腰椎神経根引き抜き損傷後の難治性疼痛に対する選択的脊髄後根進入部遮断術. ベインクリニック 27(10):1318-1323, 2006[原著論文]	後藤真一, 平孝臣, 佐々木泰之, 落合卓, 堀智勝: 腰椎神経根引き抜き損傷後の難治性疼痛に対する選択的脊髄後根進入部遮断術. ベインクリニック 27(10):1318-1323, 2006[原著論文]
脳神経外科学	頭面痛に対する末梢神経刺激. 機能的脳神経外科 45(1):20-21, 2006[原著論文]	後藤真一, 平孝臣, 落合卓, 佐々木泰之, 堀智勝: 頭面痛に対する末梢神経刺激. 機能的脳神経外科 45(1):20-21, 2006[原著論文]
脳神経外科学	腰椎神経根引き抜き損傷後の難治性下肢痛に選択的脊髄後根進入部遮断術が著効した一例. 機能的脳神経外科 45(1):74-75, 2006[症例報告]	後藤真一, 平孝臣, 落合卓, 佐々木泰之, 堀智勝: 腰椎神経根引き抜き損傷後の難治性下肢痛に選択的脊髄後根進入部遮断術が著効した一例. 機能的脳神経外科 45(1):74-75, 2006[症例報告]
脳神経外科学	Latest strategy of Gamma knife surgery for essential trigeminal neuralgia: robotized micro-radiosurgery based on the evaluation and analysis of 220 patients experience.. 機能的脳神経外科 45(2):153-158, 2005[原著論文]	Hayashi Motohiro, Ochiai Taku, Nakaya Kotaro, Mikhail Chernov, Murata Tokuko, Yomo Shoji, Kouyama Nobuo, Katayama Yoko, Kawakami Yoriko, Taira Takanori, Izawa Masahiro, Hori Tomokatsu, Takakura Kintomo: Latest strategy of Gamma knife surgery for essential trigeminal neuralgia: robotized micro-radiosurgery based on the evaluation and analysis of 220 patients experience.. 機能的脳神経外科 45(2):153-158, 2005[原著論文]
脳神経外科学	Current treatment strategy for vestibular schwannoma: Image-guided robotic microradiosurgery.. J Neurosurg [Suppl] 105:5-11, 2006[原著論文]	Hayashi Motohiro, Ochiai Taku, Nakaya Kotaro, Chernov Mikhail, Murata Tokuko, Maruyama Takashi, Yomo Shoji, Izawa Masahiro, Hori Tomokatsu, Takakura Kintomo, Regis Jean: Current treatment strategy for vestibular schwannoma: Image-guided robotic microradiosurgery.. J Neurosurg [Suppl] 105:5-11, 2006[原著論文]
脳神経外科学	Image-guided microradiosurgery for skull base brain tumors: advantages of the use of gadolinium-enhanced constructive interference in steady state imaging.. J Neurosurg [Suppl] 105:12-17, 2006[原著論文]	Hayashi Motohiro, Ochiai Taku, Nakaya Kotaro, Chernov Mikhail, Murata Tokuko, Maruyama Takashi, Yomo Shoji, Izawa Masahiro, Hori Tomokatsu, Takakura Kintomo, Regis Jean: Image-guided microradiosurgery for skull base brain tumors: advantages of the use of gadolinium-enhanced constructive interference in steady state imaging.. J Neurosurg [Suppl] 105:12-17, 2006[原著論文]
脳神経外科学	脢転移に対する外科治療[ガンマナイフに関する記載]. 手術 60(1):27-33, 2006[原著論文]	林正弘, 鳩智勝: 脢転移に対する外科治療[ガンマナイ夫に関する記載]. 手術 60(1):27-33, 2006[原著論文]
脳神経外科学	ガンマナイフ脢腫瘍治療における新たな画像sequence/ 造影CISSの有用性について. 臨床画像 22(4):352-354, 2006[原著論文]	林正弘, 小野由子, 白倉政雄, 鈴木誠, 辻直哉: ガンマナイフ脢腫瘍治療における新たな画像sequence/ 造影CISSの有用性について. 臨床画像 22(4):352-354, 2006[原著論文]
脳神経外科学	放射線障害による脢浮腫-とくにradiosurgeryに伴う発生とその対処策について. 神経研究の進歩 50(2):271-279, 2006[原著論文]	林正弘: 放射線障害による脢浮腫-とくにradiosurgeryに伴う発生とその対処策について. 神経研究の進歩 50(2):271-279, 2006[原著論文]
脳神経外科学	ガンマナイフ-先端医療と看護. 臨床看護 32(8):1144-1151, 2006[原著論文]	林正弘: ガンマナイフ-先端医療と看護. 臨床看護 32(8):1144-1151, 2006[原著論文]
脳神経外科学	ガンマナイフ治療: 治療と効果、合併症: 神経因性疾患の最前線(その2). LISA 13(10):922-924, 2006[原著論文]	林正弘: ガンマナイフ治療: 治療と効果、合併症: 神経因性疾患の最前線(その2). LISA 13(10):922-924, 2006[原著論文]
脳神経外科学	Clinical experience with endoscope-controlled removal of intramedullary vestibular schwannomas.. Minimally invasive neurosurgery and multidisciplinary intramedullary neurotraumatology . 176-180, 2006[原著論文]	Hori Tomokatsu, Maruyama Takashi, Chernov Mikhail: Clinical experience with endoscope-controlled removal of intramedullary vestibular schwannomas.. Minimally invasive neurosurgery and multidisciplinary intramedullary neurotraumatology . 176-180, 2006[原著論文]
脳神経外科学	クリオマー-最新の治療- 術中モニタリング. 脳と神経 58(12):1043-1050, 2006[総説]	Isoki Hiroshi, Muragaki Yoshihiro, Maruyama Takashi, Nakamura Ryoichi, Okawa Mitsutoku, Hori Tomokatsu, Takakura Kintomo: クリオマー-最新の治療- 術中モニタリング. 脳と神経 58(12):1043-1050, 2006[総説]
脳神経外科学	先端工学外科における医工連携-インテリジェント手術. 臨床看護 32(8):1113-1119, 2006[総説]	伊藤洋, 木村善治, 中村亮一: 先端工学外科における医工連携-インテリジェント手術. 臨床看護 32(8):1113-1119, 2006[総説]
脳神経外科学	Fatal intratumoral hemorrhage immediately after gamma knife radiosurgery for brain metastases. Minim Invasive Neurosurg. 49(4):251-254, 2006[症例報告]	Izawa Masahiro, Chernov Mikhail, Hayashi Motohiro, Kubota Yuichi, Kasuya Hidetoshi, Hori Tomokatsu: Fatal intratumoral hemorrhage immediately after gamma knife radiosurgery for brain metastases. Minim Invasive Neurosurg. 49(4):251-254, 2006[症例報告]
脳神経外科学	Childhood leukemia and magnetic fields in Japan: A case-control study of childhood leukemia and residential power-frequency magnetic fields in Japan. Int J Cancer 119:643-650, 2006[原著論文]	Kabuto Michinori, Nitto Hiroshi, Yamamoto Seiichiro, Yamaguchi Naohito, Akiba Suminori, Honda Yasushi, Hegihara Jun, Isaka Katsuo, Saito Tomohiro, Ojima Toshiyuki, Nakamura Yosikazu, Mizoushi Tsutsuya, Ito Satoko, Eboshi Akira, Yamazaki Shin, Soejima Shigeru, kurokawa Yoshika, Kubo Osami: Childhood leukemia and magnetic fields in Japan: A case-control study of childhood leukemia and residential power-frequency magnetic fields in Japan. Int J Cancer 119:643-650, 2006[原著論文]
脳神経外科学	重症でも膜下出血の治療:ニカルジピン徐放剤を用いて. 脳卒中の外科 34:274-279, 2006[原著論文]	鶴谷英俊, 恩田英明, 氏家弘, 山口浩司, 川島明次, 谷茂, 比嘉祐, 加藤宏一, 久保田有一, 岡田芳和, 堀智勝: 重症でも膜下出血の治療:ニカルジピン徐放剤を用いて. 脳卒中の外科 34:274-279, 2006[原著論文]
脳神経外科学	カルシウム拮抗薬はスパズムに有効か?. 脳卒中の外科(増刊号) 34(suppl):83-86, 2006[原著論文]	鶴谷英俊, 原田英明, 堀智勝: カルシウム拮抗薬はスパズムに有効か?. 脳卒中の外科(増刊号) 34(suppl):83-86, 2006[原著論文]
脳神経外科学	脢膜腫瘍の進歩解析. 脳卒中 27:598-601, 2006[総説]	鶴谷英俊: 脢膜腫瘍の進歩解析. 脳卒中 27:598-601, 2006[総説]
脳神経外科学	Clinical and radiological features related to the proliferating potential in 342 patients with meningioma.. Neurosurg Rev 29:293-297, 2006[原著論文]	: Clinical and radiological features related to the proliferating potential in 342 patients with meningioma.. Neurosurg Rev 29:293-297, 2006[原著論文]
脳神経外科学	特癆性正常圧水頭症患者における歩行解析. 医療 60(7)[原著論文]	加藤宏一, 堀智勝, 渡瀬勇, 須瀬義, 小林一成: 特癆性正常圧水頭症患者における歩行解析. 医療 60(7)[原著論文]
脳神経外科学	Intrastellar Remote Metastasis from Adenoid Cystic Carcinoma of Parotid Gland: Case report. Endocrine Journal 53(5):659-663, 2006[症例報告]	Kawamata Takaharu, Harashima Shiro, Kubo Osami, Hori Tomokatsu: Intrastellar Remote Metastasis from Adenoid Cystic Carcinoma of Parotid Gland: Case report. Endocrine Journal 53(5):659-663, 2006[症例報告]

部署名	タイトル	著者
脳神経外科学	内視鏡支援経鼻的下垂体腫瘍摘出術の効用. 日本内分泌学会雑誌 82(Suppl):20-22, 2006[原著論文]	川俣貴一, 天野耕作, 田中雅彦, 久保長生, 堀智勝: 内視鏡支援経鼻的下垂体腫瘍摘出術の効用. 日本内分泌学会雑誌 82(Suppl):20-22, 2006[原著論文]
脳神経外科学	頸動脈多発病変症例におけるSTA-MCA anastomosis. The Mt. Fuji Workshop on CVD 24:91-95, 2006[原著論文]	川俣貴一, 岡田芳和, 川島明次, 山口浩司, 堀智勝: 頸動脈多発病変症例におけるSTA-MCA anastomosis. The Mt. Fuji Workshop on CVD 24:91-95, 2006[原著論文]
脳神経外科学	もやもや病に対する直接血行再建術の工夫. The Mt. Fuji Workshop on CVD 24:79-83, 2006[原著論文]	川島明次, 岡田芳和, 藍原康雄, 山口浩司, 堀智勝: もやもや病に対する直接血行再建術の工夫. The Mt. Fuji Workshop on CVD 24:79-83, 2006[原著論文]
脳神経外科学	Using endothelial nitric oxide synthase gene polymorphisms to identify intracranial aneurysms more prone to rupture in Japanese patients. J Neurosurg. 105(5):717-722, 2006[原著論文]	Krischek B, Kasuya Hidetoshi, Akagawa Hiroyuki, Onda Hideaki, Hori Tomokatsu: Using endothelial nitric oxide synthase gene polymorphisms to identify intracranial aneurysms more prone to rupture in Japanese patients. J Neurosurg. 105(5):717-722, 2006[原著論文]
脳神経外科学	Is there any evidence for linkage on chromosome 17cen in affected Japanese sib-pairs with an intracranial aneurysm? J Hum Genet. 51(5):491-494, 2006[原著論文]	Krischek B, Akagawa Hiroyuki, Kasuya Hidetoshi, Onda Hideaki, Yoneyama Taku, Hori Tomokatsu: Is there any evidence for linkage on chromosome 17cen in affected Japanese sib-pairs with an intracranial aneurysm? J Hum Genet. 51(5):491-494, 2006[原著論文]
脳神経外科学	ラテク発癌. 別冊日本臨牀 新領域別症候群シリーズ 1(1):172-177, 2006[総説]	久保長生, 川俣貴一, 堀智勝, ラテク発癌. 別冊日本臨牀 新領域別症候群シリーズ 1(1):172-177, 2006[総説]
脳神経外科学	脊索瘤治療後に頸膜腫が発生した一例. Neuro-Oncology(Tokyo) 15(2):64-67, 2006[症例報告]	久保長生, 川俣貴一, 田中雅彦, 天野耕作, 堀智勝: 脊索瘤治療後に頸膜腫が発生した一例. Neuro-Oncology(Tokyo) 15(2):64-67, 2006[症例報告]
脳神経外科学	awake craniotomyと麻酔管理: 脳腫瘍の立場から. LISA 13(7):666-671, 2006[総説]	丸山隆志, 村垣善治, 堀智勝: awake craniotomyと麻酔管理: 脳腫瘍の立場から. LISA 13(7):666-671, 2006[総説]
脳神経外科学	awake craniotomyと麻酔管理: 脳腫瘍の立場から. LISA 13(7):666-671, 2006[総説]	丸山隆志, 村垣善治, 堀智勝: awake craniotomyと麻酔管理: 脳腫瘍の立場から. LISA 13(7):666-671, 2006[総説]
脳神経外科学	医用断層画像オーバーレイ表示システムの開発. 日本コンピュータ外科学会誌 8(1):9-17, 2006[原著論文]	松家大介, 石川透也, 村垣善治, 伊関洋, 正宗賢: 医用断層画像オーバーレイ表示システムの開発. 日本コンピュータ外科学会誌 8(1):9-17, 2006[原著論文]
脳神経外科学	ここまで来たオープンMRIを用いた精密誘導手術とインテリジェント手術室. Innnervation 21(9):55-58, 2006[原著論文]	村垣善治, 中村亮一, 丸山隆志, 伊関洋, 高倉公朋, 堀智勝: ここまで来たオープンMRIを用いた精密誘導手術とインテリジェント手術室. Innnovation 21(9):55-58, 2006[原著論文]
脳神経外科学	多中心性gliomaに対する画像上全摘出術の意義. Neuro-Oncology(Tokyo) 16(1):32-35, 2006[原著論文]	村垣善治, 丸山隆志, 田中雅彦, 伊関洋, 久保長生, 高倉公朋, 堀智勝: 多中心性gliomaに対する画像上全摘出術の意義. Neuro-Oncology(Tokyo) 16(1):32-35, 2006[原著論文]
脳神経外科学	情報誘導によるグリオーマ手術. 脳神経外科ジャーナル 15(6):384-395, 2006[総説]	村垣善治, 丸山隆志, 中村亮一, 伊関洋, 久保長生, 高倉公朋, 堀智勝: 情報誘導によるグリオーマ手術. 脳神経外科ジャーナル 15(6):384-395, 2006[総説]
脳神経外科学	MRIガイド下治療の最新動向 ここまで来たオープンMRIを用いた精密誘導手術とインテリジェントオペ室. INNERVISION 21(9):55-58, 2006[総説]	村垣善治, 伊関洋, 中村亮一, 高倉公朋, 堀智勝: MRIガイド下治療の最新動向 ここまで来たオープンMRIを用いた精密誘導手術とインテリジェントオペ室. INNERVISION 21(9):55-58, 2006[総説]
脳神経外科学	悪性脳腫瘍等の外科的治療における精密誘導手術を実現する探査型マイクロ手術ロボットシステムの開発. 医科学応用研究財团研究報告 23:82-87, 2006[原著論文]	中村亮一: 悪性脳腫瘍等の外科的治療における精密誘導手術を実現する探査型マイクロ手術ロボットシステムの開発. 医科学応用研究財团研究報告 23:82-87, 2006[原著論文]
脳神経外科学	臨床再生医学のための細胞移植手術用精密誘導マニピュレータシステムに関する基礎的研究. サッポロ生物科学振興財團 第20回助成研究報告書:25-30, 2006[総説]	中村亮一, 村垣善治, 丸山隆志, 大和雅之: 臨床再生医学のための細胞移植手術用精密誘導マニピュレータシステムに関する基礎的研究. サッポロ生物科学振興財團 第20回助成研究報告書:25-30, 2006[総説]
脳神経外科学	HOW SOON WILL METASTATIC PATIENT COME BACK FOR ANOTHER RADIOSURGERY?. J Neurosurg 15(Suppl):82-85, 2006[原著論文]	Nakaya Kotaro, Hayashi Motohiro, Izawa Masahiro, Ochiai Taku, Hori Tomokatsu, Takakura Kintomo: HOW SOON WILL METASTATIC PATIENT COME BACK FOR ANOTHER RADIOSURGERY?. J Neurosurg 15(Suppl):82-85, 2006[原著論文]
脳神経外科学	Development of Surgical Manipulator System "HUMAN" for Clinical Neurosurgery. Japan Medical Association Journal 49(11.12):335-344, 2006[原著論文]	Nishizawa Kouji, Fujii G, Masakatsu, Hongo Kazuhiro, Doht Takeyoshi, Iseki Hiroshi: Development of Surgical Manipulator System "HUMAN" for Clinical Neurosurgery. Japan Medical Association Journal 49(11.12):335-344, 2006[原著論文]
脳神経外科学	サイオシン部内頸動脈瘤と汎下垂体機能低下症を伴ったプロラクチノーマの一例. 日本内分泌学会雑誌 82(6):79-81, 2006[症例報告]	大冢忠典, 三木伸泰, 小野昌美, 大竹啓之, 佐田晶, 関敏郎, 岡田芳和, 川俣貴一, 堀智勝, 高野加寿恵: サイオシン部内頸動脈瘤と汎下垂体機能低下症を伴ったプロラクチノーマの一例. 日本内分泌学会雑誌 82(6):79-81, 2006[症例報告]
脳神経外科学	Vein graft bypassの工夫と臨床応用. The Mt. Fuji Workshop on CVD 24:29-33, 2006[原著論文]	岡田芳和, 川島明次, 川俣貴一, 山口浩司, 堀智勝: Vein graft bypassの工夫と臨床応用. The Mt. Fuji Workshop on CVD 24:29-33, 2006[原著論文]
脳神経外科学	インフォームドコンセントの実践 検査、治療 CEA, CAS—閉塞性脳血管障害インフォームドコンセント. 脳神経外科学大系 15:34-45, 2006[総説]	岡田芳和: インフォームドコンセントの実践 検査、治療 CEA, CAS—閉塞性脳血管障害インフォームドコンセント. 脳神経外科学大系 15:34-45, 2006[総説]
脳神経外科学	高精度な脳腫瘍摘出手術を支援する術中MRIシステム. 日立評論 88(9):24-27, 2006[研究報告]	小瀬紀彦, 渡部義彦, 伊関洋, 川垣善治: 高精度な脳腫瘍摘出手術を支援する術中MRIシステム. 日立評論 88(9):24-27,
脳神経外科学	Hypotremia after transsphenoidal surgery for hypothalamo-pituitary tumors. Neuroendocrinology 83:117-122, 2006[原著論文]	Sata Akira, Hiszuka Naomi, Kawamura Takekazu, Hori Tomokatsu, Takano Kazue: Hypotremia after transsphenoidal surgery for hypothalamo-pituitary tumors. Neuroendocrinology 83:117-122, 2006[原著論文]
脳神経外科学	Fifteen year experience of intrathecal baclofen treatment in Japan.. Acta Neurochir 99:61-3, 2006[原著論文]	Taira Takaoi, Ochiai Taku, Go shinichi, Hori Tomokatsu: Fifteen year experience of intrathecal baclofen treatment in Japan.. Acta Neurochir 99:61-3, 2006[原著論文]
脳神経外科学	Multimodal neurosurgical strategies for the management of dystonias. Acta Neurochir 99:29-31, 2006[原著論文]	Taira Takaoi, Ochiai Taku, Go shinichi, Hori Tomokatsu: Multimodal neurosurgical strategies for the management of dystonias. Acta Neurochir 99:29-31, 2006[原著論文]
脳神経外科学	アウトカムリサーチ. 臨床看護 32(8):1159-1163, 2006[総説]	田舎哲之: アウトカムリサーチ. 臨床看護 32(8):1159-1163, 2006[総説]
脳神経外科学	New Radiofrequency Coil Integrated with a Stereotactic Frame for Intraoperative MRI-Controlled Stereotactically Guided Brain Surgery. Stereotactic and Functional Neurosurgery 84(4):136-141, 2006[原著論文]	Taniguchi Hiroki, Muragaki Yoshihiro, Iseki Hiroshi, Nambu Kyuro, Taira Takaoi: New Radiofrequency Coil Integrated with a Stereotactic Frame for Intraoperative MRI-Controlled Stereotactically Guided Brain Surgery. Stereotactic and Functional Neurosurgery 84(4):136-141, 2006[原著論文]
脳神経外科学	ガンマナイフによる組織変化と臨床応用. 松本尚典 32(3):188-198, 2006[総説]	富田透利子, 林 雄弘: ガンマナイフによる組織変化と臨床応用. 松本尚典 32(3):188-198, 2006[総説]
脳神経外科学	Effect of sleep-wake rhythm on consciousness disturbance in cerebrovascular patients. British Journal of Neuroscience Nursing 2(10):514-520, 2006[原著論文]	Yamauchi Noriko, Ito Keiichi, Imajo Kaoru, Fujita Yoshiyuki, Mogi Junichi, Isoki Hiroshi: Effect of sleep-wake rhythm on consciousness disturbance in cerebrovascular patients. British Journal of Neuroscience Nursing 2(10):514-520, 2006[原著論文]
脳神経外科学	TSH産生腺腫におけるソマトスタチン受容体サブタイプ発現の解析. ホルモンと臨床 増刊号「内分泌クリニック・カンファレンス46」54:36-39, 2006[原著論文]	吉原愛, 畑崎透, 取巻直美, 原田千絵, 小野昌美, 川俣貴一, 堀智勝, 高野加寿恵: TSH産生腺腫におけるソマトスタチン受容体サブタイプ発現の解析. ホルモンと臨床 増刊号「内分泌クリニック・カンファレンス46」54:36-39, 2006[原著論文]
脳神経外科学	A case of anaplastic pleomorphic xanthoastrocytoma presenting with tumor bleeding and cerebrospinal fluid dissemination. Brain tumor pathology 23(1):55-63, 2006[症例報告]	asano kenichiro, miyamoto seitchi, kubo osami, kikkawa tomoko, yagihashi akino, ohkura hiroki: A case of anaplastic pleomorphic xanthoastrocytoma presenting with tumor bleeding and cerebrospinal fluid dissemination. Brain tumor pathology 23(1):55-63, 2006[症例報告]
脳神経外科学	脳腫瘍における覚醒下手術. 医学の歩み 217(13):1200-1201, 2006[総説]	丸山隆志, 村垣善治, 堀智勝, 脳腫瘍における覚醒下手術. 医学の歩み 217(13):1200-1201, 2006[総説]
脳神経外科学	聴神経腫瘍の手術(解剖を中心とした脳神経手術手技). 脳神経外科 34(7):681-693, 2006[総説]	丸山隆志, 村垣善治, 堀智勝, 聽神経腫瘍の手術(解剖を中心とした脳神経手術手技). 脳神経外科 34(7):681-693, 2006[総説]
脳神経外科学	脳腫瘍における覚醒下手術. 医学の歩み 217(13):1200-1201, 2006[総説]	丸山隆志, 村垣善治, 堀智勝, 脳腫瘍における覚醒下手術. 医学の歩み 217(13):1200-1201, 2006[総説]
脳神経外科学	聴神経腫瘍の手術(解剖を中心とした脳神経手術手技). 脳神経外科 34(7):681-693, 2006[総説]	丸山隆志, 村垣善治, 堀智勝, 聽神経腫瘍の手術(解剖を中心とした脳神経手術手技). 脳神経外科 34(7):681-693, 2006[総説]
第四内科(腎臓内科)	Reduced Capacity of Mononuclear Cells to Synthesize Cytokines against an Inflammatory Stimulus in Uremic Patients. Nephron Clin Pract 104(3):c113-c119, 2006[原著論文]	Ando Minoru, Shibuya Asuka, Tsuchiya Ken, Akiba Takashi, Nitte Kosaku: Reduced Capacity of Mononuclear Cells to Synthesize Cytokines against an Inflammatory Stimulus in Uremic Patients. Nephron Clin Pract 104(3):c113-c119, 2006[原著論文]
第四内科(腎臓内科)	Reduced expression of Toll-like receptor 4 contributes to impaired cytokine response of monocytes in uremic patients. Kidney Int 70(2):358-362, 2006[原著論文]	Ando Minoru, Shibuya Asuka, Tsuchiya Ken, Akiba Takashi, Nitte Kosaku: Reduced expression of Toll-like receptor 4 contributes to impaired cytokine response of monocytes in uremic patients. Kidney Int 70(2):358-362, 2006[原著論文]
第四内科(腎臓内科)	アルブミンの割合. 総合臨床 55(1):2618-2619, 2006[総説]	青木明日香, 新田翠作: アルブミンの効用. 総合臨床 55(1):2618-2619, 2006[総説]
第四内科(腎臓内科)	代謝性血液透析症候群におけるC型肝炎ウイルス感染のサーベイランス. 東女医大誌 76(2):92-97, 2006[原著論文]	猪口 郁, 秋葉 隆, 新田翠作: 代謝性血液透析症候群におけるC型肝炎ウイルス感染のサーベイランス. 東女医大誌 76(2):92-97, 2006[原著論文]
第四内科(腎臓内科)	HDまたはHDF中に血圧不安定な患者がAcute-Free Biofiltration(AFB)への変更で、従来の治療と比較し血圧が安定するか(HDF療法'06). 脳と透析 61(別冊):210-212, 2006[原著論文]	HDまたはHDF中に血圧不安定な患者がAcute-Free Biofiltration(AFB)への変更で、従来の治療と比較し血圧が安定するか(HDF療法'06). 脳と透析 61(別冊):210-212, 2006[原著論文]
第四内科(腎臓内科)	HDまたはHDF中に血圧不安定な患者がAcute-Free Biofiltration(AFB)への変更で、従来の治療と比較し血圧が安定するか(HDF療法'06). 脳と透析 61(別冊):210-212, 2006[原著論文]	HDまたはHDF中に血圧不安定な患者がAcute-Free Biofiltration(AFB)への変更で、従来の治療と比較し血圧が安定するか(HDF療法'06). 脳と透析 61(別冊):210-212, 2006[原著論文]

部署名	タイトル	著者
第四内科学(腎臓内科)	感染を契機に増悪した顕微鏡的多発血管炎の1例. 日本腎臓学会誌 47(8):876-881, 2005[原著論文]	小島智亞里, 鶴村和子, 板橋英津世, 岩本正恵, 潮平俊治, 矢吹恭子, 武井 卓, 内田啓子, 新田孝作:感染を契機に増悪した顕微鏡的多発血管炎の1例. 日本腎臓学会誌 47(8):876-881, 2005[原著論文]
第四内科学(腎臓内科)	Slectin Gene Polymorphisms in IgA Nephropathy. Intern. Med 45(16):939, 2006	Nitta Kosaku, Takei Takashi: Slectin Gene Polymorphisms in IgA Nephropathy. Intern. Med 45(16):939, 2006
第四内科学(腎臓内科)	Recent advances in the treatment of lupus nephritis. Nephrology Frontier 5(2):70-71, 2006[総説]	Nitta Kosaku, Uchida Keiko, Yumura Wako: Recent advances in the treatment of lupus nephritis. Nephrology Frontier 5(2):70-71, 2006[総説]
第四内科学(腎臓内科)	血管石灰化の発症機序と对策(特集:透析患者の合併症とその対策). 脊と透析 60(5):729-733, 2006[総説]	新田孝作:血管石灰化の発症機序と対策(特集:透析患者の合併症とその対策). 脊と透析 60(5):729-733, 2006[総説]
第四内科学(腎臓内科)	腎疾患の最先端治療(分子腎臓病学・分子生物学的アプローチと分子病態生理学). 日本臨床 64(増刊2):385-393, 2006[総説]	新田孝作:腎疾患の最先端治療(分子腎臓病学・分子生物学的アプローチと分子病態生理学). 日本臨床 64(増刊2):385-393, 2006[総説]
第四内科学(腎臓内科)	肾・尿路疾患の診断と治療 疾患各論 ループス腎炎(腎・尿路疾患 一般診療から専門診療へ). medicina 43(3):448-451, 2006[総説]	新田孝作, 内田啓子, 鶴村和子:肾・尿路疾患の診断と治療 疾患各論 ループス腎炎(腎・尿路疾患 一般診療から専門診療へ). medicina 43(3):448-451, 2006[総説]
第四内科学(腎臓内科)	当科における急速進行性腎炎症例に対するアフェレンス治療の選択—施行例vs未施行例の比較検討からー. 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 進行性腎障害に関する調査研究 平成17年度総括・分担研究報告書:67-69, 2006[研究報告]	新田孝作:当科における急速進行性腎炎症例に対するアフェレンス治療の選択—施行例vs未施行例の比較検討からー. 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 進行性腎障害に関する調査研究 平成17年度総括・分担研究報告書:67-69,
第四内科学(腎臓内科)	EPA(特集 脊をまる私の处方一腰椎腰痛). 脊と透析 61(2):212-216, 2006[総説]	小川哲也, 新田孝作:EPA(特集 脊をまる私の处方一腰椎腰痛). 脊と透析 61(2):212-216, 2006[総説]
第四内科学(腎臓内科)	CKD分類の基礎 イヌリン・クリアランス、クレアチニンと糸球体過濾値(特集 慢性腎臓病(CKD):KDIGOは腎疾患患者への正しい選択肢か?). Nephrology Frontier 5(4):277-280, 2006[総説]	小川哲也:CKD分類の基礎 イヌリン・クリアランス、クレアチニンと糸球体過濾値(特集 慢性腎臓病(CKD):KDIGOは腎疾患患者への正しい選択肢か?). Nephrology Frontier 5(4):277-280, 2006[総説]
第四内科学(腎臓内科)	EPA(特集 脊をまる私の处方一腰椎腰痛). 脊と透析 61(2):212-216, 2006[総説]	小川哲也, 新田孝作:EPA(特集 脊をまる私の处方一腰椎腰痛). 脊と透析 61(2):212-216, 2006[総説]
第四内科学(腎臓内科)	Correlation between the expression level of c-maf and glutathione peroxidase-3 in c-maf /- mice kidney and c-maf overexpressed renal tubular cells. Biochem and Biophys Res Commun 348(2):501-506, 2006[原著論文]	Shirota Satsuki, Yoshida Takumi, Sakai Masahiro, J.I.Kim, Sugiyama Hidekazu, Oishi Tetsuya, Nitta Kosaku, Tsuchiya Ken: Correlation between the expression level of c-maf and glutathione peroxidase-3 in c-maf /- mice kidney and c-maf overexpressed renal tubular cells. Biochem and Biophys Res Commun 348(2):501-506, 2006[原著論文]
第四内科学(腎臓内科)	Pathogenesis and treatment of autosomal-dominant nephrogenic diabetes insipidus caused by an aquaporin 2 mutation.. Proc Natl Acad Sci U S A. 103(38):14217-14222, 2006[原著論文]	Sohara E, Rai T, Yang SS, Uchida Koiko, Nitta Kosaku, Horita Shigeru, Ohno M, Harada A, Sasaki Sei, Uchida Shinichi: Pathogenesis and treatment of autosomal-dominant nephrogenic diabetes insipidus caused by an aquaporin 2 mutation.. Proc Natl Acad Sci U S A. 103(38):14217-14222, 2006[原著論文]
第四内科学(腎臓内科)	新しい人工腎臓治療システムの開発をめざした膜蒸留技術の基礎的検討. 東京女子医科大学雑誌 26(10):410-416, 2006[原著論文]	鈴木 啓, 嶋島三千男, 新田孝作:新しい人工腎臓治療システムの開発をめざした膜蒸留技術の基礎的検討. 東京女子医科大学雑誌 26(10):410-416, 2006[原著論文]
第四内科学(腎臓内科)	外部透析システムにもとづく透析液再生型腹膜透析の溶質除去特性とアルブミンの浸透効果を利用した除水特性に対する基礎的・臨床的検討. 医工学治療 18(4):243-251, 2006[原著論文]	鈴木 啓, 嶋島三千男, 新田孝作:外部透析システムにもとづく透析液再生型腹膜透析の溶質除去特性とアルブミンの浸透効果を利用した除水特性に対する基礎的・臨床的検討. 医工学治療 18(4):243-251, 2006[原著論文]
第四内科学(腎臓内科)	Functional impact of IgA nephropathy-associated selectin gene haplotype on leukocyte-endothelial interaction.. Immunogenetics. 58:355-361, 2006[原著論文]	Takai Takashi, Hiraoka Mogumi, Nitta Kosaku, Uchida Koiko, Deusih Michiyo, Tao Yu, Nitta Noriko, Tsuchiya Ken, Yumura Wako, Nihei Hiroshi, Nakamura Yusuke, Yoshida Masayuki: Functional impact of IgA nephropathy-associated selectin gene haplotype on leukocyte-endothelial interaction.. Immunogenetics. 58:355-361, 2006[原著論文]
第四内科学(腎臓内科)	腎生貧血:(2)肾生符血治療と代謝(新しい診断と治療のABC 38). 最新医学別冊:55-61, 2006[総説]	土谷 順, 矢吹恭子:腎生貧血:(2)腎生符血治療と代謝(新しい診断と治療のABC 38). 最新医学別冊:55-61, 2006[総説]
第四内科学(腎臓内科)	尿透症管(分子腎臓病学-分子生物的アプローチと分子病態生理学-). 日本臨床 64(増刊2):93-97, 2006[総説]	土谷 健:尿透症管(分子腎臓病学-分子生物的アプローチと分子病態生理学-). 日本臨床 64(増刊2):93-97, 2006[総説]
第四内科学(腎臓内科)	Gene clip を用いた腎疾患の病因病態の解明(特集 腎・泌尿器疾患領域における遺伝子解析). 脊と透析 61(6):771-777, 2006[総説]	土谷 健, 服部元史:Gene clip を用いた腎疾患の病因病態の解明(特集 腎・泌尿器疾患領域における遺伝子解析). 脊と透析 61(6):771-777, 2006[総説]
第四内科学(腎臓内科)	Potential Roles of Large Mafs in Cell Lineages and Developing Pancreas. Pancreas 32(4):408-416, 2006[原著論文]	Tsuchiya Mariko, Shigeki Shigeaki, Yasuda Kazuko, Nitta Kosaku, Maeda Atsushi, Shimogoto Mutsumi, Tsuchiya Ken: Potential Roles of Large Mafs in Cell Lineages and Developing Pancreas. Pancreas 32(4):408-416, 2006[原著論文]
第四内科学(腎臓内科)	検尿ノスマス 各種腎疾患における尿中赤血球形態情報の有用性. Nephrology frontier 5(3):37-40, 2006[総説]	横山 良, 新田孝作:検尿ノスマス 各種腎疾患における尿中赤血球形態情報の有用性. Nephrology frontier 5(3):37-40, 2006[総説]
第四内科学(腎臓内科)	117.急性腎不全(腎・尿路疾患の診療指針'06). 脊と透析 61(増刊):508-513, 2006[総説]	芳田 仁, 新田孝作:117.急性腎不全(腎・尿路疾患の診療指針'06). 脊と透析 61(増刊):508-513, 2006[総説]
第四内科学(腎臓内科)	A novel mouse model for MPO-ANCA-Associated glomerulonephritis. Microbiol Immunol 50(2):149-157, 2006[原著論文]	Yumura Wako, Iwashita Mitsuyo, Ishida-Oikawa Akiko, Tomizawa Kazuo, Yamashita Junji, Kaneshiro Yoshiaki, Nihei Hiroshi, Suzuki Kazuo: A novel mouse model for MPO-ANCA-Associated glomerulonephritis. Microbiol Immunol 50(2):149-157, 2006[原著論文]
第四内科学(腎臓内科)	Accelerated tubular cell senescence in SMP30 knockout mice. Histol Histopathol 21:1121-1156, 2006[原著論文]	Yumura Wako, Isawata T, Suganuma Shiro, Ishigami A, Handa S, Kubo S, Joh K, Murayama N: Accelerated tubular cell senescence in SMP30 knockout mice. Histol Histopathol 21:1121-1156, 2006[原著論文]
第四内科学(腎臓内科)	SLCにおけるアフェレンス治療の動向(特集 腎疾患とアフェレンサー最近の動向). 脊と透析 60(2):246-251, 2006[原著論文]	湯村和子, 和田由子:SLCにおけるアフェレンス治療の動向(特集 腎疾患とアフェレンサー最近の動向). 脊と透析 60(2):246-251, 2006[原著論文]
第四内科学(腎臓内科)	老化と腎一免疫機能二 脊と透析 60(6):987-991, 2006[原著論文]	湯村和子, 板橋英津世:今週選ばれ題. 丸山直記, 鮎木和人:老化と腎一免疫機能二 脊と透析 60(6):987-991, 2006[原著論文]
第四内科学(腎臓内科)	ループス腎炎小児のための腎組織評価と腎床病棲との関連性. 医学のあゆみ 219(8):583-586, 2006[原著論文]	湯村和子, 板橋英津世:ループス腎炎小児のための腎組織評価と腎床病棲との関連性. 医学のあゆみ 219(8):583-586, 2006[原著論文]
第四内科学(腎臓内科)	ミゾリン至適服用量設定に関する検討. 病理と免疫 14(2):123-130, 2006[原著論文]	湯村和子, 板橋英津世:ミゾリン至適服用量設定に関する検討. 病理と免疫 14(2):123-130, 2006[原著論文]
腎臓外科	[維持透析患者の消化管疾患] 維持透析患者における消化管悪性腫瘍の治療成績. 臨床透析 22(3):1131-1136, 2006[総説]	安藤哲郎, 唐仁原全, 野藤和広, 中島一朗, 利之上昌平, 寺岡慧: [維持透析患者の消化管疾患] 維持透析患者における消化管悪性腫瘍の治療成績. 臨床透析 22(3):1131-1136, 2006[総説]
腎臓外科	Renal allograft rejection is prevented by adoptive transfer of anergic T cells in nonhuman primates. The Journal of Clinical Investigation 115(7):1896-1902, 2005[原著論文]	Bashirude Hitoshi, Kimikawa Masao, Kato Yojiro, Ono Fumiko, Shimizu Akira, Yagita Hideo, Teraoka Satoshi, Okumura Ko: Renal allograft rejection is prevented by adoptive transfer of anergic T cells in nonhuman primates. The Journal of Clinical Investigation 115(7):1896-1902, 2005[原著論文]
腎臓外科	Early recurrence of lupus nephritis after renal transplantation-a case report. Clinical Transplantation 20(Suppl 15):42-45, 2006[原著論文]	Fujii Ayuko, Yamaguchi Hiroshi, Horita Shigeru, Yumura Kazuko, Fuchinoue Shohei, Teraoka Satoshi: Early recurrence of lupus nephritis after renal transplantation-a case report. Clinical Transplantation 20(Suppl 15):42-45, 2006[原著論文]
腎臓外科	診療別科にみたPMX治療の実態と評価 血栓症に陥ったCRF患者の緊急手術におけるPMXの使用経験. ICUとCCU 30(別冊号):19-21, 2006[原著論文]	岩藤和広, 唐仁原全, 加藤裕二郎, 甲斐耕太郎, 南木浩二, 三宮彰仁, 小山一郎, 佐藤純一郎, 中島一朗, 利之上昌平, 秋葉隆, 寺岡慧:診療別科にみたPMX治療の実態と評価 血栓症に陥ったCRF患者の緊急手術におけるPMXの使用経験. ICUとCCU 30(別冊号):19-21, 2006[原著論文]
腎臓外科	Early steroid withdrawal protocol with basiliximab, cyclosporine, and mycophenolate mofetil in renal-transplant recipients . International immunopharmacology 6:13-14, 2006[原著論文]	Kato Yojiro, Tojojima Tamotsu, Iwadachi Kazuhiko, Koyama Ichiro, Namikoshi Koji, Kai Kotaro, Sannomiya Akitoshi, Nakajima Ichiro, Fuchinoue Shohei, Teraoka Satoshi: Early steroid withdrawal protocol with basiliximab, cyclosporine, and mycophenolate mofetil in renal-transplant recipients . International immunopharmacology 6:13-14, 2006[原著論文]
腎臓外科	乳児型原発性過酸尿症1型の1歳男児例に対する生体肝腎複合移植の経験. 日本腎臓学会誌 48(1):22-28, 2006[原著論文]	元吉八童子, 鶴見元光, 近石邦洋, 平倉江樹, 古江誠樹, 宮川三平, 申龍深雪, 伊藤克己, 甲斐耕太郎, 中島一朗, 利之上昌平, 寺岡慧:乳児型原発性過酸尿症1型の1歳男児例に対する生体肝腎複合移植の経験. 日本腎臓学会誌 48(1):22-28, 2006[原著論文]
腎臓外科	[再灌流障害の病理] 腎臓の虚血再灌流障害. LISA 13(3):204-208, 2006[総説]	中島一朗, 寺岡慧: [再灌流障害の病理] 腎臓の虚血再灌流障害. LISA 13(3):204-208, 2006[総説]
腎臓外科	原発性高齢酸尿症に合併した虚血便に対する末梢血幹細胞移植による血管新生療法-難治性進行性四肢壞疽を救出した1例. 移植 41(1):48-53, 2006[症例報告]	南木浩二, 三木克幸, 関島光裕, 岩藤和広, 深浦良典, 朝所辰, 矢吹淳, 加藤容二郎, 申斐耕太郎, 白井博之, 三宮彰仁, 唐仁原全, 中島一朗, 利之上昌平, 寺岡慧:原発性高齢酸尿症に合併した虚血便に対する末梢血幹細胞移植による血管新生療法-難治性進行性四肢壞疽を救出した1例. 移植 41(1):48-53, 2006[症例報告]
腎臓外科	C型肝炎への肝移植後の免疫抑制法に関する研究. 厚生科学研究費補助金(肝炎等克服緊急対策研究事業)分担研究報告書. [研究報告]	南木浩二, 中島一朗, 利之上昌平, 中川芳彦, 山田和彦, 神鷹裕, 原修, 天野泉, 内藤秀宗, 田中一郎, 申斐耕太郎, 佐々木茂, 遠山和丘, 佐々木茂, 遠山和丘, 申斐耕太郎, 太田和夫, 近寧重, 久木田和丘, 佐々木茂, 遠山和丘, 申斐耕太郎, 天川義明, 水口潤, 中本雅彦, 小川高志: C型肝炎への肝移植後の免疫抑制法に関する研究. 厚生科学研究費補助金(肝炎等克服緊急対策研究事業)分担研究報告書. [研究報告]
腎臓外科	テルモ社製透析用人工血管(GRASIL)の臨床使用 長期成績. 日本透析学会雑誌 39(9):1395-1401, 2006[原著論文]	太田和夫, 近寧重, 久木田和丘, 佐々木茂, 遠山和丘, 申斐耕太郎, 天川義明, 水口潤, 中本雅彦, 小川高志: テルモ社製透析用人工血管(GRASIL)の臨床使用 長期成績. 日本透析学会雑誌 39(9):1395-1401, 2006[原著論文]
腎臓外科	分子標的治療薬. 移植 41(4):292-304, 2006[総説]	寺岡慧:分子標的治療薬. 移植 41(4):292-304, 2006[総説]
腎臓外科	わが国における臓器移植の現況. 泌尿器外科 19(5):607-620, 2006[総説]	寺岡慧:わが国における臓器移植の現況. 泌尿器外科 19(5):607-620, 2006[総説]

部署名	タイトル	著者
腎臓外科	【新しい免疫抑制剤mTOR阻害剤 心臓移植を中心】 mTOR阻害剤エベロリムスの腎臓移植における使用経験。今日の移植 19(2):190-198, 2006[総説]	寺岡慈, 加藤二郎, 三宮彰仁, 小山一郎, 唐仁原全, 中島一朗, 潤之上昌平:【新しい免疫抑制剤mTOR阻害剤 心臓移植を中心】 mTOR阻害剤エベロリムスの腎臓移植における使用経験。今日の移植 19(2):190-198, 2006[総説]
腎臓外科	【肝移植 あきらめてはならない重症肝疾患】 肝移植 世界の実状とわが国の特殊性。医学のあゆみ 17(3):244-251, 2006[総説]	寺岡慈, 唐仁原全, 中島一朗, 潤之上昌平:【肝移植 あきらめてはならない重症肝疾患】 肝移植 世界の実状とわが国の特殊性。医学のあゆみ 17(3):244-251, 2006[総説]
腎臓外科	【今日の臓器移植 課題と展望】 臓器移植の現状と展望 脾臓移植と膵島移植。外科学治療 94(1):29-42, 2006[総説]	寺岡慈, 唐仁原全, 中島一朗, 潤之上昌平, 長谷美智代, 馬場園哲也, 岩本安彦:【今日の臓器移植 課題と展望】 臓器移植の現状と展望 脾臓移植と膵島移植。外科学治療 94(1):29-42, 2006[総説]
腎臓外科	東京女子医科大学腎センター外科における長期生着戦略 (Renal Transplant Forum 2006)。今日の移植 19(5):543-547, 2006[原著論文]	唐仁原全: 東京女子医科大学腎センター外科における長期生着戦略 (Renal Transplant Forum 2006)。今日の移植 19(5):543-547, 2006[原著論文]
腎臓外科	腎移植患者の緊急腹膜手術症例に対するPMX-DHP。エンドトキシン血症救命治療研究会誌 10(1):170-173, 2006[研究報告]	唐仁原全, 岩瀬和宏, 加藤容二郎, 甲斐耕太郎, 南木浩二, 三宮彰仁, 小山一郎, 潤之上昌平, 寺岡慈: 腎移植患者の緊急腹膜手術症例に対するPMX-DHP。エンドトキシン血症救命治療研究会誌 10(1):170-173, 2006[研究報告]
腎臓小児科	Two cases of hypomotemic-hypertensive syndrome in childhood with renovascular hypertension. European J Pediatrics 165(5):336-339, 2006[原著論文]	Ashida Akiho, Matsumura Hideki, Inoue Naoh, Katayama Hiroshi Nakakura Hyogo, Hattori Motoshi, Tamai Hiroshi: Two cases of hypomotemic-hypertensive syndrome in childhood with renovascular hypertension. European J Pediatrics 165(5):336-339, 2006[原著論文]
腎臓小児科	腹膜透析カテーテル閉塞に対し、腹腔鏡手術が有用だった1例。日本小児腎不全学会雑誌 26:158-159, 2006[原著論文]	近本裕子, 高橋和祐, 秋岡祐子: 腹膜透析カテーテル閉塞に対し、腹腔鏡手術が有用だった1例。日本小児腎不全学会雑誌 26:158-159, 2006[原著論文]
腎臓小児科	障害をもった児における腹膜透析療法の問題点ー精神運動発達遅滞を併せもつ腹膜透析症児における生体腎移植の経験ー。小児PD研究会雑誌 19:36-37, 2006[原著論文]	近本裕子, 高橋和祐, 秋岡祐子, 腹部元史: 障害をもった児における腹膜透析療法の問題点ー精神運動発達遅滞を併せもつ腹膜透析症児における生体腎移植の経験ー。小児PD研究会雑誌 19:36-37, 2006[原著論文]
腎臓小児科	夜尿症。小児内科 38(増刊号):648-649, 2006[総説]	近本裕子, 腹部元史: 夜尿症。小児内科 38(増刊号):648-649, 2006[総説]
腎臓小児科	A survey of Peritonitis and exit-site and/or tunnel infection in Japanese children on PD. Pediatric Nephrology 21:828-834, 2006[原著論文]	Hoshii Sakurako, Wada Naohiro, Honda Masataka, Akioya Yuki, Iijima Kazumoto, Ikeda Masahiro, Ikoma Masaaki, Ito Yuhei,uemura osamu, otomo yosuke, iaku yoshihiko, Sakano Takashi, Satomura K, Suzuki Junzo, Takahashi Eihiko, Taki Masashi, Hettori Motoshi, Takazato H, Nakamura S, Nozai Kundai: A survey of Peritonitis and exit-site and/or tunnel infection in Japanese children on PD. Pediatric Nephrology 21:828-834, 2006[原著論文]
腎臓小児科	Genetics and clinical features of 15 Asian families with steroid-resistant nephrotic syndrome. Nephrology Dialysis Transplantation 21(11):3133-3138, 2006[原著論文]	Kitamura Akiko, Iizukuchi Hiroatsu, Iijima Kazumoto, Araki Juungo, Hattori Motoshi, Ikeda Masahiro, Honda Masataka, Nozai Kundai, Nakazato Hitoshi, Yosikawa Norishige, Kagami Shoji Muramatsu Masaki, Yong Choi, Han Il Cheong, Dci Tosio: Genetics and clinical features of 15 Asian families with steroid-resistant nephrotic syndrome. Nephrology Dialysis Transplantation 21(11):3133-3138, 2006[原著論文]
腎臓小児科	Impaired Muscle Oxygen Metabolism in Uremic Children:Improved After Renal Transplantation.. American Journal of Kidney Diseases 48(3):473-480, 2006[原著論文]	Matsuomi Naoko, Ichimura S, Hamaoka T, Osada T, Hattori Motoshi, miyakawa sanpei: Impaired Muscle Oxygen Metabolism in Uremic Children:Improved After Renal Transplantation.. American Journal of Kidney Diseases 48(3):473-480, 2006[原著論文]
腎臓小児科	腎疾患に伴する感染症のup to date 移植腎に伴うアデノウイルス感染症とバルボウイルス感染症。腎と透析 60(3):486-489, 2006[総説]	三浦健一郎, 鹿部元史: 腎疾患に伴する感染症のup to date 移植腎に伴うアデノウイルス感染症とバルボウイルス感染症。腎と透析 60(3):486-489, 2006[総説]
腎臓小児科	Kidney transplantation in pediatric recipients with mental retardation: Clinical results of a multicenter experience in Japan.. American Journal of Kidney Diseases 47:518-527, 2006[原著論文]	Ohta Toshiyuki, Motoyama Osamu, Takahashi Kazuhiro, hattori motoshi, Shishido Seiichiro, Wada Naohiro, Gotoh Y, Yanagihara T, Hasegawa Akira, Sakano Takashi: Kidney transplantation in pediatric recipients with mental retardation: Clinical results of a multicenter experience in Japan.. American Journal of Kidney Diseases 47:518-527, 2006[原著論文]
腎臓小児科	栄養管理によりBUN低下が見られた乳幼児低形成腎心児の症例。日本小児腎不全学会雑誌 26:130-133, 2006[症例報告]	渥谷亮子, 斎藤美和子, 大津美穂, 腹部元史: 栄養管理によりBUN低下が見られた乳幼児低形成腎心児の症例。日本小児腎不全学会雑誌 26:130-133, 2006[症例報告]
腎臓小児科	小児の腎移植の適応。日本医事新報 4286:94-95, 2006[総説]	腹部元史: 小児の腎移植の適応。日本医事新報 4286:94-95, 2006[総説]
腎臓小児科	学校検尿のエビデンスとの間隔点。総合臨床 55(4):1237-1242, 2006[総説]	腹部元史, 古江健樹: 学校検尿のエビデンスとの間隔点。総合臨床 55(4):1237-1242, 2006[総説]
腎臓小児科	小児相撲者に対する急性血液浄化・救急・集中治療 18(1-2):155-163, 2006[総説]	腹部元史, 古江健樹, 相馬卓: 小児相撲者に対する急性血液浄化・救急・集中治療 18(1-2):155-163, 2006[総説]
腎臓小児科	小児重症肝炎性脳炎に対するアーフレッシュ治療。腎と透析 60(2):266-271, 2006[総説]	腹部元史, 古江健樹: 小児重症肝炎性脳炎に対するアーフレッシュ治療。腎と透析 60(2):266-271, 2006[総説]
腎臓小児科	小児急性血液浄化療法の歩みとその実際。Clinical Engineering 17(9):964-973, 2006[総説]	腹部元史: 小児急性血液浄化療法の歩みとその実際。Clinical Engineering 17(9):964-973, 2006[総説]
腎臓小児科	小児慢性腎不全診療の歩みと現況。日本透析医会雑誌 21(2):310-315, 2006[総説]	腹部元史: 小児慢性腎不全診療の歩みと現況。日本透析医会雑誌 21(2):310-315, 2006[総説]
腎臓小児科	腎疾患一覧に慢性腎不全- 小兒科 47(10):1516-1525, 2006[総説]	腹部元史: 腎疾患一覧に慢性腎不全- 小兒科 47(10):1516-1525, 2006[総説]
腎臓小児科	わが国における小児移植の現況。腎と透析 61(4):469-472, 2006[総説]	腹部元史: わが国における小児移植の現況。腎と透析 61(4):469-472, 2006[総説]
腎臓小児科	小児腎臓病専門医と腎移植。今日の移植 19(3):320-323, 2006[総説]	腹部元史: 小児腎臓病専門医と腎移植。今日の移植 19(3):320-323, 2006[総説]
腎臓小児科	腎臓小児科と移植医療。移植 41(1):28-32, 2006[総説]	腹部元史: 腎臓小児科と移植医療。移植 41(1):28-32, 2006[総説]
腎臓小児科	小児A型脳症のパラダイムシフト。厚生労働省研究費補助金 爛治性疾患克服研究事業 進行性脳障害に関する調査研究 平成17年度 総括・分担研究報告書 34-35, 2006[研究報告]	腹部元史: 小児A型脳症のパラダイムシフト。厚生労働省研究費補助金 爛治性疾患克服研究事業 進行性脳障害に関する調査研究 平成17年度 総括・分担研究報告書 34-35, 2006[研究報告]
腎臓小児科	小児常移植におけるMMFの仕様経験(第一施設での検討).. 厚生労働科学研究費補助金小児疾患研究事業 小児腎移植におけるミコフェノール酸モブチカルの有効性・安全性の確認、用法・用量の検討・確立に関する研究 平成17年度研究報告書(主任研究者: 飯島一誠): 17-22, 2006[研究報告]	腹部元史: 小児腎移植におけるMMFの仕様経験(第一施設での検討).. 厚生労働科学研究費補助金小児疾患研究事業 小児腎移植におけるミコフェノール酸モブチカルの有効性・安全性の確認、用法・用量の検討・確立に関する研究 平成17年度研究報告書(主任研究者: 飯島一誠): 17-22, 2006[研究報告]
腎臓小児科	小児腎臓病専門医の適応外使用医薬品の検討。厚生労働省科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリー・サイエンス総合研究事業小児等の特殊患者群に対する医薬品の有効性・安全性情報の収集とそれらの情報に基づくリスク評価・管理手法に関する研究(主任研究者: 松田一郎) 平成17年度研究報告書 35-73, 2006[研究報告]	本田雅敬, 伊藤祐, 大友義之, 土屋正平, 倉石一誠, 腹部元史, 伊藤義司, 水上義英: 小児腎臓病専門医の適応外使用医薬品の検討。厚生労働省科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリー・サイエンス総合研究事業小児等の特殊患者群に対する医薬品の有効性・安全性情報の収集とそれらの情報に基づくリスク評価・管理手法に関する研究(主任研究者: 松田一郎) 平成17年度研究報告書 35-73, 2006[研究報告]
腎臓小児科	腎臓病検査。東京都予防医学年鑑 35:21-21, 2006[症例報告]	北川辰男, 高橋昌里, 腹部元史: 腎臓病検査。東京都予防医学年鑑 35:21-21, 2006[症例報告]
腎臓小児科	移植腎に伴うアデノウイルス感染症とバルボウイルス感染症。腎と透析 60(3):486-489, 2006[総説]	三浦健一郎, 鹿部元史, 移植腎に伴うアデノウイルス感染症とバルボウイルス感染症。腎と透析 60(3):486-489, 2006[総説]
腎臓小児科	下部尿路奇形、両側尿管皮膚を有したが、透析困難のため尿路再建前に生体腎移植を施行した1例。日本小児泌尿器科学会 14(2):93-97, 2005[症例報告]	三浦健一郎, 久野正貴, 金井義, 古江健樹, 宮村正和, 近本裕子, 秋岡祐子, 宮川三平, 甲能深雪, 腹部元史, 家後理枝, 田邊一成, 関根義, 鈴木万里, 鈴木真一郎: 下部尿路奇形、両側尿管皮膚を有したが、透析困難のため尿路再建前に生体腎移植を施行した1例。日本小児泌尿器科学会 14(2):93-97, 2005[症例報告]
腎臓小児科	ガンマグロブリン療法不応川崎病に対する血漿交換療法の有効性。ICUとCCU 30(別冊):S95-S97, 2006[総説]	宮村正和, 金井義, 三浦健一郎, 久野正貴, 古江健樹, 松木稔, 岩澤崇, 丹波篠史, 林典子, 腹部元史, 武藤順子, 坂内優子, 永木茂, 大澤真木子, 世川修, 和田泉, 渡水裕夫, 平山千佳, 金子岩和: ガンマグロブリン療法不応川崎病に対する血漿交換療法の有効性。ICUとCCU 30(別冊):S95-S97, 2006[総説]
腎臓小児科	乳児型原発性過酸化酵素症I型の1歳男児例に対する生体肝腎複合移植の経験。日本腎臓学会誌 48:22-28, 2006[症例報告]	元吉八重子, 腹部元史, 近本裕子, 中倉兵庫, 古江健樹, 宮川三平, 甲能深雪, 伊藤克己, 甲斐耕太郎, 中島一朗, 潤之上昌平, 寺岡慈, 秋葉隆, 北山浩嗣, 田尚弘: 乳児型原発性過酸化酵素症I型の1歳男児例に対する生体肝腎複合移植の経験。日本腎臓学会誌 48:22-28, 2006[症例報告]
腎臓小児科	外科的治療を必要とした小児腎血管性高血圧症例の検討。日本小児泌尿器科学会 14(2):39-45, 2005[原著論文]	中倉兵庫, 腹部元史, 宮村正和, 三浦健一郎, 久野正貴, 古江健樹, 元吉八重子, 近本裕子, 宮川三平, 甲能深雪, 伊藤克己: 外科的治療を必要とした小児腎血管性高血圧症例の検討。日本小児泌尿器科学会 14(2):39-45, 2005[原著論文]
腎臓小児科	ブドウ糖負荷によるラット培養腹膜中皮細胞への酸化ストレスの影響。日本小児腎不全学会雑誌 26:110-112, 2005[研究報告]	影柳, 日本小児腎不全学会雑誌 26:110-112, 2005[研究報告]
腎臓小児科	Calcium oxalate saturation in dialysis patients with and without primary hyperoxaluria. Urological Research 34:12-16, 2006[原著論文]	ogawa yoshihiko, Machida N, Ogawa T, Oda M, Hokama S, Chinen Y, Uchida A, Morozumi M, Sugaya K, Motoyoshi Yaeko, hattori motoshi: Calcium oxalate saturation in dialysis patients with and without primary hyperoxaluria. Urological Research 34:12-16, 2006[原著論文]
腎臓小児科	乳児に対する血漿交換療法。ICUとCCU 30(別冊):s132-s134, 2006[研究報告]	清水幹夫, 桂馬英樹, 平山千佳, 金子岩和, 砂原三郎, 古江健樹, 宮村正和, 腹部元史, 大澤真木子, 秋葉隆: 乳児に対する血漿交換療法。ICUとCCU 30(別冊):s132-s134, 2006[研究報告]
腎臓小児科	小児の透析療法の管理法。腎と透析 60(5):876-881, 2006[総説]	高橋和祐, 腹部元史: 小児の透析療法の管理法。腎と透析 60(5):876-881, 2006[総説]

部署名	タイトル	著者
腎臓小児科	Gene chipを用いた腎疾患の病因病態の解明、腎と透析 61(6):771-777, 2006[総説]	土谷健, 腹部元史:Gene chipを用いた腎疾患の病因病態の解明、腎と透析 61(6):771-777, 2006[総説]
腎臓小児科	急性左心不全を呈した慢性腎不全患者の一例、日本小児腎不全学会雑誌 26:160-163, 2006[症例報告]	柳澤勝子, 三浦雄一郎, 古江健樹, 金井若菜, 久野正樹, 宮村正和, 秋岡祐子, 腹部元史, 平山千佳, 相馬卓, 清水幹夫, 金子岩和, 岩島三千男, 秋澤隆, 大澤真木子, 斎藤樹, 急性左心不全を呈した慢性腎不全患者の一例、日本小児腎不全学会雑誌 26:160-163,
泌尿器科学	Flow cytometry crossmatch(FCXM) B cell陽性症例における移植腎臓成績について、移植 41(2):124-128, 2006[原著論文]	古澤美由紀, 田辺一成, 石田英樹, 石塚敏, 安尾美年子, 東間絵, 山口裕:Flow cytometry crossmatch(FCXM) B cell陽性症例における移植腎臓成績について、移植 41(2):124-128, 2006[原著論文]
泌尿器科学	抗HLA抗体の変化と慢性移植腎症発症についての検討、移植 41(4):356-361, 2006[原著論文]	古澤美由紀, 石田英樹, 石塚敏, 白川浩希, 安尾美年子, 山口裕, 田辺一成:抗HLA抗体の変化と慢性移植腎症発症についての検討、移植 41(4):356-361, 2006[原著論文]
泌尿器科学	Local injection of a sustained-release antiandrogen formulation into a target prostatic site: an experimental study. BJU Int 99:202-206, 2006[原著論文]	Goya Nobuyuki, Gotanda Kōtarō, Sasaki Takako, Okuda Mami, Tomizawa Yasuko, Toma Hiroshi:Local injection of a sustained-release antiandrogen formulation into a target prostatic site: an experimental study. BJU Int 99:202-206, 2006[原著論文]
泌尿器科学	前立腺肥大症に対する經尿道的エタノール注入療法(前立腺疾患 新しい治療法を理解するために)、Modern Physician 26(6):1003-1006, 2006[原著論文]	合谷信行:前立腺肥大症に対する經尿道的エタノール注入療法(前立腺疾患 新しい治療法を理解するために)、Modern Physician 26(6):1003-1006, 2006[原著論文]
泌尿器科学	後天性囊胞性腎疾患における増殖性囊胞の組織学的分類 多段階発癌モデルとしての透析腎癌、東女医大誌 76(1):24-30, 2006[原著論文]	飯塚淳平, 榎本伸哉, 伊藤丈文, 東間絵:後天性囊胞性腎疾患における増殖性囊胞の組織学的分類 多段階発癌モデルとしての透析腎癌、東女医大誌 76(1):24-30, 2006[原著論文]
泌尿器科学	尿管小細胞癌の1例、東女医大誌 76(1):48-52, 2006[症例報告]	坂東淳平, 小林博人, 東間絵, 前田佳子, 小林裕, 巴ひかる, 木原健, 中沢知和:尿管小細胞癌の1例、東女医大誌 76(1):48-52, 2006[症例報告]
泌尿器科学	Differences in humoral immunity between a nonrejection group and a rejection group after ABO-incompatible renal transplantation. Transplantation 81(5):665-671, 2006[原著論文]	Ishida Hideki, Tanabe Kazunari, Ishizuka Tsutomu, Furusawa Miyuki, Miyamoto Naoshi, Ishikawa Nobuo, Shirakawa Hiroki, Shinamura Hiroaki, Ishii Daisuke, Nozaki Taiji, Setoguchi Kyoshi, Toma Hiroshi:Differences in humoral immunity between a nonrejection group and a rejection group after ABO-incompatible renal transplantation. Transplantation 81(5):665-671, 2006[原著論文]
泌尿器科学	腎移植における液性抗体検査法の検出感度試験、移植 40(6):527-532, 2005[原著論文]	石塚敏, 石田英樹, 古澤美由紀, 安尾美年子, 新村浩明, 田辺一成, 東間絵:腎移植における液性抗体検査法の検出感度試験、移植 40(6):527-532, 2005[原著論文]
泌尿器科学	Viva-E システムを用いたタクロリムス血中濃度測定の基礎的検討、医学と薬学 56(5):777-784, 2006[原著論文]	石塚敏, 石田英樹, 古澤美由紀, 吉野敏栄, 二ツ山和也, 安尾美年子, 田辺一成:Viva-E システムを用いたタクロリムス血中濃度測定の基礎的検討、医学と薬学 56(5):777-784, 2006[原著論文]
泌尿器科学	Serum response factor, its cofactors, and epithelial-mesenchymal signaling in urinary bladder smooth muscle formation. Differentiation 74:30-39, 2006[原著論文]	Jiang L, Shiroyanagi Yoshiyuki, Guiting L, Christopher H, Ching-Shwan L, Tom F.L, Emily W, Laurence S.B:Sерум response factor, its cofactors, and epithelial-mesenchymal signaling in urinary bladder smooth muscle formation. Differentiation 74:30-39, 2006[原著論文]
泌尿器科学	上部尿路結石症における尿中結石形成関連物質埼玉県栗橋地区における検討、東女医大誌 76(1):43-47, 2006[原著論文]	榎本俊一, 須本泰伸, 南里正之, 八木沢隆, 東間絵:上部尿路結石症における尿中結石形成関連物質埼玉県栗橋地区における検討、東女医大誌 76(1):43-47, 2006[原著論文]
泌尿器科学	Suppressed expression of superoxide dismutase in dialyzed kidneys. J Tokyo Wom Med Univ 76(1):35-42, 2006[原著論文]	Kitajima Shoji, Ito Fumiyo, Nakazawa Hayakazu, Toma Hiroshi:Suppressed expression of superoxide dismutase in dialyzed kidneys. J Tokyo Wom Med Univ 76(1):35-42, 2006[原著論文]
泌尿器科学	慢性腎不全患者と腎機能正常患者における上部尿路腫瘍の臨床病理学的検討、日泌尿会誌 97(1):27-32, 2006[原著論文]	北嶋将之, 佐藤恒徳, 伊藤文夫, 飯塚淳平, 南里正之, 楠本伸哉, 奥田比佐志, 見坂史朗, 合谷信行, 中沢知和, 田辺一成, 東間絵:慢性腎不全患者と腎機能正常患者における上部尿路腫瘍の臨床病理学的検討、日泌尿会誌 97(1):27-32, 2006[原著論文]
泌尿器科学	Favorable prognosis of renal cell carcinoma with increased expression of chemokines associated with a Th1-type immune response. Cancer Sci 97(8):780-786, 2006[原著論文]	Kondo Tsunenori, Nakazawa Hayakazu, Ito Fumiyo, Hashimoto Yasunobu, Osaka Yukinari, Putatsuyama Kezuya, Toma Hiroshi, Tanabe Kazunari:Favorable prognosis of renal cell carcinoma with increased expression of chemokines associated with a Th1-type immune response. Cancer Sci 97(8):780-786, 2006[原著論文]
泌尿器科学	A case of granular cell tumor of the bladder successfully managed with extraperitoneal laparoscopic surgery. Int J Urol 13(6):827-828, 2006[症例報告]	Kondo Tsunenori, Kajimoto Shunichi, Okuda Hisashi, Toma Hiroshi, Tanabe Kazunari:A case of granular cell tumor of the bladder successfully managed with extraperitoneal laparoscopic surgery. Int J Urol 13(6):827-828, 2006[症例報告]
泌尿器科学	蝶色素性腎癌と腎オントマーカーにおける免疫組織化学染色およびコロイド鉄染色に関する検討、東女医大誌 76(1):16-23, 2006[原著論文]	小内友紀子, 舟見更朝, 中沢知和, 田辺一成, 東間絵:蝶色素性腎癌と腎オントマーカーにおける免疫組織化学染色およびコロイド鉄染色に関する検討、東女医大誌 76(1):16-23, 2006[原著論文]
泌尿器科学	Risk factors of preterm delivery at less than 35 weeks in patients with renal transplant. Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol 128:64-68, 2006[原著論文]	Kurata Akiko, Matsuda Yoshio, Tanabe Kazunari, Toma Hiroshi:Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol 128:64-68, 2006[原著論文]
泌尿器科学	表在性膀胱癌に対する經尿道的切除後の塩酸エビルビシン膀胱内注入療法による再発予防効果の検討、東女医大誌 76(1):31-34, 2006[原著論文]	前田佳子, 中沢知和, 東間絵:表在性膀胱癌に対する經尿道的切除後の塩酸エビルビシン膀胱内注入療法による再発予防効果の検討、東女医大誌 76(1):31-34, 2006[原著論文]
泌尿器科学	下部尿路奇形、両側尿管皮膚瘻を有したが、透析困難のため尿路再建前に生体腎移植を施行した1例、日小児泌会誌 14(2):93-97, 2005[症例報告]	三浦健一郎, 久野正貢, 金井孝裕, 古江健樹, 中倉兵庫, 宮村正和, 近本裕子, 秋岡祐子, 宮川三平, 甲能深雪, 腹部元史, 家後理枝, 田辺一成, 東間絵, 鈴木英彦, 鈴木万里, 山崎維一郎:下部尿路奇形、両側尿管皮膚瘻を有したが、透析困難のため尿路再建前に生体腎移植を施行した1例、日小児泌会誌 14(2):93-97, 2005[症例報告]
泌尿器科学	外科的治療を必要とした小児腎血管性高血圧症例の検討、日小児泌会誌 14(2):39-45, 2005[原著論文]	中倉兵庫, 部門元史, 宮村正和, 三浦健一郎, 久野正貢, 古江健樹, 元吉八重子, 近本裕子, 宮川三平, 甲能深雪, 伊藤克己, 家後理枝, 東間絵, 青井明, 鈴木亮, 山崎維一郎:外科的治療を必要とした小児腎血管性高血圧症例の検討、日小児泌会誌 14(2):39-
泌尿器科学	自家腎移植で経過良好な高度の腎血管性高血圧症の1例、小児科臨床 59(7):1617-1622, 2006[症例報告]	中村朱里, 坂井聰, 藤井寛, 水木義久, 大庭敏之, 部門元史, 宮村正和, 金井孝裕, 三浦健太郎, 久野正貢, 古江健樹, 秋岡祐子, 田辺一成, 東間絵:自家腎移植で経過良好な高度の腎血管性高血圧症の1例、小児科臨床 59(7):1617-1622, 2006[症例報告]
泌尿器科学	Primary choice in the management of the ureteral stones: What is the factors to a successful stone removal in primary extracorporeal shock wave lithotripsy?. J Tokyo Wom Med Univ 76(1):10-15, 2006[原著論文]	Nanri Masayuki, Hashimoto Yasunobu, Toma Hiroshi:Primary choice in the management of the ureteral stones: What is the factors to a successful stone removal in primary extracorporeal shock wave lithotripsy?. J Tokyo Wom Med Univ 76(1):10-15, 2006[原著論文]
泌尿器科学	A case of leiomyosarcoma of the penis. Int J Urol 13(5):655-658, 2006[症例報告]	Nanri Masayuki, Kondo Tsunenori, Okuda Hisashi, Tanabe Kazunari, Toma Hiroshi:A case of leiomyosarcoma of the penis. Int J Urol 13(5):655-658, 2006[症例報告]
泌尿器科学	生体腎移植後のプロトコール生検の結果でみるミソリピンとミコフェノール酸モフェチルの比較、今日の移植 19(6):703-706, 2006[研究報告]	瀬戸戸誠, 石田英樹, 田辺一成, 山口裕一, 白川浩希, 新村浩明, 土岐大介, 旗井洋一, 山口裕一, 田辺一成:生体腎移植後のプロトコール生検の結果でみるミソリピンとミコフェノール酸モフェチルの比較、今日の移植 19(6):703-706, 2006[研究報告]
泌尿器科学	Early and late histopathological changes in renal allografts procured by laparoscopic donor nephrectomy. Clin Transplant 20(5):11-15, 2006[原著論文]	Shimizu Tomoko, Tanabe Kazunari, Miyamoto Naoshi, Tokumoto Tadao, Ishida Hideki, Toma Hiroshi, Yamaguchi Yutaka:Early and late histopathological changes in renal allografts procured by laparoscopic donor nephrectomy. Clin Transplant 20(5):11-15,
泌尿器科学	Long-term results of living kidney transplantation from HLA-identical sibling donors under calcineurin inhibitor immunosuppression. Int J Urol 13(5):502-508, 2006[原著論文]	Shinmura Hiroaki, Tanabe Kazunari, Ishida Hideki, Miyamoto Naoshi, Tokumoto Tadao, Ishikawa Nobuo, Toma Hiroshi:Long-term results of living kidney transplantation from HLA-identical sibling donors under calcineurin inhibitor immunosuppression. Int J Urol 13(5):502-508, 2006[原著論文]
泌尿器科学	Combination effect of mycophenolate mofetil with mizoribine on cell proliferation assays and in a mouse heart transplantation model. Transplantation 82(2):175-179, 2006[原著論文]	Shinmura Hiroaki, Tanabe Kazunari, Hbirio Katsuyoshi, Abe Ryo, Toma Hiroshi:Combination effect of mycophenolate mofetil with mizoribine on cell proliferation assays and in a mouse heart transplantation model. Transplantation 82(2):175-179, 2006[原著論文]
泌尿器科学	腎臓摘出せずツキシマブも投与しなかったABO血液型不適合生体腎移植の1例、今日の移植 19(4):469-472, 2006[症例報告]	新村浩明, 川口洋, 飯塚淳平, 渡辺良太, 常盤俊士, 斎藤和英, 高橋公太, 田辺一成, 東間絵:腎臓摘出せずツキシマブも投与しなかったABO血液型不適合生体腎移植の1例、今日の移植 19(4):469-472, 2006[症例報告]
泌尿器科学	既存抗体陽性例の腎移植(特集 厚移植質の時代へ)、腎と透析 60(4):524-527, 2006[総説]	白川浩希, 石田英樹:既存抗体陽性例の腎移植(特集 厚移植質の時代へ)、腎と透析 60(4):524-527, 2006[総説]
泌尿器科学	既存抗体陽性例における消化管前処置法(特集 維持透析患者の消化管疾患)、臨床透析 22(6):1117-1121, 2006[総説]	白川浩希, 石田英樹:既存抗体陽性例における消化管前処置法(特集 維持透析患者の消化管疾患)、臨床透析 22(6):1117-1121, 2006[総説]
泌尿器科学	Stability of the BK polyomavirus genome in renal transplant patients without nephropathy. J Gen Virol 87(2):303-306, 2006[原著論文]	Takasaka Tomokazu, Goya Nobuyuki, Ishida Hideki, Tanabe Kazunari, Toma Hiroshi, Fujio Tomoaki, Omori So, Zheng J-Y, Chen Q, Nukuzuma Souichi, Kitamura Tadao, Yogo Yoshiaki:Stability of the BK polyomavirus genome in renal transplant patients without nephropathy. J Gen Virol 87(2):303-306, 2006[原著論文]
泌尿器科学	腎移植と免疫抑制薬(免疫抑制薬の臨床応用実践論)、炎症と免疫 14(2):106-115, 2006[原著論文]	田辺一成:腎移植と免疫抑制薬(免疫抑制薬の臨床応用実践論)、炎症と免疫 14(2):106-115, 2006[原著論文]
泌尿器科学	新しい腎移植の手技とその展開(腎移植を考える)、Nephrology Frontier 5(1):44-47, 2006[原著論文]	田辺一成:新しい腎移植の手技とその展開(腎移植を考える)、Nephrology Frontier 5(1):44-47, 2006[原著論文]
泌尿器科学	透析再選入(再選)の判断と時期(特集 維持透析患者の消化管疾患)、臨床透析 22(10):1359-1364, 2006[原著論文]	田辺一成, 透析再選入(再選)の判断と時期(特集 維持透析患者の消化管疾患)、臨床透析 22(10):1359-1364, 2006[原著論文]
泌尿器科学	腎・泌尿器疾患合併妊娠 膀胱・泌尿器科専門医(特集 合併妊娠の予後)、周産期医学 36(9):1127-1131, 2006[原著論文]	田辺一成, 膀胱・泌尿器疾患合併妊娠 膀胱・泌尿器科専門医(特集 合併妊娠の予後)、周産期医学 36(9):1127-1131, 2006[原著論文]

部署名	タイトル	著者
泌尿器科学	抗HLA抗体陽性腎移植症例をどう考えるか、今日の移植 19(5):536-542, 2006[原著論文]	田辺一成:抗HLA抗体陽性腎移植症例をどう考えるか、今日の移植 19(5):536-542, 2006[原著論文]
泌尿器科学	γ <sub>v</sub> δ型T細胞と抗腫瘍免疫療法. Biotherapy 20(5):504-508, 2006[総説]	田中正義: 小林博人: γ <sub>v</sub> δ型T細胞と抗腫瘍免疫療法. Biotherapy 20(5):504-508, 2006[総説]
泌尿器科学	酸ホスファターゼ(第2章検査項目 各論). 日医師会誌 最新 臨床検査のABC 135(特別号2):141, 2006[総説]	東間 錠, 小林博人: 酸ホスファターゼ(第2章検査項目 各論). 日医師会誌 最新 臨床検査のABC 135(特別号2):141, 2006[総説]
泌尿器科学	陰性内臓頸の2例. 埼玉県医学会雑誌 40(5):494-498, 2006[症例報告]	陰性内臓頸の2例. 埼玉県医学会雑誌 40(5):494-498, 2006[症例報告]
泌尿器科学	Grb2 and Gads exhibit different interactions with CD28 and play distinct roles in CD28-mediated costimulation. J Immunol 177(2):1085-1091, 2006[原著論文]	Watanabe Ryosuke, Harada Yohsuke, Takeda Kei, Takahashi Jun, Ohnuki Kazunobu, Ogawa Shuhei, Kuibara Nanako, Kojima Osamu, Tanabe Kazunari, Toma Hiroshi, Sugamura Kazuo, Abe Ryo: Grb2 and Gads exhibit different interactions with CD28 and play distinct roles in CD28-mediated costimulation. J Immunol 177(2):1085-1091, 2006[原著論文]
泌尿器科学	VUR根治術(Politano-Leadbetter法)の術後合併症の検討. 日小児泌会誌 14(2):88-92, 2005[症例報告]	室後理枝, 平間 純: VUR根治術(Politano-Leadbetter法)の術後合併症の検討. 日小児泌会誌 14(2):88-92, 2005[症例報告]
泌尿器科学	Possible involvement of urokinase-type plasminogen activator release from human peripheral blood lymphocytes in the pathophysiology of chronic allograft nephropathy. Transplant Proc 37(10):4276-4281, 2005[原著論文]	Yamaguchi Yutaka, Suzuki T, Arita S, Iwashita C, Sakamoto K, Hatakeyama E, Shirimura Hiroaki, Tanabe Kazunari, Ichinose M, Suzuki N, Yamada K: Possible involvement of urokinase-type plasminogen activator release from human peripheral blood lymphocytes in the pathophysiology of chronic allograft nephropathy. Transplant Proc 37(10):4276-4281, 2005[原著論文]
泌尿器科学	BladderチェックNMP22の尿路上皮癌における臨床的有用性の検討. 機器・試薬 29(1):61-63, 2006[原著論文]	横山 貴, 小内友紀子, 棚田俊司, 金室俊子, 井川裕司, 棚田達男, 西川復郎, 小林桂樹, 東間 純: BladderチェックNMP22の尿路上皮癌における臨床的有用性の検討. 機器・試薬 29(1):61-63, 2006[原著論文]
血液浄化療法科	糖尿病性腎症による新規慢性透析患者数の推計. 日本透析医学会誌 39(7):1237-1244, 2006[原著論文]	秋葉 隆, 中井 澄, 若井進志, 新里高弘, 余倉勇爾: 糖尿病性腎症による新規慢性透析患者数の推計. 日本透析医学会誌 39(7):1237-1244, 2006[原著論文]
血液浄化療法科	貧血とその管理. 日本医師会雑誌 134(12):2370-2375, 2006[総説]	秋葉 隆: 貧血とその管理. 日本医師会雑誌 134(12):2370-2375, 2006[総説]
血液浄化療法科	急性血液浄化治療と院内感染. ICUとCCU 30(別冊):S9-S10, 2006[総説]	秋葉 隆: 急性血液浄化治療と院内感染. ICUとCCU 30(別冊):S9-S10, 2006[総説]
血液浄化療法科	ガイドラインは必要か? 臨床透析 22(7):13-19, 2006[総説]	秋葉 隆: ガイドラインは必要か? 臨床透析 22(7):13-19, 2006[総説]
血液浄化療法科	腎臓疾患・透析と微量元素 治療 88(7):1925-1929, 2006[総説]	秋葉 隆: 腎臓疾患・透析と微量元素 治療 88(7):1925-1929, 2006[総説]
血液浄化療法科	東京都23区の透析施設における災害への取組み (IV災害を迎へ第一未来へ (1)大都市型巨大地震). 臨床透析 22(11):91-97, 2006[総説]	秋葉 隆, 石森 勇, 村上 淳, 金子岩和: 東京都23区の透析施設における災害への取組み (IV災害を迎へ第一未来へ (1)大都市型巨大地震). 臨床透析 22(11):91-97, 2006[総説]
血液浄化療法科	透析貧血. 日本内科学会雑誌 95(10):46-49, 2006[総説]	秋葉 隆: 貧血と腎臓. 日本内科学会雑誌 95(10):46-49, 2006[総説]
血液浄化療法科	序説 (メタリックシンドローム不全). 臨床透析 23(12):7-11, 2006[総説]	秋葉 隆: 序説 (メタリックシンドローム不全). 臨床透析 23(12):7-11, 2006[総説]
血液浄化療法科	慢性腎不全. medicina 43(12):491-495, 2006[総説]	秋葉 隆: 慢性腎不全. medicina 43(12):491-495, 2006[総説]
血液浄化療法科	慢性貧血・腎と透析 腎・尿路疾患の診察指針 06 61(臨時増刊号):565-568, 2006[総説]	秋葉 隆: 慢性貧血・腎と透析 腎・尿路疾患の診察指針 06 61(臨時増刊号):565-568, 2006[総説]
血液浄化療法科	Reduced expression of Toll-like receptor 4 contributes to impaired cytokine response of monocytes in uremic patients. Kidney Int 70(2):358-362, 2006[原著論文]	Ando Minoru, Shibusawa Asuka, Tsuchiya Ken, Akiba Takashi, Niita Kosaku: Reduced expression of Toll-like receptor 4 contributes to impaired cytokine response of monocytes in uremic patients. Kidney Int 70(2):358-362, 2006[原著論文]
血液浄化療法科	Reduced capacity of mononuclear cells to synthesize cytokines against an inflammatory stimulus in uremic patients. Nephron Clinical Practice 104(3):e113-e119, 2006[原著論文]	Ando Minoru, Shibusawa Asuka, Tsuchiya Ken, Akiba Takashi, Niita Kosaku: Reduced capacity of mononuclear cells to synthesize cytokines against an inflammatory stimulus in uremic patients. Nephron Clinical Practice 104(3):e113-e119, 2006[原著論文]
血液浄化療法科	Validity of intermittent infusion hemodiafiltration. ASAIO Journal 52(1):71A-71A, 2006[総説]	Eguchi Kei, Minoshima Michio, Ikebe Norisato, Akiba Takashi: Validity of intermittent infusion hemodiafiltration. ASAIO Journal 52(1):71A-71A, 2006[総説]
血液浄化療法科	透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症治療ガイドライン(解説). 日本透析医学会雑誌 39(10):1435-1455[原著論文]	:透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症治療ガイドライン(解説). 日本透析医学会雑誌 39(10):1435-1455[原著論文]
血液浄化療法科	血清チタンC-Cerに代わりる腎機能マーカー――注目すべきトピックス. 臨床透析 22(4):502-504, 2006[総説]	池辺宗三, 人物: 血清チタンC-Cerに代わりる腎機能マーカー――注目すべきトピックス. 臨床透析 22(4):502-504, 2006[総説]
血液浄化療法科	Biochemical markers of bone turnover predict bone loss in perimenopausal women but not in postmenopausal women—the Japanese Population-based Osteoporosis (POS) Cohort Study.. Osteoporos Int 17(7):1086-1095, 2006[原著論文]	iki M., Morita A., Ikeda Y., Sato Y., Akiba Takashi, Matsumoto T., Nishino H., Kagamimori S., Kawagami Y., Yoneshima H.: Biochemical markers of bone turnover predict bone loss in perimenopausal women but not in postmenopausal women—the Japanese Population-based Osteoporosis (POS) Cohort Study.. Osteoporos Int 17(7):1086-1095, 2006[原著論文]
血液浄化療法科	診療科別にみたPMX治療の実態と評価. ICUとCCU 30(別冊):S19-S21, 2006[総説]	岩藤和広, 堀内原全, 加藤容二郎, 甲斐耕太郎, 南木浩二, 三宮彰仁, 小山一郎, 加藤純彦, 中島一朗, 清之上昌平, 秋葉 隆, 寺岡徹: 診療科別にみたPMX治療の実態と評価. ICUとCCU 30(別冊):S19-S21, 2006[総説]
血液浄化療法科	Prevalence of hepatitis E virus infection in regular hemodialysis patients.. Therapeutic Apheresis and Dialysis 10(2):193-197, 2006[原著論文]	Kikuchi Kan, Yoshida Takumi, Kimata Naoko, Sato Chihiro, Akiba Takashi: Prevalence of hepatitis E virus infection in regular hemodialysis patients.. Therapeutic Apheresis and Dialysis 10(2):193-197, 2006[原著論文]
血液浄化療法科	慢性血液透析患者におけるC型肝炎ウイルス感染のサーベイランス. 東女医大誌 76(2):32-37, 2006[原著論文]	衛地 动, 秋葉 隆, 新田名作: 慢性血液透析患者におけるC型肝炎ウイルス感染のサーベイランス. 東女医大誌 76(2):32-37, 2006[原著論文]
血液浄化療法科	HDまたはHDF中に血压不安定な患者がAcetate Free Biofiltration(AFB)への変更で、従来の治療と比較し安定するか. 脾と透析 61(別冊HDF療法'06):210-212, 2006[原著論文]	衛地 动, 沼平俊治, 石森 勇, 松本和之, 青木日香, 鈴木悟一, 塩田三佐雄, 泡庭宗三人, 芳田 工, 三和奈穂子, 新田幸作, 秋葉 隆: HDまたはHDF中に血压不安定な患者がAcetate Free Biofiltration(AFB)への変更で、従来の治療と比較し安定するか. 脾と透析 61(別冊HDF療法'06):210-212, 2006[原著論文]
血液浄化療法科	透析医療の現場から 肝炎予防マニュアル(Q&A). 透析フロンティア 16(4):20-22, 2006[総説]	菊地 勤: 透析医療の現場から 肝炎予防マニュアル(Q&A). 透析フロンティア 16(4):20-22, 2006[総説]
血液浄化療法科	Bone biomarker: 何をどのように考えるか—骨生物学から臨床応用へ. 臨床透析 22(1):23-30, 2006[総説]	木全直樹: Bone biomarker: 何をどのように考えるか—骨生物学から臨床応用へ. 臨床透析 22(1):23-30, 2006[総説]
血液浄化療法科	血液透析・血液濾過透析の原理・臨床. Clinical Engineering 17(5):442-446, 2006[総説]	木全直樹: 血液透析・血液濾過・血液濾過透析の原理・臨床. Clinical Engineering 17(5):442-446, 2006[総説]
血液浄化療法科	諸外国における透析ガイドラインの意味するところ. Clinical Engineering 17(2):124-127, 2006[総説]	木全直樹: 诸外国における透析ガイドラインの意味するところ. Clinical Engineering 17(2):124-127, 2006[総説]
血液浄化療法科	血漿成分分画器Evaflux-5A野瀬過分離特性に及ぼす温度の影響. 日本アフェレシス学会雑誌 25(2):153-158, 2006[原著論文]	金野好恵, 江口 勉, 野瀬祐輔, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉 隆: 血漿成分分画器Evaflux-5A野瀬過分離特性に及ぼす温度の影響. 日本アフェレシス学会雑誌 25(2):153-158, 2006[原著論文]
血液浄化療法科	アフェレシス療法における温度変化を利用した分画分離技術. 日本アフェレシス学会雑誌 25(2):99-104, 2006[総説]	金野好恵, 江口 勉, 野瀬祐輔, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉 隆: アフェレシス療法における温度変化を利用した分画分離技術. 日本アフェレシス学会雑誌 25(2):99-104, 2006[総説]
血液浄化療法科	LDL吸着カラム(LA-15)におけるフィブリノーゲン吸着挙動の検討. 日本アフェレシス学会雑誌 25(2):145-152, 2006[原著論文]	峰松佑輔, 江口 勉, 金野好恵, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉 隆: LDL吸着カラム(LA-15)におけるフィブリノーゲン吸着挙動の検討. 日本アフェレシス学会雑誌 25(2):145-152, 2006[原著論文]
血液浄化療法科	LDL吸着カラム(LA-15)において新たに示されたフィブリノーゲン吸着特性—過去の誤解と最新の知見から—. 日本アフェレシス学会雑誌 25(2):105-109, 2006[総説]	峰松佑輔, 江口 勉, 金野好恵, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉 隆: LDL吸着カラム(LA-15)において新たに示されたフィブリノーゲン吸着特性—過去の誤解と最新の知見から—. 日本アフェレシス学会雑誌 25(2):105-109, 2006[総説]
血液浄化療法科	維持血液透析患者における1-84PTH(whole PTH)の有用性. Osteoporosis Japan 14(2):174-174, 2006[総説]	三和奈穂子, 芳田 工, 木全直樹, 新田孝作, 秋葉 隆: 維持血液透析患者における1-84PTH(whole PTH)の有用性. Osteoporosis Japan 14(2):174-174, 2006[総説]
血液浄化療法科	ガンマグロブリン療法不応川崎病に対する血漿交換療法の有効性. ICUとCCU 30(別冊):S95-S97, 2006[総説]	宮村正和, 金井孝裕, 三前健一郎, 久野正賀, 古江健樹, 服部 希, 武藤順子, 坂内優子, 永木 康, 大澤真木子, 世川 修, 和馬 泉, 清水幹夫, 平山千佳, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉 隆: ガンマグロブリン療法不応川崎病に対する血漿交換療法の有効性. ICUとCCU 30(別冊):S95-S97, 2006[総説]
血液浄化療法科	経営工学的アプローチによるマシンインターフェース由來の透析装置誤操作対策. 日本血液浄化技術研究会誌 13(I):35-39, 2006[総説]	宮尾直樹, 鈴木 晴, 村上 淳, 金子岩和, 嶋島三千男, 秋葉 隆: 経営工学的アプローチによるマシンインターフェース由來の透析装置誤操作対策. 日本血液浄化技術研究会誌 13(I):35-39, 2006[総説]
血液浄化療法科	乳児方原発性過酸尿症I型の1歳男児例に対する生体肝腎複合移植の経験. 日腎会誌 48(1):22-28, 2006[症例報告]	元吉八重子, 服部元史, 近木裕子, 中倉兵庫, 古江健樹, 宮川三平, 甲能深雪, 伊藤克己, 甲斐耕太郎, 中島一朗, 清之上昌平, 寺岡誠, 秋葉 隆, 北山雅樹, 和田尚輔, 金川由英: 乳児方原発性過酸尿症I型の1歳男児例に対する生体肝腎複合移植の経験. 日腎会誌 48(1):22-28, 2006[症例報告]
血液浄化療法科	除水剤と透析時間. 脾と透析 61(5):623-626, 2006[総説]	永井佳子, 木全直樹: 除水剤と透析時間. 脾と透析 61(5):623-626, 2006[総説]
血液浄化療法科	わが国の慢性透析療法の現況(2004年12月31日現在). 透析会誌 39(1):1-22, 2006[原著論文]	中井 澄, 和田底志, 北岡建樹, 新里高弘, 余倉勇爾, 斎田健次郎, 政金生人, 蘇田俊雄, 山崎規範, 坂井理美, 丸林誠二, 守田 治, 井関邦敏, 宇佐美武, 木全直樹, 鈴木一之, 田部井草葉, 伏見清秀, 三和奈穂子, 若井進志, 矢内 充, 秋葉 隆: わが国の慢性透析療法の現況(2004年12月31日現在). 透析会誌 39(1):1-22, 2006[原著論文]

部署名	タイトル	著者
血液浄化療法科	わが国の慢性透析療法の現況(2004年12月31日現在). 日本透析医学会雑誌 39(1):1-22, 2006[原著論文]	中井 澄, 和田篤志, 北岡達樹, 新里高弘, 泰倉勇介, 菊池健次郎, 政企生人, 篠田俊雄, 山崎聰, 坂井瑞実, 丸林誠二, 守田 治, 井関邦敏, 佐佐義武, 木全直樹, 鈴木一之, 田部井英, 伏見淳秀, 三和奈穂子, 矢内充, 若井建志, 秋葉 隆:わが国の慢性透析療法の現況(2004年12月31日現在). 日本透析医学会雑誌 39(1):1-22, 2006[原著論文]
血液浄化療法科	透析用標準化回路の安全性と操作性の検討. 日本血液浄化技術研究会会誌 13(1):1-5, 2006[総説]	尾原英利, 村上 浩, 金子岩和, 畠島三千男, 秋葉 隆:透析用標準化回路の安全性と操作性の検討. 日本血液浄化技術研究会会誌 13(1):1-5, 2006[総説]
血液浄化療法科	Peripheral arterial disease in patients with end-stage renal disease: observations from the dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). Circulation 114(18):1914-1922, 2006[原著論文]	Rajagopalan Sanjay, Delle großtagle Santo, Funniss Anna L., Gillespie Brenda W., Satayathum Sudtipa, Lameire Norbert, Saito Akira, Akiba Takashi, Jadoul Michel, Ginsberg Nancy, Keen Marcia, Port Friedrich K., Mukherjee Debabrata, Saran Rajiv: Peripheral arterial disease in patients with end-stage renal disease: observations from the dialysis outcomes and practice patterns study (DOPPS). Circulation 114(18):1914-1922, 2006[原著論文]
血液浄化療法科	乳児に対する血漿交換療法. ICUとCCU 30(別冊):S132-S134, 2006[総説]	酒水幹夫, 相馬 栄, 平山千佳, 金子岩和, 畠島三千男, 古江健樹, 宮村正和, 腹部元史, 大澤真木子, 秋葉 隆:乳児に対する血漿交換療法. ICUとCCU 30(別冊):S132-S134, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	尿中アルブミン測定の意義と糖尿病早期腎症の疫学. 日医師会誌 135(8):T5-T18, 2006[総説]	馬場園哲也, 岩本安彦:尿中アルブミン測定の意義と糖尿病早期腎症の疫学. 日医師会誌 135(8):T5-T18, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	Icodextrin Increases Natriuretic Peptides in Diabetic Patients Undergoing CAPD. Perit Dial Int 26(5):604-607, 2006[原著論文]	Bohuchi Ryotaro, Babazono Tetsuya, Inoue Aiko, Mizuno Tanaka, Tanaka Nobue, Hase Michiyo, Ishii Akiko, Iwamoto Yasuhiko: Icodextrin Increases Natriuretic Peptides in Diabetic Patients Undergoing CAPD. Perit Dial Int 26(5):604-607, 2006[原著論文]
第三内科(代謝内科)	後天性反応性穿孔性皮膚症に厳格な血糖コントロールとアコブリノールが奏効した1型糖尿病慢性腎不全の1例. 糖尿病 49(1):27-33, 2006[症例報告]	坊内良太郎, 手綱信一, 畠原佑紀恵, 田中伸枝, 菅野由子, 石井晶子, 中神朋子, 岩本安彦:後天性反応性穿孔性皮膚症に厳格な血糖コントロールとアコブリノールが奏効した1型糖尿病慢性腎不全の1例. 糖尿病 49(1):27-33, 2006[症例報告]
第三内科(代謝内科)	2型糖尿病患者の栄養表示の活用と血糖コントロールとの関連. 糖尿病 49(11):885-891, 2006[原著論文]	遠藤和子, 谷口千絵, 小島昌香理, 黒澤寿子, 一河美幸, 伊藤曉子, 成田伊紀, 岩本安彦:2型糖尿病患者の栄養表示の活用と血糖コントロールとの関連. 糖尿病 49(11):885-891, 2006[原著論文]
第三内科(代謝内科)	Renoprotective effects of tea catechin in streptozotocin-induced diabetic rats. Int Urol Nephrol 38:693-699, 2006[原著論文]	Hase Michiyo, Babazono Tetsuya: Renoprotective effects of tea catechin in streptozotocin-induced diabetic rats. Int Urol Nephrol 38:693-699, 2006[原著論文]
第三内科(代謝内科)	Vardenafil 20-mg demonstrated superior efficacy to 10-mg in Japanese men with diabetes mellitus suffering from erectile dysfunction. Int J Urol 13(8):1066-1072, 2006[原著論文]	Ishii Nobuhisa, Nagai Koichi, Fujikawa Keita, Tachibana Takashi, Iwamoto Yasuhiko, Kamidono Sadao: Vardenafil 20-mg demonstrated superior efficacy to 10-mg in Japanese men with diabetes mellitus suffering from erectile dysfunction. Int J Urol 13(8):1066-1072, 2006[原著論文]
第三内科(代謝内科)	Discussion 患者さんの負担をいかに軽減するか. 糖尿病診療マスター 4(7):853-867, 2006[総説]	伊藤眞一, 山田憲一, 石橋不可止, 内沢安子: Discussion 患者さんの負担をいかに軽減するか. 糖尿病診療マスター 4(7):853-867,
第三内科(代謝内科)	検査項目各論 内分泌・代謝検査 検査代謝関係. 日医師会誌 135(特別2):S278, 2006[総説]	岩本安彦: 検査項目各論 内分泌・代謝検査 検査代謝関係. 日医師会誌 135(特別2):S278, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	糖尿病の展望 糖尿病学. 医界新報(4279):53-56, 2006[総説]	岩本安彦: 糖尿病学の展望 糖尿病学. 医界新報(4279):53-56, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	全身病としての糖尿病. からだの科学(247):20-24, 2006[総説]	岩本安彦: 全身病としての糖尿病. からだの科学(247):20-24, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	危険する糖尿病患者に対するガイドラインに基づいた診察. 内科 97(1):5-9, 2006[総説]	岩本安彦, 佐倉 宏: 危険する糖尿病患者に対するガイドラインに基づいた診察. 内科 97(1):5-9, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	糖尿病併存症の原因遺伝子. 日医師会誌 134(12):2380-2381, 2006[総説]	岩本安彦: 糖尿病併存症の原因遺伝子. 日医師会誌 134(12):2380-2381, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	糖尿病併存症の原因遺伝子. 医界新報 4279:55-57, 2006[総説]	岩本安彦: 糖尿病併存症の原因遺伝子. 医界新報 4279:55-57, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	全般ノグマ解釈結果に基づいた2型糖尿病疾患選択関連遺伝子の解析. 2000年度~2004年度科学研究費補助金特定領域研究研究報告書(ゲノム医学科学 002):302-304, 2006[3/研究報告]	岩崎直子, 金谷ハル子: 解釈結果に基づいた2型糖尿病疾患選択関連遺伝子の解析. 2000年度~2004年度科学研究費補助金特定領域研究研究報告書(ゲノム医学科学 002):302-304, 2006[3/研究報告]
第三内科(代謝内科)	肺静脈神経麻痺が長期化し筋萎縮をきたした2型糖尿病の1例. 糖尿病 49(5):337-341, 2006[原著論文]	金井明子, 手納信一, 大庭純子, 石井晶子, 菅野由子, 中神朋子, 竹内 恵, 岩本安彦: 肺静脈神経麻痺が長期化し筋萎縮をきたした2型糖尿病の1例. 糖尿病 49(5):337-341, 2006[原著論文]
第三内科(代謝内科)	糖尿病の薬物療法の進歩 痘瘍に応じた経口薬の使い分け. ブラクティス 23(5):484-487, 2006[総説]	菅野由子, 佐倉 宏, 岩本安彦: 糖尿病の薬物療法の進歩 痘瘍に応じた経口薬の使い分け. ブラクティス 23(5):484-487, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	妊娠初期に発症した1型糖尿病に關する全国調査. 糖尿病と妊娠 6(1):104-106, 2006[総説]	川崎英二, 水谷一紀, 花房俊昭, 今川彰久, 岩橋博見, 内闇安子, 金原 東, 小林百郎, 菊田 朗, 丸山太郎, 牧野英一: 妊娠初期に発症した1型糖尿病に關する全国調査. 糖尿病と妊娠 6(1):104-106, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	Screen- detected diabetes, hypertension and hypercholesterolemia as predictors of cardiovascular mortality in five populations of Asian origin: the DECODA study. European Journal of Cardiovascular Prevention and Rehabilitation 13(4):555-561, 2006[原著論文]	Nakagami Tomoko, Qiao C, Tuomilehti J, Balkau B, Tajima N, Gang H, Borch-Johnsen K: Screen- detected diabetes, hypertension and hypercholesterolemia as predictors of cardiovascular mortality in five populations of Asian origin: the DECODA study.. European Journal of Cardiovascular Prevention and Rehabilitation 13(4):555-561, 2006[原著論文]
第三内科(代謝内科)	日本の肥満と糖尿病 疾患からみた日本人の糖尿病の特徴は? 肥満と糖尿病 5(2):243-246, 2006[総説]	中神朋子: 日本の肥満と糖尿病 疾患からみた日本人の糖尿病の特徴は? 肥満と糖尿病 5(2):243-246, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	肥満合併症とその治療. 糖尿病診療マスター 4(1):89-93, 2006[総説]	中神朋子: 肥満合併症とその治療. 糖尿病診療マスター 4(1):89-93, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	急性合併症とその治療. 糖尿病診療マスター 4(3):405-410, 2006[総説]	中神朋子: 急性合併症とその治療. 糖尿病診療マスター 4(3):405-410, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	血糖コントロール-食事療法と運動療法. 糖尿病診療マスター 4(4):523-528, 2006[総説]	中神朋子: 血糖コントロール-食事療法と運動療法. 糖尿病診療マスター 4(4):523-528, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	経口血糖降下薬の使い方と注意点. 糖尿病診療マスター 4(5):636-640, 2006[総説]	中神朋子: 経口血糖降下薬の使い方と注意点. 糖尿病診療マスター 4(5):636-640, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	インスリリン療法の研修ガイド-血糖自己測定(SMBG)も含めて. 糖尿病診療マスター 4(6):757-762, 2006[総説]	中神朋子: インスリリン療法の研修ガイド-血糖自己測定(SMBG)も含めて. 糖尿病診療マスター 4(6):757-762, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	疫学研究からみた耐筋能異常と動脈硬化のEBM. Progress in Medicine 26(9):15-20, 2006[総説]	中神朋子: 疫学研究からみた耐筋能異常と動脈硬化のEBM. Progress in Medicine 26(9):15-20, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	Diabetes Epidemiology:Collaborative analysis of Diagnostic Criteria in Asia. 肥満と糖尿病 5(5):99-101, 2006[総説]	中神朋子: Diabetes Epidemiology:Collaborative analysis of Diagnostic Criteria in Asia. 肥満と糖尿病 5(5):99-101, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	東京女子医科大学病院患者の在宅医療・療養移行について. 癌と化が 33(suppl II):299-302, 2006[原著論文]	沼田久美子, 堀城典保, 岩本安彦: 東京女子医科大学病院患者の在宅医療・療養移行について. 癌と化が 33(suppl II):299-302, 2006[原著論文]
第三内科(代謝内科)	アンケートによる血糖自己測定の実情調査と血糖コントロールの良否. 糖尿病 49(10):783-789, 2006[原著論文]	小川洋平, 南 昌江, 内沢安子, 岩本安彦: アンケートによる血糖自己測定の実情調査と血糖コントロールの良否. 糖尿病 49(10):783-789, 2006[原著論文]
第三内科(代謝内科)	Oxidative stress-responsive transcription factor ATF3 potentially mediates diabetic angiopathy.. Molecular and cellular biology 26(3):1087-1097, 2006[原著論文]	Okamoto Aki, Maru Yoshiro: Oxidative stress-responsive transcription factor ATF3 potentially mediates diabetic angiopathy.. Molecular and cellular biology 26(3):1087-1097, 2006[原著論文]
第三内科(代謝内科)	高脂血症合併2型糖尿病患者におけるアルバスタチンの有効性と安全性. Progress in Medicine 26(3):669-673, 2006[症例報告]	太田陽子, 後藤田貴也, 佐倉 宏, 岩本安彦: 高脂血症合併2型糖尿病患者におけるアルバスタチンの有効性と安全性. Progress in Medicine 26(3):669-673, 2006[症例報告]
第三内科(代謝内科)	Measurement of HbA1c using EQ-5D in patients with type 2 diabetes mellitus in Japan.. Value in Health 9(1):47-53, 2006[総説]	Sakamaki Hiroyuki, Ikeda Toshiya, Ikegami Naomi, Uchigata Yasuko, Iwamoto Yasuhiko, Origasa Hideki, Otani Toshiaki, Otani Yohchi: Measurement of HbA1c using EQ-5D in patients with type 2 diabetes mellitus in Japan.. Value in Health 9(1):47-53, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	電子カルテシステムおよび情報システムを利用した糖尿病臨床データ解析(糖尿病診療の新時代とIT). 肥満と糖尿病 5(別冊5):90-92, 2006[総説]	佐倉 宏: 電子カルテシステムおよび情報システムを利用した糖尿病臨床データ解析(糖尿病診療の新時代とIT). 肥満と糖尿病 5(別冊5):90-92, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	インスリリンと経口血糖降下薬の併用療法(糖尿病の治療と薬物療法). 医療ジャーナル 42(7):1879-1884, 2006[総説]	佐倉 宏: インスリリンと経口血糖降下薬の併用療法(糖尿病の治療と薬物療法). 医療ジャーナル 42(7):1879-1884, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	経口血糖降下薬による血糖コントロールの限界. 臨床 57(9):2761-2764, 2006[総説]	佐倉 宏: 経口血糖降下薬による血糖コントロールの限界. 臨床 57(9):2761-2764, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	専門病院からみた日本人の糖尿病の特徴は?. 肥満と糖尿病 5(2):250-252, 2006[総説]	佐倉 宏: 専門病院からみた日本人の糖尿病の特徴は?. 肥満と糖尿病 5(2):250-252, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	経口血糖降下薬による血糖コントロールの限界-基礎知識を実践に生かす 43(1):59-61, 2006[総説]	佐倉 宏: 経口血糖降下薬による血糖コントロールの限界-基礎知識を実践に生かす 43(1):59-61, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	糖尿病治療薬の現在と今后(メタボリックシンドromeと薬物療法). クリニカルプラクティス 25(S1):502-507, 2006[総説]	佐倉 宏: 糖尿病治療薬の現在と今后(メタボリックシンドromeと薬物療法). クリニカルプラクティス 25(S1):502-507, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	患者臨床データベースを用いた経口血糖降下薬の効果の解析. 臨床薬理の進歩 2006(別冊):69-75, 2006[研究報告]	佐倉 宏, 岩本安彦, 香野由子, 宇都祐子, 藤川篤子, 木暮武徳, 山中香野: 患者臨床データベースを用いた経口血糖降下薬の効果の解析. 臨床薬理の進歩 2006(別冊):69-75, 2006[研究報告]
第三内科(代謝内科)	Development of an ELISA for esRAGE and its application to type 1 diabetic patients.. Diabetes Res Clin Pract. 73(2):158-165, 2006[原著論文]	Sakurai Shiguro, Yamamoto Yasuhiko, Tamai Hiromori, Matsuki Hirokazu, Obata Kenichi, Hui Leu, Miura Junnosuke, Osawa Mari, Uchigata Yasuko, Iwamoto Yasuhiko, Watanabe Takao, Yonekura Hideko, Yamamoto Hiroshi: Development of an ELISA for esRAGE and its application to type 1 diabetic patients.. Diabetes Res Clin Pract. 73(2):158-165, 2006[原著論文]
第三内科(代謝内科)	糖尿病腎症に関する妊娠許容条件の検討. 糖尿病と妊娠 6(1):127-135, 2006[総説]	佐中真由美, 斎井里美, 岩本安彦: 糖尿病腎症に関する妊娠許容条件の検討. 糖尿病と妊娠 6(1):127-135, 2006[総説]

部署名	タイトル	著者
第三内科(代謝内科)	コンピュータシステムの隙間を埋めるコミュニケーション(患者さんの負担をいかに軽減するか 大学の工夫). 糖尿病診療マスター 4(7):849-852, 2006[総説]	佐藤麻子:コンピュータシステムの隙間を埋めるコミュニケーション(患者さんの負担をいかに軽減するか 大学の工夫). 糖尿病診療マスター 4(7):849-852, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	糖尿病患者の乳酸アシドーシス、成人病と生活習慣病 36(10):1120-1123, 2006[総説]	佐藤麻子:糖尿病患者の乳酸アシドーシス、成人病と生活習慣病 36(10):1120-1123, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	糖尿病と心疾患(シリーズ:糖尿病の治療) (10). 東京女子医科大学学誌 76(7):249-253, 2006[総説]	佐藤麻子、水尾麻紀: 安芸葉奈子:糖尿病と心疾患(シリーズ:糖尿病の治療) (10). 東京女子医科大学学誌 76(7):249-253, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	リモナバジン新規治療 治療. Diabetes Journal 34(3):118, 2006[総説]	佐藤麻子:リモナバジン新規治療. Diabetes Journal 34(3):118, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	Clinical an immunogenetic characteristic of fluminant type 1 diabetes associated with pregnancy.. J Clin Endocrinology & Metabolism 91:471-476, 2006[総説]	Shimizu Ikki, Makino Etsu, Imagawa Akitsugu, Iwahisa Hiroshi, Uchigata Yasuko, Kanatsuka Azuma, Kobayashi Tetsuro, Shimada Akira, Maruyama Taro, Hanafusa Toshiaki: Clinical an immunogenetic characteristic of fluminant type 1 diabetes associated with pregnancy.. J Clin Endocrinology & Metabolism 91:471-476, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	妊娠関連重症糖尿病の臨床的特徴とHLA解析. 糖尿病 49(9):755-760, 2006[総説]	辻水一紀: 牧野英一, 今川彰久, 岩橋博見, 內海安子, 金原東, 川崎英二, 小林哲郎, 岛田朗, 丸山太郎, 花房俊昭:妊娠関連重症糖尿病の臨床的特徴とHLA解析. 糖尿病 49(9):755-760, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	外来診療における「返書管理システム」評価 医療マネジメント会誌 6(4):645-649, 2006[原著論文]	下村裕見子, 上原芳郎, 加藤多津子, 若木安彦: 外来診療における「返書管理システム」評価. 医療マネジメント会誌 6(4):645-649, 2006[原著論文]
第三内科(代謝内科)	地域連携拠点における地盤一連模式の長弊づくりにおける地盤連携拠点の役割. 看管理 17(1):42-47, 2006[総説]	下村裕見子: 地盤一連模式の長弊づくりにおける地盤連携拠点の役割. 看管理 17(1):42-47,
第三内科(代謝内科)	足底筋膜にたいするケー・晋と透析 60(5):748-751, 2006[総説]	新城孝道: 足底筋膜にたいするケー・晋と透析 60(5):748-751, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	筋結節棘炎・足底変形症 治療研究 6(279):59-60, 2006[総説]	新城孝道: 第2筋結節棘炎・足底変形症. 治療研究 6(279):59-60, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	糖尿病足病変を合併した例. Geriatric Medicine 44(3):353-356, 2006[総説]	新城孝道: 糖尿病足病変を合併した例. Geriatric Medicine 44(3):353-356, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	糖尿病合併による足変形症者の運動療法について教えてください. 肥満と糖尿病 5(1):107-109, 2006[総説]	新城孝道: 糖尿病合併による足変形症者の運動療法について教えてください. 肥満と糖尿病 5(1):107-109, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	糖尿病足病変における感染症治療の実際について教えてください. 肥満と糖尿病 5(4):553-556, 2006[総説]	新城孝道: 糖尿病足病変における感染症治療の実際について教えてください. 肥満と糖尿病 5(4):553-556, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	糖尿病足病変とツッケア. ヒバリティーションMOOK 14:72-77, 2006[総説]	新城孝道: 糖尿病足病変とツッケア. ヒバリティーションMOOK 14:72-77, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	糖尿病足病変 麻酔医 43(2):56-59, 2006[総説]	新城孝道: 糖尿病足病変. Medicina 43(2):56-59, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	透析患者のフックア・処置のポイント HD Network 16:3-4, 2006[総説]	新城孝道: 透析患者のフックア・処置のポイント HD Network 16:3-4, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	糖尿病足病変. 糖尿病フルアンドブック:60-66, 2006[総説]	新城孝道: 内科 功・感染症足病変. 糖尿病フルアンドブック:60-66, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	フックアの実際. 症病変の診たと指揮の実際 24(1):42-45, 2005[総説]	新城孝道: フックアの実際. 症病変の診たと指揮の実際 24(1):42-45, 2005[総説]
第三内科(代謝内科)	糖尿病足病変における足部皮膚炎による足病変の診断. Diabetologia Frontier 17(1):11-14, 2006[症例報告]	新城孝道: 糖尿病足病変における足部皮膚炎による足病変の診断. Diabetologia Frontier 17(1):11-14, 2006[症例報告]
第三内科(代謝内科)	糖尿病患者は足のべんち感染症に注意を. Diabetes Frontier 117(2):165-168, 2006[症例報告]	新城孝道: 糖尿病患者は足のべんち感染症に注意を. Diabetes Frontier 117(2):165-168, 2006[症例報告]
第三内科(代謝内科)	気をつけよ糖尿病足病変-異物. Diabetes Frontier 117(3):289-292, 2006[症例報告]	新城孝道: 気をつけよ糖尿病足病変-異物. Diabetes Frontier 117(3):289-292, 2006[症例報告]
第三内科(代謝内科)	足病変をくみ上く小ガス流入足裏症. Diabetes Frontier 17(17):439-444, 2006[症例報告]	新城孝道: 足病変をくみ上く小ガス流入足裏症. Diabetes Frontier 17(17):439-444, 2006[症例報告]
第三内科(代謝内科)	糖尿病足病変による親指リンパ管炎. Diabetes Frontier 117(5):585-589, 2006[症例報告]	新城孝道: 糖尿病足病変による親指リンパ管炎. Diabetes Frontier 117(5):585-589, 2006[症例報告]
第三内科(代謝内科)	足病変の治療の際は注意を無症候性人畜共通感染症の併發. Diabetes Frontier 117(6):1-3, 2006[症例報告]	新城孝道: 足病変の治療の際は注意を無症候性人畜共通感染症の併發. Diabetes Frontier 117(6):1-3, 2006[症例報告]
第三内科(代謝内科)	糖尿病とPAD. 心臓 36(8):774-778, 2006[症例報告]	新城孝道: 糖尿病とPAD. 心臓 36(8):774-778, 2006[症例報告]
第三内科(代謝内科)	国民健康・栄養調査における各種指標の設定及び精度向上に関する研究 糖尿病及び肥満に関する研究報告書告白! 73-86, 2006[研究報告]	田嶋尚子, 富永真琴, 中伸朋子, 西村理明: 国民健康・栄養調査における各種指標の設定及び精度向上に関する研究 糖尿病及び肥満に関する研究報告書告白! 73-86, 2006[研究報告]
第三内科(代謝内科)	予備軍1の目前に迫るレッソーン(発症させる糖尿病!). ぱらんす 25(15):4-7, 2006[総説]	高橋千恵子: 予備軍1の目前に迫るレッソーン(発症させる糖尿病!). ぱらんす 25(15):4-7, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	糖尿病(健康Q&A). ぱらんす 25(3):13, 2006[総説]	高橋千恵子: 糖尿病(健康Q&A). ぱらんす 25(3):13, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	糖尿病(健康Q&A). ぱらんす 25(12), 2006[総説]	高橋千恵子: 糖尿病(健康Q&A). ぱらんす 25(12), 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	2型糖尿病で治療中だが禁煙と饮酒は必要か?(健康Q&A), スーパーエイジ(ぱらんす臨時増刊号2006夏) 25(10):14[総説]	高橋千恵子: 2型糖尿病で治療中だが禁煙と飲酒は必要か?(健康Q&A), スーパーエイジ(ぱらんす臨時増刊号2006夏) 25(10):14[総説]
第三内科(代謝内科)	糖尿病合併症の管理(2)糖尿病性腎症(糖尿病診断の最近の話題). THE MEDICAL & TEST JOURNAL(993), 2006[総説]	高橋千恵子: 糖尿病合併症の管理(2)糖尿病性腎症(糖尿病診断の最近の話題). THE MEDICAL & TEST JOURNAL(993), 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	ステロイド滴入糖尿病. 内科 91:676-679, 2006[総説]	高橋千恵子, 内藤安子: ステロイド滴入糖尿病. 内科 91:676-679, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	1型糖尿病と甲状腺眼瞼下垂を併発した3症例. ホルモンと臨床 5:85-88, 2006[症例報告]	高橋千恵子, 内藤安子: 甲状腺眼瞼下垂を併発した3症例. ホルモンと臨床 5:85-88, 2006[症例報告]
第三内科(代謝内科)	近代Ⅱ型糖尿病が外分泌疾患に伴う糖尿病(絞り抜き). 日本国際別冊内分泌症候群3(別冊内分泌症候群):69-72, 2006[総説]	田中香野, 岩本安彦: 近代Ⅱ型糖尿病が外分泌疾患に伴う糖尿病(絞り抜き). 日本国際別冊内分泌症候群3(別冊内分泌症候群):69-72, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	臍器移植の現状と展望 脾臍器移植と脾臍島移植. 外科治療 94(1):29-42, 2006[総説]	寺岡 智, 唐仁原全, 中島一朗, 渡之上周平, 長谷美智代, 馬場園智也, 岩本安彦: 臍器移植の現状と展望 脾臍器移植と脾臍島移植. 外科治療 94(1):29-42, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	食後高血糖の病態・診断・治療 実地医療の中でどのように食後高血糖を見つけるか? 舟形Studyを踏まえて. カレントテラピー 2005特別号:60-64, 2006[総説]	富木真琴: 中伸朋子: 食後高血糖の病態・診断・治療 実地医療の中でどのように食後高血糖を見つけるか? 舟形Studyを踏まえて. カレントテラピー 2005特別号:60-64, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	合併症のみかた 糖尿病患者の栄養障害・食行動異常の支援のしかた(Brush Up!ワンランク上の糖尿病療法指導). 糖尿病マスター 4(2):208-211, 2006[総説]	深原佐知栄, 渡井正人, 久保千春: 合併症のみかた 糖尿病患者の栄養障害・食行動異常の支援のしかた(Brush Up!ワンランク上の糖尿病療法指導). 糖尿病マスター 4(2):208-211, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	CDEは本の矢?みんなの方でワンランクアップ! 松岡健平先生(日本糖尿病指導士認定機構理事長)に聞く. 糖尿病診療マスター 4(2増刊号):116-123, 2006[総説]	松岡健平先生(日本糖尿病指導士認定機構理事長)に聞く. 糖尿病診療マスター 4(2増刊号):116-123, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	1型糖尿病患者への心理的支援. 内科 97(1):128-132, 2006[総説]	内藤安子: 1型糖尿病患者への心理的支援. 内科 97(1):128-132, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	Editorial 3分間外来! 受診を上手に利用する方法. 糖尿病診療マスター 4(2増刊号):263-263, 2006[総説]	内藤安子: Editorial 3分間外来! 受診を上手に利用する方法. 糖尿病診療マスター 4(2増刊号):263-263, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	インスリン治療をはじめに! ついでにインスリンに走っていませんか? 糖尿病診療マスター 4(3):337-339, 2006[総説]	内藤安子: インスリン治療をはじめに! ついでにインスリンに走っていませんか? 糖尿病診療マスター 4(3):337-339, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	Editorial 3分間外来! 受診を上手に利用する方法 4(3):263, 2006. 糖尿病診療マスター 4(3):263-263, 2006[総説]	内藤安子: Editorial 3分間外来! 受診を上手に利用する方法 4(3):263, 2006. 糖尿病診療マスター 4(3):263-263, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	思春期のⅠ型糖尿病悪化化 4275:94-95, 2006. 日本国際新報 4295:94-95, 2006[総説]	内藤安子: 思春期のⅠ型糖尿病悪化化 4275:94-95, 2006. 日本国際新報 4295:94-95, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	対論: 患者と医師! 患者と医師は育ち合るもの 4(4):432-439, 2006. 糖尿病診療マスター 4(4):432-439, 2006[総説]	内藤安子, 齋井繁男: 対論: 患者と医師! 患者と医師は育ち合るもの 4(4):432-439, 2006. 糖尿病診療マスター 4(4):432-439, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	カーボ・ガルタイン® 23:557-558, 2006. ブラックアス 23:557-558, 2006[総説]	内藤安子: カーボ・ガルタイン® 23:557-558, 2006. ブラックアス 23:557-558, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	小兒の2型糖尿病-今昔 - 日本小児科学会雑誌 110(10):1385-1391, 2006[総説]	内藤安子: 小兒の2型糖尿病-今昔 - 日本小児科学会雑誌 110(10):1385-1391, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	思春期Ⅰ型糖尿病治療 23:511-516, 2006. 内分泌・糖尿病科 25:511-516, 2006[総説]	内藤安子: 思春期Ⅰ型糖尿病治療 23:511-516, 2006. 内分泌・糖尿病科 25:511-516, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	内羽田 for Diabetes! 344(1)-1, 2006. DTTN 344(1)-1, 2006[症例報告]	内羽田安子: 内羽田 for Diabetes! 344(1)-1, 2006. DTTN 344(1)-1, 2006[症例報告]
第三内科(代謝内科)	Editorial 「セントビンセント宣言」から「Unite for Diabetes」へ. 糖尿病診療マスター 4(7):869-869, 2006[症例報告]	内羽田安子: Editorial 「セントビンセント宣言」から「Unite for Diabetes」へ. 糖尿病診療マスター 4(7):869-869, 2006[症例報告]
第三内科(代謝内科)	内羽田 for Diabetes へ. 糖尿病診療マスター 4(7):869-869, 2006[症例報告]	内羽田安子: 内羽田 for Diabetes へ. 糖尿病診療マスター 4(7):869-869, 2006[症例報告]
第三内科(代謝内科)	(内分泌症候群第2版III-その他の内分泌疾患を含めて- VII. 脂代謝 空腹時低血糖症) インスリン自己免疫症候群別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ No.3:204-207, 2006[総説]	植田 太郎: (内分泌症候群第2版III-その他の内分泌疾患を含めて- VII. 脂代謝 空腹時低血糖症) インスリン自己免疫症候群別冊日本臨床 新領域別症候群シリーズ No.3:204-207, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	新しいインスリン製剤 ホルモンと臨床 54(12):1097-1103, 2006[総説]	柳澤雅香, 岩本安彦: 新しいインスリン製剤 ホルモンと臨床 54(12):1097-1103, 2006[総説]
第三内科(代謝内科)	糖尿病の治療の展開(インスリン分泌の維持・増加など) 新しいインスリン製剤 ホルモンと臨床 54(12):1097-1103, 2006[総説]	柳澤雅香, 岩本安彦: 糖尿病の治療の展開(インスリン分泌の維持・増加など) 新しいインスリン製剤 ホルモンと臨床 54(12):1097-1103, 2006[総説]
糖尿病眼科	Tracing method in the assessment of retinal capillary blood flow velocity by fluorescein angiography with scanning laser ophthalmoscope.. Jpn J Ophthalmol 50(1):25-32, 2006[原著論文]	Funatsu Hideharu, Sakata K, Haruno S, Okuzawa Y, Noma H, Hori S: Tracing method in the assessment of retinal capillary blood flow velocity by fluorescein angiography with scanning laser ophthalmoscope.. Jpn J Ophthalmol 50(1):25-32, 2006[原著論文]
糖尿病眼科	Vitreous levels of pigment epithelium-derived factor and vascular endothelial growth factor are related to diabetic macular edema.. Ophthalmology 113(2):294-301, 2006[原著論文]	Funatsu Hideharu, Yamashita H, Nakamura S, Minura T, Eguchi S, Hori S: Vitreous levels of pigment epithelium-derived factor and vascular endothelial growth factor are related to diabetic macular edema.. Ophthalmology 113(2):294-301, 2006[原著論文]
糖尿病眼科	Tracing method in the assessment of retinal capillary blood flow velocity by fluorescein angiography with scanning laser ophthalmoscope.. Jpn J Ophthalmol 50(1):25-32, 2006[原著論文]	Funatsu Hideharu, Sakata K, Haruno S, Okuzawa Y, Noma H, Hori S: Tracing method in the assessment of retinal capillary blood flow velocity by fluorescein angiography with scanning laser ophthalmoscope.. Jpn J Ophthalmol 50(1):25-32, 2006[原著論文]

部署名	タイトル	著者
糖尿病眼科	Vitreous levels of pigment epithelium-derived factor and vascular endothelial growth factor are related to diabetic macular edema.. Ophthalmology 113(2): 294-301, 2006[原著論文]	Funatsu Hideharu, Yamashita H, Nakamura S, Mimura T, Eguchi S, Hori S;Vitreous levels of pigment epithelium-derived factor and vascular endothelial growth factor are related to diabetic macular edema.. Ophthalmology 113(2):294-301, 2006[原著論文]
糖尿病眼科	症候と検査への対応の仕方[診断]眼症状、【腎・尿路疾患の診療指針'06】腎と透析 61(suppl):63-65, 2006[総説]	春山賢介, 北野滋彦: 症候と検査への対応の仕方[診断]眼症状、【腎・尿路疾患の診療指針'06】腎と透析 61(suppl):63-65, 2006[総説]
糖尿病眼科	症候と検査への対応の仕方[診断]眼症状、【腎・尿路疾患の診療指針'06】腎と透析 61(suppl):63-65, 2006[総説]	春山賢介, 北野滋彦: 症候と検査への対応の仕方[診断]眼症状、【腎・尿路疾患の診療指針'06】腎と透析 61(suppl):63-65, 2006[総説]
糖尿病眼科	実地医家が知っておくべき糖尿病網膜症の知識、眼科を受診させる前に知っておくべきこと。【合併症の診療のポイント】. Medical Practice 24(1):55-57, 2006[総説]	北野滋彦: 実地医家が知っておくべき糖尿病網膜症の知識、眼科を受診させる前に知っておくべきこと。【合併症の診療のポイント】. Medical Practice 24(1):55-57, 2006[総説]
糖尿病眼科	糖尿病網膜症の診断と治療【糖尿病の治療】東京女子医科大学雑誌 76(8-9):361-367, 2006[総説]	北野滋彦: 糖尿病網膜症の診断と治療【糖尿病の治療】東京女子医科大学雑誌 76(8-9):361-367, 2006[総説]
糖尿病眼科	診断の指針 治療の指針 糖尿病網膜症のステージごとの治療、. 総合臨床 55(9):2338-2339, 2006[総説]	北野滋彦: 診断の指針 治療の指針 糖尿病網膜症のステージごとの治療、. 総合臨床 55(9):2338-2339, 2006[総説]
糖尿病眼科	糖尿病網膜症の診断と治療【糖尿病の合併症】からだの科学(247):32-35, 2006[総説]	北野滋彦: 糖尿病網膜症の診断と治療【糖尿病の合併症】からだの科学(247):32-35, 2006[総説]
糖尿病眼科	Controversy 網膜症の薬物治療【糖尿病眼合併症の診療指針】眼科ブックティス 7:130-131, 2006[総説]	北野滋彦: Controversy 網膜症の薬物治療【糖尿病眼合併症の診療指針】眼科ブックティス 7:130-131, 2006[総説]
糖尿病眼科	4)糖尿病網膜症【高齢者の眼疾患とQuality of Vision 高齢者に多い眼疾患 診断と治療、予防(眼底出血)】[特集]. Geriatric Medicine (老年医学) 44(9):1241-1244, 2006[総説]	北野滋彦: 4)糖尿病網膜症【高齢者の眼疾患とQuality of Vision 高齢者に多い眼疾患 診断と治療、予防(眼底出血)】[特集]. Geriatric Medicine (老年医学) 44(9):1241-1244, 2006[総説]
糖尿病眼科	実地医家が知っておくべき糖尿病網膜症の知識、眼科を受診させる前に知っておくべきこと。【合併症の診療のポイント】. Medical Practice 24(1):55-57, 2006[総説]	北野滋彦: 実地医家が知っておくべき糖尿病網膜症の知識、眼科を受診させる前に知っておくべきこと。【合併症の診療のポイント】. Medical Practice 24(1):55-57, 2006[総説]
糖尿病眼科	糖尿病網膜症の診断と治療【糖尿病の治療】東京女子医科大学雑誌 76(8-9):361-367, 2006[総説]	北野滋彦: 糖尿病網膜症の診断と治療【糖尿病の治療】東京女子医科大学雑誌 76(8-9):361-367, 2006[総説]
糖尿病眼科	診断の指針 治療の指針 糖尿病網膜症のステージごとの治療、. 総合臨床 55(9):2338-2339, 2006[総説]	北野滋彦: 診断の指針 治療の指針 糖尿病網膜症のステージごとの治療、. 総合臨床 55(9):2338-2339, 2006[総説]
糖尿病眼科	糖尿病網膜症の診断と治療【糖尿病の合併症】からだの科学(247):32-35, 2006[総説]	北野滋彦: 糖尿病網膜症の診断と治療【糖尿病の合併症】からだの科学(247):32-35, 2006[総説]
糖尿病眼科	Controversy 網膜症の薬物治療【糖尿病眼合併症の診療指針】眼科ブックティス 7:130-131, 2006[総説]	北野滋彦: Controversy 網膜症の薬物治療【糖尿病眼合併症の診療指針】眼科ブックティス 7:130-131, 2006[総説]
糖尿病眼科	4)糖尿病網膜症【高齢者の眼疾患とQuality of Vision 高齢者に多い眼疾患 診断と治療、予防(眼底出血)】[特集]. Geriatric Medicine (老年医学) 44(9):1241-1244, 2006[総説]	北野滋彦: 4)糖尿病網膜症【高齢者の眼疾患とQuality of Vision 高齢者に多い眼疾患 診断と治療、予防(眼底出血)】[特集]. Geriatric Medicine (老年医学) 44(9):1241-1244, 2006[総説]
糖尿病眼科	The tilt and decentration of the intraocular lens following combined vitrectomy and pars plana lensectomy.. Acta Ophthalmologica Scandinavica 84(3):388-389, 2006[原著論文]	Ohara Kozue, Kata Satoshi, Hori Sadao, Kitano Shigehiko: Tilt and decentration of the intraocular lens following combined vitrectomy and pars plana lensectomy.. Acta Ophthalmologica Scandinavica 84(3):388-389, 2006[原著論文]
糖尿病眼科	Tilt and decentration of the intraocular lens following combined vitrectomy and pars plana lensectomy.. Acta Ophthalmologica Scandinavica 84(3):388-389, 2006[原著論文]	Ohara Kozue, Kata Satoshi, Hori Sadao, Kitano Shigehiko: Tilt and decentration of the intraocular lens following combined vitrectomy and pars plana lensectomy.. Acta Ophthalmologica Scandinavica 84(3):388-389, 2006[原著論文]
糖尿病眼科	Effect of perioperative glycemic control in progression of diabetic retinopathy and maculopathy.. Archives of Ophthalmology 124(1):38-45, 2006[総説]	Suto Chikako, Hori Sadao, Kata Satoshi, Murooka Kanemitsu, Kitano Shigehiko: Effect of perioperative glycemic control in progression of diabetic retinopathy and maculopathy.. Archives of Ophthalmology 124(1):38-45, 2006[総説]
糖尿病眼科	Effect of perioperative glycemic control in progression of diabetic retinopathy and maculopathy.. Archives of Ophthalmology 124(1):38-45, 2006[総説]	Suto Chikako, Hori Sadao, Kata Satoshi, Murooka Kanemitsu, Kitano Shigehiko: Effect of perioperative glycemic control in progression of diabetic retinopathy and maculopathy.. Archives of Ophthalmology 124(1):38-45, 2006[総説]
糖尿病眼科	増殖性糖尿病網膜症における無逆流域面積の変化. 臨眼 60(7):1145-1149, 2006年7月[原著論文]	原屋政子, 林佳枝, 船津英樹, 北野滋彦: 増殖性糖尿病網膜症における無逆流域面積の変化. 臨眼 60(7):1145-1149, 2006年7月[原著論文]
糖尿病眼科	増殖性糖尿病網膜症における無逆流域面積の変化. 臨眼 60(7):1145-1149, 2006年7月[原著論文]	原屋政子, 林佳枝, 船津英樹, 北野滋彦: 増殖性糖尿病網膜症における無逆流域面積の変化. 臨眼 60(7):1145-1149, 2006年7月[原著論文]
第二内科学(内分泌内科)	Clinical Features Of Insulin-Like Growth Factor-II Producing Non-Islet-Cell Tumor Hypoglycemia.. Growth Hormone and IGF Research 16:211-216, 2006[原著論文]	Fukuda Izumi, Hizuka Naomi, Ishikawa Yukiko, Yasumoto Kumiko, Murakami Yuko, Sata Akira, Morita Junko, Kurimoto Makiko, Okubo Yumiko, Takano Kazue: CLINICAL FEATURES OF INSULIN-LIKE GROWTH FACTOR-II PRODUCING NON-ISLET-CELL TUMOR HYPOGLYCEMIA.. Growth Hormone and IGF Research 16:211-216, 2006[原著論文]
第二内科学(内分泌内科)	成人成長ホルモン分泌不全症. 別冊日本臨床 1:73-76, 2006[総説]	福田いずみ, 高野加寿恵: 成人成長ホルモン分泌不全症. 別冊日本臨床 1:73-76, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	先端巨大症. 内科 97(6):1386-1387, 2006[総説]	福田いずみ, 肥塚直美: 先端巨大症. 内科 97(6):1386-1387, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	先端巨大症のPreclinical/Subclinical Endocrinopathy. ホルモンと臨床 54(2):73-80, 2006[総説]	福田いずみ, 盛田順子, 肥塚直美, 高野加寿恵: 先端巨大症のPreclinical/Subclinical Endocrinopathy. ホルモンと臨床 54(2):73-80, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	内分泌クリーゼの治療. ホルモンと臨床 54(春季増刊):300-307, 2006[総説]	福田いずみ: 内分泌クリーゼの治療. ホルモンと臨床 54(春季増刊):300-307, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	ターナー女性における甲状腺疾患. ホルモンと臨床 54(Supple):89-91, 2006[研究報告]	福田いずみ, 肥塚直美, 盛田順子, 栗木真紀子, 村上祐子, 佐田昌, 大久保由美子, 安本久美子, 高野加寿恵: ターナー女性における甲状腺疾患. ホルモンと臨床 54(Supple):89-91, 2006[研究報告]
第二内科学(内分泌内科)	Clinical characteristics, etiologies and pathophysiology of patients with severe short stature with severe GH deficiency: Questionnaire study on the data registered with the Foundation for Growth Science, Japan.. Endocr J 53(2):259-265, 2006[原著論文]	Hanow Kunihiko, Tachibana Katsuhiko, Yokoya Susumu, Fujieda Kenji, Tanaka Toshiaki, Igashiri Y, Shimatsu Akira, Tanaka H, Tanizawa T, Toramato Akira, Nishi Y, Hasegawa Y, Hizuka Naomi, Hirano T, Fujita K: Clinical characteristics, etiologies and pathophysiology of patients with severe short stature with severe GH deficiency: Questionnaire study on the data registered with the Foundation for Growth Science, Japan.. Endocr J 53(2):259-265, 2006[原著論文]
第二内科学(内分泌内科)	間脳下垂体疾患 下垂体腺腫. ホルモンと臨床 54(春季増刊):55-62, 2006[総説]	肥塚直美: 間脳下垂体疾患 下垂体腺腫. ホルモンと臨床 54(春季増刊):55-62, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	低身長症 IGF-I/IGF-I受容体異常による低身長. 日本臨床 別冊内分泌症候群:98-101, 2006[総説]	肥塚直美: 低身長症 IGF-I/IGF-I受容体異常による低身長. 日本臨床 別冊内分泌症候群:98-101, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	内分泌疾患を疑う所見と症状. ホルモンと臨床 54(春季増刊):371-374, 2006[総説]	肥塚直美: 内分泌疾患を疑う所見と症状. ホルモンと臨床 54(春季増刊):371-374, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	成長ホルモンのインスリン抵抗性改善機構 骨格筋を介する作用 C2C12マウス筋芽細胞を用いた検討. 成長科学協会研究年報(29):87-94, 2006[研究報告]	磯崎 収, 野添康子, 吉原 愛, 村上 ひとみ, 西巻桃子, 原田千絵: 成長ホルモンのインスリン抵抗性改善機構 骨格筋を介する作用 C2C12マウス筋芽細胞を用いた検討. 成長科学協会研究年報(29):87-94, 2006[研究報告]
第二内科学(内分泌内科)	Metabolic disorders in adult growth hormone deficiency: a study of 110 patients at a single institute in Japan.. Endocr J 53(4):539-545, 2006[原著論文]	Itoh Emina, Hizuka Naomi, Fukuda Izumi, Takano Kazue: Metabolic disorders in adult growth hormone deficiency: a study of 110 patients at a single institute in Japan.. Endocr J 53(4):539-545, 2006[原著論文]
第二内科学(内分泌内科)	内分泌クリーゼの治療. ホルモンと臨床 54(春季増刊):63-66, 2006[総説]	栗本真紀子, 高野加寿恵: 内分泌クリーゼの治療. ホルモンと臨床 54(春季増刊):63-66, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	経過19年目に発症したBig IGF-II産生hemangiopericytomaによるNICTHの1例. 糖尿病 49(3):205-208, 2006[原著論文]	柳山暁史, 休 道夫, 肥塚直美, 門脇 寿: 経過19年目に発症したBig IGF-II産生hemangiopericytomaによるNICTHの1例. 糖尿病 49(3):205-208, 2006[原著論文]
第二内科学(内分泌内科)	Cushing病. 内科 97(6):1388-1389, 2006[総説]	三木伸泰, 小野川昌美: Cushing病. 内科 97(6):1388-1389, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	プロラクチノーマの診断 (新しい診断と治療のABC 一 機能性下垂体腫瘍). 最新医学別冊:57-66, 2006[総説]	三木伸泰: プロラクチノーマの診断 (新しい診断と治療のABC 一 機能性下垂体腫瘍). 最新医学別冊:57-66, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	下垂体卒中. 最新内分泌検査マニュアル第二版:181-184, 2006[総説]	三木伸泰: 下垂体卒中. 最新内分泌検査マニュアル第二版:181-184, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	性腺機能低下症(女性). 最新内分泌検査マニュアル第二版:150-153, 2006[総説]	三木伸泰: 性腺機能低下症(女性). 最新内分泌検査マニュアル第二版:150-153, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	性腺機能低下症(男性). 最新内分泌検査マニュアル第二版:146-149, 2006[総説]	三木伸泰: 性腺機能低下症(男性). 最新内分泌検査マニュアル第二版:146-149, 2006[総説]

部署名	タイトル	著者
第二内科学(内分泌内科)	内科疾患最新の治療 ([代謝・内分泌]Cushing病 内科疾患最新の治療). 内科 97(6):1388-1389, 2006[総説]	三木伸泰, 肥塚直美:内科疾患最新の治療 ([代謝・内分泌]Cushing病 内科疾患最新の治療). 内科 97(6):1388-1389, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	軽度の甲状腺ホルモン中毒症により顎頭化したラクツ胞による下垂体機能低下症の1例. ホルモンと臨床 54(9):95-98, 2006[症例報告]	盛田順子, 大和田里奈, 大森凡恵, 斎藤洋, 磯崎 収, 肥塚直美, 高野加寿恵:軽度の甲状腺ホルモン中毒症により顎頭化したラクツ胞による下垂体機能低下症の1例. ホルモンと臨床 54(9):95-98, 2006[症例報告]
第二内科学(内分泌内科)	妊娠中に中枢性尿崩症を発症した1型糖尿病の1症例. 糖尿病 49(4):275-278, 2006[原著論文]	水尾麻紀, 佐中由実, 手納信一, 野村 整, 肥塚直美, 岩本安彦:妊娠中に中枢性尿崩症を発症した1型糖尿病の1症例. 糖尿病 49(4):275-278, 2006[原著論文]
第二内科学(内分泌内科)	結核性網隔リバーバ節炎を伴ったチアマゾールによる無顆粒球症の1例 臨診と治療について. ホルモンと臨床 54(11):1069-1072, 2006[症例報告]	西巻桃子, 碓崎 収, 大森凡恵, 田辺晶代, 肥塚直美, 高野加寿恵:結核性網隔リバーバ節炎を伴ったチアマゾールによる無顆粒球症の1例 臨診と治療について ホルモンと臨床 54(11):1069-1072, 2006[症例報告]
第二内科学(内分泌内科)	サイフォン部内頸動脈瘤と汎下垂体機能低下症を伴うプロラクチノーマが疑われる一例. 日本内分泌学会誌 82(Suppl.):79-81, 2006[原著論文]	大塚忠典, 三木伸泰, 小野昌美, 大竹啓之, 佐田 哲, 国敏郎, 岩田芳和, 川俣貴一, 堀 智勝, 高野加寿恵:サイフォン部内頸動脈瘤と汎下垂体機能低下症を伴うプロラクチノーマが疑われる一例. 日本内分泌学会誌 82(Suppl.):79-81, 2006[原著論文]
第二内科学(内分泌内科)	突発性浮腫. 最新内分泌検査マニュアル第二版:179-180, 2006[総説]	大塚忠典, 三木伸泰:突発性浮腫. 最新内分泌検査マニュアル第二版:179-180, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	Application of cell-sheet engineering for reconstitution of functional thyroid tissue from thyroid cells. 炎症・再生 26(6):519-522, 2006[原著論文]	Okubo Yumiko, Isezaki Osamu, Shimizu Tatsuya, Kurimoto Makiko, Yoshihara Ai, Hasegawa Kayo, Nozoe Yasuko, Yoshimura Hiroshi, Ito Koichi, Okano Teruo, Takano Kazue : Application of cell-sheet engineering for reconstitution of functional thyroid tissue from thyroid cells. 炎症・再生 26(6):519-522, 2006[原著論文]
第二内科学(内分泌内科)	多癆胞性卵巣疾患群. ホルモンと臨床 54(増刊号):260-263, 2006[総説]	大久保由美子:多癆胞性卵巣疾患群. ホルモンと臨床 54(増刊号):260-263, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	ACTH依存性クッシング症候群ークッシング病を中心とした最新内分泌検査マニュアル第二版:51-57, 2006[総説]	小野昌美, 三木伸泰:ACTH依存性クッシング症候群ークッシング病を中心とした最新内分泌検査マニュアル第二版:51-57, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	すぐに役立つ実践的な下垂体のMRI画像診断. 最新内分泌検査マニュアル第二版:66-70, 2006[総説]	小野昌美, 三木伸泰:すぐに役立つ実践的な下垂体のMRI画像診断. 最新内分泌検査マニュアル第二版:66-70, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	プロラクチノーマ. 最新内分泌検査マニュアル第二版:44-50, 2006[総説]	小野昌美, 三木伸泰:プロラクチノーマ. 最新内分泌検査マニュアル第二版:44-50, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	プロラクチノーマの薬物療法 (新しい診断と治療のABCー機能性下垂体腫瘍). 最新医学別冊:125-132, 2006[総説]	小野昌美, 三木伸泰:プロラクチノーマの薬物療法 (新しい診断と治療のABCー機能性下垂体腫瘍). 最新医学別冊:125-132, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	異所性プロラクチン産生腫瘍(内分泌症候群(III)-X 腫瘍とホルモン). 別冊日本臨床:307-312, 2006[総説]	小野昌美, 三木伸泰:異所性プロラクチン産生腫瘍(内分泌症候群(III)-X 腫瘍とホルモン). 別冊日本臨床:307-312, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	高プロラクチン血症. 内科 97(6):1390-1391, 2006[総説]	小野昌美, 肥塚直美:高プロラクチン血症. 内科 97(6):1390-1391, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	内科疾患最新の治療 ([代謝・内分泌]プロラクチノーマ). 内科 97(6):1390-1391, 2006[総説]	小野昌美, 肥塚直美:内科疾患最新の治療 ([代謝・内分泌]プロラクチノーマ). 内科 97(6):1390-1391, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	低身長児とその家族におけるメンタルヘルスに関する研究. ストレス科学研究 16:16-28, 2006[原著論文]	長田久雄, 田中敬章, 肥塚直美, 中村延江, 今津芳恵, 田中まり子, 植松芳信, 三井速雄, 内山喜久雄, 上田雅夫:低身長児とその家族におけるメンタルヘルスに関する研究. ストレス科学研究 16:16-28, 2006[原著論文]
第二内科学(内分泌内科)	大脳啓之, 三木伸泰:低ナトリウム血症. 最新内分泌検査マニュアル第二版:198-200, 2006[総説]	大脳啓之, 三木伸泰:低ナトリウム血症. 最新内分泌検査マニュアル第二版:198-200, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	Etiology of Hypercholesterolemia in Patients with Anorexia Nervosa. International Journal of Eating Disorders 39(7):598-601, 2006[原著論文]	Rina Ohwada, Mari Hotta, Shinichi Oikawa, Kazue Takano : Etiology of Hypercholesterolemia in Patients with Anorexia Nervosa. International Journal of Eating Disorders 39(7):598-601, 2006[原著論文]
第二内科学(内分泌内科)	Hyponatremia after transsphenoidal surgery for hypothalamo-pituitary tumors.. Neuroendocrinology 83:117-122, 2006[原著論文]	Sata Akira, Hizuka Naomi, Kawamoto Takakazu, Horii Tomokatsu, Takano Kazue : Hyponatremia after transsphenoidal surgery for hypothalamo-pituitary tumors.. Neuroendocrinology 83:117-122, 2006[原著論文]
第二内科学(内分泌内科)	Mild and short recurrence of type II amiodarone-induced thyrotoxicosis in three patients receiving amiodarone continuously for more than 10 years.. Endocr J 53:531-538, 2006[原著論文]	Sato Kanji, Shiga Takeshi, Matsuda Naoki, Onoda Noritaka, Takano Kazuo, Hagiwara Nobuhisa, Kawanuki Hiroshi : Mild and short recurrence of type II amiodarone-induced thyrotoxicosis in three patients receiving amiodarone continuously for more than 10 years.. Endocr J 53:531-538, 2006[原著論文]
第二内科学(内分泌内科)	カルシウム代謝異常:悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症. ホルモンと臨床 増刊号『臨床に役立つ内分泌疾患診療マニュアル2006』54:138-141, 2006[総説]	佐藤幹二:カルシウム代謝異常:悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症. ホルモンと臨床 増刊号『臨床に役立つ内分泌疾患診療マニュアル2006』54:138-141, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	バセドウ病とその周辺:甲状腺ホルモンと骨代謝. 日本臨床 64(12):2317-2322, 2006[総説]	佐藤幹二:バセドウ病とその周辺:甲状腺ホルモンと骨代謝. 日本臨床 64(12):2317-2322, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	饥饿骨症候群. 日本臨床、新領域別症候群シリーズNo.2内分泌症候群(第2版)その他の内分泌疾患を含めて:131-134, 2006[総説]	佐藤幹二:饥饿骨症候群. 日本臨床、新領域別症候群シリーズNo.2内分泌症候群(第2版)その他の内分泌疾患を含めて:131-134, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	疾病と治療. 代謝内分泌系"甲状腺機能亢進症"医薬情報担当者MR研修テキスト1:223-227, 2006[総説]	佐藤幹二:疾病と治療. 代謝内分泌系"甲状腺機能亢進症"医薬情報担当者MR研修テキスト1:223-227, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	統癆性副甲状腺機能低下症.. 日本臨床、新領域別症候群シリーズNo.2内分泌症候群(第2版)その他の内分泌疾患を含めて:53-56, 2006[総説]	佐藤幹二:統癆性副甲状腺機能低下症.. 日本臨床、新領域別症候群シリーズNo.2内分泌症候群(第2版)その他の内分泌疾患を含めて:53-56, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	低カルシウム血症クリーゼ.. 日本臨床、新領域別症候群シリーズNo.2内分泌症候群(第2版)その他の内分泌疾患を含めて:189-196, 2006[総説]	佐藤幹二:低カルシウム血症クリーゼ.. 日本臨床、新領域別症候群シリーズNo.2内分泌症候群(第2版)その他の内分泌疾患を含めて:189-196, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	特集:カルシウム研究、最近の進歩 薬剤誘発性高カルシウム血症. Clinical Calcium 16:67-72, 2006[総説]	佐藤幹二:特集:カルシウム研究、最近の進歩 薬剤誘発性高カルシウム血症. Clinical Calcium 16:67-72, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	神経性食欲不振症における内科的治療の役割と限界. 精神神経学雑誌 108(7):717-723, 2006[総説]	鈴木(畠田)眞理:神経性食欲不振症における内科的治療の役割と限界. 精神神経学雑誌 108(7):717-723, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	神経性食欲不振症の治療. 日本女性心身医学会雑誌 11(1):34-39, 2006[総説]	鈴木(畠田)眞理:神経性食欲不振症の治療. 日本女性心身医学会雑誌 11(1):34-39, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	栄養障害(特集 内分泌・代謝心身症 -update-). 心臓内科 10(6):367-377, 2006[総説]	鈴木(畠田)眞理:栄養障害(特集 内分泌・代謝心身症 -update-). 心臓内科 10(6):367-377, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	1型糖尿病と甲状腺乳頭癌を併発した3症例. ホルモンと臨床 54(5):455-458, 2006[症例報告]	高池浩子, 内藤安子, 磯崎 収, 岩本安彦:1型糖尿病と甲状腺乳頭癌を併発した3症例. ホルモンと臨床 54(5):455-458, 2006[症例報告]
第二内科学(内分泌内科)	IV.内分泌・代謝検査;プロラクチン(PRL) ([最新 臨床検査のABC]生涯教育シリーズ70). 日本医師会雑誌特別号 135(2):229-230, 2006[総説]	高野加寿恵, 小野昌美:IV.内分泌・代謝検査;プロラクチン(PRL) ([最新 臨床検査のABC]生涯教育シリーズ70). 日本医師会雑誌特別号 135(2):229-230, 2006[総説]
第二内科学(内分泌内科)	Iodide inhibits vascular endothelial growth factor (VEGF)-A expression in cultured human thyroid follicles: a microarray search for effects of TSH and iodide on angiogenesis factors.. Thyroid 16:545-554, 2006[原著論文]	Yamada Emiko, Yamazaki Kazuko, Takano Kazue, Obara Takao, Sato Kanji: Iodide inhibits vascular endothelial growth factor (VEGF)-A expression in cultured human thyroid follicles: a microarray search for effects of TSH and iodide on angiogenesis factors.. Thyroid 16:545-554, 2006[原著論文]
第二内科学(内分泌内科)	女性化乳房の精査中に発見された46,XX maleの一例. 日本内分泌学会雑誌 82(Suppl.):70-73, 2006[原著論文]	保川信行, 横田千津子, 岸原 進, 肥塚直美, 片山茂裕:女性化乳房の精査中に発見された46,XX maleの一例. 日本内分泌学会雑誌 82(Suppl.):70-73, 2006[原著論文]

部署名	タイトル	著者
第二内科学(内分泌内科)	Clinical characteristics of familial Graves' disease at the Tokyo Woman's Medical University Hospital: higher male-to-female ratio and earlier onset compared to non-familial cases 家族性バセドウ病の臨床的特徴 東京女子医科大学病院での検討. 東京女子医科大学雑誌 76(2):72-76, 2006[原著論文]	吉原 愛, 磯崎 收, 高野加寿恵: Clinical characteristics of familial Graves' disease at the Tokyo Woman's Medical University Hospital: higher male-to-female ratio and earlier onset compared to non-familial cases 家族性バセドウ病の臨床的特徴 東京女子医科大学病院での検討. 東京女子医科大学雑誌 76(2):72-76, 2006[原著論文]
第二内科学(内分泌内科)	TSH産生腺腫におけるソマトスタチン受容体サブタイプ発現の解析. ホルモンと臨床 54(Suppl.):36-39, 2006[原著論文]	吉原 愛, 磯崎 收, 肥塚直美, 原田千絵, 小野昌美, 川俣貴一, 堀 智勝, 高野加寿恵: TSH産生腺腫におけるソマトスタチン受容体サブタイプ発現の解析. ホルモンと臨床 54(Suppl.):36-39, 2006[原著論文]
第二内科学(内分泌内科)	TSH産生腺腫におけるソマトスタチン受容体サブタイプ発現の解析. ホルモンと臨床 54(秋季増刊):36-39, 2006[総説]	吉原 愛, 磯崎 收, 肥塚直美, 原田千絵, 小野昌美, 川俣貴一, 堀 智勝, 高野加寿恵: TSH産生腺腫におけるソマトスタチン受容体サブタイプ発現の解析. ホルモンと臨床 54(秋季増刊):36-39, 2006[総説]
内分泌外科	A whole MEN1 gene deletion flanked by Alu repeats in a family with multiple endocrine neoplasia type 1. Japanese Journal of Clinical Oncology 36(11):739-744, 2006[症例報告]	Fukuchi Atsushi, Nagamuro Yuko, Yaguchi Hiroko, Okura Naganei, Obara Takao, Tsukada Toshihiko: A whole MEN1 gene deletion flanked by Alu repeats in a family with multiple endocrine neoplasia type 1. Japanese Journal of Clinical Oncology 36(11):739-744, 2006[症例報告]
内分泌外科	機能性別甲状腺腫の摘除と治療. 外科 68:794-798, 2006[総説]	飯原雅季, 岩本高宏, 小原孝男: 機能性別甲状腺腫の摘除と治療. 外科 68:794-798, 2006[総説]
内分泌外科	甲状腺の術式と注意点. 手術 60:1933-1937, 2006[総説]	飯原雅季, 小原孝男: 甲状腺の術式と注意点. 手術 60:1933-1937, 2006[総説]
内分泌外科	手術のtips and pitfalls: 頸部腫瘍下咽頭腫瘍除術. 日本外科学会雑誌 107:92-94, 2006[総説]	飯原雅季: 手術のtips and pitfalls: 頸部腫瘍下咽頭腫瘍除術. 日本外科学会雑誌 107:92-94, 2006[総説]
内分泌外科	副甲状腺疾患の部位診断における超音波検査. 内分泌外科 23:78-82, 2006[総説]	飯原雅季: 副甲状腺疾患の部位診断における超音波検査. 内分泌外科 23:78-82, 2006[総説]
内分泌外科	Suffering評価法の開発. 日本看護学会誌 26(3):3-12, 2006[原著論文]	小原真理子, 齋藤雅子, 小原晋一, 岩本高宏, 佐藤紀子: Suffering評価法の開発. 日本看護学会誌 26(3):3-12, 2006[原著論文]
内分泌外科	カルシウム・骨代謝の臨床経緯. 副甲状腺腫瘍の手術(カルシウム・骨代謝のすべて). 内分泌・糖尿病科 23(Suppl.3):207-211, 2006[総説]	小原孝男: カルシウム・骨代謝の臨床経緯. 副甲状腺腫瘍の手術(カルシウム・骨代謝のすべて). 内分泌・糖尿病科 23(Suppl.3):207-211, 2006[総説]
内分泌外科	カルシウム代謝異常 原発性副甲状腺機能亢進症. ホルモンと臨床 54:122-125, 2006[総説]	小原孝男: カルシウム代謝異常 原発性副甲状腺機能亢進症. ホルモンと臨床 54:122-125, 2006[総説]
内分泌外科	甲状腺・甲狀腺腫瘍 甲状腺疾患(内分泌症候群を含めて). 日本臨床別冊内分泌症候群: 478-481, 2006[総説]	甲状腺・甲狀腺腫瘍 甲状腺疾患(内分泌症候群を含めて). 日本臨床別冊内分泌症候群: 478-481,
内分泌外科	AGREE(Appraisal of Guidelines for Research & Evaluation)による甲状腺癌診療指針の吟味. 内分泌外科 23(4):225-230, 2006[原著論文]	岡本高宏, 飯原雅季, 堀内喜代美, 尾身菜子, 小原孝男: AGREE(Appraisal of Guidelines for Research & Evaluation)による甲状腺癌診療指針の吟味. 内分泌外科 23(4):225-230, 2006[原著論文]
内分泌外科	Iodide inhibits vascular endothelial growth factor-A expression in cultured human thyroid follicles: a microarray search for effects of thyrotropin and iodide on angiogenesis factors. Thyroid 16(6):545-554, 2006[原著論文]	Yamada Emiko, Yamazaki Kazuko, Takano Kazue, Sato Kanji: Iodide inhibits vascular endothelial growth factor-A expression in cultured human thyroid follicles: a microarray search for effects of thyrotropin and iodide on angiogenesis factors. Thyroid 16(6):545-554, 2006[原著論文]
母子総合医療センター	巨大胎盤血管瘤による非免疫性胎児死の一例. 日未熟児新生児会誌 18(3):572, 2006[総説]	金子 泰之: 巨大胎盤血管瘤による非免疫性胎児死の一例. 日未熟児新生児会誌 18(3):572, 2006[総説]
母子総合医療センター	Regulation of ghrelin secretion during pregnancy and lactation in the rat: possible involvement of hypothalamus. Pepsides 25:297-287, 2006[原著論文]	Kazuhiko Shibata, Hisako Hosoda, Koijima Masayasu: Regulation of ghrelin secretion during pregnancy and lactation in the rat: possible involvement of hypothalamus. Pepsides 25:297-287, 2006[原著論文]
母子総合医療センター	低出生体重児診察マニュアル Q5-Q7, ネオネイタリケア 19(秋季増刊):275-282, 2006[総説]	河野由美: 低出生体重児診察マニュアル Q5-Q7, ネオネイタリケア 19(秋季増刊):275-282, 2006[総説]
母子総合医療センター	合併所妊娠の分娩時期と成育限界. 周産期医 36(9):1079-1083, 2006[総説]	河野由美, 三科 順: 合併所妊娠の分娩時期と成育限界. 周産期医 36(9):1079-1083, 2006[総説]
母子総合医療センター	低出生体重児の身体育成. 周産期医 36(suppl.):737-739, 2006[総説]	河野由美, 三科 順: 低出生体重児の身体育成. 周産期医 36(suppl.):737-739, 2006[総説]
母子総合医療センター	低出生体重児の長期予後. 周産期医 36(suppl.):740-742, 2006[総説]	河野由美, 三科 順: 低出生体重児の長期予後. 周産期医 36(suppl.):740-742, 2006[総説]
母子総合医療センター	退院後から1ヶ月健診までの保健指導(新生児の基本管理マニュアル). 周産期医 37(1):137-140, 2006[総説]	河野由美: 退院後から1ヶ月健診までの保健指導(新生児の基本管理マニュアル). 周産期医 37(1):137-140, 2006[総説]
母子総合医療センター	Contribution of pulmonary surfactant with inhaled nitric oxide for treatment of pulmonary. Pediatr Int 48:459-463, 2006[総説]	Kusuda Satoshi, Kim TJ, Koriyama Takeshi, Matsunami Satoko, Nakaniishi Hidehiko: Contribution of pulmonary surfactant with inhaled nitric oxide for treatment of pulmonary. Pediatr Int 48:459-463, 2006[総説]
母子総合医療センター	Morbidity and mortality of infants with very low birth weight in Japan:center variation. Pediatrics 118:1130-1138, 2006[総説]	Kusuda Satoshi, Fujimura Masanori, Sakuma Izumi, Aotani Hirofumi, Kubo Kazuhiko, Itani Yasufumi, Matsunami Katsura, Nishida Hiroshi: Morbidity and mortality of infants with very low birth weight in Japan:center variation. Pediatrics 118:1130-1138, 2006[総説]
母子総合医療センター	Results of clinical surveillance during the Japanese first palivizumab season in 2002-2003. Pediatr Int 48:362-368, 2006[総説]	Kusuda Satoshi, Kohzumi Takeori, Sakai Takeo, Fujimura Masanori, Nishida Hiroshi, Togari Hajime: Results of clinical surveillance during the Japanese first palivizumab season in 2002-2003. Pediatr Int 48:362-368, 2006[総説]
母子総合医療センター	安心を提供する安全な医療—スタッフも安心できるNICUをめざして. 日未熟児新生児会誌 18:15-16, 2006[原著論文]	植田 駿, 入江聰子: 安心を提供する安全な医療—スタッフも安心できるNICUをめざして. 日未熟児新生児会誌 18:15-16, 2006[原著論文]
母子総合医療センター	NICU使用くすり30選. RSウイルス感染. 乳幼児用甲状腺機能低下. Neonatal Care 19:52-55, 2006[総説]	植田 駿: NICU使用くすり30選. RSウイルス感染. 乳幼児用甲状腺機能低下. Neonatal Care 19:52-55, 2006[総説]
母子総合医療センター	早産児に対する鉄剤投与のガイドライン. 周産期医 36:767-778, 2006[総説]	植田 駿, 松井聰子, 川口千昭, 高橋幸博, 和田 淳, 平野直哉, 萩原 英, 平井智裕: 早産児に対する鉄剤投与のガイドライン. 周産期医 36:767-778, 2006[総説]
母子総合医療センター	心疾患合併妊娠での心肺機能低下例の検討. 周産期シンポジウム 24:71-75, 2006[原著論文]	牧野康男, 松田義雄, 石井聰子, 小野惠里奈, 秋澤敬吾, 川道敬生, 三谷 球, 中沢 誠, 仁志田博司, 太田博明: 心疾患合併妊娠での心肺機能低下例の検討. 周産期シンポジウム 24:71-75, 2006[原著論文]
母子総合医療センター	分娩時期と分娩方法の決定. 優産病と妊娠 6(1):22-24, 2006[原著論文]	牧野康男, 松下恵里奈, 松田義雄, 佐川寛由実: 分娩時期と分娩方法の決定. 優産病と妊娠 6(1):22-24, 2006[原著論文]
母子総合医療センター	妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠と難産. 周産期医 36(1):91-94, 2006[総説]	牧野康男, 松田義雄, 妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠と難産. 周産期医 36(1):91-94, 2006[総説]
母子総合医療センター	NICUにおける新生児の管理. 産婦接生 92:917-921, 2006[総説]	增本健一: NICUにおける新生児の管理. 産婦接生 92:917-921, 2006[総説]
母子総合医療センター	母体・胎児・新生児の心肺機能低下時の反応と対応 早産児に生じる晚期循環不全の対応. 周産期シンポジウム 24:113-116, 2006[総説]	増本健一, 植田 駿, 佐久間東, 小保内俊雄, 齋井 岳, 福井千佳, 山中聰子, 背柳裕之, 仁志田博司: 母体・胎児・新生児の心肺機能低下時の反応と対応 早産児に生じる晚期循環不全の対応. 周産期シンポジウム 24:113-116, 2006[総説]
母子総合医療センター	臓器スクリーニング. Neonatal Care(春季増刊号):60-63, 2006[原著論文]	三科 順: 臓器スクリーニング. Neonatal Care(春季増刊号):60-63, 2006[原著論文]
母子総合医療センター	低出生体重児の成長予後. 日産会誌 58(9):127-131, 2006[原著論文]	三科 順: 低出生体重児の成長予後. 日産会誌 58(9):127-131, 2006[原著論文]
母子総合医療センター	新生兒監視スクリーニング. 周産期医 36(3):305-309, 2006[原著論文]	三科 順: 新生兒監視スクリーニング. 周産期医 36(3):305-309, 2006[原著論文]
母子総合医療センター	新生兒監視スクリーニング. 周産期医学必修知識 36(suppl.):912-913, 2006[原著論文]	三科 順: 新生兒監視スクリーニング. 周産期医学必修知識 36(suppl.):912-913, 2006[原著論文]
母子総合医療センター	新生兒感染スクリーニング. 小児臨床 59(4):659-665, 2006[原著論文]	三科 順: 新生兒感染スクリーニング. 小児臨床 59(4):659-665, 2006[原著論文]
母子総合医療センター	呼吸障害. 周産期医 73(10):1275-1279, 2006[総説]	三科 順: 呼吸障害. 周産期医 73(10):1275-1279, 2006[総説]
母子総合医療センター	小児を対象とした脳神経研究の倫理的考察. 生命医療・法と倫理 1:29-35, 2006[原著論文]	仁志田博司: 小児を対象とした脳神経研究の倫理的考察. 生命医療・法と倫理 1:29-35, 2006[原著論文]
母子総合医療センター	患者家族と医療スタッフの間に治療に対する共通認識が確立できずに難渋した症例の経験. 周産期医 36:1029-1033, 2006[総説]	小保内俊雄, 大和伸生, 小瀬雅則, 植田 駿, 平井加奈子, 仁志田博司: 患者家族と医療スタッフの間に治療に対する共通認識が確立できずに難渋した症例の経験. 周産期医 36:1029-1033, 2006[総説]
母子総合医療センター	周産期医学必修知識. 新生児未熟児の歴史と現状. 各論 予防のために予防のためのモニタリング. 母子保健情報 53:84-88, 2006[総説]	佐久間 駿: 周産期医学必修知識. 新生児未熟児の感染症. 周産期医 36(増刊):728-730, 2006[総説]
母子総合医療センター	乳幼児突然死症候群(SIDS)の歴史と現状. 各論 予防のために予防のためのモニタリング. 母子保健情報 53:84-88, 2006[総説]	佐久間 駿: 乳幼児突然死症候群(SIDS)の歴史と現状. 各論 予防のために予防のためのモニタリング. 母子保健情報 53:84-88, 2006[総説]
母子総合医療センター	一般小児科医にも必要な周産期の知識. 呼吸器合併症. 小児科 48:190-193, 2006[総説]	田村良香, 植田 駿: 一般小児科医にも必要な周産期の知識. 呼吸器合併症. 小児科 48:190-193, 2006[総説]
母子総合医療センター	新生児の神経学的発達. 周産期医 36:419-421, 2006[総説]	田村良香, 小保内俊雄, 植田 駿: 新生児の神経学的発達. 周産期医 36:419-421, 2006[総説]
母子総合医療センター	肺気腫と喘息の合併症について. Q&Aでわかるアレルギー疾患 2(3):214-215, 2006[総説]	水井厚志: 肺気腫と喘息の合併症について. Q&Aでわかるアレルギー疾患 2(3):214-215, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	COPD 呼吸器疾患に対する日本人の遺伝的的感受性. The Lung perspective 14:383-386, 2006[総説]	Aoshiba Kazutetsu: COPD 呼吸器疾患に対する日本人の遺伝的的感受性. The Lung perspective 14:383-386, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	病態形成における肺胞の役割 慢性閉塞性肺疾患 最近の動向. 最新医学 62:30-35, 2006[総説]	青柴和徹: 病態形成における肺胞の役割 慢性閉塞性肺疾患 最近の動向. 最新医学 62:30-35, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	COPDにおけるアボトーシスと関連する遺伝子異常. 日胸 65(12):1064-1069, 2006[総説]	青柴和徹: COPDにおけるアボトーシスと関連する遺伝子異常. 日胸 65(12):1064-1069, 2006[総説]

部署名	タイトル	著者
第一内科学(呼吸器内科)	肺の加齢と喫煙. 日老医誌 43:582-584, 2006[総説]	青柴和徹:肺の加齢と喫煙. 日老医誌 43:582-584, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	COPDの研究の動向. 医学のあゆみ 218:1019-1022, 2006[総説]	青柴和徹:COPDの研究の動向. 医学のあゆみ 218:1019-1022, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	Kaposi sarcoma-associated herpesvirus を検出したMulticentric Castleman's diseaseの1例. 分子呼吸器病学 10(2):136-139, 2006[総説]	林 光俊, 青柴和徹, 玉置 淳, 永井厚志:Kaposi sarcoma+associated herpesvirus を検出したMulticentric Castleman's diseaseの1例. 分子呼吸器病学 10(2):136-139, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	ピークフロー検査、スピrometリー、運動負荷試験、息切れの評価法. 呼吸器ケア2006年冬季増刊 呼吸器ケア(49):114-134, 2006[総説]	入谷栄一, 桂秀樹:ピークフロー検査、スピrometリー、運動負荷試験、息切れの評価法. 呼吸器ケア2006年冬季増刊 呼吸器ケア(49):114-134, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	Macrophage-colony stimulating factor aggravates rather than regenerates emphysematous lungs in mice. Respiration 73:538-545, 2006[原著論文]	Ishikawa Takeaki, Aoshiba Kazutetsu, Yokohori Naoko, Nagai Atsushi: Macrophage-colony stimulating factor aggravates rather than regenerates emphysematous lungs in mice. Respiration 73:538-545, 2006[原著論文]
第一内科学(呼吸器内科)	特発性肺線維症におけるFDG-PET. 臨床呼吸生理 38:73, 2006[原著論文]	出雲雄大, 近藤光子, 近藤千里, 日下部きよ子, 大貫恭正, 永井厚志:特発性肺線維症におけるFDG-PET. 臨床呼吸生理 38:73, 2006[原著論文]
第一内科学(呼吸器内科)	C-reactive protein products generated by neutrophil elastase promote neutrophil apoptosis. Arch Med Res 37(4):456-460, 2006[原著論文]	Kakuta Yumi, Aoshiba Kazutetsu, Nagai Atsushi: C-reactive protein products generated by neutrophil elastase promote neutrophil apoptosis. Arch Med Res 37(4):456-460, 2006[原著論文]
第一内科学(呼吸器内科)	C-Reactive Protein Products Generated by Neutrophil Elastase Promote Neutrophil Apoptosis.. Archives of Medical Research 37:456-460, 2006[総説]	Kakuta Yumi, Aoshiba Kazutetsu, Nagai Atsushi: C-Reactive Protein Products Generated by Neutrophil Elastase Promote Neutrophil Apoptosis.. Archives of Medical Research 37:456-460, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	新たな薬物の登場—透析患者への適応各臓器における新たな薬物 (5)呼吸器疾患. 臨床透析 22(6):699-706, 2006[総説]	亀山伸吉, 水井厚志:新たな薬物の登場—透析患者への適応各臓器における新たな薬物 (5)呼吸器疾患. 臨床透析 22(6):699-706, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	日常使用薬の注意すべき副作用一医薬品副作用被害救済制度に関連して 呼吸器系障害. 成人病と生活習慣病 36(12):1479-1486, 2006[総説]	亀山伸吉, 水井厚志:日常使用薬の注意すべき副作用一医薬品副作用被害救済制度に関連して 呼吸器系障害. 成人病と生活習慣病 36(12):1479-1486, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	各臓器における新たな薬物 (5)呼吸器疾患. 臨床透析 22(6):59-66, 2006[総説]	丸山伸吉, 水井厚志:各臓器における新たな薬物 (5)呼吸器疾患. 臨床透析 22(6):59-66, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	Elimination of IL-13 reverses established goblet cell metaplasia into ciliated epithelia in airway epithelial cell culture. Allergology International 55:329-336, 2006[原著論文]	Kondo Mitsuko, Tamaoki Jun, Takeyama Kiyoshi, Isono Kazuo, Kawatani Kiyomi, Izumo Takehiro, Nagai Atsushi: Elimination of IL-13 reverses established goblet cell metaplasia into ciliated epithelia in airway epithelial cell culture. Allergology International 55:329-336, 2006[原著論文]
第一内科学(呼吸器内科)	気道の慢性炎症とマクロライド. 耳鼻咽喉科 24(3):19-25, 2006[総説]	近藤光子, 武山 康, 玉置 淳:気道の慢性炎症とマクロライド. 耳鼻咽喉科 24(3):19-25, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	慢性咳その診断に診断に必要な検査. 呼吸器科 10(5):19-25, 2006[総説]	近藤光子:慢性咳その診断に診断に必要な検査. 呼吸器科 10(5):19-25, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	ピークフロー値の変動の意味は?. Q&Aでわかるアレルギー疾患 2(6):509-511, 2006[総説]	近藤光子:ピークフロー値の変動の意味は?. Q&Aでわかるアレルギー疾患 2(6):509-511, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	Clarithromycin delays progression of bronchial epithelial cells from G1 to S phase and delays cell growth via extracellular signal-regulated protein kinase suppression. Antimicrobial Agents Chemotherapy 50(6):1738-1744, 2006[原著論文]	Masaharu Shinkai, Tamaoki Jun, Kobayashi Hideo, Kanoh Soichiro, Motoyoshi Kazuo, Rubin Bruce: Clarithromycin delays progression of bronchial epithelial cells from G1 to S phase and delays cell growth via extracellular signal-regulated protein kinase suppression. Antimicrobial Agents Chemotherapy 50(6):1738-1744, 2006[原著論文]
第一内科学(呼吸器内科)	7日間のステロイド投与後に間質性陰影の消失をみた血管免疫芽球性T細胞リンパ腫. 日本呼吸器学会雑誌 44(7):537-540, 2006[総説]	松宮啓子, 新井愛子, 水井厚志:7日間のステロイド投与後に間質性陰影の消失をみた血管免疫芽球性T細胞リンパ腫. 日本呼吸器学会雑誌 44(7):537-540, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	身体所見の取り方-問診. 高齢者診療のツボ-COPD 3:13-20, 2006[総説]	水井厚志:身体所見の取り方-問診. 高齢者診療のツボ-COPD 3:13-20, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	肺気腫と喘息の合併症について. アレルギー疾患 2(3):214-215, 2006[総説]	水井厚志:肺気腫と喘息の合併症について. アレルギー疾患 2(3):214-215, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	咳. 総合臨床 55:59-64, 2006[総説]	水井厚志:咳. 総合臨床 55:59-64, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	COPD:喫煙習慣および発症に遺伝子多型はどのようにかかわるのか. 分子呼吸器病 10(1):10-14, 2006[総説]	水井厚志:COPD:喫煙習慣および発症に遺伝子多型はどのようにかかわるのか. 分子呼吸器病 10(1):10-14, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	呼吸器学の巨人たち-WILLIAM M THURLBECK先生. 呼吸 25(1):97-99, 2006[総説]	水井厚志:呼吸器学の巨人たち-WILLIAM M THURLBECK先生. 呼吸 25(1):97-99, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	市中肺炎と院内肺炎-最近の動向. 臨床と研究 82(12):1891-1894, 2006[総説]	水井厚志:市中肺炎と院内肺炎-最近の動向. 臨床と研究 82(12):1891-1894, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	身体所見による喘息の病状把握の重要性. 喘息 19(1):15-18, 2006[総説]	水井厚志:身体所見による喘息の病状把握の重要性. 喘息 19(1):15-18, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	印象記. 呼吸 25(1):69-70, 2006[総説]	水井厚志:印象記. 呼吸 25(1):69-70, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	肺気腫(COPD). クリニカ 32(6):58-61, 2006[総説]	水井厚志:肺気腫(COPD). クリニカ 32(6):58-61, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	COPDとは. 日本病院薬剤師会雑誌 42(5):609-610, 2006[総説]	永井厚志:COPDとは. 日本病院薬剤師会雑誌 42(5):609-610, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	慢性閉塞性肺疾患. 呼吸の事典 1:476-483, 2006[総説]	水井厚志:慢性閉塞性肺疾患. 呼吸の事典 1:476-483, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	喫煙と呼吸器疾患-喫煙歴と肺傷害を中心に. 呼吸を循環 54(1):81-83, 2006[総説]	永井厚志:喫煙と呼吸器疾患-喫煙歴と肺傷害を中心に. 呼吸を循環 54(1):81-83, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	COPDガイドライン(GOLD,JRS). MEBIO 23(5):42-47, 2006[総説]	永井厚志:COPDガイドライン(GOLD,JRS). MEBIO 23(5):42-47, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	肺気腫(COPD). クリニカ 32(6):58-61, 2006[総説]	永井厚志:肺気腫(COPD). クリニカ 32(6):58-61, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	医療とリスクマネージメントの問題と対策. ベストナース 6(196):68-69, 2006[総説]	永井厚志:医療とリスクマネージメントの問題と対策. ベストナース 6(196):68-69, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	各臓器における新たな薬物-(5)呼吸器疾患. 臨床透析 22(6):699-706, 2006[総説]	永井厚志:各臓器における新たな薬物-(5)呼吸器疾患. 臨床透析 22(6):699-706, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	COPD. 呼吸器科 9(3):203-210, 2006[総説]	永井厚志:COPD. 呼吸器科 9(3):203-210, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	呼吸器疾患:診断の方法. 臨床病態学 1:248-253, 2006[総説]	永井厚志:呼吸器疾患:診断の方法. 臨床病態学 1:248-253, 2006[総説]

部署名	タイトル	著者
第一内科学(呼吸器内科)	COPD発症のメカニズム-最新の知見. 総合臨床 55(10):2413-2418, 2006[総説]	永井厚志:COPD発症のメカニズム-最新の知見. 総合臨床 55(10):2413-2418, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	COPDの新展開. 実験医学 24(9):3023-3028, 2006[総説]	永井厚志:COPDの新展開. 実験医学 24(9):3023-3028, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	慢性閉塞性肺疾患(COPD)の病態形成と再生への展開. 感染 炎症 免疫 36(3):32-38, 2006[総説]	永井厚志:慢性閉塞性肺疾患(COPD)の病態形成と再生への展開. 感染 炎症 免疫 36(3):32-38, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	COPD-新しいガイドラインに基づいた実地診療に進み方. MEDICAL PRACTICE 23(6):914-920, 2006[総説]	永井厚志:COPD-新しいガイドラインに基づいた実地診療に進み方. MEDICAL PRACTICE 23(6):914-920, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	COPD発症のメカニズム. 総合臨床 55(10):2413-2418, 2006[総説]	永井厚志:COPD発症のメカニズム. 総合臨床 55(10):2413-2418, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	COPD:病態形成機序の解明と治療法の開発. 最新医学 61(2):306-336, 2006[総説]	永井厚志, 背柴和徹, 近藤光子, 玉置 淳:COPD:病態形成機序の解明と治療法の開発. 最新医学 61(2):306-336, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	COPD診療のニューバラダイム. HUMAN SCIENCE 17(2):4-12, 2006[総説]	永井厚志:COPD診療のニューバラダイム. HUMAN SCIENCE 17(2):4-12, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	急性呼吸不全の酸素療法(特集 急性呼吸不全への対応). 呼吸器科 9(4):344-347, 2006[総説]	兔澤重光, 背柴和徹:急性呼吸不全の酸素療法(特集 急性呼吸不全への対応). 呼吸器科 9(4):344-347, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	白金ナコロイドは喫煙による気道・肺の急性炎症を抑制する. 総研紀要 26, 2006[研究報告]	兎澤重光, 背柴和徹, 金山敦宏, 宮本有正, 岡山峰仰, 梶田昌志, 永井厚志:白金ナコロイドは喫煙による気道・肺の急性炎症を抑制する. 総研紀要 26, 2006[研究報告]
第一内科学(呼吸器内科)	Oxidative stress increases Fas ligand expression in endothelial cells. J Inflamm 3:11, 2006[原著論文]	Suzuki Mayumi, Aoshiba Kazutetsu, Nagai Atsushi: Oxidative stress increases Fas ligand expression in endothelial cells. J Inflamm 3:11, 2006[原著論文]
第一内科学(呼吸器内科)	軽い症状でのステロイド使用は?. Q&Aでわかるアレルギー疾患 12(4):368-370, 2006[原著論文]	多賀悦子, 玉置 淳:軽い症状でのステロイド使用は?. Q&Aでわかるアレルギー疾患 12(4):368-370, 2006[原著論文]
第一内科学(呼吸器内科)	Role of epidermal growth factor receptor in the proliferation of human airway epithelial cells. Clinical Experimental Allergy Reviews 6(1):111-116, 2006[原著論文]	Tamaoki Jun, Takeyama Kiyoshi, Kaneko Kazuyo, Kondo Mitsuiko, Taira Manako, Nagai Atsushi: Role of epidermal growth factor receptor in the proliferation of human airway epithelial cells. Clinical Experimental Allergy Reviews 6(1):111-116, 2006[原著論文]
第一内科学(呼吸器内科)	喘息の見分け方と治療のコツ. Q&Aでわかるアレルギー疾患 2(6):418-428, 2006[総説]	玉置淳, 佐野靖之, 小山信一郎:喘息の見分け方と治療のコツ. Q&Aでわかるアレルギー疾患 2(6):418-428, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	成人気管支喘息の新しい管理法. MEDICO 37(2):418-428, 2006[総説]	玉置淳, 石井彰, 大利隆行, 大田健:成人気管支喘息の新しい管理法. MEDICO 37(2):418-428, 2006[総説]
第一内科学(呼吸器内科)	Alveolar cell senescence in pulmonary emphysema patients. Am J Respir Crit Care Med 174:886-893, 2006[原著論文]	辻 隆, 背柴和徹, 永井厚志:Alveolar cell senescence in pulmonary emphysema patients. Am J Respir Crit Care Med 174:886-893, 2006[原著論文]
第一内科学(呼吸器内科)	Activation of nuclear factor- $\kappa$ B in airway epithelial cells in patients with chronic obstructive pulmonary disease. Respiration 73:610-616, 2006[原著論文]	Yagi Osamori, Aoshiba Kazutetsu, Nagai Atsushi: Activation of nuclear factor- $\kappa$ B in airway epithelial cells in patients with chronic obstructive pulmonary disease. Respiration 73:610-616, 2006[原著論文]
第一外科学(呼吸器外科)	術前の動脈塞栓術が有用であった縦隔血管腫の一例. 日肺外会誌 20(05):53-57, 2006	青島宏枝, 小山邦広, 池田豊秀, 清水俊英, 和知尚子, 前 崇宏, 村杉雅秀, 大賀恭正:術前の動脈塞栓術が有用であった縦隔血管腫の一例. 日肺外会誌 20(05):53-57, 2006
第一外科学(呼吸器外科)	選択的肺動脈閉塞下に気管支動脈塞栓術を施行した気管支動脈瘤の1例. 気管支学 28(5):365-368, 2006	青島宏枝, 前 崇宏, 高田陽子, 和知尚子, 小山邦広, 池田豊秀, 清水俊英, 村杉雅秀, 大賀恭正:選択的肺動脈閉塞下に気管支動脈塞栓術を施行した気管支動脈瘤の1例. 気管支学 28(5):365-368, 2006
第一外科学(呼吸器外科)	Accuracy of PET for Diagnosis of Solid Pulmonary Lesions with 18F-FDG Uptake Below the Standardized Uptake Value of 2.5. The Journal of Nuclear Medicine 47(3):426-431, 2006	Ishizaki Yuichiro, Tsukuiwa Tetsuro, Kondo Chisato, Maki Masako, Momose Mitsu, Nagai Atsushi, Onuki Takamasa, Nishikawa Toshio, Kusakabe Kiyoko: Accuracy of PET for Diagnosis of Solid Pulmonary Lesions with 18F-FDG Uptake Below the Standardized Uptake Value of 2.5. The Journal of Nuclear Medicine 47(3):426-431, 2006
第一外科学(呼吸器外科)	胸郭成形術後13年目に結核性皮下膿瘍を形成した症例. 日本胸部臨床 65(9):859-862, 2006	井坂珠子, 小原徹也, 神崎正人, 大賀恭正:胸郭成形術後13年目に結核性皮下膿瘍を形成した症例. 日本胸部臨床 65(9):859-862, 2006
第一外科学(呼吸器外科)	Tissue Engineered Epithelial Cell Sheets for the creation of a Bioartificial Trachea. TISSUE ENGINEERING 12(5):1275-1283, 2006[原著論文]	Kenzaki Masato, Yamato Masyuki, Hatakeyama Hideyuki, Kohno Chinatsu, Yang Joseph, Umemoto Terumasa, Kikuchi Akihiko, Okano Teruo, Omuki Takamasa: Tissue Engineered Epithelial Cell Sheets for the creation of a Bioartificial Trachea. TISSUE ENGINEERING 12(5):1275-1283, 2006[原著論文]
第一外科学(呼吸器外科)	シート状フィブリン接着剤、組織代用織維布の貼付に用いる梃子. 胸部外科 59(12):1086-1088, 2006[原著論文]	神崎正人, 小原徹也, 徒野道一, 井坂珠子, 宮野裕, 大賀恭正:シート状フィブリン接着剤、組織代用織維布の貼付に用いる梃子. 胸部外科 59(12):1086-1088, 2006[原著論文]
第一外科学(呼吸器外科)	培養線維芽細胞シート移植による新規気漏閉鎖術. 東京女子医科大学雑誌 76(4):184-189, 2006[総説]	神崎正人, 大賀恭正, 大和雅之, 岩野光夫:培養線維芽細胞シート移植による新規気漏閉鎖術. 東京女子医科大学雑誌 76(4):184-189, 2006[総説]
第一外科学(呼吸器外科)	肺がん検診における経年受信の有効性. 肺癌 46(1):27-31, 2006	徒野道一, 岩野光夫, 大賀恭正:肺がん検診における経年受信の有効性. 肺癌 46(1):27-31, 2006
第一外科学(呼吸器外科)	Cell delivery in regenerative medicine: The cell sheet engineering approach.. J Control Release. 116(2):193-203, 2006[原著論文]	Yang Joseph, Yamato Masyuki, Nishida Kohji, Ohki Takeshi, Kaneko Masato, Sekino Hidekazu, Shimizu Tetsuya, Okano Teruo: Cell delivery in regenerative medicine: The cell sheet engineering approach.. J Control Release. 116(2):193-203, 2006[原著論文]
救急医学(救急医療科)	甲状腺クリーゼ状態で心肺停止をきたし蘇生した1例. 日本救急医学会関東地方会 27:86-88, 2006[症例報告]	天野寛史, 矢口有里, 並木みすほ, 寺田尚弘, 今井一登, 原田知幸, 藤井隆一, 武田宗和, 仁科雅良, 石川雅健, 鈴木 忠:甲状腺クリーゼ状態で心肺停止をきたし蘇生した1例. 日本救急医学会関東地方会 27:86-88, 2006[症例報告]
救急医学(救急医療科)	Clinical Significance of Blood Ulinastatin Measurement in Trauma Patients. 日本救急医学会雑誌 17(2):39-44, 2006[原著論文]	Inagaki Nobuhiko, Ishikawa Masaaki, Soga Yukihiko, Nakagawa Takaao, Suzuki Tadashi: Clinical Significance of Blood Ulinastatin Measurement in Trauma Patients. 日本救急医学会雑誌 17(2):39-44, 2006[原著論文]
救急医学(救急医療科)	穿孔性胃潰瘍術後に腹腔内出血・小腸壊死をきたし治療に難済した1救命例. Therapeutic Research 27(2):217-222, 2006[症例報告]	橋垣伸洋, 石川雅健, 武田宗和, 阿部勝, 今井一登, 曽我幸弘, 中川隆雄, 鈴木 忠:穿孔性胃潰瘍術後に腹腔内出血・小腸壊死をきたし治療に難済した1救命例. Therapeutic Research 27(2):217-222, 2006[症例報告]
救急医学(救急医療科)	当救命救急センターに入院した消化管悪性腫瘍の検討. 日本救命救急学会関東地方会 27:42-43, 2006[症例報告]	諸井隆一, 今井一登, 寺田尚弘, 原田知幸, 武田宗和, 矢口有里, 仁科雅良, 石川雅健, 鈴木 忠:当救命救急センターに入院した消化管悪性腫瘍の検討. 日本救命救急学会関東地方会 27:42-43, 2006[症例報告]
救急医学(救急医療科)	Pathological Assessment of the Contribution of Helicobacter pylori Infection to Perforated Peptic Ulcer. 東京女子医科大学雑誌 76(10・11):417-429, 2006[原著論文]	Nakada Takuhiro, Suzuki Tadashi, Kobayashi Makio, Kameoka Shiro: Pathological Assessment of the Contribution of Helicobacter pylori Infection to Perforated Peptic Ulcer. 東京女子医科大学雑誌 76(10・11):417-429, 2006[原著論文]
救急医学(救急医療科)	救急患者・出血患者の輸液. Medical Practice 23(臨時):356-359, 2006[総説]	仁科雅良, 鈴木 忠:救急患者・出血患者の輸液. Medical Practice 23(臨時):356-359, 2006[総説]
救急医学(救急医療科)	急性肺炎(急性血液浄化法の適応疾患). 救急・集中治療 18(1):116-118, 2006[総説]	仁科雅良, 鈴木 忠:急性肺炎(急性血液浄化法の適応疾患). 救急・集中治療 18(1):116-118, 2006[総説]
救急医学(救急医療科)	救命救急センターにおける病状説明の問題点(腹部救急医療におけるリスクマネージメント). 日腹部救急会誌 26(6):731-734, 2006[総説]	仁科雅良, 武田宗和, 石川雅健, 鈴木 忠:救命救急センターにおける病状説明の問題点(腹部救急医療におけるリスクマネージメント). 日腹部救急会誌 26(6):731-734, 2006[総説]
救急医学(救急医療科)	消化性潰瘍出血(腹部急性疾患の鑑別診断と初期対応). 救急医学 30(11):1493-1497, 2006[総説]	仁科雅良:消化性潰瘍出血(腹部急性疾患の鑑別診断と初期対応). 救急医学 30(11):1493-1497, 2006[総説]
救急医学(救急医療科)	Soluble endothelium-selectin(sE-selectin)in critically ill patients(重症患者における血中可溶性E-selectin濃度測定の臨床的意義). 東京女子医科大学雑誌 76(12):467-476, 2006[原著論文]	Terada Takanori, Nakagawa Takaao, Yaguchi Arino, Suzuki Tadashi, Okajima Kenji: Soluble endothelium-selectin(sE-selectin)in critically ill patients(重症患者における血中可溶性E-selectin濃度測定の臨床的意義). 東京女子医科大学雑誌 76(12):467-476, 2006[原著論文]

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

管理責任者氏名	病院長 永井厚志
管理担当者氏名	医療記録管理室長 川島 真 事務長 柳生良夫

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録		医療記録室他、担当部署	<ul style="list-style-type: none"><li>外来カルテ関係は電子カルテ、入院カルテ関係は医療記録管理室で保管管理</li><li>その他の書類は、担当部署によりファイル等で保管管理</li></ul>
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	業務管理課	<ul style="list-style-type: none"><li>担当部署によるファイル、コンピュータ等による保管管理</li></ul>
	高度の医療の提供の実績	業務管理課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	業務管理課	
	高度の医療の研修の実績	業務管理課	
	閲覧実績	業務管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域連携室	
確規保則の第9条の2及び第11条各号に掲げる体制	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	業務管理課 薬剤部	
の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全対策室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全対策室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者サービス室	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療安全対策室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	業務管理課長 今井克彦
閲覧担当者氏名	業務管理課長補佐 板垣吉晃
閲覧の求めに応じる場所	会議室等

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延 21,470 件
閲覧者別	医 師
	歯科医師
	国
	地方公共団体

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	49.7 %	算定期間	平成18年 4月 1日～平成19年 3月31日
A：紹介患者の数			19,424人
B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数			17,095人
C：救急用自動車によって搬入された患者の数			4,026人
D：初診の患者の数			64,472人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第6-2)

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) ( 1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) ( 4名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有)・無
所属職員： 専任（ 3）名 兼任（ 7）名	
・ 活動の主な内容：① 医療事故を防止するための情報収集・集計・分析・対策立案・フィードバック・評価 ② 医療事故への対応：事故発生部門、部門間の連携・調整、および患者・家族への対応、関連委員会の開催 ③ 医療安全に関する組織横断的改善案の立案と改善実施後の評価 ④ 職員教育・研修の企画立案実施評価	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有)・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
・ 指針の主な内容： ① 安全管理に関する基本 ② 安全管理に関する委員会並びに組織に関する基本方針 ③ 安全管理のための研修に関する基本方針 ④ 事故報告等の医療に係る安全確保を目的とした改善方策 ⑤ 事故発生時の対応に関する基本方針 ⑥ 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 ⑦ 患者からの相談への対応に関する基本方針 ⑧ 法に基づく報告 を医療法に基づき整備している。	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年11回
・ 活動の主な内容： ① 医療安全管理委員会：全病院的または各部門における医療安全管理の体制確保、安全対策の妥当性を審議し改善策の策定及び職員への周知徹底 ② リスクマネジメント委員会・リスクマネジメント小グループ活動にて組織横断的に立案した改善策の標準化を行い医療安全管理委員会に審議事項として報告 ・医療事故防止の観点から警笛事例などの共有を行い必要に応じて部会へ分析・改善案立案などの依頼 ・策定した手順や改善案などについて、現場での問題や課題について再検討	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年3回
・ 研修の主な内容： ①第14回医療安全講習会：診療行為に関連した死亡も調査分析モデル事業について ②第15回医療安全講習会：リスクマネジメント委員会小グループ活動報告（内服・外用薬剤アレルギー低減、転倒転落アラート低減、説明書・同意書ファイル作成、医療安全と時間設定、検査・治療アラート低減、手術アラート低減、輸血関連アラート低減） ③第16回医療安全講習会：リスクマネジメント委員会小グループ活動報告（点滴注射アラート低減、救急組成体制の整備・維持、臨床研修医・新人医療職への安全教育、個人情報保護と患者識別、機器関連アラート低減、ドレン・チューブ関連アラート低減）	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( (有)・無 )	
・ その他の改善の方策の主な内容：	
①安全な点滴マントの配備：5脚の点滴マント 300台、輸液ポンプ専用マント 200台を病棟に配備 ②インジケーターの統一：指示統一、専用シリジングポンプ並びにシリジング・接続チューブ等の統一 ③電波時計設置：リスクマネジメント委員会小グループからの提言により病棟等 44 構所に電波時計を設置 ④輸液シリジングポンプの機種の統一化：機種混在による誤操作および輸液ポンプ専用ライン取り違えのリスク対策として機種を統一	